

100 世界遺産の旅

2000年、講談社より発刊された「ユネスコ週刊世界遺産」は、全100冊で、1冊あたり約6か所の世界遺産が掲載されています。「100世界遺産の旅」は、各冊、少なくとも1か所の世界遺産を探訪する旅です。

K. Ishida

All rights reserved.

「世界遺産」と「旅」
に関わるトピックスを
お届けします。
お楽しみに！



モンサンミッシェル、サン・マロ湾、フランス、2001年6月

地を離れて人なく、人を離れて事なし、
故に人事を論ぜんと欲せば、先ず地理を觀よ！

吉田松陰

発行：2012年03月01日

更新：2026年04月03日

目次

《序章》

(1) はじめに	P-09
(2) アジア	P-09
(3) ヨーロッパ	P-10
(4) アメリカ	P-10
(5) 未探訪地域	P-11

《新探訪の旅》

(6) Snow Birds /避寒旅行者	インドネシア	P-12
(7) 世界遺産に登録されない東西両雄	ドイツ&日本	P-13
(8) カトマンズの谷	ネパール	P-14
(9) エベレストへの道	ネパール	P-15
(10) ムガル帝国と日本人	インド	P-16
(11) 白亜の霊廟タージ・マハル	インド	P-17
(12) 仏陀の愛	スリランカ	P-18
(13) アジアを繋ぐ寓話	カンボジア	P-19
(14) 東洋のベニス	タイランド	P-20
(15) 人は去り、街は残る	ドイツ	P-21
(16) クレムリンと赤の広場	ロシア	P-22
(17) エルミタージュ美術館	ロシア	P-23
(18) 罪と罰の舞台を巡る	ロシア	P-24
(19) スオメンリナ要塞	フィンランド	P-25
(20) 聖ヨハネ騎士団	マルタ	P-26
(21) ローマの休日	イタリア	P-27
(22) ポンペイ遺跡	イタリア	P-28
(23) ルネサンスの巨匠たち	イタリア	P-29
(24) ビザンチン帝国の栄華	イタリア	P-30
(25) アドリア海の女王	イタリア	P-31
(26) 最後の晩餐	イタリア	P-32
(27) コート・ダジュール	フランス	P-33
(28) レ・ミゼラブル/ああ無情	フランス	P-34
(29) ルーブル美術館の思い出	フランス	P-35
(30) ベルサイユ宮殿の主たち	フランス	P-36

(次ページに続く)

《新探訪の旅》

(31) 街道の町ストラスブーグ	フランス	P-37
(32) ジャンヌ・ダルクとランス大聖堂	フランス	P-38
(33) 不可解なストーンヘンジ	イギリス	P-39
(34) LCC の落とし穴	イギリス	P-40
(35) 欧州旅事情	ヨーロッパ	P-41
(36) ラマダンのマラケシュ	モロッコ	P-42
(37) 天空の白鷺/姫路城	日本：兵庫	P-43
(38) コンスタンティノーブル	トルコ	P-44
(39) 南米のパリ	アルゼンチン	P-45
(40) イグアスの滝	アルゼンチン	P-46
(41) パンパのガウチョ牧場	アルゼンチン	P-47
(42) パナマ運河	パナマ	P-48
(43) マチュピチュ遺跡	ペルー	P-49
(44) インカ帝国	ペルー	P-50
(45) コンキスタドールの街	ペルー	P-51
(46) コロンブスの海	ドミニカ共和国	P-52
(47) 中南米旅事情	中南米	P-53
(48) 空海の風景	中国	P-54
(49) 遣唐使	中国	P-55
(50) 秦始皇兵馬俑	中国	P-56
(51) 洛陽龍門石窟	中国	P-57
(52) 敦煌莫高窟	中国	P-58
(53) 新疆ウイグル自治区	中国	P-59
(54) シルクロード	中国	P-60
(55) 中国旅事情	中国	P-61
(56) トランスファーの喜び	タイランド	P-62
(57) ミルフォード・サウンド	ニュージーランド	P-63
(58) トレッキング	ニュージーランド	P-64
(59) ニュージーランド旅事情	ニュージーランド	P-65
(60) ブルー・マウンテンズ	オーストラリア	P-66
(61) グレート・バリア・リーフ	オーストラリア	P-67

(次ページに続く)



ウユニ塩原、ボリビア、南米、2018年2月

《新探訪の旅》

(62) オーストラリア旅事情	オーストラリア	P-68
(63) 津軽海峡夏景色	日本：青森	P-69
(64) 白神山地	日本：青森&秋田	P-70
(65) 青森ねぶた	日本：青森	P-71
(66) 兵どもが夢の跡	日本：岩手&栃木	P-72
(67) ビクトリアの滝	ジンバブエ	P-73
(68) チョベ国立公園サファリ	ボツワナ	P-74
(69) ケープタウン	南アフリカ	P-75
(70) 喜望峰	南アフリカ	P-76
(71) アフリカ旅事情	アフリカ	P-77
(72) 超過密都市	香港	P-78
(73) 御礼行脚	シンガポール	P-79
(74) Marina Bay Sands	シンガポール	P-80
(75) 要塞都市マラッカ	マレーシア	P-81
(76) 東南アジア旅事情	シンガポール/マレーシア	P-82
(77) 思い出のサンフランシスコ	USA	P-83
(78) 映画の舞台を訪ねて	USA	P-84
(79) 世界3大銀山	メキシコ/ボリビア/日本	P-85
(80) マヤ文明	メキシコ	P-86
(81) 憧れのリゾート・カンクン	メキシコ	P-87
(82) カリブ海の真珠	キューバ	P-88
(83) 慶長遣欧使節団	キューバ/日本	P-89
(84) 老人と海の舞台を巡る	キューバ/USA	P-90
(85) ガラパゴス諸島	エクアドル	P-91
(86) 3都探訪	エクアドル/コロンビア/ボリビア	P-92
(87) ウユニ塩原	ボリビア	P-93
(88) 古希からの旅路	世界/日本	P-94
(89) 永遠の都	イタリア	P-95
(90) アドリア海の真珠	クロアチア	P-96
(91) アクロポリスの丘	ギリシア	P-97
(92) エーゲ海クルーズ	ギリシア	P-98

(次ページに続く)



Marina Bay Sands, Singapore、2017年2月

《新探訪の旅》

(93) メテオラ修道院群	ギリシア	P-099
(94) ドナウの薔薇	ハンガリー	P-100
(95) 歴史と音楽の都	オーストリア	P-101
(96) ウィーン美術史博物館	オーストリア	P-102
(97) サウンド・オブ・ミュージック	オーストリア	P-103
(98) ヨーロッパ・アルプス	オーストリア/スイス	P-104
(99) 湖岸の町ハルシュタット	オーストリア	P-105
(100) プラハの春	チェコ/スロバキア	P-106
(101) 古都復興	ドイツ	P-107
(102) ベルリンの壁	ドイツ	P-108
(103) 水都アムステルダム	オランダ	P-109
(104) ゴッホ美術館	オランダ	P-110
(105) アンネの日記	オランダ	P-111
(106) 北欧3国	デンマーク/スウェーデン/ノルウェー	P-112
(107) 欧州鉄道旅事情	ヨーロッパ	P-113
(108) 究極のマイレージ旅行	フランス領ポリネシア	P-114
(109) 南太平洋/タヒチ島	フランス領ポリネシア	P-115
(110) 南太平洋/ボラボラ島	フランス領ポリネシア	P-116
(111) シティ・オブ・セイルズ	ニュージーランド：オークランド	P-117
(112) 天安門	中国：北京	P-118
(113) 能登半島	日本：石川	P-119
(114) 神戸市立外国人墓地	日本：神戸	P-120
(115) 六甲・摩耶	日本：神戸	P-121
(116) 有馬温泉	日本：神戸	P-122
(117) ポートアイランド	日本：神戸	P-123
(118) 国宝5城	日本：松江/姫路/彦根/犬山/松本	P-124
(119) 神戸2大仏	日本：神戸	P-125
(120) 銭湯物語	日本：神戸	P-126
(121) 小豆島	日本：香川	P-127
(122) 憧れのハワイアン	日本：神戸	P-128
(123) ハワイ火山国立公園	USA	P-129

(次ページに続く)



ミルフォード・サウンド、南島、ニュージーランド、2015年2月

《新探訪の旅》

(124) 屋久島	日本：鹿児島	P-130
(125) 四国古城巡り	日本：四国	P-131
(126) 日本海軍発祥地	日本：神戸	P-132
(127) 神戸に世界遺産を！	日本：神戸	P-133
(128) 神戸水道	日本：神戸	P-134
(129) 須磨散策	日本：神戸	P-135
(130) 須磨浦公園	日本：神戸	P-136
(131) 明石海峡大橋	日本：神戸	P-137
(132) 丹生/山田の里	日本：神戸	P-138
(133) 商店街盛衰	日本：神戸	P-139
(134) 西国三十三所巡礼①	日本：関西	P-140
(135) 西国三十三所巡礼②	日本：関西	P-141
(136) 西国三十三所巡礼③	日本：関西	P-142
(137) 西国三十三所巡礼④	日本：関西	P-143
(138) 西国三十三所巡礼⑤	日本：関西	P-144
(139) 西国三十三所巡礼⑥	日本：関西	P-145
(140) 西国三十三所巡礼⑦	日本：関西	P-146
(141) 西国三十三所巡礼⑧	日本：関西	P-147
(142) 京都南座顔見世	日本：京都	P-148
(143) 大相撲三月場所	日本：大阪	P-149
(144) 欧州アルプス 3 名峰①	スイス	P-150
(145) 欧州アルプス 3 名峰②	スイス	P-151
(146) 欧州アルプス 3 名峰③	フランス	P-152
(147) 氷河特急	スイス	P-153
(148) スイスの旅①	スイス	P-154
(149) スイスの旅②	スイス	P-155
(150) 世界を観る、地球を歩く①	世界	P-156
(151) 世界を観る、地球を歩く②	世界	P-157
(152) 首都ハノイ	ベトナム	P-158
(153) ハロン湾	ベトナム	P-159

(次ページに続く)



ボラボラ島、タヒチ、フランス領ポリネシア（南太平洋）、2019年8月

《新探訪の旅》

(154) 古都メルボルン	オーストラリア	P-160
(155) ゴールドコースト	オーストラリア	P-161
(156) 聖火のブリスベン	オーストラリア	P-162
(157) 青春の街角①	シンガポール	P-163
(158) 後期高齢からの旅路	世界/日本	P-164
(159) 車中泊のすすめ	日本	P-165
(160) 長州藩	日本：山口	P-166
(161) 松下村塾	日本：山口	P-167
(162) 萩城下町	日本：山口	P-168
(163) 九州神社巡り	日本：大分/福岡	P-169
(164) 吉野ヶ里遺跡	日本：佐賀	P-170
(165) サイゴン陥落	ベトナム：ホーチミン	P-171
(166) バリ島	インドネシア：バリ島	P-172
(167) リゾートホテル	インドネシア：バリ島	P-173
(168) 青春の街角②	シンガポール	P-174
(169) EXPO 2025	日本：大阪	P-175
(170) 金婚旅行	日本：佐賀	P-176
(171) 西海国立公園	日本：長崎	P-177
(172) 長崎くんち	日本：長崎	P-178
(173) 異国情緒あふれる街	日本：長崎	P-179
(174) 神戸を去った龍馬	日本：長崎/兵庫/京都	P-180



グリンデルワルト・トレイル (フィルスト～プスアルプ)、スイス、2000年7月

《添 付》

- (添付1) 「100 世界遺産の旅」 チェックリスト
(添付2) 「100 世界遺産の旅」 新探訪計画書
(添付3) 旅程表&行程図
- | | 探訪日 |
|---|------------------|
| (3-1) 南アジア/東南アジア | 2013/02/28～03/15 |
| (3-2) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ | 2013/06/15～07/20 |
| (3-3) 中米/南米 | 2014/03/02～03/15 |
| (3-4) 中国～シルクロード | 2014/08/29～09/06 |
| (3-5) ニュージーランド/オーストラリア | 2015/02/23～03/09 |
| (3-6) アフリカ | 2016/04/20～04/29 |
| (3-7) 北米/中米/南米 | 2018/02/03～02/21 |
| (3-8) 中欧&バルカン半島 | 2019/05/24～06/14 |
| (3-9) フランス領ポリネシア | 2019/08/22～09/01 |
| (3-10) イスラエル/ヨルダン (コロナ禍で渡航断念) | 2020/05/31～06/07 |
| (3-11) 欧州アルプス3名峰 | 2000/07/14～07/23 |
| (3-12) 過去のパッケージツアー (イタリア、エジプト、トルコ、スペイン/ポルトガル) | |
| (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール | 2024/02/24～03/04 |
| (3-14) 山口&九州北部 | 2024/10/15～10/18 |
| (3-15) ベトナム/インドネシア/シンガポール | 2025/03/01～03/06 |
| (3-16) 金婚旅行、九州一周 | 2025/10/5～10/10 |
- (添付4) 資料
- (4-1) 西国三十三所巡礼地
 - (4-2) 観音菩薩の種類
 - (4-3) 京都南座顔見世演目
 - (4-4) 旅人プロフィール
 - (4-5) ビジネス故国と訪問工場
 - (4-6) 世界3大瀑布



チョベ・サファリ、ボツワナ、中央アフリカ、2016年4月

100 世界遺産の旅 (1)

はじめに

多国籍企業 に勤めていた関係で、海外へ出かける機会が多々あり、サラリーマンとして稀有な経験をさせていただきました。国内、国外出張の折々に、ユネスコが認定した世界遺産へ立ち寄り、今ではライフワークの一つになっています。

ユネスコ (UNESCO) の世界遺産は、1960 年代にエジプトのヌビア遺跡 (ラムセス 2 世のアブ・シンベル神殿等) が、ナイル川のアスワンハイダム (第二アスワンダム) 建設で水没するのを救済するため、1972 年に設立されました。

1978 年、アメリカのイエローストーン、エクアドルのガラタバゴス諸島、ドイツのアーヘン大聖堂など 12 地域が、指定されました。現在、911 か所 (2010 年 8 月現在)の世界遺産があります。日本は、1992 年に世界遺産条約を批准しました。

2000 年に講談社より発刊された「ユネスコ週刊世界遺産」は、全 100 冊で、1 冊に約 6 か所の世界遺産が掲載されています。「100 世界遺産の旅」は、それぞれ少なくとも、1 冊に付き 1 か所の世界遺産を探訪する旅です。これまで 57 冊分を探訪し、残り 43 冊分を踏破したいと考えています。

現在は、大航海時代と比較にならないほど交通の便が発達し、あらゆる観点から我々は、恵まれています。高校世界史の教科書を片手に、コロンブス、マゼラン、ラップルズ、そしてマルコ・ポーロを心のライバルとして、世界見聞を広めたいと考えています。

好奇心 (Curiosity)、それが「100 世界遺産の旅」の原点です。今後は、夫婦での自由旅行が多くなり、一層味わい深い旅になる事を願っています。



ローマ水道橋、ゼコビア、スペイン、2010 年 7 月

巻末 (添付 1) 「100 世界遺産の旅」チェックリスト

100 世界遺産の旅 (2)

アジア

アジアで最初に訪問した世界遺産(現在)は、戒厳令下の韓国で、南東部にある慶州だった。大和朝廷の宿敵/新羅の都で、朝鮮国名の「朝が鮮や」な春の風景の中、穏やかで浅く蛇行する川面を思い出す。古墳群と石窟安/仏国寺が、見どころである。

避寒旅行は、アユタヤ (タイ)、アンコール・ワット(カンボジア)、ボロブドール(インドネシア)の王宮/寺院をお勧めしたい。山田長政も居を構えたアユタヤ見学後は、古都チェンマイへ行くのもよし、またトム・ヤン・クンを戴きながらチャオプラヤ川をクルーズで、バンコクへ戻るのもよい。

インドネシアのジャワ島にある仏教遺跡ボロブドールは、3000 メートル級の 2 つの独立火山峰を背にした奇怪な風景が忘れられない。帰路に東隣のバリ島に立ち寄るのはグッドアイデアだ。



ボロブドール、ジャワ、インドネシア、2004 年 2 月

アジアの博物館といえば、中国/北京と台湾/台北にある両「故宮博物館」で 5000 年の歴史を垣間見ることができる。空海と最澄が、同時に遣唐使として訪れた長安=西安 (秦傭博物館/兵馬俑、秦始皇陵) を起点にシルクロードの中継点である敦煌 (莫高窟) と西安の東、洛陽の龍門石窟/北魏時代を探訪するのも面白い。また万里の長城も登攀しよう。

シルクロードのアジア西端は、トルコである。東ローマ帝国の首都/ビザンチンでもあったイスタンブールでブルーモスクなどを見学し、自然遺産である石灰分温泉段丘パムレック (米国イエローストーンの Terrace Mountain に酷似)、石岩群のカップドキアへと向う。帰路は西進し地中海に近い古代ギリシャのペルガモン遺跡 (ベルリンを代表するペルガモン博物館も必訪) に寄ろう。出張時に行きそびれたインドの白亜の廟堂タージ・マハルは、ネパール、スリランカと合わせての計画だ。中近東は、政治情勢を見ながらのスポット探訪になる。

エジプトは、カイロのピラミッドもさることながらスーダンに近いアブシンベル神殿は必見だ。

100 世界遺産の旅 (3)

ヨーロッパ

ヨーロッパの見どころは、大聖堂（カテドラル＝ドゥオモ）、美術館と宮殿である。ローマのサン・ピエトロ大聖堂、フィレンツェとミラノのドゥオモ、パリのノートルダム大聖堂の趣は、荘厳華麗である一方、ドイツのケルン、イングランドのダラム、スコットランドの聖ジャイルズの各大聖堂は、色黒く、質素な造りで、その差は、カトリックとプロテスタントの違いかと見比べながら旅するのも楽しい。

フィレンツェのウフィツィ美術館、パリのルーブルとオルセー美術館、アムステルダムのゴッホ美術館と国立美術館、ウィーンの美術史博物館がお勧めで一日中見ても飽きない。特に「夜警」のレンブラントとゴッホが好きなのは、アムステルダムをヨーロッパのゲート・ウェイとして数回利用した。

宮殿は、やはりパリ郊外のベルサイユ、それと女帝マリア・テレジアと末娘マリー・アントワネット達が栄華を極めたハプスブルグ家所縁のウィーンにあるシェンブルン、そこで宮廷界一の美貌の持ち主エリザベートに会えるのも嬉しい。ウィーンまで来れば中欧のハンガリー、チェコ、ポーランド、またスイス・アルプスへも足をのぼしたい。



北都エディンバラ、スコットランド、2005年5月

ヨーロッパでは、鉄道の旅がお勧めで、特に簡易寝台クシェットは、運賃プラス約2500円でベッドも広い。会議と会食を終えた深夜に独サッカー名門のドルトムントから乗車して、夜が明けるとコペンハーゲンで人魚の像等を見学し、夜にまた夜行列車を利用すれば翌朝は、ストックホルムである。時間とホテル代を節約できるので助かった。ストックホルムの後はノルウェーのオスロに立ち寄って帰国した（トーマスクック/ヨーロッパ鉄道時刻表参照）。

機会があれば、パルテノン神殿のギリシア、巡礼地サンティアゴ・デ・コンポステーラのスペイン、そしてポルトガルは、世界遺産の宝庫で再訪したい。

100 世界遺産の旅 (4)

アメリカ

アメリカの世界遺産は、何と言っても国立公園（自然遺産）で、レンタカーの旅になる。

メキシコに近いサボテンの町ツーソン（映画/OK 牧場の決闘）から東のカールスバッド洞窟群国立公園へ、そして北西にあるグランドキャニオンはそのスケールの大きさに度肝を抜かれ、想像を絶する空間に浸る。次に世界遺産ではないがモニュメントバレー（映画/駅馬車）に立ち寄り、その後一気に北上する。

まる一日のドライブの後、グランドティトン国立公園（映画/シェーン）に到着、雪を被ったノコギリ型の山並みをみながら世界最古の国立公園イエローストーンに入る。このころバッファローの一群をよく見かける。50mまで上がる間欠泉 Old Faithfull を楽しみ、地中から湧き出る温泉池の極彩色に感動する。カナダへ入りオイル&ガスビジネスの中心地カルガリー（映画/許されざる者）を西に折れ、いよいよカナディアン・ロッキーへと進む。

バンフでバッファローステーキを賞味し、サルファア山からの眺望を楽しもう。エメラルド色のレイク・ルイズとアスバスカ氷河を訪れ、奇形なる山々を見ながら最終地ジャスパー国立公園につく。

東海岸へも旅しよう。ズバリ出発点は、映画「ナイアガラ」の滝である。そのあとトロントを經由してモントリオールに入る。更に北上しケベックの旧市街地で要塞を見学する。見学後南下し茶会事件のボストンへ、ボストンではジョン・F・ケネディも通ったシーフードレストラン Union Oyster House でロブスターを頂こう。そしてニューヨークのブロードウェイでミュージカル・マンマミーヤ（曲 ABBA）を観劇し、「自由の女神」にも挨拶だ。



ペイト湖、バンフ、カナダ、1998年5月

最後に、エジプトのそれに劣らないメキシコは、「太陽と月の台形ピラミッド」のテオティワカンとアステカ、マヤ文明の探訪をリコメンドしたい。

100 世界遺産の旅 (5)

未探訪地域

南半球の未探訪地域へは、マイルージ無料航空券を活用しよう。生涯獲得無料航空券は、ヨーロッパ往復 15 人分であったが、うち 4 人分は、ヨーロッパとカナダの旅に妻と娘へプレゼントした。

オーストラリアは、2 度訪問したので、次の起点は、ニュージーランドにする。北島と南島をドライブした後、オーストラリアへ飛び、メルボルン経由でタスマニア原生地帯を訪れたい。再びニュージーランドへ戻り、次は、南太平洋のフランス領ポリネシア・タヒチ島でのんびりと人生の疲れを癒そう。

アフリカは、ヨハネスブルグを起点とし、多くの探検家が往来した喜望峰に立ち、彼らの偉業を偲びたい。ヴィクトリア滝の後、ンゴロンゴロ自然保護区のサファリツアーでアフリカの醍醐味に挑戦だ。

20 年前、ブラジルは、友人のご夫妻と一緒にだった。私個人は「老人と海」作者ヘミングウェイのキーウエスト邸を見たくてマイアミへ立ち寄った後、リオ・デ・ジャネイロで落ち合った。次回は、ペルーへ行きマチュピチュに登頂した後、北隣エクアドルのガラパゴス島を訪問したい。環境保全上ツアーでないといけないのでタイミングが難しいようである。

次にペルーからベネズエラへ向い、あのエンジェルフォールのギアナ高地も見てみたい。ペルーに戻りアルゼンチンのブエノスアイレスへ、イグアスの滝のあと南米大陸を南下し、世界遺産ではないがクルーズで南極へ行きペンギンと握手だ。何時になるか分からないが、これで「100 世界遺産の旅」を終え、「来世の旅」の支度に掛かることにする。

2012 年 3 月 1 日



ボストン美術館、USA、2005 年 9 月

路銀と時間は、会社持ち、26 才から 30 年間、約 100 回の海外出張に合わせ、個人旅行も楽しませていただきました。我が孫たちの世代も、未知の世界へ強かに挑戦してもらいたくて投稿しました。「少しの勇氣」と「少しの英会話力」、それで充分です。



モン・サン＝ミシエル、2001 年 6 月

新探訪の旅をお楽しみに！



リオ・デ・ジャネイロ、1997 年 11 月

100 世界遺産の旅 (1) ~ (5) は、神戸市シルバーカレッジの情報誌「爽風」に、「孫たちへのメッセージ」として、2011/07 より 2012/03 まで、隔月掲載されました。

巻末 (添付 1) 「100 世界遺産の旅」チェックリスト

100 世界遺産の旅 (6)

Snow Birds/避寒旅行者

2012年3月、世界遺産ではないがマレーシアの首都クアラルンプール KL&インドネシアのバリ島に家人と2週間滞在した。常々日本の四季は、素晴らしいと敬愛しつつも、冬の2月、3月の一時期はどうしても逃げ出したい衝動に駆られる。

KLでは、初めて The Ritz-Carlon に滞在した。設備もさることながらサービスも最高で、老への道半ば、何時かはお願いする老々介護に対する感謝の気持ちの前払としては、十分な効果と価値があった。



ペトロナスタワー、KL、マレーシア、2012年3月

最初マレーシアを訪問したのは、30歳頃で、シンガポールに次ぎ、多く訪問した国である。当時のKLに大きなチャイナタウンがあり、トロピカルな感じがする華僑の街に代理店があった。仕事の目的は、ガス&オイルの国営石油会社ペトロナス訪問だった。



ペトロナスタワーよりKL、マレーシア、2012年3月

マレーシアの人種別職業は、極めて明確に区別されて、華僑は、ビジネス関係の会社に従事することは出来るが、国家公務員や国営会社の仕事は、現地マレーシア人に限られていた。華僑が公務員の領域を冒せば、暴動が起きるのは過去の歴史が表している。

ボルネオ島ミリのガス田、マレー半島東部の石油精製&石油化学工場、マレー半島西部は、ペナン島近くの肥料工場など、美味しいマレーシア出張だった。

インドネシアは、カリマンタン島 (ボルネオ) のバリクパパン石油精製、ボンタンガスが訪問先だった。



クルーズ船、バリ、インドネシア、2012年3月

インドネシア、バリ島で艇長と二人のスキッパーのもと55フィート外洋ヨット (右端) でクルージングを満喫した。往路、トローリングで釣り上げた魚は、BBQランチで頂き、目的地の離島ではスキューバダイビング等マリンスポーツ付きで絶賛に値した。乗客は、オーストラリア3人と合わせ計5人、10時間のアクティビティで6500円/人である。Unbelievable!

次は Surfing に挑戦だと念じつつ帰路に着いた。



バリ島の夕日、インドネシア、2012年3月

マイレージ無料航空券。このフレーズは、庶民にとって極めて心地よい響きであるが、その取扱いは難しい。今回利用したマレーシア航空は、デルタ航空が率いる SKYMILE に所属しているが、燃料サーチャージが、35,000円/人で無料航空券とは程遠い。旅行業界には申し訳ないが、今日この忌々しいサーチャージは海外旅行の最大の障害だと断言できる。

Star Alliance の UA に確認したところ、サーチャージはほとんど取っていないという事で、今後入会される方は、私のメインキャリアでもある United Airlines がお勧めだ。マイレージのもう一つの特典はビジネスクラスへの無料アップグレードである。

過去、USA 復路3回、ドイツ復路5回、ハワイ往路1回 (夫婦2人分) その恩恵に浴した。有り難いものである。間違っても極悪非道の ANA, JAL のマイレージに入会してはいけない。有効期限が短く、期限切れの前にせいぜいランチを頂く程度である。

100 世界遺産の旅 (7)

世界遺産に登録されない東西両雄

2000年にドイツのライン川と日本の富士山が何故世界遺産に登録されないかという議論があった。

両雄共広く人々に愛され、自然、文化面から当確であると考えられていたが、共通点は、Contamination (汚染) であった。ライン川はいち早く改善し、2002年に文化遺産に登録されたが、一方、富士山は周辺都市の努力にも係らず未だ登録に至っていない。



ご来光、富士山頂、日本、2012年9月

富士山が、世界遺産に登録されない理由を探るため9月4日に夫婦で登頂してみた、といえど文脈上爽やかなのだが、実はそうでは無く、人生のやり残しの旅の1項目として挑戦してみた。過酷な登攀で河口湖口5合目を夕方5時に出発後に雨、途中山小屋で4時間の仮眠をとって午前2時に再出発し、午前5時過ぎ



に山頂に到達した。幸いにしてご来光を拝む幸運に恵まれた。

尾根の岩壁にしがみつくように建てられた十数軒の山小屋には、簡易水洗トイレが設置されていた。また山小屋の雑魚寝は、ユースホテルと思えば容認できる。

意外なことにゴミは落ちていないし外人の登山者も多かった。富士山の登録目標は、文化遺産なので風景とか絵画、歴史文化などで上手く構成して説得すれば登録可能であろう。富士山は、日本のシンボルであり、人生に一度は登りたい山である。

是非、1日も早く世界遺産登録の栄誉を授かることを切望するばかりである。



ボッパルト、ライン川、ドイツ、1998年6月

遺産登録されたライン川は、マインツとコブレンツ間で、傾斜地には北限である赤ワイン畑が連なり、兩岸に古城が点在する景勝の地である。ワイナリーで赤ワインを試飲し、古城でディナーを頂きたい。



「ローレライ」、ライン川、ドイツ、1998年6月

ライン川は、4回訪問したが、最初にクルーズを楽しんだのは、1994年、3週間のトレーニングでドルトムント市に滞在し、週末にバスでボッパルトへ行き、そこからリュデスハイムまで遡上した。

そのライン川クルーズの途中に、日本でも有名なローレライの岩壁を通過するわけだが、その岸壁に船が差し掛かるころ、「ローレライ」の音楽が流れて、旅情を一層掻き立てられ、涙ぐんでしまった。



リュデスハイムの丘、ライン川、2003年7月

ライン川を眺めるには、グーテンベルグの活版印刷で知られるマインツの対岸、リュデスハイムよりリフトで山頂へ登り、「ドイツ帝国の再興」記念碑よりライン川を眺望するのがベストである。

(参考) 2013年6月、富士山、世界遺産に認定

100 世界遺産の旅 (8)

カトマンズの谷

カトマンズに到着したのは昼過ぎであった。空港からホテルまでのアクセスが不便なのでチケットタクシーを利用した。予想通りというべきか、期待通りというべきか、タクシー出発後すぐ助手席に1人の男が乗りこみ、ホテルとツアーの予約状況を聞いてきた。ホテルは、予約/支払済でホテル名は教えた。いよいよツアーであるがツアーも予約/支払済であると答えたがツアー会社の名は控えた。

彼の目論見は予約を解約させ自分のツアーを買わせるのが魂胆であるが、支払済ということで諦めて途中下車し空港へ戻っていった。実際のところツアーの支払はまだであった。航空券およびホテルの支払はクレジット決済を日本ですが、倒産して持ち逃げする会社が多いツアーの支払は行わないのが原則だ。今回は予約金不要ということで日本人経営の現地ツアー会社/Himalayan Smileを使用した。



パタンのダルバール広場、ネパール、2013年3月

カトマンズの谷全体が世界遺産で、見どころはダルバール広場、仏教ボナダート寺院とヒンドゥー教パシュパティナート寺院である。不慣れた土地なので運転手と日本語ガイド付きの一日ツアーを利用した。

ダルバール広場は、旧王宮とヒンドゥー教の寺院が立ち並ぶ古都を意味し、カトマンズ、パタン、バドガオンの3都があり、カトマンズのダルバール広場が一番大きい。ネパール様式の特徴は、赤いレンガの壁や、細密な彫刻を施された木造の柱と窓枠、そして軒を支える部材等で、どれも美しく独特のものである。どのダンバールも人々があふれ、庶民の憩いの場であるが、外国人には容赦なく高額の手土産を取る。

ボナダート寺院はネパール最大のストゥーパ(仏塔)を擁するチベット仏教徒の巡礼地である。ネパールはヒンドゥー教国であるが、同国のルンビニで仏陀が生まれたこともあり、仏教には寛大である。ネパールの仏教寺院の特徴は、ストゥーパ(仏

塔)の平頭の四方に描かれた巨大な目で、森羅万象を見通す仏陀の目を表す。

パシュパティナート寺院は、ヒンドゥー教の一大聖地である。パシュパテは、破壊と再生の神=シバ神の化身で百獣の王を表し、ナートは、神を意味し、伝説ではこの地にシバ神が舞い降りたとされる。

シバ神の乗り物が牛であったことから、ヒンドゥー教徒は牛を食さない。ヒンドゥーの神は、3万3千3百3十三あると聞き質問する気が途絶えた。

ヒンドゥー教と他の宗教との大きな違いは、輪廻転生で人は生き返るとされ、墓を造らず焼いた後に灰を川に流す。当日も死体を川で洗っていたが、焼くところまではと思い、いち早く退散した。



スワヤンブナート寺院のストゥーパ、2013年3月

カトマンズでの最大の衝撃は、深刻な大気汚染と交通渋滞である。品質の悪いガソリンと未舗装の道路による粉塵の巻き上げ、さらに街中の線香で息が絶え、咳も出る。現地の人もマスクをしており、当方もインド向けに用意したマスクを使い果たした。

川も汚く、口を塞がずには渡れなかった。カトマンズは、もともと広大な湖で南側の山が崩壊した後に盆地となり、其故風通しが悪く大気汚染に一層の拍車をかけているようだ。まさに蟻地獄に人々が、うごめいている様に見受けられた。

ボナダート寺院は、街の東にあるが、西には同じ仏教寺院のスワヤンブナートがある。小高い丘にありカトマンズー帯を見下ろせるということで朝早くに登ったが、大気汚染のため遠望は無理だった。

帰りに山岳地方から来たと思われる目がパッチリした女の子が、妹を抱えながら近寄って手を出してきた。無視して歩き続けたが付いてくるので1ドルをやった。1~2分すると母親らしい女性が、急ぎ乳飲み子をつれて手を出してきた。また1ドルをやると立ち去った。二人とも礼を言うわけでもなかったが、2ドルで1~2日間、4人が、食事ができるだろうと思うと気持ちが和んだ。仏陀の慈悲心か?

100 世界遺産の旅 (9)

エベレストへの道

若い時、富山県の剣岳と立山を登った後、薬師岳、三俣蓮華岳、槍ヶ岳、大キレット、穂高岳を経て長野県の上高地まで縦走したことがある。当時は若者特有の挫折感もあったが、夢もあった。テントでの就寝時にエベレストが夢に現れたこともあった。

ところが如何せん、40 数年を経た今日ではエベレストの夢は儂くも消え、遊覧飛行でエベレストとご対面と相成った。本来エベレストを眺望するにはカトマンズより飛行機でルクラまで行き、そこから2~3 泊のトレッキングでナムチェまで行くのだが、時間が掛りすぎるので諦めた。エベレスト遊覧飛行は、時代の流れ、我が老いと路銀の三者懇談の妥協として快く受け入れた次第である。エベレストとのご対面、やはり素晴らしい！！ 見れば見るほど感激のあまり全身に鳥肌が立ち、硬直状態に陥った。



エベレスト (中央)、ネパール、2013年3月

エベレストの登頂出発は、早朝であるようだ。午後になると雲が掛り、強風となるので登頂者は夜明け前に出発し、夜明け後に下山する。登頂時は真っ暗で何も見えないので恐怖感はないが、下山時は絶壁が眼下一直線に切り落ちて恐怖感を覚えるようである。遭難者の多くは下山時である。遊覧飛行は超楽ではあるが同じく早朝の出発である。ホテルでピックアップされるのが朝の5時半で、空港へは6時に到着する。

空港でのチェックインのあとテイクオフは6時30分で、乗客は12人であった。席は左右1列で、各窓に一人一人が着座した。窓からの眺めはそれほど鮮明でないので個々にコックピットへ呼ばれて記念撮影となる。なかなかの憎い演出である。

客のほとんどは欧米人で、近隣諸国の新婚さんが2組で日本人は私ひとりであった。US \$ 182 で1時間の遊覧であるが、お勧めしたい空中大パノラマ散歩であった。当日はカトマンズより東に向け飛行しエベレストを眺望したが、幸い2日後にカトマンズよりポカラ

の上空を經由してニューデリーへ向かう途中に、カトマンズより西半分のヒマラヤ大パノラマを楽しんだ。

私個人としては中国とパキスタンの国境にある世界第2峰のK2も見えたと自己満足している。インド亜大陸がユーラシア大陸に激突し、山脈が盛り上がりヒマラヤ山脈が出来上がった状態がよく観察できた。

アルピニズムとは、山に登る喜びのことを言う。登山では人生で2度素晴らしい体験をした。一つは前述の北アルプス縦走で、もう一つは、現在、世界遺産の屋久島だ。宮之浦岳は1936mで九州の最高峰である。40 数年前の夏の10日間、快晴に恵まれ、蛭にかまれながらであるが登山を楽しんだ。遥かに見える口永良部島は、きらめく真珠色の海に浮かび、噴煙をあげていた。種子島は、平たく小判のように輝いていた。

屋久島の第2峰/永田岳から一直線に谷が海岸線へ落ちる絶景は、いまだに脳裏に焼きついている。

どうも高所恐怖症はこの時の遺物のようだ。体力的に北アルプス縦走は無理だし、屋久島にいたっては俗化という失望だけが待ちかまえているので、再び登ることも訪れることもないであろう。

さて、アラスカのマッキンレー山を遊覧し、その肩に雪上着陸するフライトを予約したことがある。残念ながらニューヨーク世界貿易センタービルの爆破崩壊の影響で頓挫した。同県人の植村直己の遺骨を探すつもりだったのだが？



コックピットよりヒマラヤ連峰、2013年3月

2001年9月11日の世界貿易センター爆破崩壊の翌日にUSA出張へ出かける予定であったが、突如中止を余儀なくされた。一方、1995年の阪神大震災の時は「アラモ砦」で有名なテキサスのサンアントニオに滞在していた。神戸で被災していない私は、1月17日になると今でも一人で小さくしている。

旅にはリスクが付きものであるが、すでに子供は独立し、4男1女の孫を授かっているのどこで昇天してもかまわない。そのため、事後の始末が容易にできるよう遺書作成に着手しようと考えている。

100 世界遺産の旅 (10)

ムガル帝国と日本人

1997年11月にインドを一周したことがある。チェンナイ(マドラス)、マンガロール、ニューデリー、ハイデラバード、ムンバイ(ボンベイ)を訪れた。昼は、客先で Product Presentation、夕方に飛行機で移動、到着後ホテルで夕食を取る毎日で、デリーは車窓見学、ボンベイではヒンドゥー教の寺院を訪れた程度であった。得意とする現地休暇も取得できず、また「殿様旅行」が故、庶民の生活すら見聞できないまま不完全燃焼な状態で帰国した。

ただ往路で1日 Singapore に滞在し、久しぶりにセントーサ島を散策したのが唯一の救いであった。



ラール・キラール(レッド・フォート) 2013年3月

そこで2013年は、ニューデリーとアーグラを訪問した。モンゴル帝国の末裔、チャガタイ=ハンの子孫が、ムガル帝国の端緒を築いた。いわゆる色目人と言われる中央アジア・西アジアのイスラム勢力が卓越した火器と騎馬をもってインドを征服したのである。

ムガルは、モンゴルが変化した名前だが、インド人はそれを知らない。インドは、ヒンドゥー教の国と思われがちだが、ムガル帝国時代はイスラム教が優勢で、現在多く残る有名建造物もイスラム様式である。

デリーの見どころは、ラール・キラール(レッド・フォート)とフマユーン廟である。ラール・キラールは、タージ・マハルを建てたシャー・ジャハーン(5代皇帝)がアーグラよりデリーへ遷都した都城である。

赤い砂岩で築かれたのでレッド・フォートとも呼ばれ、非常に広い敷地だ。フマユーン(2代皇帝)廟は、その妻によって建設され、左右対称の建築様式は、タージ・マハルのモデルとされている。

ラール・キラール、フマユーンとも建物は、残っているが財宝、美術品などはない。おそらく次の支配者であるイギリスによって持ち出され、戦利品陳列御殿の大英博物館にあるにちがいない。

日本人は、乳児期に蒙古斑ができる。ムガル帝国はモンゴルの末裔であるので、日本人とムガル人は、少し血が繋がっているのではないかと空想する。

調べてみるとインド人の約18%に蒙古斑ができ、彼らと我々は、遠い親戚なのだろうかと思いをはせる。いろいろ空想しながら旅をするのも面白いので、時折メモをとっている。



フマユーン廟、インド、2013年3月

DTTDC(デリー観光開発公団)の事務所で「デリー1日ツアー」の出発を待っていると、1人の若い日本人男性がやってきた。鉄道の予約は可能かと聞いていたが、DTTDCは、鉄道の予約は扱っていないので、ニューデリー駅の外人専用の予約デスクを紹介していた。男性が1階か2階かを尋ねると、受け付けは、Ground FloorではなくFirst Floorと答えていた。

そこからである頓珍漢な会話が始まった。男性は、インドがイギリスの元植民地で、1階をGround Floor、2階をFirst Floorという知識が無かったのが顛末の始まりだった。応対が終わり別れ際に、ニューデリー駅は、悪徳旅行業者が多いので気を付けるように忠告すると、前回のインド旅行の時に、偽DTTDCへ連れて行かれ、高額なツアーを買わされたそうである。

また今回も偽DTTDCへ連れて行かれ、結局は正規DTTDCへ転送されたようだ。こちらは開いた口が塞がらなかった。騙される前に、日本で多少英語を話せるように先行投資すべきである。また日本語で話しかけてくる輩を信用してはならない。多くの日本の若者が、偽DTTDCの高額なツアーで、互いに歓談しながら同乗して行く姿を想像すると苦笑した。「知らぬが仏」からの目覚めは、いかがなものだろうか?

DTTDCの予約は、プログラムの欠陥で日本から出来なかった。その旨DTTDCへメールし改善を求めたところ、2か月後に予約ができた。おそらく日本からインターネットで予約したのは私が初めてだろう。

ちなみにタージ・マハルの14時間ツアーは正規DTTDC(約2,000円)、H.I.S.(10,000円~16,000円/人数に依る)、偽DTTDC(約20,000円)である。

100 世界遺産の旅 (11)

白亜の霊廟タージ・マハル

建造物に感嘆の声を上げたのは、ローマのサン・ピエトロ大聖堂の内部造作を見た時に次いで 2 度目である。タージ・マハルは白亜の外観とそのアレンジメントの素晴らしさに感動した。前者はカトリックの総本山として建てられ、後者はイスラムの愛妃一人だけに手向けられ、同じ壮麗さとは裏腹に皮肉を感じた。

暗い桜門をゆっくり通り過ぎると白亜のタージ・マハルが次第に現れてくる。太陽の光を浴びているので真っ白としか見えない。拝観者は感動の余韻を残しながら一斉に写真を撮り始める。

写真を撮ろうと思っても、どうしても人が邪魔になるのでポジション争いに苦労した。初めてタージ・マハル知ったのは高校世界史の口絵であった。あれから半世紀近く、ようやく訪問できて感無量である。



タージ・マハル廟、インド、2013 年 3 月

ムガル帝国のシャー・ジャハーン (5 代皇帝) は、36 歳で他界した妻の死を悼み、1623 年アグラに白亜の霊廟タージ・マハルを建設した。タージ・マハルはすべてが白大理石で造られ、一見すると白一色に見えるが、各所に稀石が埋め込まれ近づいてみるといろんな細工もなされていた。正面の入り口はイスラム様式の連続花草文様でサファイア、アメジストやメノウなどの宝色の石が象嵌されていた。

またコーランの文様、白大理石の壁に彫り込まれた花の浮彫、さらに透かし彫りなど細密な装飾が施され「素晴らしい」の一語に尽きる。構造的に、タージ・マハル全体のアレンジメントは、Symmetric (左右対称) を基調として造られている。

シャー・ジャハーンは息子のアウラングゼーブ (6 代皇帝) によって帝位を奪われた後、アグラ城に幽閉され、閉ざされた窓からタージ・マハルを眺めながら晩年を過ごした。そして 7 年後、失意の内に 74 歳の生涯を閉じた。生前、建築狂のシャー・ジャハーンは自分のために黒大理石の霊廟をヤムナー河の対岸

に建て、二つの廟の間に橋を架けるつもりであった。

その願いは夢と消えたが二人の棺はタージ・マハルの中央に並べて安置されている。二棺の大きさの違いが、タージ・マハルにおける唯一の Non Symmetric (左右非対称) である。



アグラ城、インド、2013 年 3 月

アグラ城はムガル帝国最盛期に君臨したアクバル大帝 (3 代皇帝) によって築かれた都城である。後にイギリスへの反乱の戦場となり、1858 年にムガル帝国は滅亡し、イギリスがインドを植民地にした。

国民の多くがヒンドゥー教徒であるインド人の願いをよそに、キリスト教の新支配者がイスラム教の旧支配者にとって代わったのである。イギリスはインドの独立運動を抑えるため、ヒンドゥー教徒とイスラム教徒を反目させる政策をとった。

1947 年にインド (ヒンドゥー教) とパキスタン (イスラム教) に分かれて独立したが、これはインド独立の父マハトマ・ガンジーの意に反する結果であった。

ニューデリーを朝 7 時に出発し、途中朝食をとりながら約 3 時間 30 分でアグラに到着した。

アメリカ夫婦 1 組、日本女性の修士学生 2 名、テニスのシャラポアに似た背の高いロシア女性 1 名の計 6 名であった。ロシアの女性はモスクワ育ちで、現在はアムステルダム大学で現代アートを学び、時折勉強のため海外へでかけるそうだ。アメリカ夫婦はアグラで途中下車して次の目的地へ向うが、最近、外人に対する犯罪が増えているインド事情に注意を払い、互いの無事を祈りつつ分かれた。

ニューデリーからアグラまでの高速道路は整備され交通も滑らかであったが、帰りのニューデリー市内の混みようは尋常でなかった。2 車線では 3 台の車が並んで競争し、3 車線では 4 台が走る。

まるで市販車によるカーレースであった。私は最前席に座っていたので少なからず恐怖感を覚えた。解散後、道路を横断するのも大変で、躊躇し立ち止まると悪徳観光業者が声をかけてくる。大変な 1 日であったが、同時に人生で待ちわびた 1 日でもあった。

100 世界遺産の旅 (12)

仏陀の愛

スリランカを訪問する予定はなかったが、たまたまジャヤワルダナ元大統領の事を知り旅程に加えた。1951年9月、サンフランシスコ対日講和会議にセイロン代表として出席したジャヤワルダナ大蔵大臣(当時)は、仏陀の言葉「憎悪は、憎悪によって止むことなく、愛によって止む。」を引用し、対日賠償請求権を放棄した。1978年、彼は新憲法のもとで大統領になり、晩年、日本について次のように述べている。

「日本、日本人がなぜ好きかという、西欧に対し独自の存在を示しているからだ。それに仏教国だから。」嬉しいじゃありませんか! ジャヤワルダナ元大統領のお言葉。

仕事でアジアやヨーロッパを訪問した時に気づくことだが、植民地化されたアジアの人々は、少なからず同じ感情を持っている。日本がドイツのように分割されなかった大きな要因は、アジア諸国の意見が取り入れられ、ロシアに対抗したことを多くの日本人は知らない。アジア諸国より膨大な富を搾取し、一方では独立運動の取り扱いに苦心したイギリスの提案であったのは、罪滅ぼしとして理解できる。

ヨーロッパ人にとって日本は不思議の国であるが、日本人を尊敬し一度は訪問したい国の一つである。多くの日本人はパックツアーで「冥途の土産」とばかり2~3度ヨーロッパを訪れるが、ヨーロッパ人が日本を訪れる機会は少ない。経済的な理由もあるが、訪問すべきモチベーションが低いのが現状だ。これは、歴史文化の発信地と受信地の違いを意味する。



仏歯寺、聖地キャンディ、2013年3月

スリランカの世界遺産は、内陸部にある聖地キャンディである。もともと都は、北部にあったが、インドからの侵略で都は、南部へ転移しキャンディが最後の都になった。見どころは仏歯寺(ぶつしじ)で、仏陀の歯が祀られシンハラ王権の象徴とした。1851年、シンハラ王朝は、イギリスにより滅ぼされたが、どう

いうわけかイギリスは、秘宝ブッダの歯を大英博物館に陳列せず、スリランカに残した。

コロomboからキャンディまで鉄道を利用したが、3時間エアコン無しの2等で170円という安さだ。はじめの1時間半はジャングルに覆われた平地をひたすら走る。暑い中、ウトウトしていると列車は、ガタガタと横揺れし高度を上げていく。

谷が深くなり、岩石で出来た山々が見えはじめる。はじめスリランカは、平坦な島かと思ったが意外と山が高いのには驚いた。キャンディは、聖地であると同時に避暑地でもあるようで、土曜日と重なり、人でごった返していた。帰りは小型バスで210円、Cats and Dogsの凄まじいスクールに2度も遭遇した。スクールの時は、窓を開けられず蒸しぼろ状態になるが、日本製中古バスのエアコン付きには助かった。



首都コロombo、スリランカ、2013年3月

首都コロomboは、コロニアルな佇まいが残る街で整然としている。広々とした公園は、良く整備され、早朝の散歩には打って付けた。カトマンズやニューデリーと違い、交差点には信号機が、設置され運転マナーも良かった。ただバスだけが、うるさく警笛を鳴らしながらスピードを上げて走る。バスは、運転手と車掌の二人制で手際よく乗客をさばくが、おそらくノルマ制かまたはコミッション制であろう。

コロomboにも騙しの勧誘がたびたびあった。歩行者より3回、三輪タクシーより10回以上の呼びかけは、異口同音であった。全員が、「Special elephant festival」と声を掛けてくる。手口としては、取りあえず三輪に乗せて走り、適当な所で降ろして2000円程度(実際は200円)を吹っ掛けてくる幼稚な詐欺のようだ。

うるさいのでこちらもワンパターンの「No thanks, I know who you are!」と静かに切り返した。恐らく、「Special elephant festival」で何人かの善良な日本人が引っ掛かった旨味で、邪悪な詐欺業界に広がったのだろう。いずれ、彼らへは「仏陀のお咎め」が、あるにちがいない。

100 世界遺産の旅 (13)

アジアを繋ぐ寓話

アンコール・ワットは、訪れるのに難しい世界遺産であった。東南アジアは、約 20 回歴訪したが、当時は、カンボジア内戦のために訪問ができなかった。ようやく今回、南アジア旅行の最後にアンコール・ワットを探訪できて心の問えがとれた。

コロンボを出発してカンボジアの SIAM REAP 空港に到着したのは午後 2 時、インドとタイを経由する夜間飛行だったので疲れた。ホテルにチェックイン後、早速水着に着替えてプールに飛び込んだ。海外で旅するとき、広々としたプールで泳ぐことはリフレッシュと運動不足解消の必須アイテムだ。

プール際のリクライニングデッキチェアに横たわり、ドライ・マティニーを 2 杯頂きながら昼寝をするのも至福のひと時である。なお、タイよりカンボジアへの日帰り旅行は、可能であるが、航空運賃が非常に高くなる。旅行者に出来るだけ国内で外貨を落させようとするとカンボジア政府の施策だと理解した。



アンコール・ワット、カンボジア、2013 年 3 月

世界遺産は「アンコールの遺跡群」である。1113 年に建設が着手されたアンコール・ワットは、もともと寺院都城であったが、クメール王国スールヤバルマン 2 世死後に墳墓寺院になった。敷地内にはヒンズー寺院や王宮、お堂や池があり、高くそびえる 5 基の塔は、ヒンズー教で世界の中心とされる須弥山を表し、池は大海を意味する。見どころは豪華絢爛なレリーフで、第一回廊には「マハーバーラマ」、「ラーマヤナ」など叙事詩が描かれ、第二回廊にヒンドゥー神話の天地創造を表した「乳海攪拌図」が彫られ、どれもが細密な仕上がりで驚かされた。

ラーマヤナであるが、この物語はインド、ネパール、東南アジアでは誰もが知る物語である。インドで生まれた古代叙事詩で、主人公のラーマ王子が魔王ラーヴァナに誘拐されたシーター姫を猿王ハヌマーンの助けを借りて救い出す一大スペクタクルドラマだ。

インドネシア・ジャワ島の仏教遺跡ボロブドゥールの近くにあるヒンドゥー教のプランハン寺院のレリーフにもラーマヤナが描かれている。2004 年に訪れたが、当時はラーマヤナの知識が無かったので、残念ながらただ見たと云うしかない。

タイでは、スコタイ朝ラームカムヘーン大王の名は、ラーマ王子から名づけられ、アユタヤ朝の名は、ラーマ王子の故郷の地名に由来する。東南アジアの演劇、踊り、影絵芝居にもラーマヤナの演目が多い。中でも有名なバリ島の踊り「ケチャ」は、モンキーダンスとも呼ばれ、ラーマヤナを題材にしている。

さらに、中国の「西遊記」、日本の「桃太郎」も「お猿」が登場しラーマヤナが影響したと考えられ、ラーマヤナは、アジアを繋ぐ古典芸能のシンボルの存在であるようだ。



観音菩薩、アンコール・トム、2013 年 3 月

アンコール・トムのトムは大きいことを意味する。おそらく多くの戦闘象を収容するのに必要な面積であったのだろう。1181 年、ジャヤーヴァルマン 7 世によって建設され、見どころは、寺院バイヨンの四面仏顔塔で、観音菩薩が彫られている。

観音とは、「心広く見聞きする」という意味で、菩薩とは「修行者」を指す。私も「観音菩薩」の謙虚さをもって、修行の旅を続けている。話は逸れるが、日本の「西国三十三か所」の本尊は、すべて観音菩薩で、千手観音、十一面観音など 7 観音菩薩の内の 1 つが祀られている。ただ、秀吉の花見、醍醐水として知られる醍醐寺には本尊が無い。2008 年 2 月、上醍醐の准胝堂が、落雷で全焼し、同時に本尊も焼失した。2011 年 6 月に参拝した時、供養として川柳を奉納した。

「准胝堂（じゅんていどう）焼けて本尊あの世行き」
現在、アンコール・ワットは、多くの国々の協力によって修復中だが、既に一大観光産業になっている。

通訳を志す若者も多く、公認通訳の数は、約 3000 人にも及ぶと聞いた。日本語の習得熱も旺盛で、一年で会話ができるようになるそうだ。日本の若者、いや我ら爺婆も見習わねばならない。

100 世界遺産の旅 (14)

東洋のベニス

久しぶりにタイを訪れた。タイはシンガポールほど気取らず、またマレーシアよりアルコールにうるさくなく、そしてピリ辛のエスニック料理が美味くて好きな国の一つだ。前回の訪問を調べてみると、2003年1月にオーストラリア西海岸にあるパースでの会議に出席する前に、休暇を取ってバンコックにドロップ・インした。その時、世界遺産の古都アユタヤを訪れ象に乗ったことを思い出した。

アユタヤはバンコックの北70kmにあり、川に囲まれた要塞都市である。1867年にビルマ軍によって街の多くが破壊されたが、約50の寺院が現存する。戦争の憎しみと盗賊による損壊で、多くの仏像に頭部が無かったのが印象的だった。寺院建築ワット・チャイ・ワッタナラム、ワット・ロカヤ・スタの全長28mの涅槃仏陀などが見どころである。

最初にタイへ来たのは1980年ごろで、バンコックの南にある Sriracha 地区の石油ガス関連の顧客訪問であった。パタヤ・ビーチが開かれたところで、リゾートホテルに初めて宿泊した時の興奮は、今でも覚えている。当時は、偽ウイスキー、偽ブランデーが横行していたので外国からの飛来者は、本物のジョニ黒とレミーマルタンを持ち込みを指示された。

夜は顧客、シンガポールの同僚、タイの代理店とで出かけるのだが、街中を走り抜けるときジョニ黒とレミーマルタンを左右の手に持って運ぶのが私の役目だった。終わるのが朝の3時近く、タイスキ(タイ風しゃぶしゃぶ)を頂きホテルへ戻った。

翌朝8時には起床し、顧客を訪れる強行軍だったが、若かったので疲れた記憶はない。ただ一度、食中毒にかかり、いわゆる病院テレビ映画のはしり「ベン・ケーシー」の台車に乗せられ病院へ緊急搬送されたことがある。どうもホテル冷蔵庫の氷が悪かったようだ。結局、絶食し、炭酸水を飲んで回復した。



ワット・ポー、バンコック、タイ、2013年3月

バンコックは「東洋のベニス」と言われる水の都で、いつ来ても楽しい川岸だ。今回はチャオプラヤー川をクルーズで、と云っても70~80円の定期船での巡航である。世界の銀行家による投票でナンバーワンになったオリエンタルホテル付近の船着場から乗船し、北へ向って30分くらいでワット・アルン(暁の寺)の対岸に着く。今回はワット・アルンが、工事中だったのでスキップし、ワット・ポーを訪れた。

まあ、ギンギラ銀のお寺で何をとっても奥ゆかしさは、微塵もない。1788年、ラーマ1世によって建立され、タイ最大級の仏教寺院である。また、タイ・マッサージの総本山としても有名で、長さ46m、高さ15mの金箔の巨大な涅槃仏陀が、ハイライトだ。



ワット・アルン、バンコック、2013年3月

タイに来ると必ずマッサージをお願いする。1980年ごろだと2時間300円だったが、今は1時間600円だ。2時間では体がもたないので1時間にした。タイのマッサージは、乾式で、マレーシア、インドネシアのようにオイルを使わない。足の指先よりスタートし、足、ふくろはぎ、太ももへと進み、腰、背中、肩をほぐす全身のマッサージである。最後の空中エビ固めと言われる妙技で、客は悲鳴を上げ、マッサージ師が笑って終わる。体形としては客が、背面跳びの姿勢で、マッサージ師は、下から足で客の腰を支えながら揺らす技である。旅の終わりに腰を抜かしては元も子もないので、今回はお断りした。

海外旅行で一番怖いのが、エコノミー症候群と言われる循環器系の疾病である。脳、心臓の疾病はクレジットカードの旅行保険では補償されないので注意を要する。私事で恐縮だが、日頃、テニスで体力と健康の維持を図り、プレーの前に腹筋100回、また週に1回はマッサージに通っている。

おかげで腰痛、肩痛よりお呼びがかからない。テニス/腹筋/マッサージの3種混合フィットネスはお勧めだ。テニスの戦績と云えば、48歳の時、神戸市北区硬式ダブルステニス大会の銅メダルがベストである。勝因は「パートナー選び」である事は言うまでもない。

100 世界遺産の旅 (15)

人は去り、街は残る

ロシアへ行く途中、15 時間のトランジット（乗り継ぎ）を利用してフランクフルト空港より街へ出てみた。空港駅から電車で 30 分、世界遺産ライン川のメインツに立ち寄り、行きかう船を眺めながら岸辺を散策した。メインツの街は、整然と配置されている。

第 2 次世界大戦中、空襲でドイツ北部の都市はことごとく爆撃で破壊されたが、その再建には煉瓦ひとつをも探し出し、原形までの復元に努めた。

どの街も同じであるが東部にあるドレスデンでは完成までに 60 年をも費やしたと聞いている。完璧を期する都市復元で、屋根は半切妻（ドイツ屋根）に統一され、街並みの景観が保存されている。政府は都市計画と道路整備には絶大な権限をもち、国民はそれを支持している。ドイツの道路は広く、自転車道、歩道も完備され、さらには都市住宅地に電柱がない。

日本といえば、長屋、バラック時代が終わり、文化住宅がそれに代わった後、ようやくウサギ小屋に住んでいるのが現状である。街には電柱が乱立し、電線と電話線が縦横に走る。今日ではそれらに加え光ファイバー線またケーブルテレビ線で蜘蛛の巣状態で空を仰ぐのも憚られる。日本の通学路の歩道化は 30%に過ぎず、交通事故に遭う子供が絶えない。

事故で電柱の横に投げ出されたランドセルを見るのは悲惨である。電柱が街にあふれるのは政府と電力会社による共謀で、法律上からも反対できない。

併せて、日本人の都市造りに対する意識の欠如、無力さが一層改善を阻んでいる。話は変わるが、ドイツでは洗濯物を屋外に干してはならない。多くの家の地下にあるボイラーで洗濯物を乾燥している。地下室の設置は米ソ冷戦時代の遺物であるが、今ではその価値を高めている。ヨーロッパには「人は去り、街は残る」と言う諺がある。さしずめ日本では「人は去り、街は廃る」と云ったところだろうか？



ライン川ビンゲン、ドイツ、2003 年 7 月

メインツの後、電車でフランクフルトの中心地へ向かった。フランクフルトは、観光地でなく商業、工

業都市である。米ソ冷戦時はロシアより遠い大都市として投資が進んだ。現在はメッセ（見本市）の開催が多く、広大なドームを 3 つ以上保有している。

なぜかドームとドームの間に日本の赤い鳥居が立っていたことが思い出された。2003 年のメッセで展示の係りをした時、暇を見つけては会場を歩き回りドイツ人の機械設計思想に感心したことがある。

その年はメッセの後にライン川のビンゲンへ移動し、参加者全員でライン川下りを楽しんだことが懐かしく想い込まれた。左下の写真はその同僚（独、米、日、伊、加）たちとの記念写真である。

今回、フランクフルトはトランジットで滞在したが、今後はそのトランジットを大いに活用したい。通常、トランジットは最長 4~5 時間で搭乗者には嫌がられるが、12 時間以上だと途中下車気分で見学することができる。航空券にしろ、マイレージにしろ、一度乗り換えると航空運賃又はマイレージが、余分にかかりコスト高になるが、途中下車だと追加料金はかからない。昔訪れた街を途中下車（＝途中下機）で訪れ、思い出を呼び戻し、回顧に耽ることも新たな旅の形として取り入れたい。



フランクフルト駅、ドイツ、2013 年 6 月

フランクフルト駅ではいつも、スタンドバーでモルツ 100% のピルスビールを数杯いただく。最初のビールがカウンターに置かれ、同時に店員は釣銭を皿にいれる。暫くすると釣銭を狙って餓鬼、または悪女が驚つかみにして逃げ去る。お代わりをするとまた別のコソ泥がやって来て、つり銭を取って逃げる。

この早業は感心すべきで、店員は怒るが捕まえることはない。この段階ではつり銭の所有権が確定していない隙をコソ泥は狙うのである。店員はチップとして期待しているが決定的ではない。客はつり銭を持ち帰ることもできるが、チップとして残していくことが多い。高額なつり銭を皿の上に残してはならない。今度は客がコソ泥を追い駆ける羽目に陥る。

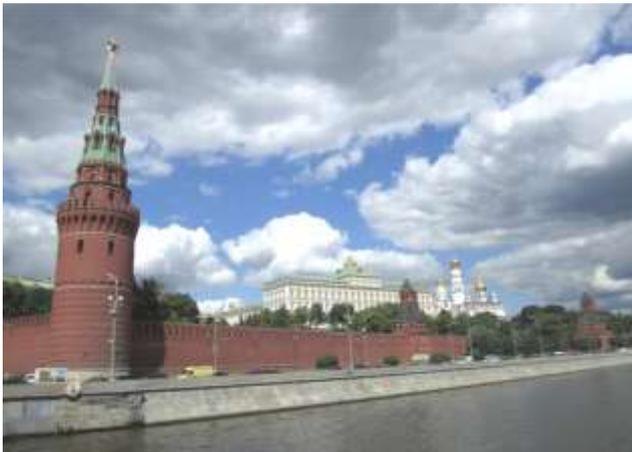
残念というべきか、「コソ泥は去り、駅は残る」は、今回フランクフルト駅での検証結果であった。

100 世界遺産の旅 (16)

クレムリンと赤の広場

イギリス封じ込めの「大陸封鎖令」をロシアが破棄したため、1812年、ナポレオン軍はモスクワへ侵攻した。ロシアは、焦土作戦を採り、モスクワに火を放った。モスクワの南西に「雀が丘」と云う小高い丘がある。現在、モスクワ大学が建っているが、焼失したモスクワをそこより見下ろしたナポレオンの胸中にはいかがであったろうか？ 当時の首都はサンクト・ペテルブルグで、モスクワ守備隊の早期降伏の思惑は外れ、10月にナポレオン軍は敗走した。

ロシア軍の執拗な追尾もあり60万の内58万の兵隊を失う悲惨な侵攻だった。現在のモスクワは、ロシア革命以降のもので、世界遺産は「クレムリンと赤の広場」である。「クレムリン」は要塞で、我々の世代は、赤煉瓦城壁の最上段に序列順に並ぶ旧ソ連の首脳陣を思い出す。クレムリンの東側に位置し、市場だったのが「赤の広場」で、共産党の「赤」とは関係がない。イバン4世の時代は公開処刑場になり、ステンカラージンも赤の広場で処刑されている。



クレムリン、モスクワ、ロシア、2013年6月

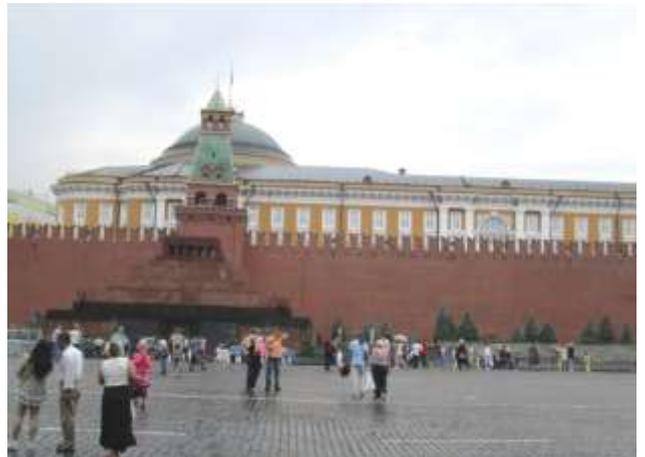
ホテルを出発し、クレムリンに着いたのは午前8時30分だった。入場券売り場には人影はなく、9時30分発売ということで周りを散策した。入場券の販売と云ってもただ窓口を開けるだけで、整理係がいないため販売窓口は、人々で団子状態だった。

また、一時預り所、入門場所もばらばらで元共産国のサービスの悪さが際立った。必見は「武器庫」で、帝政時代の王冠、銀の食器、武器、武具、衣装が展示されているが、なかでも宮廷馬車は、宝塚歌劇の「ベルサイユのバラ」もびっくりするほど豪華絢爛であった。全長5mはするであろうか？ しかも大木を切り抜いて製作しており、どう見ても6~8頭の馬でなければ引かれない大きさで、日本の大名籠なんぞ比較にならない。クレムリンは、現在も大統領府がおかれ、東側半分は立ち入り禁止で、見学者は西側半分にある

ロシア正教会を主に訪れる。

ロシアへの入国に査証(ビザ)が必要で、招待状とかバウチャーとやら複雑過ぎて、個人で入手するのは不可能であった。専門の査証手配会社に手数料16,000円(2人分)を払えば簡単に入手できた。ロシア領事館の発行手数料は、実際0円なので美味しい商売であるが、同時に、きな臭さも感ぜざるを得なかった。

モスクワ空港到着後、驚いたことに手続きはコンピューター化され入国カードの記入も不要で、印刷された出国カードを受け取るだけだった。ホテルは、政府へ宿泊者の滞在登録を行う義務があるので、出国カードを大切に携帯せねばならない。査証申請時にモスクワとサンクト・ペテルブルグの2都を訪問都市としたが、もし別の都市に滞在すればなんらかの不都合が生じただろうと予感をした。



赤の広場とレーニン廟、モスクワ、2013年6月

市内での交通はもっぱらメトロ(地下鉄)を利用し、どこまで乗っても80円で価値があった。モスクワの地下鉄は地下50mぐらいの深さにあり、乗り換えなしのエスカレーターで一気の下る。当然、将棋倒しにでもなれば大惨事になるので、最下部に小屋があり係員が目視とモニターで警戒している。

深く掘り下げたのは核戦争の時にシェルターとして活用する目的であり、また革命や社会建設のために働く労働者を鼓舞する芸術ということで駅構内の装飾は異常なほど豪華であった。スターリンの「社会主義リアリズムの表現」と云うそうだ。

モスクワ市内は、予想に反し安全で、また季節柄、老いも若きも肌を露わにドレスアップして闊歩していた。スラブ系の女性は、肌も白く、鼻も高い美人系が多い印象だった。街は、良く清掃されてゴミもない、また、浮浪者もいなければ、物乞いもない。余りの潔癖すぎに、気味の悪さを感じた。ロシアと云えば、「死の粛清」と「シベリア送り」という負のイメージがあるので、その種の間人は「モスクワ払い」されたのかと思わざるをえなかった。

100 世界遺産の旅 (17)

エルミタージュ美術館

サンクト・ペテルブルグと周辺の歴史地区が、世界遺産である。18世紀初頭、ピョートル大帝は、スウェーデンよりバルト地方を奪取し、その地にサンクト・ペテルブルグを建設しモスクワより遷都した。

サンクト・ペテルブルグは、バルト海に面した美しい古都で、東西にネフスキー大通りが走り、建物は5～6階に統一され、一直線に走る建物の壁面は、パリかと思えるほど重厚で華麗な造りであった。サンクト・ペテルブルグのハイライトは、言うまでもなく「エルミタージュ美術館」である。



エルミタージュ美術館、ロシア、2013年6月

世界4大美術館と云えばルーブル(仏)、プラド(スペイン)、メトロポリタン(米)、そしてエルミタージュ(露)であろう。大英博物館、故宮博物院(中国/台湾)は、世界2大博物館として別に分類すれば解りやすい。エルミタージュとは「隠れ家」と云う意味で、すべての宮殿にそれぞれ「エルミタージュ」があると考えてよい。エカチェリーナ2世が美術品を購入し、個人用コレクションとして非公開の美術館＝エルミタージュに陳列したのが始まりである。

当時のロシアは後進国で、芸術の分野においても眼力のある専門家がいるとは到底思えなかったので、エカチェリーナ2世を調べてみた。

エカチェリーナ2世は、北ドイツ生まれで、教育はフランス人ユグノーの家庭教師に習っている。よってドイツ語、フランス語は、堪能でヨーロッパの文化にも精通していたと考えられる。また彼女はピョートル大帝の孫で自分の夫、ピョートル3世を暗殺し、自分自身が帝位についた「剛腕女帝」でもあった。潤沢な財源と造詣の深さで美術品を買い集めたと思われるが、当時のロシア人に理解されたかどうかは疑問が残る。

ただマリア・テレジア(ハプスブルグ家オーストリア)と並び称される啓蒙専制女帝であったことは間違いないようだ。最も人気のある絵画はダビンチとラフ

アエロの「聖母」で、レンブラント、ルーベンス、ルノワール、モネ、セザンヌにも多くの人が立ち止まって鑑賞していた。



ピョートル宮殿、ロシア、2013年6月

周辺地区の代表的な世界遺産は、ピョートル宮殿とエカチェリーナ宮殿である。ピョートル宮殿へは、エルミタージュ美術館前よりスピードボートに乗って南へ30分くらいで、ピョートル大帝がスウェーデンに勝利したことを祝い建造された。ベルサイユ宮殿を模したといわれるが、ポツダムにあるフリードリヒ大王のサンスーシ宮殿のほうが色合いや階段のレイアウトでより似ていると思った。



エカチェリーナ宮殿、ロシア、2013年6月

エカチェリーナ宮殿は、ピョートル大帝が、皇妃エカチェリーナ1世のために建てた宮殿だが、宮殿での生活を最も気に入ったのが、エルミタージュ美術館を造ったエカチェリーナ2世であった。

1791年、日本から漂流した木綿商人、大黒屋光大夫は、宮殿を代表する「琥珀の間」でエカチェリーナ2世に謁見したとされている。彼が漂流したのは1782年で、当時、漂流地アリューシャン列島はアメリカでなく、まだロシアの領土であった。

ロシアでは、ホテル以外に英語は全く通じない。メトロと近郊電車を乗り継いでエカチェリーナ宮殿へ向かったが、最寄駅で宮殿行のバスを聞いても分からない。結局、地図を示しタクシーで宮殿へ向かった。

帰路、バス停は分かるが、バスの行き先が分からない。最後にバスの運転手へ「メトロ」と叫んで、ようやくメトロの一駅にたどり着いた。海外の旅に英語は必要だが、絶対ではない。伝達手段として身振り手振り、筆記・略図の表現も駆使せねばならない。そして叫ぶことは最後に残る有効な手立てだ。

100 世界遺産の旅 (18)

罪と罰の舞台を巡る

ドストエフスキー「罪と罰」の舞台を巡ってみた。彼は、社会主義者としてシベリアへ送られ、赦免でサンクト・ペテルブルグへ戻ったが、博打好きで出版社から多額の借金をしたため、「罪と罰」を煽られながら書き上げた。余りの忙しさに、口述筆記という形をとったようだ。驚いたことに、ドストエフスキー自身のアパート、主人公ラスコーリニコフのアパート、金貸し老婆の家、センナ広場、ソーニャのアパート、警察署は四方 600m の中に集中し、ドストエフスキーは、連日徘徊しながら小説の構想を練ったに違いない。

言い換えると取材費ゼロの小説である。唯一、遠出するのが、北西にあるワシーリエフスキー島で、それでも片道 2 km ぐらいである。センナ広場の酒場で、ウォッカを飲んで空想に耽り、思い立っては自分のアパートへ走り戻って、口述筆記される彼の姿が、浮かび上がってくる。



「罪と罰」執筆のアパート、ロシア、2013年6月

「選ばれし非凡人は、新たな世の中の成長のためなら、社会道徳を踏み外す権利を持つ」と考える主人公ラスコーリニコフは、金貸し老婆とその妹を殺害する。

当時のロシアは、自由主義と社会主義が混在し殺伐とした時代であったが、フランス革命後ヨーロッパを震撼させたナポレオンが、ドストエフスキーに大きな影響を及ぼしたと推察する。

戦争で百万人以上を犠牲にしてもナポレオンは、死刑にならず南大西洋のセントヘレナ島への流刑に済んだ。また遺体は、遺言状どおりパリにもどり、オテル・デ・サンブアリッドで永眠している。いまでもそうだがヨーロッパ大陸では、ナポレオンは、普遍的な英雄で、「選ばれし非凡人」として敬愛されている。

トルストイの「戦争と平和」にもナポレオンが登場し、ナポレオンなくしては「語れない時代」であった。

「罪と罰」は、1866年1月より12月まで、また「戦

争と平和」は、1865～1869年の連載で、同じ雑誌「ロシア報知」であった。両者の連載期間の違いは、借金の有無によるものかと憶測したくなる。

サンクト・ペテルブルグは、文豪達が愛した都である。彼らの偉業を称えて記念館、博物館が点在する。中でも有名なのがプーシキンの家記念館、ドストエフスキー文学記念館、アレクサンドル・ブローグ文学記念館、トルストイ邸博物館等である。ロシア文学好きの方々には、是非訪問して頂きたい都である。



「罪と罰」の警察署、ロシア、2013年6月

芸術を解する才能を有しないが、一生に一度、ミュージカル、オペラ、歌舞伎をそれぞれ観賞したいと切望していた。幸い、10年ほど前に、ニューヨークでミュージカル「マンマミーヤ」を観ることができた。

今回は、オペラをサンクト・ペテルブルグで求めたが馴染みの演目になったので、ミハイロフスキー劇場でレーニングラード国立バレエ団の「白鳥の湖」を堪能した。しなやかな肢体で、一指(糸)乱れぬ舞踊は、さすが本物だと感心して魅入った。



白鳥の湖、ロシア、2013年6月

終演は夜の 10:30 だが、白夜で外は明るい。着飾った観客は、これからナイトクラブへ出かける様相だった。歌舞伎については、京都四条の南座で「吉例顔見世興行」が我ら夫婦の次なる楽しみである。

100 世界遺産の旅 (19)

スオメンリナ要塞

18世紀初頭、スウェーデンは、ロシアとの戦いに敗れた。そして新たな攻撃に備えるため、1722年フィンランドの小島にスオメンリナ要塞を完成させた。フィンランド湾の入り口にあたり、サンクト・ペテルブルグよりロシアが侵出するのを牽制する役目を担っていたが、1809年、ロシアのアレキサンドル1世によってフィンランドは占領され、スオメンリナ要塞も陥落した。1853年に始まったクリミア戦争のときは、イギリスとフランス海軍による艦砲射撃で被害を受けたが、後に修復された。

1917年、ロシア革命の混乱時にフィンランドが独立し、スオメンリナ要塞もフィンランドの領地となり今日に至っている。島のあちらこちらにトーチカや砲台を備えた陣地が構築され、船のドッグもあり頑強な要塞だと見受けられた。ヘルシンキからフェリーで20分くらいの所にあり、今では市民の公園として開放されている。人類の歴史上重要な時代を例証する建築様式、景観の優れた場所として1991年にスオメンリナ要塞は世界遺産に登録された。



スオメンリナ要塞、フィンランド、2013年6月

世界遺産でないがヘルシンキの西に、セラサーリ島野外博物館がある。バスで30分位のところにある島で、島の3分の1が、各地から典型的な木造建築を集めた野外博物館となっている。森林地帯と思わせる木立の合間に立つのは、18~19世紀の農家が主だが、17世紀の木造教会も建っている。セラサーリ島の海岸は狭い岩場であるが、そこに多くの老若男女が海水浴と日光浴を楽しんでいたのが印象的だった。

当初、リトアニア、ラトビア、エストニアのバルト3国を訪問する予定であったが、時間の関係で変更を余儀なくされた。一方、北欧3国のデンマーク、スウェーデン、ノルウェーは15年ほど前に訪れたので、どちらにも属さない異文化のフィンランドを訪問することにした。サンクト・ペテルブルグを午前6時40

分に出発し、ヘルシンキ到着が午前9時16分の国際特急列車「Allegro」を利用した。

時速250kmの列車運転は快適であったが、ほとんどは森林地帯を走り抜けて展望はきかなかつた。サンクト・ペテルブルグとヘルシンキ間の片道電車代は2等車でロシア現地購入(6,400円/人)、日本でロシア代理店経由購入(10,000円/人)、日本でHIS購入(16,600円/人)であったが、現地サンクト・ペテルブルグで切符が購入できない場合、予定が大きく狂うので日本で10,000円/人のE-Ticketを購入した。



ヘルシンキ、フィンランド、2013年6月

フィンランドの人口は520万人であるが、高福祉と高い教育レベルの国家として知られている。エストニアと共に北欧のEC加盟国でユーロ通貨を採用し、ロシアと隣接しながら一線を画する国策をとっている。

ヘルシンキに到着したのは、土曜日でほとんどの店は閉まっており、ゴミも多く、胡散臭い人間がたむろして暗い感じだった。またヘルシンキ中央駅のトイレの利用料は、1回1ユーロ(130円)と高く、駅の周りは悪臭を放ち、出発したサンクト・ペテルブルグとは大きな違いであった。

翌朝、スーパーマーケットに行くと、移民または外人らしい10数人が、店の前で開店を待っており不気味だった。開店と同時に彼等は、店の中へ入り一番奥にあるアルミ缶回収ボックスへカンを投入し始めた。何がしの小銭を対価としてもらえるシステムの様だ。

隣国スウェーデンでは暴動が増えている。景気の低迷で失業者が多くなり、移民の家系の若年失業率は、約4割に達するらしい。解雇のしやすさ(Flexibility)と代わりに充実した失業対策(Security)が、安定した社会と好調な経済を発展させてきた。

しかし、今後は、解雇のしやすさだけが悪用され、一層社会不安を増すのではないかと懸念される。フィンランドも移民政策に寛容な国で、近年その数は増加の一途をたどり、遅れて移民問題が噴出しないかと案ぜられる北欧の旅だった。

100 世界遺産の旅 (20)

聖ヨハネ騎士団

11 世紀末、聖ヨハネ騎士団は、病気、けがの巡礼者救護を目的に、聖地エルサレムに設立された。 Templar 騎士団、ドイツ騎士団と共に、中世ヨーロッパの三大騎士修道会の 1 つに数えられる。

十字軍の遠征に伴い、戦傷者の看護にあたる一方、自ら十字軍戦士として戦った。その後エルサレムよりロードス島へ本拠地を移し、16 世紀にはオスマン帝国軍に追われてマルタ島へ渡った。1565 年、オスマン帝国軍による「マルタ大包囲戦」に耐え貫き、その後も存続したが、1798 年、エジプト遠征のナポレオン率いるフランス軍によってマルタ島は占領された。

マルタの中心地バレッタは、要塞を建設した騎士団長ジャン・ド・ラ・バレッタより名付けられた。騎士団員は、有力貴族の子息で、出身地の王や大司教などから多額の寄進を受け、豪華な宮殿を建造した。ルネッサンスの理想都市と云われるバレッタの旧市街は、1980 年世界遺産に登録された。



騎士団長の宮殿、マルタ、2013 年 6 月

1099 年第 1 回十字軍は、異教徒を殺戮しエルサレムを奪還することが任務と考え、約 4 万人のイスラム教徒を惨殺した。イスラム教徒のジハード（聖戦＝異教徒に対する戦い）は、第 1 回十字軍の殺戮のリベンジが起源である。十字軍遠征は、合計 7 回行われたが、特筆すべきは第 5 回で、時の神聖ローマ皇帝であったプロイセンのフリードリッヒ 2 世は、外交交渉でエルサレムを奪還し、休戦協定を締結しエルサレムをイスラム教徒との共同管理下に置いた。

暗い中世時代の十字軍派遣だったが、唯一未来志向の勇断として高く評価されている。啓蒙専制君主の代表格であるフリードリッヒ 2 世は、現在サンスーシ宮殿で愛犬 11 匹とともに永眠している。

2000 年ローマ法王は、バチカンカンよりイスラム諸国へ十字軍遠征の陳謝を表明したが、「時は既に遅

し」は、現在の我々が知るところである。



バレッタ要塞、マルタ、2013 年 6 月

マルタ島は、地中海の中央にあたり、イタリアのシシリア島からこぼれ落ちた、小さな滴の様な島である。ローマより飛行機で 1 時間 30 分、空港では事前に予約していたシャトルバスが待ち構えていた。ホテルと空港間荷物込の往復二人分が、2100 円でなかなか使い勝手の良いシャトルサービスであった。

建造物は、全てベージュ色の石が使用され、街全体は蜂蜜色に見える。初夏でもあり多くのヨーロッパ観光客が訪れ、ショッピングや街歩きを楽しんでいた。

バレッタの中央にリパブリック通りが走り、考古学博物館、聖ヨハネ大聖堂と騎士団長の宮殿が見どころである。リゾートの島と云うことで、いろんなクルーズが提供されていたが、市民が利用する往復 360 円のフェリーでクルージングを楽しんだ。



滞在ホテル、マルタ、2013 年 6 月

紺碧の海と青空がどこまでも続く地中海は、湿度が低くてしのぎやすい。街歩きの後、キンキンに冷やした白ワインは、6 月の気候と最高に調和し、美味し過ぎていくらでもすすむ。岩場が多いバレッタでの海水浴は少し危ないので、ホテルのプールで甲羅干しと決め込んだ。リゾートと世界遺産を、同時に満喫できる初夏マルタ島での滞在であった。

100 世界遺産の旅 (21)

ローマの休日

「毎日が休日」のわが身であるが、再び「ローマの休日」を楽しんだ。1996年、家人と共に、後ろ向きになってコインを投げ入れたのは、トレビの泉であった。コイン1枚だと、再びローマを訪れることができ、2枚では、永遠に大切な人と生きることができ、3枚では、夫・妻と別れることが出来ると云われている。

1996年、それぞれ1枚のコインを投げ入れたのは明らかであるが、今回、家人が、何枚のコインを投げ入れたかは、知る術もない。



トレビの泉、ローマ、2013年6月

元老院の支配と共和制国家の内乱を收拾し、ローマを救済したのが、ジュリアス・シーザーであった。シーザーは、暗殺されたが、その子オクタ비아ヌスが、前27年元老院よりアウグストス（尊厳者）の称号を与えられて帝政時代が始まった。これより5賢帝を含む約200年間を「パクス・ロマーナ＝ローマの平和」と云い、人類史上最も幸福な時代であった。

その頃の遺跡を訪ねるために、地下鉄でチルコ・マッシモ駅へ向かった。チルコ・マッシモとは、映画「ベンハー」にも登場した古代戦車競技場跡である。そこからパラティーノの丘に登り、フォロ・ロマーノと円形闘技場コロッセオを眺めた。ローマは、世界有数の観光地ではあるが、余りに多くの人が観光に訪れていたのには驚いた。前回、コロッセオは、地下へも降りられたが、現在は、立ち入り禁止で、代わりに3階へ上ることが出来た。中世の時代、コロッセオは、まるで石切り場のようで、外壁が剥ぎ取られ建築材料として持ち出された。原形をとどめておればもっと素晴らしい円形闘技場であったらうと改めて思った。

古代ローマの中心地カンピドーリオ広場よりパンテオンへ向かった。万神殿パンテオンは紀元前27～25年にアグリッパが創建し、118年にハドリアスが再建した。キリスト教が313年に公認されるまで、ロー

マは多神教で、パンテオンは古代ローマのオリジナルの姿を最もよく残している建造物である。



フォロ・ロマーノ、ローマ、2013年6月

ローマの道路は複雑で、地図を見ながらでない目的地へつかない。トレビの泉を経てスペイン広場へ向かった。相も変わらずの賑わいで、階段も多くの人がいた。次のサン・ピエトロ大聖堂は、テレベ川を挟んで西側になり、地下鉄を利用した。外観はそれほど豪華さはないが、聖堂内の造形は何度見ても圧倒されて驚くばかりである。今回、ガラスの囲いのため「ピエタ」に触れることが出来なかった。



サン・ピエトロ大聖堂、ローマ、2013年6月

映画「ローマの休日」の主演は、言わずと知れたオーディリー・ヘプバーンで、共演はグレゴリー・ペックだ。晩年、彼女は、福祉活動に身を捧げ、現在、スイス、ローザンヌ近くのトロシュナの小高い丘で永眠している。2000年7月、彼女を偲んでローザンヌを訪れた。南にレマン湖を抱く風光明媚なところである。

イギリスの詩人バイロンの「シヨンの囚人」の舞台として知られるシヨン城は、ローザンヌの東にあたる。そこからさらに足を延ばせば、ヨーロッパ・アルプス3大名峰、モンブラン、マッターホルン、ユングフラウへと続く。ヘプバーンを想う時は、いつも不思議に、これら銀嶺の山々が浮かび上がってくる。

巻末 (3-2) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ

100 世界遺産の旅 (22)

ポンペイ遺跡

西暦 79 年 8 月 24 日、ヴェスヴィオ山が、突如大噴火を起こし、この時の火砕流で、ポンペイの町は完全に埋没した。以来、タイムカプセルに封じ込められたポンペイは、歴史から消えた。

遺跡発見のきっかけは、16 世紀末に偶然に大理石の板の一部が地表に現れたことだった。当時のスペイン国王カルロス 3 世 (元ナポリ国王) の号令のもとに調査が開始され、1763 年、発掘現場から届いたニュースにヨーロッパの人々は騒然となった。

1680 年もの間、地中に保存されていたポンペイ市街全体が、埋没した日の姿そのままに出現したので驚嘆したのである。居酒屋、パン屋、浴場、野外劇場そして円形闘技場などが当時のまま出土した。

さらに町の南西には神殿、市場が並ぶ公共広場 (フォロ) も出現した。落書きもあり、壁画 (フレスコ画) も描かれ、市民の生き生きとした生活が窺い知ることが出来る。門から延びる道路は石で舗装され、飛び石を置いて横断歩道とした。道路には車輪の轍も鮮やかに残り、雨の日は、それらを川として利用したようだ。



ヴェスヴィオ山とポンペイの遺跡、2013 年 6 月

1880 年、山麓から火口までケーブル登山電車の「ヴェズヴィアナ鋼索線」が開通した。当初は利用者が少なかったため、運営会社が宣伝用に作った歌が、有名な「フニクリ・フニクラ」である。この登山電車は 1944 年の噴火で被害を受け、現在も運行停止状態で、再建の目途が立たず、再開は期待薄である。

ローマを出発したのが朝の 7 時で、ナポリ到着は 8 時 45 分であった。ナポリ駅でローカル電車に乗り換え、ナポリ湾に沿って南下した。天候もよく、はるかに遠くにナポリの街を眺めることが出来た。ガイドブックを見ていると、電車の路線図が間違っているのに気付いたが、その時ポンペイ駅を乗り過ぎてしまった。

次の駅よりの折り返し電車は 2 時間待ちと云うことで、泣く泣く家人とポンペイの遺跡へ徒歩で向かっ

た。30 分のタイムロスであるが、お蔭で田舎の風景とポンペイの新市街地を見学出来た。予期せぬ体験も自由旅行の楽しさの一つである。



石畳と横断歩道、ポンペイ、2013 年 6 月

ポンペイ遺跡見学後、周遊私鉄電車でナポリへ戻った。終着駅では都合よくトラムが走っていたので飛び乗った。車掌らしき男性へ「We want to buy two tickets.」と尋ねると、彼曰く「ドチャメンテ、コチャメンテ」と返事がきた。問答を何度か繰り返すが、埒が明かない。結局、女学生が通訳に入り、車内では切符を買えないことがわかった。

切符は、街のタバコ屋で買えというので、飛び降りたが、ちょうどそこがヴォーボ城と王宮前だったので、結果、無賃で到達した。驚きであるが、イタリアの女学生が英語を話せるのは、長引く不況の賜物であろう。



ヴォーボ城と王宮、ナポリ、イタリア、2013 年 6 月

ナポリは、ゴミの街と聞いていたが、完璧でなくとも、それほど驚く状態ではなかった。屈指の観光地として名誉挽回の取り組みを見ることが出来た。スパッカ・ナポリは、ナポリの風情が残る下町である。

活気あふれる食料、雑貨の店が立ち並び、歴史を感じさせるゴシック様式の教会も多い。教会の広場には警官が立ち、危険を感じることなく歩いてナポリ駅へ着いた。復路の特急電車で、ナポリ民謡「サンタルチア」を口ずさみながら、シャンパングラス片手にローマへ戻った。サンタヘルチア.....♪

100 世界遺産の旅 (23)

ルネサンスの巨匠たち

フィレンツェは、ルネサンス期に多くの芸術家を輩出した都市である。バスで約 20 分のミケランジェロ広場に到着したのは 8:30 であったが、既に多くの観光客が集まり、それぞれ記念写真を撮っていた。公園の中央に立つミケランジェロ作の高さ 4 m のダビデ像は、広場の象徴で、街を見下ろしている。



ミケランジェロ広場、フィレンツェ、2013 年 6 月

ミケランジェロ広場の後、坂道をアルノ川へ向かって降り、そしてヴェッキオ橋を右手に見ながらピッティ宮に着いた。フィレンツェの商人ピッティは、宮殿建設を行ったが没落し、メディチ家買い取られた。

今回は、ピッティ宮殿内にあるパラティーナ美術館を覗いてみた。ハイライトは、11 点を数えるラファエロの絵画である。ラファエロの「聖母」は優しく、少しうつむき加減で、彼の母かまたは憧れの女性をモチーフにしたのであろう。抱かれる子供の目はしっかりと未来を見つめているようだった。

ラファエロ・ブルーと云う言葉があるのか知らないが、衣服の青が鮮明で印象的だった。ラファエロは、ルネサンスの中でも超天才の画家であったが、残念ながら 37 歳の短い命をローマで終わらせた。バチカン宮殿の右端、2 階にある「ラファエロの間」にあるフレスコ画「アテナイの学堂」等が必見である。

同じくローマで活躍したのが、ミケランジェロで少し変わった気質の持ち主だったが、89 歳の長寿であった。バチカンのシスティナ礼拝堂の「最後の審判」は、ミケランジェロの代表作である。驚いたことにミケランジェロは、絵を不得意とし、苦痛をもって仕上げたそうだ。「最後の審判」を良く見てみると女性も筋肉隆々に仕上げられ、確かに違和感のこる。代表作は、ローマにあるサン・ピエトロ大聖堂の「ピエタ」、市庁舎前のカンピドーリオ広場などがある。

さて、ルネサンスの代表格レオナルド・ダ・ヴィンチは、「万能者」と呼ばれ、ありとあらゆる分野で実

績を残したが、晩年はフランスへ渡りフランソワ 1 世の庇護のもとに過ごし、ローマで偉業を達成できなかった。世界で最も有名な絵画作品で、終生手放さなかった「モナ・リザ」をフランソワ 1 世に託し、1519 年 67 歳でこの世を去った。「モナ・リザ」は、パリのルーブル美術館で展示されている。

フィレンツェの代表的なパトロンは、メディチ家であった。しかし、メディチ家も政争の渦中に置かれ、一時はフィレンツェより追放された。ルネサンスの終期ごろは、芸術家を養うことも出来ず、レンタル派遣したようである。後世から観ればルネサンスは、華々しい再生の時代であったが、個々の芸術家にとっては政争があり、難しいパトロン探し、熾烈な作品制作コンペで、極めて困難な時代であったかもしれない。

ルネサンスは、文化的財産を後世に残したが、バチカン宮殿、サン・ピエトロ大聖堂の建設に莫大な費用を投じた結果、教皇庁の財政は破綻し、それを補うための収入策として講じられた聖職売買、免罪符の発行は宗教改革のきっかけとなった。

1994 年、ドイツのアウトバーンを利用して、ドルトムントからベルリンを経てライプチヒを訪れたことがある。その途中に宗教改革者のマルティン・ルターが「95 か条の意見書」を提示した町ヴィッテンベルクがあったが、時間の関係で立ち寄れなかったのが悔やまれる。



ダンテの慰霊堂、ラヴェンナ、2013 年 7 月

ルネサンスより少し時代はさかのぼるが、フィレンツェ生まれに有名な詩人ダンテがいた。1301 年、ダンテは政争に巻き込まれてフィレンツェより追放され、後に東のアドリア海に面したラヴェンナへ移り、そこで叙事詩「神曲」を完成した。

生涯フィレンツェに戻ることなく 56 歳で他界した。現在フィレンツェ市は、ラヴェンナ市へ遺骨の返還を要求しているが合意に達していない。ダンテの墓の前にある慰霊堂は、フィレンツェ市より寄贈されたもので、天井下の灯明は消えることなく、その費用はフィレンツェ市より賄われている。我々は、フィレンツェを後にし、ダンテが眠るラヴェンナへ向かった。

100 世界遺産の旅 (24)

ビザンチン帝国の栄華

ラヴェンナは、ベニス南 120km にあたり、中世初期まではアドリア海の重要な港であった。現在、街は、海から切り離され内陸部に位置する。395 年、テオドシウス帝は、ローマ帝国を東西に分割した。

高校世界史では、西ローマ帝国の首都は、ローマと教えるが、分裂後首都は、ミラノへ移され、402 年、ホノリウス帝は、ミラノからラヴェンナへ遷都した。

これらの遷都は、ゲルマン人の南下に対抗するための防衛線の確保が目的であった。ラヴェンナは、泥沢地と湿地に囲まれ軍事的な価値があり、そしてビザンチン帝国(東ローマ帝国)の援護を受けやすい地理的な利点もあった。しかし遷都の甲斐も虚しく、476 年、西ローマ帝国は滅亡する。6 世紀、ビザンチン帝国(東ローマ帝国)時代、ローマ帝国を再統一するのが「ローマ法大全」で有名なユスティアヌス大帝である。

彼は優秀な皇帝であったが、気の弱いところがあり、内助の功を發揮する皇后テオドラの叱咤激励を必要としたらしい。古今東西、夫婦とは、同じようなものだと不本意ながら納得せざるを得ないのは、私一人だけではないであろう。ラヴェンナは、ビザンチン文化に大きく影響され、多くの初期キリスト教会が現存している。ビザンチン教会が、最も特徴としているのは内部に施された細密なモザイクである。

1453 年、そのビザンチン帝国もオスマン帝国に滅ぼされ、コンスタンティノープルも陥落した。イスラム教は、人物画や偶像の崇拝を禁止しているの、現在イスタンブール(コンスタンティノープル)に残存するビザンチン文化財は少なく、聖ソフィア大聖堂(現博物館)ぐらいであろう。



サン・ヴェターレ教会、ラヴェンナ、2013 年 7 月

フィレンツェを 7 時 30 分に出発し、ラヴェンナに着いたのは 10 時であった。駅近くの駐輪場に荷物を預け、街へ繰り出した。街は程よい広さで、3 時間程度で見て歩くことが出来た。世界遺産の初期

キリスト教建造物群の中でも有名なものは、548 年、建立のサン・ヴェターレ教会の八角の建物である。

とりわけ主祭壇の上部に描かれ、金色を背景にした皇帝ユスティアヌスと皇后テオドラの鮮やかなモザイクの細工には肝銘した。この完成を心待ちにしていたテオドラ妃は、モザイクを見届けた数年後に他界した。教会の後、ポポロ広場を通り、ネオニアノ洗礼堂、サンタポッリナーレ・ヌオーボ聖堂を見学・参拝したあとラヴェンナ駅に戻った。



ビザンチン皇帝ユスティアヌス、2013 年 7 月



テオドラ妃、ラヴェンナ、イタリア、2013 年 7 月

話は紀元前の古代ローマに移るが、ラヴェンナの南 40km の所にルビコンという川がある。古代ローマ時代には、武装したままこの川を渡り、ローマへ帰還してはならない掟があった。しかし、紀元前 49 年、ガリア遠征を終えたジュリアス・シーザーの軍隊が、武装のままルビコン川を渡った。その時、シーザーが、発した有名な言葉が、「賽は投げられた」である。

川を渡る前に軍隊を集結させたのがラヴェンナで、おそらく当時のラヴェンナは、武器、武具等の保管、貯蔵の兵站軍事基地であったのだろう。元老院の軍隊と戦った結果、シーザーの勝利に終わり、古代ローマは、新しい帝政時代を迎えた。

100 世界遺産の旅 (25)

アドリア海の女王

ベネチアは、ビザンチン帝国への軍事的、経済的支援の見返りに、東方交易の利権を獲得し、経済と文化の両面でオリエントの影響を深く受け、独特な海上都市として発展した。1204年、第4回十字軍に交易上のライバル都市コンスタンティノーブルを占領させたベネチアは、莫大な利益を手にして絶頂期を迎えた。また、黄金の国・ジパングを「東方見聞録」で紹介した商人マルコ・ポーロが、ベネチアより東方へ旅立ったのも、13世紀であった。



リアルト橋、ベネチア、イタリア、2013年7月

6世紀、蛮族に追われたベネト地方の住民たちがラグーン（潟湖）の一島で、現在のリアルト橋付近にある小高い場所に街を築いたのが始まりである。5～10mの唐松材を海底に打ち込み、その上に水に強い石材をひきつめて、さらにレンガで建物を造り上げた。

しかし、長年にわたる地下水のくみ上げにより地盤沈下が起こり、冬場の高潮時には、最大120cm浸水の憂き目に遭っている。11月から3月にベネチアを訪れると歩行用の縁台が、長く連なって置かれ、新しい風物詩になっている。

ベネチアに来てその都市の成り立ちを考える時、都市全体を見たいという欲望にかられる。サン・マルコ広場で大聖堂、宮殿を見学して、ゴンドラで運河を巡るだけではこの町の全貌は見えない。今回の目的は、ベニス島の隅々を歩き、そして最も眺望のきく塔に登り、全体を見渡すことに主眼を置いた。

8:00、サンタルチア駅近くのホテルをスタートして、まず気付くのは、この街に陸上の乗り物は全くなく、唯一日常的に使われている運搬手段は、荷物搬送用の人力台車である。強力（ごうりき）が腕で巧みに台車のハンドルを持ち上げて、一段ずつリフトアップして超えて行くが、効率が悪く、かつ重労働である。

運河には橋が架かっており、船が問題なく通過できるように、例外なくそれらの橋は、階段付の太鼓橋で

ある。日本の岩国にある錦帯橋を想像はよいが、ベネチアの全てが、シングル太鼓橋で、乗客運搬手段として利用できるのが、唯一船である。

ゴンドラは観光用で、日常の交通は水上タクシーかまたは定期船である。それが故、ベネチアのライフコストは非常に高く、ホテル代も割高である。多くの観光客は、電車またはバスでローマ広場までやってきて、そこで定期船に乗り換え、サン・マルコ広場に着く。

昼時ともなれば、船着き場よりサン・マルコ広場の海岸道路は、人で埋め尽くされる。

ベネチアは、迷宮都市と云われるように、全てが迷路になっている。各処の信者教会の広場が、せいぜい50～70mぐらいであるが、歩行用の道路は、狭くて短く、運河に突き当たるか、さもなければ袋小路へ入り込んで迷ってしまう。



木造アカデミア橋、ベネチア、2013年7月

ベネチアの全貌を上から観ようと思い、サン・マルコ広場の対岸にあるサン・ジョルジョ・マッジョーレ島へ連絡船で渡った。教会を覗いた後に鐘楼へ上ると、展望がよく効き、サン・マルコ広場、ラグーン、点在する島々を見ることが出来た。さらに幸いなことに、狭い運河をパイロット船に曳かれた豪華客船ディズニー・ファンタジー号が、通過するのに遭遇した。

ただ、鐘楼の旅行者にとって、時刻を告げる鐘の音の凄さに、悲鳴を上げて驚かされたのは余計であった。



サン・マルコ広場と豪華客船、2013年7月

100 世界遺産の旅 (26)

最後の晚餐

レオナルド・ダ・ヴィンチ作の「最後の晚餐」は、パトロンであったルドヴィーコ・スフォルツァ公の依頼により、ミラノのサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院にある食堂の北側壁画として制作されたものである。絵は、420x910cm の巨大なもので、床より約 170 cm から天井にかけて描かれている。

レオナルドは 1495 年から制作に取りかかり、1498 年に完成した。しかし、「最後の晚餐」は、フレスコ画でなくテンペラ画に似た手法だったので、描いている最中から絵の剥がれが問題となり、完成後も修復に長い時間を要した。現在の修復は、約 20 年を費やして、1999 年に作業を完了した。



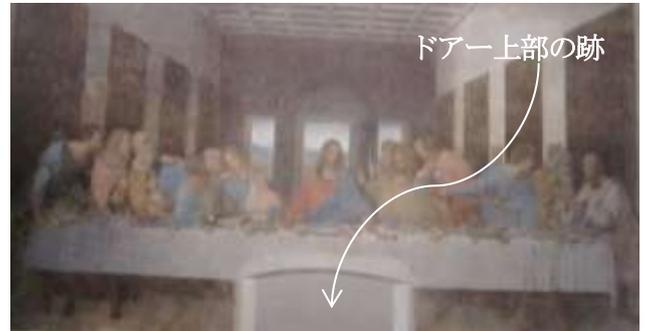
サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ、2013 年 7 月

イエス・キリストが、「汝らのひとり、我を売らん」と発言した時の弟子たちの表情をドラマチックに描いたものである。小石を池に放り込んだ時、輪が水面を広がる波紋のように、時間的な推移をもって驚きは、12 名の弟子たちへ広がる。

ダビンチは、3 人を一組として、それぞれの表情を物語風に表し、描き手が、意図する感動を、見る者が感じなければ真の作品でないと考えた。13 名がテーブルに向かって横一列に座っているのは、不自然であるが、奥手の窓へ向かって壁と天井を介し遠近法で描かれ、科学者・ダビンチの主張が伺える。ただ面白いことに、絵は、食堂に描かれ、修道者たちは、「最後の晚餐の芸術的価値」を理解していなかったようである。食堂へのアクセスを便利にするため、絵の下部にドアを造り、あろうことか、キリストの足の部分を削りってしまった。絵の中央下の食パンの頭部の様な形が、ドアの上部で、ドアを外した後に塞がれたものである。日本で足の無いのは幽霊だが、これではキリストも浮かべれないと苦笑した。

入場券は、全てインターネットまたは電話での購入になる。当初、見学を 7 月 5 日に予定し、7 月分

の発売開始が、4 月 12 日だったので、日本時間 4 月 13 日の朝にトライしたが、完売であった。焦って、7 月 4 日の入場券を探し求めたところ、幸い 2 枚残っていたので即購入と決めた。ただ、入場券は 11:00 と 13:00 の各 1 名で夫婦別々になったが、スケジュール上、代替日を模索する余裕はなかった。



最後の晚餐、ミラノ、イタリア、2013 年 7 月

入場は、25 人一組のバッチ方式で、拝観時間は 15 分の過密ダイヤである。はじめ 2 部屋を通過するが、半導体工場訪問の様に、埃、ゴミの除去が目的であろう。有料のオーディオ・ガイダンスを利用しなければ、訳もわからずに 15 分後に退出を余儀なくされるので、是非、有料のガイダンスの利用をお勧めしたい。

食堂の南側にはジョバンニ・モントルファーンの「キリストの磔刑 (たっけい)」が描かれており、これもまた素晴らしい絵で、しかもフレスコ画だったので保存状態は、良かった。



アーケード (左) とミラノ大聖堂、2013 年 7 月

ミラノには、有名な大聖堂があるが世界遺産に登録されていない。白い大理石で造られた美しい大聖堂で、特に屋上の見学が観光客に人気がある。当日は、芸術家のタマゴが屋上でスケッチに挑戦していた。

フィレンツェのサンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂が、世界遺産登録されているので、片手落ちな認定ではないかと思う。近い将来、ミラノのガッレリア・アーケードと聖堂広場を合わせて、ミラノ大聖堂も世界遺産に登録されるであろうと思いつつイタリア最後の夜を過ごした。

100 世界遺産の旅 (27)

コート・ダジュール

イタリア半島が、ヨーロッパ大陸に激突した結果、大陸が隆起しヨーロッパ・アルプスが出来たが、移動の方向が北西だったため、両脇のベネチアとジェノバの地形は異なる。東のベネチアは、平野が多く、潟がひろがる平坦な地形であるが、一方、西のジェノバの方は、山が海へ切り出した岩壁である。

今回は、ミラノより列車で、地中海沿いを西へ走り、イタリアのジェノバよりフランスへ入国した。ミラノを出発したのは午前7時で、しばらく平野が続くが、やがてトンネルが多くなる。ヨーロッパでトンネルに遭うのはスイスぐらいで、イタリアの地中海沿いにトンネルがあるとは思いませんでした。

最後のトンネルに入ってしばらくするとジェノバ駅へ着いた。ジェノバ駅もターミナル駅で、列車は、スイッチバックで折り返し、ジェノバ駅を出るとすぐにトンネルに入った。日差しあふれる東リベエラ海岸にあるジェノバは、コロンブスの出身地で、東のベネチアに対し、西を代表する交易都市であった。



モナコ、モナコ公国、2013年7月

フランスとの国境は田舎駅で、乗り換えた電車もカンヌ行の鈍行であった。我々は、取りあえず今晚の宿泊地であるニースへ向かった。到着したのが12時半で、駅前ホテルに荷物を預け、電車でモナコへ引き返した。モナコ駅も完全な地下駅であり、どちらへ出るにも、300mのトンネル通路を歩かねばならない。

我々は、王宮へ向かうので、南西のトンネル通路を利用した。出口よりメイン道路を渡り、10分位で王宮の入り口へ、そこから坂道を上ること20分で王宮に着いた。カジノで有名なモナコは、多くの金持ちが住む小公国であるが、平地が少なく切り立った絶壁の上に無数の高級マンションが、林立していた。

モナコ王妃といえばグレース・ケリーである。1982年に交通事故で他界したが、死因は脳梗塞だったよう

だ。彼女を偲ぶためか、王宮のあちこちに彼女のポートレートが掲げられていた。多くは、若い時の写真で、ゲリー・クーパー主演の映画「真昼の決闘」出演時の彼女を彷彿させた。



王宮、モナコ公国、2013年7月

西リベエラと称される地中海沿岸のフランス側が、コート・ダジュールである。紺碧海岸と云う意味で、イタリア国境より西のマルセイユ付近までの一帯を指す。ニースへ戻り、駅前よりトラムで旧市街地へ行き、そこから「城壁のある丘」へ歩いて登ってみた。

そこはニース海岸が一望で来る素晴らしい山頂公園であった。紺碧海岸を眺望した後、エレベーターで地上レベルまで下り、海岸線に沿って散歩した。驚いたことに、バカンスで有名なニースの海岸は、砂浜では無く、全て20平方センチ位の石がびっしりと敷き詰められた人工浜であった。仰向けになって日光浴を楽しむトップレスの女性達へ、暑いやら、痛いやら、と同情の念を禁じ得なかった。



ニース海岸、フランス、2013年7月

ドイツに、当て擦りのジョークがある。「ハワイにはビールが無いので、ハワイへ行かない」ヨーロッパの人々にとって、美しい砂浜のあるハワイや太平洋の島々は、平和 (Pacific) の大洋 (Ocean) であり、超憧れのリゾート地である。

巻末 (3-2) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ

100 世界遺産の旅 (28)

レ・ミゼラブル/ああ無情

トゥーロン(徒刑場)、ディーニュ(司教との遭遇)、モントルイユ(市長時代)、モンフェルメイユ(コゼットの迎え)、パリ(7月革命と2月革命)。まず、今回のフランスは、ヴィクトル・ユーゴーの「レ・ミゼラブル」の世界を観ることにした。

徒刑場のトゥーロンは、ニースとマルセイユの中間にある海軍港であった。1793年、フランス革命の最中、トゥーロンは、フランス王党派を支援するイギリス、スペインの軍隊によって占領されたが、ナポレオンは、砲兵将校として作戦に参加し、イギリス、スペイン軍を撃退した功績で英雄になった。

また、トゥーロンは、同じナポレオンの「エジプト遠征」出征港でもある。一方ディーニュは、ニースとマルセイユの中間ではあるが山岳部に位置する。1815年、ジャン・バルジャンは、19年間の刑を終え司教宅に滞在し銀の皿を盗むが、結果として許され、合わせて2本の燭台も授かる。

何故ジャン・バルジャンが、ディーニュを訪れたかユーゴーは述べていない。小説ではスイスに隣接するポンタルリエへ向う途中とあるが、そこでの行動も全く記述がない。ディーニュは、ナポレオンがエルバ島を脱出しカンヌ上陸後、「近衛兵に告ぐ」檄文を印刷した所である。ユーゴーは、トゥーロンとディーニュで、ナポレオンとジャン・バルジャンを重ね合せたと推察する。現在、ディーニュは、メルカントゥール国立公園内の風光明媚な保養地である。



トゥーロン、南フランス、2013年7月

次にジャン・バルジャンが登場するのは、イギリスの国境ドーバー海峡に近いモントルイユである。そこはナポレオンが敗戦したワーテルロー(現ベルギー)の西200kmにあたる。面白いことに、1815年10月にディーニュを出発したジャン・バルジャンは、年末にはモントルイユで黒ガラス玉装身具事業に成功をおさめ、3年後には大金持ちとなり市長にも選任された。まさに神技で、ワーテルロー戦勝国イギリス、プロイ

センへの充て付けであろう。ユーゴーは、意図してジャン・バルジャンに「100日天下」のナポレオンの足跡を南から北へ辿らせたと思われる。

モントルイユは、コゼットの母ファンティエヌの生地で、ジャン・バルジャンは、約束通り娘のコゼットを救うためモンフェルメイユの森へ向かう。そこは、現在パリの東40kmのところ、郊外電車E線で6番目駅の閑静な住宅街である。



7月革命広場、パリ、2013年7月

18世紀のヨーロッパは、小氷期と云われ、極度の不作がゆえ、発生した犯罪の80%は、飢餓に起因して起こった。栄華を極める王族、貴族と貧困に喘ぐ市民が激突し、フランス革命へと突き進む構図は、レ・ミゼラブルをもってしても理解できる。

フランス革命は、未完成に終わり、後に皇帝派と王党派が対立するが、ユーゴーは、ジャン・バルジャンを皇帝派支持の立場で小説を展開させた。また、官憲ジャヴェールをノートルダム橋より投身させて、王党派の終焉を象徴させようとした文脈は心憎い。

マレ地区にあるユーゴー記念館を訪れた。元々ユーゴーが住んでいたところを記念館にしたもので、フランス革命の発端となったバスティーユ牢獄(現広場)と7月革命記念柱が近くにある。まさに自由主義発祥の地である。没後、ユーゴーは、パンテオン(万神殿)の地下祭室で科学者のキューリー夫人、思想家のルソウ一等と共に永眠している。

初めて「レ・ミゼラブル」という原題に気付いたのはミュージカルが始まった2000年ごろで、それまで私にとっては邦題「ああ無情」であった。蓮池小学4年の時、雨で体育が休みの時限、担任が数回「ああ無情」を朗読されたことを鮮明に覚えている。眺めると校庭は雨、その中をジャン・バルジャンは、いつも分厚いコートを着て重い靴を引きずりながら、薄暗い石段を降りて行く姿は今も変わらない。

2005年、ロンドンでミュージカルを見られなかったことは心残りであるが、松村教諭の朗読は、長く心に響く、ミュージカル以上の節回しであった。

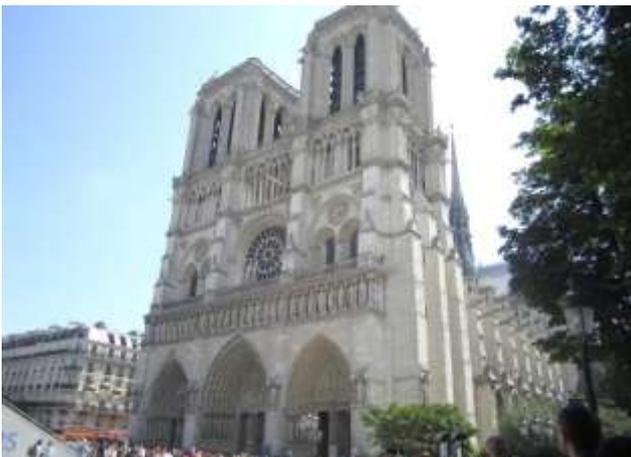
100 世界遺産の旅 (29)

ルーブル美術館の思い出

7月の日曜日、爽やかな天候に恵まれ、早朝よりパリの中心地へ向け、歩いて出かけた。日曜と云うことで土産店やレストラン以外は閉店で、街は静まり、観光客が思い思いに散歩しているだけだった。

まず、セーヌ川の北側にあるパリ市立歴史博物館を訪れた。この博物館はカルナヴァレ博物館とも云われ、中世の歴史とパリ市民の生活をうかがい知ることができ、嬉しいことに入場は無料である。館内を見学後、シテ島に向かったが、空も青く、風もない散策日和であった。アルコル橋を渡るころ、丁度昼時だったので、ビールとパニーニを買い求めて、ノートルダム大聖堂の前庭で、木洩れ日を浴びながら食した。

今年、ノートルダム大聖堂は、建設開始後 850 年を祝う行事を行っていたが、建設後 900 年に我身は、この世に無いと考えると不思議に 850 年を祝いたくなった。ノートルダム大聖堂の後、アルコル橋へ戻り、ルーブル美術館へ向かった。



ノートルダム大聖堂、パリ、2013年7月

1964年は、東京オリンピック開催の年であった。その年にルーブル美術館所蔵の「ミロのビーナス」が、空前絶後の旅に出かけて、日本へやってきた。東京で展示された後、5月に京都市美術館で公開され、高校1年だった私は、友人2~3名と共に出かけた。

長蛇の列で、入館後も立ち止まることは許されず15分位の対面の後、押し出されるようにして館外へ出た。それでも、ビーナスの調和のとれた容姿、肌の美しさ、成熟した女性の眼差しと微笑みに、思春期の男子として感激せざるを得なかった。

ビーナスと再会したのは1995年、31年ぶりで、ルーブル美術館へ朝一番に行くとコンピューターの不具合で入館料は無料だった。モナ・リザや代表する絵画・彫刻を見た後、再会を望んでいた「ミロのビーナス」に会うことができた。今度は、彼女とじっくりと対面できたが、彼女の背面へ回ると驚い

たことに、背中に大小の傷が多く見られた。京都では美しい正面だけを見せて頂いたが、背中への傷は、ミロス島での粗末な扱いだと思えば痛ましかった。



ルーブル美術館、パリ、フランス、2013年7月

東京オリンピックの翌年、1965年にエジプトの「ツタンカーメン」がやってきた。公開時期は、秋だったが、同じく京都市美術館へ鑑賞に出かけた。昨今、ツタンカーメン展は、日本で開かれるが、「ツタンカーメンの黄金のマスク」は、既に門外不出であり、精々、「ツタンカーメンのカノポス容器」位しか見られないので、失望する前に確認を要する。



2008年3月に、カイロのエジプト考古学博物館で「ツタンカーメン」に再会した。43年間もの空白だったので当日まで待ちきれず、前日もタクシーを飛ばして考古学博物館へ出かけた。世界に誇るエジプトの至宝を展示する考古学博物館は、2階建て、最大のハイライトは、その2階にある「ツタンカーメン王の秘宝」である。王家の谷で盗掘を免れた「ツタンカーメン」は、凜々しく、若くして他界した王の顔を如実に表していると改めて実感した。

若い時、私の部屋の壁に「ミロのビーナス」と「ツタンカーメン」の写真と並べて飾っていた。いつしかそれらの写真は、無くなっていたが、青春の思い出としていつも心の中に掲げている。この二人との出会いが、現在の「100世界遺産の旅」の出発点であることに間違いはない。

巻末 (3-2) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ

100 世界遺産の旅 (30)

あるじ ベルサイユ宮殿の主たち

今回は、宮殿内の見学よりも庭園の散策に多くの時間を費やした。庭園への入園は無料で、レストランやサンドイッチスタンドも利用でき、長時間の散歩も楽しめる。ベルサイユ宮殿は、太陽王ルイ 14 世によって建設されたが、その原形となったのが、臣下ニコラ・フーケのヴォー＝ル＝ヴィコント城であった。その出来栄が余りに見事だったので、ルイ 14 世は、ひどくプライドを傷つけられ、フーケを公金横領の罪で投獄したほどだ。当時は、絶対専制君主制で「何でも有り」の政治形態だった。

ベルサイユ宮殿の広さは、日本の皇居の 5 倍くらいで、ルーブル宮殿より移転し、王族と貴族を合わせて約 3000 人が居住していた。ルイ 14 世は、目に映るファッション性豊かな貴族を多く登用したため、貴族は、こぞってファッションにお金を投じた。ハイヒールは、ルイ 14 世が最初の愛用者であり、フランスのファッション業・ブランドがこの時代より発展した。

ファッションは、芸術へ広がりを見せ、宮殿内のサロンは啓蒙思想を開花させた。ルイ 14 世のフランスは、ヨーロッパ最大の国となり、フランス語は、ヨーロッパの公用語となった。なお、啓蒙専制君主制は、フランスを指すのではなく、フランスをモデルとし啓蒙主義の合理的思考を取り入れて、国づくりを進める中東欧諸国の政治形態を云う。



ベルサイユ宮殿正面と庭園、2013 年 7 月

ルイ 15 世の後にベルサイユ宮殿の主となるのが、ルイ 16 世とマリー・アントワネットであったが、両者とも悲劇的な死をとげる。フランスは、アメリカ独立戦争でアメリカ側に加担し、その支出のため財政難に陥り、負担を聖職者や貴族に課そうとしたので反発を受け、1789 年フランス革命が勃発した。革命当初は、立憲君主制を模索したが、ルイ 16 世

は弾圧し続けたため捕えられ、1793 年 1 月にコンコルド広場でギロチンにより斬首刑された。

マリー・アントワネットは、オーストリア・ハプスブルグ家マリア・テレジア女帝の第 9 子で、政略結婚でフランスへ嫁いだ。彼女についてはいろいろな逸話があるが、子供をもうけてからは、母親として尽くしたようである。子供は 5 人授かり、うち 3 人は、幼くして失っている。次男ルイ・シャルルは、獄中で精神を病み、全身をカリエスに冒され 10 歳で他界した。



天寿を全うしたのは、長女マリー・テレーズ (祖母のマリア・テレジアの名を継承) だけであったが、その生涯は弟達たちよりも悲惨で、戦争捕虜交換として母親の国/オーストリアへ行き、73 歳で死んでいる。マリー・アントワネット自身と云えば、フランス革命時にシテ島のコンシェルジュリー (収監室見学可) に投獄され、ルイ 16 世と同じ 1793 年の 10 月に 37 歳でギロチン刑の露と消えた。

処刑された理由は、夫ルイ 16 世と共に実家のあるオーストリアへのヴァレンヌ逃亡を含む「国家への裏切り」とするシナリオが準備されていた。



王妃の家、ベルサイユ宮殿、フランス、2013 年 7 月

ベルサイユ宮殿の北西に「王妃の家」と云う館があり、マリー・アントワネットが、子供たちと共に田舎暮らしを体験した所である。彼女にとって、「王妃の家」で子供たちと一緒に暮らした日々が、最も幸せな時間であったらと想われる。

100 世界遺産の旅 (31)

街道の街ストラスブーグ

「世に争いの種は尽きまじ」 ストラスブーグは、ドイツとフランス両国の激しい争奪の的になった街で、現在ライン川に近いフランス西部のアルザス地方に属する。丁度、サイの角の様にドイツに飛び出したところで、住民は、ドイツ系が多く、当然ドイツ語も使われ、建物もドイツ風の本組みの家が多い。

本組みの家は、解体・再建が容易なため、不動産でなく動産扱いなのは、戦争への対応策かもしれない。



本組みの家、ストラスブーグ、2013年7月

ドイツがフランスに勝利した唯一の戦争は、普仏戦争であった。1871年、ヴィルヘルム1世とビスマルク率いる軍隊がパリを占領し、ヴィルヘルム1世は、ベルサイユ宮殿でドイツ皇帝につき、ドイツ帝国が始まった。サッカーで有名なドルトムントの近くにあるルール川岸辺の山頂に、その時の勝利を記念して、巨大なヴェルヘルム1世とビスマルクの銅像がパリに向けて立っている。そこへ、2002年4月に連れて行って貰った事がある。まず日本人が行く所ではないが、見晴らしも良く、工業地帯のルール地方、ハンザ同盟を学ぶには良い機会であった。

朝9時にストラスブーグに到着し、トラムを利用して大聖堂へ向かった。ストラスブーグの大聖堂は、ゴシック様式の一角尖塔で知られているが、形からすれば対称にもう一つの尖塔を造る設計に見受けられた。

「街道の街」を意味するストラスブーグは、ライン川の支流・イル川の中州に築かれ、観光船での見学がハイライトである。約1時間10分のクルーズであるが、市内に流れる川に1.2mの滝の落差があるため、途中、船はドックに入り、水を注入して上流へ上り、帰路またドックに入り、水を抜いて下流へ戻る。ドックの開閉は、各10分位だが興味深い体験だった。

クルーズの最後に訪れるのが、欧州評議会でもドイツとフランス間の「火種の街ストラスブーグ」という事で、その設立理由が単純明快に納得できた。



ストラスブーグ大聖堂、フランス、2013年7月

1770年4月、大聖堂隣の華麗な大司教のロアン邸館で、オーストリアより婚礼のためにやってきたマリー・アントワネットがフランスの第一夜を過ごした。

翌日彼女は、全てフランスのものに代える為、引き渡しの儀式の場所へ向かっている。



欧州評議会、フランス、2013年7月

活版印刷で有名なグーテンベルグは、ストラスブーグより北300kmのライン川沿いのドイツ・マインツで生まれ育ったが、政争に巻き込まれ、一時期ストラスブーグに滞在した。ストラスブーグは、貨幣製造の街だったので活版印刷に欠かせない技術と材料があり、印刷の研究に大いに手助けとなった。

後に、マインツへ戻り印刷機を製作し、第1次メディア革命を引き起こした。なお第2次メディア革命は今日のインターネットを云う。

またストラスブーグは、文豪ゲーテが通った大学の街としても知られている。卒業後にフランクフルトで発表したのが、「若きヴェルテルの悩み」である。次に、ストラスブーグでの失恋相手、フリーデリーケの姿を投影し、戯曲「ファウスト」を世に出した。

若さと女性に関わる悩みは、ゲーテをしても解けない人生の難問であった事を知り、なんとなく安堵感に浸るストラスブーグでの一日であった。

100 世界遺産の旅 (32)

ジャンヌ・ダルクとランス大聖堂

パリより北東へ電車で約1時間、「ゴシック建築の女王」と呼ばれるランス大聖堂を訪れた。今まで見た多くの大聖堂の中で、最も重厚で左右対称の壮麗な寺院であった。大聖堂とは、司教が座る椅子がある聖堂で、正式にはランスのノートルダム(我々の貴婦人＝聖母マリア)大聖堂と云うが、ノートルダムと云えばパリの大聖堂を指すことが多いので、便宜上、地名を前につけて呼ぶようだ。

ランス駅より徒歩で20分位の所にあるランス大聖堂は、由緒正しく、13世紀から19世紀まで歴代フランス国王の戴冠式が行われたところである。また、祭壇の奥側にロシア出身のマルク・シャガールのステンドグラスがある事でも知られている。

ランスが位置するシャンパーニュ地方は、シャンパンの生産地として有名で、大聖堂前の洒落たワインハウスで少しばかり高級なシャンパンを頂いた。

間違ってもスパークリングワインをシャンパンと云ってはならないのは、昨今の偽装事件の戒めであるが、どちらも似た様なものなので、家庭では安価なスパークリングワインを大いに楽しもう。



ランス大聖堂 (15:00)、フランス、2013年7月

15世紀、英仏100年戦争中に現れた救国の少女ジャンヌ・ダルクは、1428年、聖ミカエルの「シャルル王太子をランス大聖堂で戴冠させよ」とのお告げどおり、シャルルのお尻をひっぱたいてランス大聖堂へ連れて行き、自らも式に列席し戴冠させた。

聖堂内にはジャンヌ・ダルクの絵や彫刻が飾られ、前庭には彼女の騎馬像が建っている。騎手は、映画で主演を演じたイングリッド・バーグマンと何がしか似ていると感じた。敗色濃厚のフランスを奇跡的に勝利へ導いたが、1431年5月、19歳の若さで、魔女としてルーアンで火炙りの刑に処せられた。

彼女が有名になったのは、ナポレオンの時代で、フ

ランスを代表する政治的象徴とみなされた。恐らく、革命時、フランスへの愛国心を鼓舞するプロパガンダに利用されたのだろう。



ジャンヌ・ダルク像、ランス大聖堂、2013年7月

当初の計画では、パリの北西で、ジャンヌ・ダルク教会があるルーアンを訪れ、彼女を偲ぶ予定であったが、指定券の購入を間違えて、パリの北にあたるアミアンへ行くことになってしまった。7月のフランスは、夏のバカンスの真っ只中で、指定席をとるのに最低1時間は並ばざるを得ず、次の機会とし、ジャンヌ・ダルクには心の中で詫言った。



アミアン大聖堂 (10:00)、フランス、2013年7月

ピカルディー地方にあるアミアン大聖堂は、高さ42.3mを誇るフランス最大で、ゴシック建築の傑作と云われている。この大聖堂は、ランス大聖堂と共に世界遺産である。今回気づいたことであるが、多くの大聖堂は、西向きに建てられているようだ。

「オリエント」とは東と云う意味であるが、その東が、人類の発祥の地、楽園と考えられたので、祭壇が東側に位置し、扉口が西側になるように設計される。

この方向を決めることを「オリエンテーション」と云う。入学、就職後に「オリエンテーション」を受けるが、これは、方向性を決めることで大聖堂の配列に由来しているようである。

100 世界遺産の旅 (33)

不可解なストーンヘンジ

世界遺産多しと云えども、これほど不可解な世界遺産はない。ロンドンより西へ、バスで2時間のところにあるストーンヘンジを訪れた。ヘンジとは環状列石と云う意味で、巨石で円を形成しその上に石を置いた遺跡である。紀元前 2400 年頃から 800 年の間に築かれ、その目的は、天文観測という説、また先史時代の祭祀の遺構と云う説もあるが、結局のところ何も分からない石群が、世界遺産になっているのだ。

イースター島のモアイ像であれば顔形があり可愛げもあるが、こちらはただの石を置いているだけである。オーディオガイドを聞いていても、各節の終わりに必ず「何故か分からない」の一言が付く。

ただ、観光客の数は、半端では無く、まさに世界遺産の優等生であった。現在、200m 位離れたところに新しい駐車場とビジターセンターを建設中である。恐らく、そこから遺跡までは電気自動車を走らせて、一層の格式を持たせる戦略であろう。



ストーンヘンジ、イギリス、2013年7月

非科学的時代は、不可解な事象に対し恐怖心を抱き、宗教に救いを求めるが、是科学的時代は、不可解な事象に対し好奇心を覚え、見世物と云うビジネスへと向かう。ストーンヘンジの運営は、ナショナル・トラストというボランティア団体で、「世界遺産と環境保全」のコラボレーションを強くアピールすることで付加価値の高い商品に仕上げ、その運営で多くの雇用を生み出す新しい産業と考えて良い。

今後、日本も「国立公園」や「世界遺産」の運営を雇用の観点から研究しても面白い。また、首都ロンドンでは移民が働き、地方ではイギリス人が働くとする大まかな住み分けが進んでいるように感じた。

ストーンヘンジの後、西のプリストル海峡の近くにあり、温泉で有名なバースへ向かった。バースは、地名であるが、風呂 (Bath) の語源である。ローマ時代に温泉の町として栄えた町は、1880 年に発掘され高級リゾート地として発展した。現在も温泉は沸いているが、見学するだけで、残念ながら入浴は出来なかつ

た。イギリス、フランスには温泉に入る習慣が無いようであるが、他方、イタリア、スイス、ドイツには温泉を楽しむ習慣を有する。



ローマ浴場遺跡、バース、イギリス、2013年7月

ドイツ語で、バーデン (Baden) という語自体が、「入浴」を意味しており、そこから Baden という地名がついた。フランクフルトより南に 130 km、ドイツ南西部の温泉保養地、Baden-Baden である。

シュバルツバルト (黒い森) の北西に位置し、ローマ時代の浴場跡が残るヨーロッパ有数の温泉地として幅広く知られる。また、スイスには、チューリッヒの近くに Baden の町がある。20 年ほど前に、現地の方の紹介で、由緒のある温泉ホテルに滞在したことがある。温泉と云っても、水着に着替えて少し温めの巨大プールに浸るか、泳ぐのが一般的である。

そして、Baden の近くにライン川で唯一、荒々しい表情を見せる「ラインの滝」がある。シャフハウゼンの街で Baden より電車とバスを乗り継いで約 40 分、是非探訪をお勧めしたい景勝の地である。



レイコック、コッツウォルズ、2013年7月

ツアーの最後に、コッツウォルズ地方を訪れた。映画の「ハリー・ポッター」の町として有名なレイコックで、散策しながら田園風景を楽しんだ。

イギリスは3度目の訪問で、その都度、大英博物館を覗いているが、今回初めてロゼッタ・ストーンに逢うことができた。大英博物館の入場は、2005 年ごろより無料である。1801 年、イギリスが、エジプトでフランスより掠め取ったロゼッタ・ストーンは、皮肉にもフランス人シャンポリオンによってヒエログリフが解読された。それは、古代エジプト史研究におおいに寄与する歴史的快挙であった。

100 世界遺産の旅 (34)

LCC の落とし穴

LCC とは Low Cost Carrier の略で、昨今、各地域で売り出し中の格安航空会社である。今回は、片道 1 万円/人の料金で、ロンドンよりモロッコのマラケシュへ EasyJet と云う英国系の LCC を利用したが、そこでやってはならない失敗をしてしまった。

2013 年 7 月 15 日、ロンドンの南西にあるガトウィック空港、午前 6 時 25 分発のフライトに搭乗するため 6 時 6 分にゲートに着いた。ゲートには女性 2 人の担当者が待ち構え、うち 1 人が You have missed the flight. と云う。すでに最終バスは 1 分前に出たようだ。

こちらは呆然となり、We have enough time. Thus, drive us to the airplane on any vehicle. と食い下がったが埒が明かず、結局は乗り遅れて、出国ロビーの中央カウンターへ戻された。確かに、搭乗券には、搭乗時刻 5 時 45 分と記載されていた。LCC は、出発ゲートより直接飛行機に渡る搭乗橋を持たず、多くはバスで飛行機へ向かうため、搭乗時刻を早くに締め切るようだ。



ガトウィック空港、ロンドン、2013 年 7 月

中央カウンターより EasyJet オフィスへ電話をすると、しばらく待てというので待機していた。すると、モロッコ人らしい若者が、同じく乗り遅れてやって来た。また元ヒッピー風の中年イギリス人の男性 3 人が、別のスペイン行の飛行機に乗り遅れてカウンターで屯していた。30 分ぐらいして、係りの女性が現れ、計 7 名が入国管理のカウンターを逆流し、Baggage Claim でスーツケースをピックアップした後、EasyJet のチェックインカウンターに着いた。

幸い、我々は、夕方に別の空港よりマラケシュ行の便があり、しかも空席があるということで追加料金を支払った。当初、季節柄、次のフライトを得るため、2~3 日はロンドンに滞在かと腹を括っていたが、幸運であった。すぐに、電車でロンドンへ戻り、そこでバスに乗り換え、約 3 時間かけてロンドンの北にある

スタンステッド空港に辿り着いた。

乗り遅れの原因は、極めて愚かであった。残金が 1 ポンド (150 円) あり、チョコレートを買おうと思い、最初 60 円のチョコを見つけたが、その後 120 円のチョコが現れ、レジへの往復に時間を取られてしまった。結局、150 円のために、追加料金と交通費を合わせて 24,000 円 (二人分) の余分な出費になった。

当日は、午前 2 時起床、駅に近いホテルだったが、安全を期して車でヴィクトリア駅へ行き、ガトウィック空港の到着は午前 4 時、そして 6 時 6 分に乗り遅れて、人生で忘れられない 1 日になってしまった。小さくケチって大きく損をするのは、われら夫婦の責任によるもので文句の言いようがない。



スタンステッド空港、ロンドン、2013 年 7 月

従来型航空会社の営業方針は、「顧客に満足を与え、結果として収益を上げる」であるが、一方 LCC は「顧客を教育し、結果として収益を上げる」である。低価格で顧客を釣り上げて LCC の指示に従わせるのである。アメリカには「Change the Game」と云うマーケティング手法があり、まさにそれである。

同じ条件では勝てないので、発想の転換で逆転する作戦である。老舗のパンアメリカン航空 (Pan Am) が、アメリカン航空のマイレージ導入によって市場より退場したのは良い例である。日本でも、優良会社と云うべき日本航空が、実質倒産となったのは、親方日の丸の古典的な経営以上に LCC の台頭が、大きな要因であったことは否定できない。

出発便が集中する LCC のカウンターは、非常に混雑するので、利用の際は、3 時間前に空港へ到着したい。また、ヨーロッパなどでは、サマータイムの導入日にも気を付けよう。機内に預けるスーツケースも 20Kg 以下で事前に計量したいし、食事は有料なので軽食を用意すれば節約になる。

LCC を利用する場合は、軽量荷物、早々空港到着、残った少額外貨の寄付が、鉄則のようである。100 十数回目の海外旅行にして、初の苦い体験だったが、これも旅 (人生) の教訓として心に刻んでおきたい。

100 世界遺産の旅 (35)

欧州旅事情

ヨーロッパを訪問すると、必ず、移動手段として鉄道にお世話になる。ただ困ることは、全車両とも座席が、前向きと後ろ向きの半分ずつに分かれているのである。日本の新幹線のように座席を回転して、進行方向に変えれば良いと考えるが、そうはいかない。

例えば、ナポリ発ミラノ行の列車は、次のターミナル駅ローマに入りスイッチバックで出ていく、フィレンツェ駅でもまたスイッチバックで出てミラノへ向かう。当初、進行方向に向かって座っていても、次のターミナル駅で後ろ向きになり、最後には、訳が分からなくなる。対策として、ターミナル駅を無くすしかないが、一朝一夕にはいかない。

もう一点ヨーロッパで困るのは、列車の入り口とプラットフォームの段差である。ローマ駅では1.2m差も荷物を抱えて登らねばならず、年寄りにとっては重労働であるが、こちらも改善策は無いようだ。

速度と安全を競う日本の新幹線とフランスのTGVの違いは、TGVには先頭と後尾に機関車を配置し、それぞれに客席はない。日本の新幹線のように駆動モーターを床下に置けば効率が良いと考えるがどうだろう。また、TGVは、客車と客車の間に車輪の台車があり、新幹線の客車ごとの台車と異なる。



モスクワ⇒ペテルブルグ行特急、2013年6月

ヨーロッパで気を付けなければならないのは、スリ軍団である。もともと南部ヨーロッパに多くいたが、不況と取り締まりのため、現在、パリが最も危ない。2メートル先を歩いていた家人が、突然尻餅について転倒した。見ると4~5人のジプシー風の女たちが、家人を取り囲んでいた。すぐさま「Go away!」と叫んで追い払った。尻餅をついたのは、前方の1人がバックに手を出してきたので、後ずさりするとき足が絡んだようだ。スリのやり方は、先頭のひとりが、紙を提示する振りをしてバックを覆い、ファスナーを開けて財布を抜くのである。残りの4~5人はカモの周りを取り囲み、腕などを握って動けないようにする

手口だ。特に、パリのオペラ座、モンマルトルの丘、エッフェル塔付近にスリ軍団が多く屯していた。

また、地下鉄の駅には、フランス語、英語、日本語で「スリに注意」と警告表示があり、日本語の掲示があるのは、多くの日本人がカモられている証拠であろう。今年、ルーブル美術館が、ストで休館になった事がある。館内で、スリの被害が多くなったにもかかわらず、対策を講じない当局への抗議であった。美術館、博物館におけるスリにも注意を要する。



スリ軍団、パリ・オペラ座前、2013年7月

今回の訪問で、驚かされたのは、ロシアのモスクワ、サンクト・ペテルブルグ、フランスのパリ、イギリスのロンドンでは、寿司ブームで多くのすし店が目貫通りに出現していた。見たところ、主なメニューはサーモンと巻き寿司であったが、今後、世界的に寿司ネタの争奪戦が、広がる懸念を感じた。また、ロンドンでは、日本の弁当専門店があり、多くのビジネスマンが弁当、おにぎり、巻き寿司を購入していた。



回転すし、ガトウィック空港、英、2013年7月

2013年10月22日に「和食；日本人の伝統的な食文化」について、ユネスコ補助機関から「記載(登録)」の勧告がなされた。食に関する無形文化遺産は、「フランスの美術術」「スペインなど4カ国の地中海料理」「メキシコの伝統料理」「トルコのケシケキ(麦がゆ)の伝統」に続いて5件目の登録になる。日本人が考える以上に海外では日本食ブームで、2013年12月の正式登録は、至極当然であるが、世界へ向けて「本物の和食」の発信も必要となる。また、水産資源の保護も、世界有数の消費国である日本は、リーダーシップを取っていかねばならない。

巻末 (3-2) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ

100 世界遺産の旅 (36)

ラマダンのマラケシュ

モロッコは、アフリカ大陸の北西部にあたり、地中海と大西洋に面し、ジブラルタル海峡を挟んでスペインと接する。長くフランスの保護領であったので、第2言語としてフランス語が、日常的に使われている。

隣国スペインがモロッコを征服しなかった大きな理由は、まず国土回復運動で、ヨーロッパよりイスラム教徒の追い出しに勝利したと同時に、アメリカ大陸の発見と、その後の搾取と殺戮に忙しく、歴史上有頂天になった時期と重なったからであった。

なお、スペイン側の「ジブラルタル」は英国領で、モロッコ側の「セウタ」はスペイン領で、現在も三つ巴の領有権闘争が続いており、隣国や隣人と揉めるのは、古今東西とも変わらない。



クトゥビーヤ・モスク、マラケシュ、2013年7月

モロッコの国名は、古都マラケシュの名を訛って発音したのに由来する。マラケシュは、アトラス山脈の北側の麓に位置し、椰子の木立が見られオアシス都市の面影を残している。

旧市街地の中心にあるジャマーチ・エル・フナ広場は、アラビア語で「死者たちの集会」を意味し、その昔は、公開処刑場であった。現在は、昼に露天商、猿回し、蛇使い、水売りが広場を埋め、夜はモロッコ料理、果物と飲み物を扱う屋台が立ち並ぶ。

フナ広場の周りにスークと云う市場があるが、フェズ旧市街と同じように迷路が入り組み、ロバが立ち止まって排尿するし、客引きが煩わしいのでパーブッシュ(皮のスリッパ)を購入後に早々退散した。

我々が到着した7月15日は、既にラマダンが始まっており、イスラム教信者は、日の出より日の入りまで断食する掟がある。当然レストランも閉店で、一番困るのが、昼食であるが、外人用と云うことであろうか、マクドナルドとケンタッキーの2店だけはオープンしていた。よってモロッコ滞在中、我々の昼食はすべて、悪名高きメタボ温床のアメリカン・ファーストフードであった。当初、ラマダンに気が付かなかったが、町全体に活気が無く、ホテルの従業員もナーバ

スな感じであった。日没後は夕食なのか、運転手は、全員帰宅してバスは運行されないし、タクシーも少なく、拾うのに難儀した。



フナ広場屋台、マラケシュ、2013年7月

マラケシュよりカサブランカへの鉄道は、1人1400円の運賃で、4時間の退屈な砂漠の風景であった。座席はコンパートメントで、ニューヨークから来た50代半ばのカップルと同席であった。会話の内容からして夫婦ではなさそうだったが、女性の方は、上品で、同じ趣味のテニスで会話が弾み、私の「100世界遺産の旅」に興味を示し、質問してきた。概要説明として英語版「100世界遺産の旅チェックリスト」の提案があったので作成する事にする。



大西洋海水浴場、カサブランカ、2013年7月

「カサブランカ」は、映画の題名であるが、現地に所縁のロケーションはない。また、カサブランカ自体に観るべき所が無かったので、80円のトラムを利用し、アイン・ディアブの海岸を訪れ大西洋を眺めることにした。砂浜の素晴らしい海水浴場であったが、ラマダンの日中は、開店閉業の様だった。

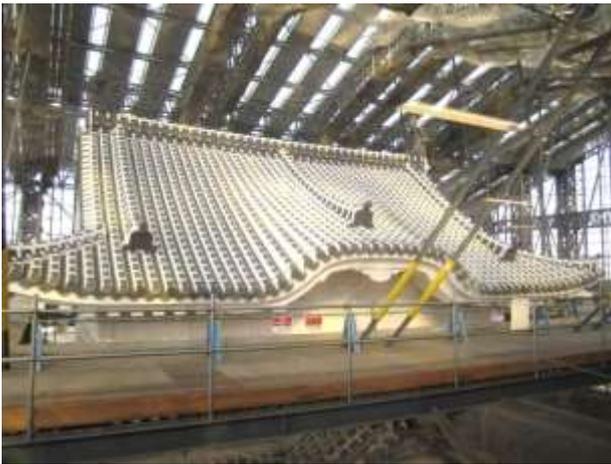
ラマダンの習慣は、経済発展、健康を含む日常生活に対し極めてネガティブな要素だと感じた。そろそろ、宗教改革をしてラマダンを教義から外しては如何とは、要らん無宗教者のお節介であらう。

100 世界遺産の旅 (37)

天空の白鷺/姫路城

「閑中さらに閑あり」と云うことで、師走の小春日和の1日、「平成の修理」を見学するため姫路城を訪れた。事前に予約していたので、入場券購入の列を横目で見ながら、鯉の滝登りとばかり「天守閣と鯨」が、目の前に見えるレベルまで一気に到達した。平成の修理は、新しい瓦の葺き替えと白い漆喰の塗り替えが主な工事で、そのほとんどが終わっている状態であった。2014年に鉄骨の足場が取り外され、2015年4月より一般公開が始まる予定だ。

1956年に「昭和の大修理」が行われたが、その時は300年に一度と云われる大修理で、城の大黒柱の心柱まで交換された。ボランティアガイドに聞いてみると、大修理とは、心柱の交換を含む大掛かりな修理で、平成の修理を「大修理」と云わないようである。なお、「姫路城」は、日本で最初の世界遺産で「法隆寺地域の仏教建造物」と同じく、丁度20年前の1993年12月に正式登録された。



天守閣と鯨、姫路城、2013年12月

姫路城が現在の姿になったのは、関ヶ原の合戦後に、西国の外様大名監視の目的で西国探題設置のため築城されたことに始まる。

- 1601年 池田輝政、姫路城築城を開始。
- 1609年 五重六階地下一階の連立式天守閣完成
- 1618年 千姫が本多忠刻に嫁いだのを機に、西の丸が整備され全容がほぼ完成。
- 1868年 酒井忠邦、版籍奉還を申し出

明治時代の廃仏毀釈で多くの古刹が取り壊され、同じく反乱防止と云う名目で城郭の取り壊しが行われた。日本人が、文化財保存の重要性を悟ったのは、太平洋戦争後であった。現存天守を備える城は12を数えるが、姫路城は、その中で最大であり、築城当時の状態が、完全に残された城の中の城である。さて、歴史小説の愛読者にとって、姫路城といえば、姫路で生まれた黒田官兵衛であり、また官兵衛が、居城の姫路

城を献上した豊臣秀吉であろう。2014年のNHK大河ドラマは、その「軍師官兵衛」である。早速、姫路城では便乗商法の「官兵衛の歴史館」を1月12日よりオープンする。2012年のNHK大河ドラマ「平清盛」は、兵庫に所縁のある物語であったが、人気低迷に終わり、神戸っ子としては、NHKに「軍師官兵衛」で名誉挽回を願うものである。



西の丸(千姫の化粧櫓)、姫路城、2013年12月

屋根の修理に使われる新しい漆喰は、現在でいう充填剤で、基本材料に用途に合った素材を加えて練りあげる。漆喰と云えば「塗り」に注目が集まりがちだが、「練り」も左官職人の重要な仕事であるようだ。

姫路城では伝統的な漆喰が使用され、下塗りの後、砂摺り・下付・中塗りへと進み、最後に上塗りをして完成である。上塗りは、消石灰+貝灰+麻の繊維の材料が使用される。漆喰を塗る仕事を左官と云うが、今日その後継者が少ないと聞く。昨今の就職難を考えれば、軟な仕事に着くよりは、左官職のような現業の、男らしい仕事を志すのも良いだろう。



漆喰工程、姫路城、2013年12月

姫路城を訪れる前に、西の相生へ向けて播磨灘をドライブした。現在、相生は、牡蠣の養殖が盛んで、貝殻付の牡蠣を買い求めて、夕食時に酒の肴にした。火に掛けて焼くと貝殻と熱汁が、パチパチと飛び散るので危ないが、味は絶品であった。戦国時代、黒田官兵衛も豊臣秀吉も、炭焼きで瀬戸内の「海の幸」を食しながら「毛利攻め」を画策したのであろう。

100 世界遺産の旅 (38)

コンスタンティノープル

南米への途上に、トランジットを利用してイスタンブールを再度訪問してみた。午前5時45分に到着、メトロとトラムを利用してイスタンブールの市内へ出かけて、約8時間、ビザンチン帝国時代の遺構を求めて散策した。早朝の清々しい空気の中、行きかう連絡船を横目に、まずはアジアとヨーロッパを隔てるボスポラス海峡を遠くに眺めてみた。



アヤソフィア大聖堂、イスタンブール、2014年03月

イスタンブールは、ビザンツ帝国時代にコンスタンティノープルといわれてきたが、この街にその当時の建造物、彫像が見当たらないのが不思議でなかった。残存するビザンツ時代の遺跡は、アヤソフィア大聖堂、ローマ水道と城壁くらいである。東西ローマ帝国へ分割されたのが395年で、西ローマ帝国が滅亡したのが476年、一方ビザンツ帝国が滅亡したのが1453年で、遥かに長い歴史を有する。

オスマン軍がコンスタンティノープルを陥落した時に、そのほとんどを破壊してしまったのであろう。しかし、イスラム教徒は、ユスティアヌス1世の栄華の代表であるアヤソフィア大聖堂に畏敬の念を抱き、その大聖堂を破壊せずに、4本のミナレットを追加してイスラム様式の寺院に改造した。

当時、アヤソフィアの内壁を飾っていたモザイク画は、漆喰で塗りつぶされたが、後になって除去され、モザイクのイエス像は、斑であるが観ることができる。アヤソフィアに並ぶように建てられたスルタン・アフメッド・ジャミイ(ブルーモスク)は、一段と大きく、イスラム教への犯しがたい威厳を示そうとした。

そしてアヤソフィアを囲むように、更に4つのジャミイ(モスク)を配置し、ビザンチン帝国の再興を抑え込もうとするイスラムの強い意志がうかがえる。有名なグランドバザール(屋根付き市場)は、それらジャミイの中心部に位置する。

巻末 (3-3) 中米/南米



地下宮殿、2014年03月

今回、アヤソフィア大聖堂に近い「地下宮殿」を訪れてみた。宮殿と云っても、ヴァレンス水道橋より運ばれた水の貯蔵を目的とした地下の建屋で、オスマン軍によって発見されなかったために破壊を免れ、コリント式の支柱が優雅に残る。地中海沿岸同様に、コンスタンティノープルにも、この様なローマ様式の建造物が点在していたに違いないと確信した。



ヴァレンス・ローマ水道橋、2014年03月

ビザンツ帝国(東ローマ帝国)は、偶像、聖像を禁止したようである。特に726年、レオン3世は、聖像破壊運動を展開した。元来、聖書は、偶像崇拜を禁止しているので、その点、西ローマ帝国のキリスト教は、特異な存在だったのかもしれない。しかし、その特異性で、我々は、文化遺産と云う心とむ財産を目の当たりに出来るのである。



オリエン特急行終着駅、2014年03月

イスタンブールのシルケジ駅は、オリエン特急の終着駅である。「オリエン特急殺人事件」で有名なアガサ・クリスティーも、1928年、ロンドンを出発してイスタンブールを訪れ、その後ボラポラス海峡を渡り、ペイルート、ダマスカス、バクダットまで足を延ばしている。オリエン特急は、1918年の第一次世界大戦の終結と相まって、ヨーロッパの人々にオリエン特への旅情を一層かき立てた。

100 世界遺産の旅 (39)

南米のパリ

アルゼンチンのブエノスアイレスに到着したのが、朝の 8 時、生憎の強雨で憂鬱な一日の始まりかと案ぜられた。空港バスの案内所が分からず戸惑ったが、歩いて 100m 位の所で幸い庇があったので濡れずに済んだ。まず案内所でバス代 1400 円を支払い、市内のターミナルまで行き、そこから乗用車に分乗してそれぞれの目的地へ向かった。見知らぬ街で、空港より市内のホテルへ、しかも公共交通手段を利用してアクセスするのが、最初の難関である。

予約したホテルは、典型的な観光客向けで、フロントの担当者は、流暢な英語を話し、こちらからの質問にも的確な対応で、上手く教育されていた。フロントに置かれた交通情報、各種ツアーの案内も解りやすく、利用させてもらった。到着は、午前 10 時であったが、幸いアーリーチェックインが可能で、早速荷物を解いて市街へ飛び出した。



ブエノスアイレス、アルゼンチン、2014 年 03 月

11 時ごろから、天候が回復して青空が見えてきた。ブエノスアイレスは「いい空気だ」と言う意味であるが、元々は、聖母ブエン・アイレスに由来している。緯度は、神戸と同じ 35 度、季節は、反対の初秋で、半そでとショートパンツ姿で散策できた。

街は、ラ・プラタ川の河口に広がる港町で「南米のパリ」と称され、ヨーロッパ風の街並みが続く。モンセラート地区には、歴史的、政治的に重要な建物が集まり、1~2 時間程度で回れる広さであった。行きかう人々は、殆どがヨーロッパ系で、先住民や黒人らしき人々は、極めて少数であった。

1810 年 5 月 25 日、スペインからの分離独立を目指して、アルゼンチン生まれのクリオージョが、革命をおこした。1807 年、スペインは、フランスよりナポレオン軍の侵攻を受け、その対応に追われたためアルゼンチンの独立を阻止できなかった。



5 月広場と独立宣言のカピルド、2014 年 3 月

大航海時代の時に、中南米を支配したのは、スペインとポルトガルだった。こうしたラテン系のヨーロッパ諸国が支配し地域を「ラテンアメリカ」と呼ぶ。

スペイン支配下の国々では、長い植民地時代を通し、人種構成（差別）として、ペニンスラール（スペインで生まれ植民地支配のトップ）とクリオージョ（植民地で生まれ育ったスペイン人）は、区別されていた。そりより下層に、スペイン人と、先住民や黒人との混血の人々（メスティーノ、ムラート）が位置づけられ、最下層に先住民や黒人がいた。

まさに「ラテンアメリカ版カースト制度」であった。しかし、アメリカ合衆国独立やフランス革命に刺激を受け、19 世紀初頭、ラテンアメリカ諸国は、クリオージョ主導のもとに続々と独立していった。



大統領府（カサ・ロサーダ＝ピンク色）

1997 年のアジア通貨危機の影響をうけ、アルゼンチンは、対外債務不履行（デフォルト）に陥った。当時、よく韓国へ仕事に出かけ、各所で目にした「IMF Discount」の表示を思い出す。「IMF の救済に対するお礼の値引き」と言う意味である。1990 年代、アルゼンチン 1 ペソ=1 米ドルの価値であったが、現在、1 ペソ=0.13 米ドルへの凋落を見て、国債乱発国/日本の行く末を憂えざるをえなかった。

100 世界遺産の旅 (40)

イグアスの滝

イグアスの滝は、北米のナイアガラの滝、アフリカのヴィクトリアの滝と共に、世界三大瀑布と称される。「イグアス」とは、先住民グアラニ族の言葉で「巨大な水」を意味する。かつてこの地を訪れたアメリカ大統領夫人のエレノア・ルーズベルトは、イグアスの滝の規模の大きさに思わず「可愛そうな私のナイアガラ……」とつぶやいたそうである。

イグアスの滝は、1984年にアルゼンチン側が、1986年にブラジル側が、ユネスコ世界遺産に登録されたが、それぞれ個別の世界遺産である。アルゼンチン側のイグアス国立公園では、トロッコ列車、遊歩道、陸橋、レストラン、ホテル等が整備され、1日を通して楽しむことが出来る。



イグアスの滝、アルゼンチン、2014年3月

ブエノスアイレスよりイグアスへ行くため、国内空港に朝8時に到着した。国内線のチェックインは、1時間前で可能と云う事であったが、大変な混み合いで9時のフライトに間に合うか心配であった。係員より9時のフライトは、2時間遅れと聞いて、思わず絶句した。当初、現地滞在は、3時間を予定していたので、2時間遅れでは1時間しかない。

しかし、不幸中の幸い、復路のフライトも1時間遅れで、現地に2時間滞在することが出来た。取りあえず、イグアス空港着後に、往復ギャランティーのタクシーを手配してイグアス国立公園を目指した。

入門より10分程度の徒歩で、トロッコ列車の始発駅に着いた。そこより、最大の見どころである「悪魔の喉笛」へ向けて出発した。トロッコ列車は、時速30kmくらいのゆっくりしたスピードで走る。約30分で終点に到着し、そこから徒歩で陸橋を渡り、15分位で目的地に着いた。イグアスの滝は、世界最大の滝で、「白糸の滝」のような優雅さと、「悪魔の喉笛」と呼ばれる荒々しさの二面を見せる。



悪魔の喉笛、イグアスの滝、2014年3月

「悪魔の喉笛」見学後、タクシー運転手との待ち合わせ場所であるシェラトンホテルへ、焦りながら急いで向かった。そのホテルからの遠望は、絶景で、テラスでビールを飲みながら、この景色を観る日本人は、少ないだろうと悦に入って眺めた。

タクシー運転手が、このホテルを指定したのは、願わくはホテルの客が同乗して空港まで送れば、2~3倍の料金を稼げると目論んだからである。結果はお生憎様で、客は私1人であった。それにしても、素晴らしい景色を堪能できたので、運転手にチップを弾んだ。



シェラトンホテルよりの眺望、2014年03月

イグアスの滝が、優雅な風貌を見せるのは、滝の幅が広いが故であろう。一方、ナイアガラの滝は、狭いながらも、怒涛の如く一気に滝壺へ落ちて行く様子は、迫力満点である。三大瀑布の内、ナイアガラの滝が、唯一世界遺産に登録されていない。

世界三大瀑布の比較			
項目	ビクトリアの滝	ナイアガラの滝	イグアスの滝
最大落差	108 m	51 m	64-82 m
幅	1,708 m	1,203 m	2,700 m
年間平均流量	1,088 m ³ /s	2,407 m ³ /s	1,746 m ³ /s

さて、未訪の「ビクトリアの滝」の景色は、いかなものであろうか？会える日を楽しみに、サファリと併せ、アフリカの探訪計画を練ってみたい。

巻末 (3-3) 中米/南米

巻末 (4-6) 世界3大瀑布

100 世界遺産の旅 (41)

パンパのガウチョ牧場

旅ではいつも、「二者択一」の難題に遭遇する。時間、路銀、疲労度を天秤に掛けた後に、決断を余儀なくされる。今回は、「アルゼンチン・タンゴ」と「パンパのガウチョ牧場」の二者択一である。スペインではフラメンコを観たので、本場のアルゼンチン・タンゴも見てみたい。反対に、アメリカの南部、ヒューストンやサンアントニオでは、牧場体験が、出来なかったの牧場を訪れてみたい。他愛もない話であるが、本人にとっては真剣である。



馬の調教・曲芸、ガウチョ牧場、2014年3月

結局、「パンパのガウチョ牧場」を体験することにしました。パンパとはアルゼンチンの草原であり、ガウチョとはスペイン人と先住民との混血で、主に牧場で働く牧童である。このツアーは、牧場生活を体験するテーマパークと考えると分かりやすい。

朝9時45分、バスがホテルまで迎えに来て、牧場に着くと、早速ガウチョが、馬に乗って迎えにやってきました。牛肉のたっぷり詰まったエンパナーダとウエルカム・ドリンクのワインが振る舞われる。

はじめに、当時の生活様式を知る為、牧場小屋の部屋を見て回り、見学後、乗馬と馬車を体験した。その後、食堂へ行きランチを頂いたが、その時に、ガウチョの歌とダンス、フラメンコ等が披露され、参加者も舞台下で一緒に踊る。嬉しいことに、絶望と思っていたアルゼンチン・タンゴもダイジェスト版であるが、舞台上に登場し見入ることが出来た。



アルゼンチン・タンゴ、2014年3月

ランチの後、ガウチョが、馬で早駆けして吊るされた指輪をピンで引っかけて取り、参加の女性客へ贈っ

てお開きとなる。現地で3時間の滞在であったが、なかなか面白い趣向で、退屈する暇はなかった。

同じツアーに参加したフランス人によると、牧童には二つのタイプがあるらしい。ベレー帽をかぶる牧童は、フランスからの移民で、西部劇に出てくるテングロンハットをかぶる牧童は、スペインからの移民の末裔である。ベレー帽は、芸術家の帽子と思っていたが、元々、牧童のものだったようだ。



アサード肉の網焼き、2014年3月

アサードとは、豪快な焼肉料理で、中央で燃やした木の焼け木杭を引き出して、ステーキ、チキン、フィレ、ソーセージの網の下に曳いて炙る。ステーキの味と云えば、不味い、硬い、冷たいの3悪揃い踏みであった。焼いている時、塩とコショウは、一切使わないし、要求してもコショウは、来ないという徹底ぶりである。元来、牛を飼う目的は、牛皮であって、残った肉をガウチョが食したのである。

「Identity」を重んじる南米人が故、その食文化も大事に継承しているのであろう。ステーキは、喰える代物でなかったが、フィレは、まあまあだったので、フランス人が、「Filet」は、フランス語だと、声高らかに自慢する始末であった。



手前よりフランス人、アメリカ人、チリ人 (各3名)

嘆きのステーキランチ、2014年3月

食事中に、「神戸ビーフ」の話題が持ち上がった。フランス人、アメリカ人とも、「神戸ビーフ」の名声を良く知っていたが、食の経験はなかった。私が、「神戸ビーフ」について解説し、毎日食べていると云うと、驚きの声が上がった。余りの驚き様だったので、「I take some beef at Kobe every day」と訂正したが、時はすでに遅しで、毎日、「神戸ビーフ」を食べる日本のセレブリティになってしまった。

100 世界遺産の旅 (42)

パナマ運河

思い込みほど怖いものはない。スエズ運河に水門はないが、パナマ運河に水門があるということは、以前より知識としてあった。そのパナマ運河における水門の必要性は、太平洋とカリブ海の水位の差だと、根拠もなく信じていた。実際に、パナマ運河を訪ずれてみると、驚くべき事実が待っていた。

南米と北米を結ぶ狭い陸地で、最も括れた所が、パナマである。なんとその括れた中央に、Gatun Lake という湖があり、船舶は、その湖を通過して、カリブ海または太平洋へ航行する。太平洋からカリブ海へ横断する場合、Milaflores Locks と Pedro Miguel Locks の二つの水門を通過して、上流の Gatun Lake へ遡航し、次に Gatun Locks の水門を通過してカリブ海へ降航する。

湖 Gatun Lake は、海拔 26m の位置にあり、水門を無くすためには、膨大な土砂の除去が必要であり、莫大な工事費がかかる。また、Gatun Lake の海水化で、日常生活水など環境問題につながる可能性がある。



Milaflores より Gatun Lake へ遡航、パナマ運河

午前9時、Milaflores Locks に到着すると、丁度、運よく大型客船が、通過する光景に遭遇できた。客船は、自前のスクリューで前進するが、Lock の側壁に衝突する可能性があるため、前後に4台の機関車のような車両が配置されている。それらの車両は、客船が左右に振られないように、ワイヤーで引っ張っているのである。一台の車両には、10人程度の職員が乗車し、なかなか難しい制御をしているようだった。水門に入った船は、停止し、その後20分位するとLockは、水で満たされる。そして上流側の水門が開かれ、客船はLockより離れて、上流へ航行していく。

機械式水門の開閉、機関車のような車両の作業を観覧し、40年ちかく機械業界の裾野に身を置いていた私にとって、久しぶりに興奮を覚えた。

巻末 (3-3) 中米/南米



カテドラル、カスコ・ビエホ、2014年3月

パナマ運河見学後、旧市街地のカスコ・ビエホを訪れた。カスコ・ビエホは、スペイン植民地時代に繁栄した古い町並みが残る処である。カテドラルをはじめに荘厳な教会や国立劇場など、スペイン様式のコロニアル建築が点在し、世界遺産に登録されている。

カスコ・ビエホは、新市街地の南に位置するが、新市街地の北に、パナマで初めて開かれたパナマ・ビエホがあった。しかし、イギリスの海賊ヘンリー・モーガンによってパナマ・ビエホが、破壊されたため、街の拠点をカスコ・ビエホへ移した。

米国人にとって、余生を過ごす移住先として最も魅力的な国にパナマが選ばれた。法定通貨に米ドルを採用し、英語の通用度が高いからである。バーの店主に聞くと、100㎡のアpartメントが2000万円ぐらいで、今後も値上がりすると予測される。



パナマ新市街地、2014年3月



パナマ旧市街地、2014年3月

新市街地は、シンガポールの高層ビル群を思い出させる。35年前だとシンガポールにもコロニアルな建物もあったが、今はもうない。旧市街地の様は、マレーシアのペナン島の中心地ジョージタウンに似ている。パナマと東南アジアは、異なる地域であるが、何となく懐かしい新旧の街並みであった。

100 世界遺産の旅 (44)

インカ帝国

インカ帝国は、悲惨この上ない状態で滅亡した。1532年、インカ帝国最後の皇帝アタワルパは、遠征先のカハマルカ（ペルー北部）でスペイン軍のフランシスコ・ピサロによって捕縛された。

アタワルパは、ピサロに助命を嘆願し、多額の金、銀を身代金として申し出たが、無下に没収されてしまった。さらに強制的にクリスチャン名フランシスコ・アタワルパへ改名させられた後、絞首刑に処せられた。金、銀の供与と改名は、斬首刑より絞首刑への減刑の情状酌量として取り扱われたに過ぎなかった。



カテドラル（大聖堂）、クスコ、2014年3月

ピサロ率いるわずかな数のスペイン軍は、各地で金、銀を略奪する目的で侵攻し、鉄器、馬を持たないインカ帝国の戦士は、いとも簡単に敗退した。しかし、犠牲者の多くは、戦闘よりスペイン人が持ち込んだ各種伝染病によるもので、免疫力を持たないインカの人々を造作もなく死に至らしめた。

ハワイ諸島でも同じで、多くの住民が、西洋からもたされた伝染病に感染して死んだ。ハワイ大学などでは、純血のハワイ原住民を探す目的で学費を免除する制度を設けたが、その制度に応募できる資格を持つハワイ島民を見つけ出せなかった。それ程、大航海時代の伝染病の感染は、猛威を振るった。

帝国	インカ帝国	アステカ王国	マヤ文明
文明	アンデス文明	メソアメリカ文明	
首都	クスコ	テノチティラン (現メキシコシティ)	都市国家
地域	チリ・アルゼンチン・ペルー	メキシコ	ユカタン半島・グアテマラ
歴史	1200頃～1533年	12世紀～1521年	6世紀～1697
征服者	ピサロ	コルテス	スペイン軍

中南米では多くの銀を産出し、最盛期に、ポトシ（ボリビア）、グアナファト（メキシコ）で世界の50%を占め、全てがスペインへ輸送された。また、当時の石見銀山（日本）を合わせると、世界生産の80%に達した。銀鉱都市のポトシ、グアナファト、石見は、何故かそろって世界遺産に登録されている。

巻末 (3-3) 中米/南米

マチュピチュ遺跡を後にして、インカレイルとバスを乗り継いで、クスコへ戻った。ヘソと云う意味のクスコは、東西に長く伸びた盆地で、インカ帝国の首都であった。四方が山に囲まれ、よくもこの様な場所に首都が造られたものだと感心した。

クスコは、海拔3486mで、到着後高山病にかかり頭痛に悩まされた。寝ていると、脳自ら酸素不足の警報を発しながら目覚める。水を飲んで深呼吸をしてベッドにつくが、症状は、2～3時間の周期で、朝まで続いた。ようやく昼食時にビールを飲んで落ち着いた。

ビールは、いつもどおり「万病の妙薬」だと感謝しつつ、お代わりして頂いた。富士山(3776m)、スイス・ユングフラウヨッホ(3454m)に登った時も同じ症状だったので、今後の探訪では、高所恐怖症と共に、高山病対策も講じなければならない。



インカ時代の「14角の石」2014年3月

中南米には、インカ帝国とアステカ帝国、それにマヤの都市国家が存在していたが、いずれもスペイン軍によって滅ぼされた。各地への侵略は、同じやり方で、まず、宮殿や神殿を完全に破壊して、その石材を利用し、新しくカテドラル（大聖堂）や教会、修道院を建設するのである。ここクスコも宮殿、神殿は、破壊されて石積が残るだけであった。



ラ・メルセー教会、クスコ、2014年3月

1946年、ラ・メルセー教会の墓地からピサロと権力を二分したスペインの征服者アルマグロの遺体が見つかった。アルマグロは、ピサロに処刑され、ピサロは、アルマグロの息子に暗殺された。血で血を洗う冷酷な黄金略奪者達の哀れな末路であった。

カトリック教会で云う「悔悛の秘跡」であろうか、1992年に訪れた時、メキシコシティの大聖堂の東側で、遺跡の発掘をおこなっていた。宮殿、神殿を再発掘する事により、征服者の悪業を乗り越えて、新たなIdentityを模索しているように見えた。

100 世界遺産の旅 (45)

コンキスタドールの街

ペルー共和国は、南アメリカ大陸の中央に位置し、太平洋に面した南北に細長い国である。その気候は、海岸砂漠地帯に属し、不毛の荒涼たる地域で、人類が定住するには困難な所のように見えた。

リマは、ペルーの首都で、政治と経済の中心地である。植民地時代に建てられた建物が多く残るセントロ地区（1988 年世界遺産登録）と海岸沿いの新市街地区に二分される。1535 年、リマは、インカ帝国を征服したスペイン人コンキスタドール（アメリカ大陸征服者）のフランシスコ・ピサロによって築かれた。

その後、16～17 世紀の間、スペインによる南米植民地支配を通じ、ボリビアのポトシや他の鉱山よりの銀が、スペインへ輸出されるための集積地として栄えた。銀は、リマより船でパナマへ送られ、パナマ運河以前は、その陸地を横断した後、再びカリブ海で船に乗せられてスペインへ輸送された。



大聖堂、セントロ地区、2014 年 3 月

ペルーの首都で世界遺産「リマ歴史地区」は、リマック川の南側にあるアルマス広場を中心に広がる。南米の諸都市には、アルマスと云う名の広場が多くある。アルマスとは「Armas」で武器と云う意味である。ピサロは、リマの建設者であるにもかかわらず、彼の像は、広場の片隅にひっそりと建っている。

リマの人々にとって、ピサロは、街の建設者であると同時に、征服者でもあるという複雑な心境の表れであろう。アルマス広場に立つ大聖堂は、ペルー最古の大聖堂である。クスコより遷都時、ピサロは、自らの手でこの建造物の礎石を置き、1624 年に完成した。

2～3 ブロック離れ、1574 年に完成したサンフランシスコ修道院は、華麗なバロック建築で、スペイン南部のセビーリャ製の色鮮やかなタイルで彩られた豪華な建物である。ペルーは、地震多発地帯にあり、これらの建造物は、地震で度々崩壊したが、植民地から得られた膨大な財貨で建て直された。



サンフランシスコ修道院、リマ、2014 年 3 月

朝 8 時にクスコを出発し、リマに 9 時 30 分に到着した。国内線より国際線へ乗り換える為、スーツケースは、一度 Baggage Claim で引き取り、16 時 30 分の出発時刻までわが身と共にせねばならなかった。リマ空港にはロッカーがなかったので、交渉の末タクシーをチャーターし、スーツケースをトランクへ押し込んで街へ出かけることにした。

タクシー運転手にフジモリ前大統領の事を聞くと「Yesterday President, Today in Jail, Tomorrow Nobody knows、--- Political Fighting」と云う断片的ではあるが、洒落た答えが返ってきた。言葉が良く通じないので、実態は分からないが、フジモリ大統領は、政敵の策略により刑務所で服役中のようだ。まあ、解放は、恩赦待ちと云うところだろう。



ペルー政庁、リマ、2014 年 3 月

リマの街で見かける自動車の 50% ぐらいが、日本製であった。日系人が多い事と、太平洋をはさんで隣国と云う事で、中古車を含め、多量に輸入されているようだ。現在、ペルーを含む環太平洋 12 か国の (TPP=Trans-Pacific Partnership Agreement) 交渉が難航しているが、日本の活路は、貿易/経済の自由化以外に選択肢が無いことを再認識し、締結に向けて大胆な決断をすべきであろう。

100 世界遺産の旅 (46)

コロンブスの海

1492年1月、スペインのグラナダが陥落し、イスラム教徒のアルハンブラ宮殿は、無血開城された。これにより、800年にわたるスペインのレコンキスタ（キリスト教国土回復運動）は、幕を閉じた。戦費を捻出する必要がなくなったイサベル女王は、1492年4月、コロンブスが、西回りで黄金の国・ジパングを目指す航海にゴーサインを出した。

マルコ・ポーロの「東方見聞録」に紹介された金銀財宝があふれる「ジパングの黄金郷」は、日本の世界遺産「中尊寺金色堂」だと云われている。レコンキスタ終結と新大陸発見、1492年、イサベル女王は、この2つのビッグイベントを世界史に刻んだ。



コロンブスの館（アルカサル）、ドミニカ共和国

レコンキスタ終結地のグラナダにあるアルハンブラ宮殿は、高度なイスラム文明の繊細な美しさを誇る建築で、シエラネバダ山脈の麓にあり、一年中満々と水をたたえる。イスラム教国最後の国王ボアブディルは、平和共存のもと、グラナダに永住したいと願ったが、熱狂的なカトリック教徒のイサベルは、許さなかった。イサベル誕生の2年前、1453年に東ローマ帝国が、オスマン帝国によって滅ぼされ、ヨーロッパ全体が、イスラム教に支配されることを恐れたイサベルは、全てのイスラム教徒をイベリア半島より排除した。

現在、イサベルは、共にスペイン王国を樹立した夫フェルナンドと、グラナダ大聖堂の王室礼拝堂で眠っている。そこはアルハンブラ宮殿よりゴメレス坂を30分程徒歩で下った所で、2010年に訪れた。

1492年10月、コロンブスは、71日間の航海の末、最初にサン・サルバドル島を発見し、次にキューバ島へ、最後にサント・ドミンゴのあるイスパニョール島に到達した。スペインに帰還したコロンブスは、その業績を称え、宮殿で盛大な歓迎を受けた。

しかし、栄光と裏腹に、2回目の航海に同行したキリスト宣教師の日誌によると、スペイン隊は、金銀を探し求めて残虐な行為をはたらいた。コロンブスは、

最初のコンキスタドール（アメリカ大陸征服者）であると同時に、次の10年の悪しき手本となる「元祖・残虐黄金略奪者」でもあった。



コロンブス像と大聖堂、2014年3月

今回、サント・ドミンゴを訪れたのは、コロンブスが、最初に砦を築いた所だからである。彼自身、このサント・ドミンゴをこよなく愛し、遺骨は、オサマ河畔のコロンブス記念灯台に納められている。

キューバのハバナも世界遺産であるが、キューバは、未だアメリカと国交が無く、パナマよりの往復航空券が高くつく。1997年にフロリダのキーウエストを訪れた時、キューバの島影こそ見えなかったが、広がるメキシコ湾を眺望できたので、今回、キューバ訪問を諦めた。キーウエストは、フロリダ半島の最南端にあり、昨今、日本で流行の豪華客船クルージングのメッカで、数隻の船が、はるか海上を行き交っていた。

そのメキシコ湾は、ヘミングウェイの海でもあり、彼は、キーウエストよりキューバへ移り住み、「老人と海」でノーベル賞を受賞するが、キューバ革命のあおりを受けて、アメリカへ逃げ戻った。キーウエストのストーンクラブは、美味この上ない蟹の王者である。



コロンブス記念灯台、サント・ドミンゴ

サント・ドミンゴの歴史地区は、意外と狭く、1時間程度で見て歩けた。見どころは、コロンブスの館と大聖堂くらいであろう。今回、残念な事に、クルーザーでトローリングするのを忘れた。次回、カリブ海の旅は、何をさて置いても挑戦しようと思う。

100 世界遺産の旅 (47)

中南米旅事情

中南米の旅で怖いのは、治安の悪さからくる犯罪である。今回、世界遺産のガラパゴス島(エクアドル)、ギアナ高地のエンジェルフォール(ベネズエラ)の2か所は、計画より外した。これらは、空港から現地までの費用が高くつき、また経由地が、世界有数の犯罪都市グアヤキル(エクアドル)、カラカス(ベネズエラ)で、危険回避からも諦めた。

昔、アムステルダムで失敗したことがある。ベルギーとの国境近くで仕事を終えてアムステルダムに戻ったのが午後8時であった。10月で少し寒かったので、ホテルへの道をショートカットして路地へ入った時、いきなり男二人に抱き着かれ、「Money, Money!」と脅かされた。こちらは驚いたのと同時に、二人を振り切って「助けてくれー!」と大声あげて走って逃げた。路地の出口あたりで、数人の通行人が、こちらを見てくれたので、その時、助かったと思った。危険回避は、旅の最優先である。特に、夜は、犯罪が多発するので、外出を避けねばならない。

日本人は、「時間通りに行動する」が、海外では「自分通りに行動する」が一般的の様だ。時々、現地ツアーを利用するが、まず時間通り迎えに来る事は無い。午前中、より大きなバスへ乗り換える場合があるが、そのバスがなかなか来なくて待たされる。

一方、夕方の帰着時刻になると状況が一変し、トイレへ行くのも許されないし、宿泊ホテルの手前で降ろされて迷うこともある。朝はダラダラと行動し、夕方5時には急ぎ帰宅が、世界標準である。日本の様に「サービス残業」と云う概念は、他国にはない。



マチュピチュ・カーニバル、ペルー、2014年3月

当初、イスタンブールよりアルゼンチンへ入り、セント・ドミンゴより太平洋を経由して関空へ戻る「14日間世界一周」を予定していたが、ロスと関空間のタイ航空のフライトが取りやめとなったので、帰国便をニューヨーク⇒フランクフルト⇒関空に変更した。USAのNewark空港より遠くに、ニューヨークの

World Trade Centerの立替ビルであるOne World Trade Centerを観ることが出来た。2001年、崩落の翌日にUSAへ行く予定であったが、中止せざるを得なかった事が思い出された。



ニューヨーク、USA、2014年3月

今回、全ての空港で、全旅程の航空券チェックがあった。ブエノスアイレス空港で聞くと、書類の不備で入国できない場合、運んだ航空会社が、責任をもって出国させなければならないとの説明であった。自爆テロであれば、帰国の航空券は不要で、チェックの目的は、テロ探しかと勘違いした。

中南米で飛行機が着陸する時、乗客全員が、拍手をする。最初、照れ臭くて参加しなかったが、後半には、負けじと手をたたいた。ラテンアメリカ人の陽気な気質から来る連帯感であろう。空港到着後、通関で必ず全荷物のレントゲンチェックがあった。麻薬と銃器の犯罪が多い国々ゆえの対策の様だ。



イグアスの滝、2014年3月

対米関係が悪い国もあるが、中南米は、完全に米ドルの流通圏内にある。米ドル支払の方が有利なので、中南米の旅へは米ドルの持参をお勧めしたい。

1997年、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロを訪れたことがある。サトウキビから造られるアルコール燃料の自動車が、走っていた頃で、町全体に甘い香りが、漂っていた。その後、ボリビアでガス田が見つかり、またブラジルも石油、ガスを産出し、中南米各国の原油自給率は、上昇していった。ただ、各国の許認可の手続きが怠慢で、オイル&ガス関連の進出企業は、苦闘を余儀なくされていると聞く。

100 世界遺産の旅 (48)

空海の風景

空海は、平安京遷都の10年後に入唐した。その空海の風景を眺めるため、長安（現在の西安）を徘徊した。まず、中心の鐘楼より南東にある大雁塔へ向かった。地下鉄2号線の4番目の駅より徒歩で30分の所にある大雁塔は、悠然とそびえ立っていた。

大雁塔は、慈恩寺の院内に建ち、四角7層、高さ64mで、階層に屋根と云うよりひさしを付けた様な塔である。652年に、玄奘三蔵が、インドより持ち帰った大量のサンスクリット語の経典や仏像などを保存するため建立された。現在、唐時代の建造物で唯一残存しているのが、大雁塔で、空海もこの塔に登ったかと思うと感慨深いものがあった。



大雁塔、慈恩寺、西安、2014年8月

次に、空海が、恵果より密教の全てを授かった青龍寺へ足を向けた。青龍寺は、大雁塔より東に位置し、少し距離があったので市営バスを利用した。

日本語、英語とも全く通じないが、女性車掌は、青龍寺の停留所到着を知らせてくれた。ただ、青龍寺は、どういう訳か広い公園の中にあり、見つけ出すのが難しく戸惑った。青龍寺の本堂、空海記念碑へ日本人が、久しく参拝していないようで、庭の歩道に木々が生い茂り、腰を折り曲げての訪問であった。



空海記念碑、青龍寺、西安、2014年8月

卷末 (3-4) 中国～シルクロード



明代城壁～西門付近、西安、2014年8月

西安の中心部へ戻り、明代城壁で最も壮大な南門に上がった。城壁は、東西4km、南北3kmの長大な建造物で、明の洪武帝時代にレンガを積み重ねて造られた城壁で、最初に見た時、万里の長城かと錯覚した。

その高さ12mの上部の幅は、12～14mあり、車2台分が、十分通れるほどの広さである。レンタサイクルや電動カートも利用できるが、徒歩で南門より西へ歩き、ドン突きを角を北上して西門へ向かった。西門で降りて、空海が、居住したとされるホームステイ先の西明寺跡を探して歩いたが、1200年もの悠久の年月を隔て、見つけようもなかった。



鼓楼 (左) と鐘楼 (右)、西安、2014年8月

長安の歴史は、シルクロードの起点として始まる。前漢の外交使節として派遣された張騫、天竺まで仏教の経典を求めて旅に出た法顕や玄奘など、この地を出発して、この地に戻ってきた。

城壁西門は、西域より訪れた人々が通る門で、多くの人々が国際都市長安を目指して往来した。西門の近くには、イスラム街があり、鼓楼の北側には回族の食堂が連なる回坊風街がある。食堂で、羊肉を焼いたシシカバブを注文し、ビールと共にいただいた。

香辛料や唐辛子をたっぷり付けて食べるシシカバブは、代表的な西域の料理である。仏教以外にも情報収集に余念がない空海も、西域の料理を食べながら、西域から往来した碧眼紅毛の人々と親しく語らったであろうと想うと、何となく空海が身近に感じられた。

100 世界遺産の旅 (49)

遣唐使

遣唐使、このフレーズに接すると、いにしへのロマンを感じる。しかし、ロマンとは裏腹に、成功率 6～7 割の危険極まる木造船での往来であった。

遣唐使で一番興味をひかれるのは、804 年の第 18 次遣唐使「空海と最澄」であろう。803 年、最澄は、唐へ向け出帆したが、船が、暴風雨で破損したため難波津へもどり、1 年延期せねばならなかった。

その間、留学僧の欠員が出たのであろうか？ 804 年、突然、空海が加わった。空海の叔父にあたる阿刀大足は、桓武天皇の第三皇子伊予親王の個人教授で、彼のコネと推薦に依るものであろう。空海は留学僧で、最澄は通訳付き特使にあたる還学僧であった。

空海の第 1 船は、難破するが、最澄の第 2 船は、順調に中国へ着いた。最澄は、首尾よく天台宗の經典を入手し、併せ密教の一部を越州で拾い、早々と帰国した。最澄が、密教を日本へもたらした最初の僧である。



惠果の青龍寺、西安、2014 年 8 月

紀元前、釈迦の仏教は、「悟り」の小乗仏教で、1 世紀ごろに「大衆の人間も救われる」とする大乘仏教が現れた。7 世紀ごろ、密教は、バラモン教の祈祷や占い等の俗信を取り入れて生まれた。後に訪れる莫高窟の日本語ガイドによると、「密教は、仏教ではありません！」と云う言葉が、耳に残っている。

宇宙や、現世の肯定、欲望をも否定しない考えは、小乗、大乘仏教には無かった。ひょっとしたら、密教の中心核は、宇宙の神を崇めるヒンズー教ではないかと思ひ始めた。密教は、凡人には理解しがたい宗教で、師匠から弟子へ口授の形で受け継がれる所以が、密教であり、不空（インド）は第 6 祖、惠果（中国）は第 7 祖、空海（日本）は第 8 祖にあたる。

空海入唐時、惠果には、1000 人の弟子がいたとされる。そうなれば、空海は、1001 人目の弟子にあたる。異国の弟子に、全ての密教を伝授してしまうのはどうも理解に苦しむ。惠果は、将来、仏教が、中国で衰退すると予感していたのではないか？ 惠果自身は、

渡日した鑑真も、その仏教も日本で厚遇されていたことを聞いていたに違いないし、健康であれば、空海に同行して来日していたかもしれない。実際、845 年、皇帝武宗の廃仏毀釈で仏教弾圧があり、後に密教は、中国より完全に消滅してしまった。

仏教政治の弊害を断ち、天皇権力を強化するため、桓武天皇は、794 年に平安京へ遷都したが、最澄が持ち帰った密教に非常に興味を示した。他の仏教と違う密教の「加持祈祷」「現世利益」に飛びついたようである。ただ最澄の密教は、不完全で、後に帰国する空海へ密教伝道師の座を明け渡すことになった。空海も「加持祈祷」「国家鎮護」「即身成仏」を密かであるが前面に出して、国家権力の中枢に接近している。

空海没後、高野山の密教は、京都の東寺（教王護国寺）との確執もあり衰退した。不思議なのは、後世の高僧～法然、親鸞、道元、日蓮は、比叡山で修行し世に出ているが、高野山は、高僧を輩出していない。現在、空海の高野山/金剛峯寺、最澄の比叡山/延暦寺は、共々、大本山であり世界遺産である。



阿倍仲麻呂記念碑、興慶宮跡、西安、2014 年 8 月

「天の原 ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に いでし月かも」を詠んだ阿倍仲麻呂も遣唐使であった。717 年、第 9 次遣唐使として入唐し、科挙にも合格し、玄宗皇帝にその才を認められて要職を歴任した。

しかし、望郷の想いは、捨て難く、後に来た遣唐使と共に帰国を決意した。仲麻呂が乗った船は、南方へ漂流し、願ひかなわず、在唐 53 年の末、中国で生涯を終えている。「天の原ふりさけ・・・」は、吉備真備等と帰国時、明州の送別会で詠ったとされている。

第 10 次遣唐使の普照も面白い。朝廷の命で「伝戒の師」として鑑真をスカウトして日本へ招聘したが、12 年間で 5 回の渡航に失敗、その間、鑑真は、失明し、754 年ようやく来日した。

この時、船団 4 隻の内、唯一帰国出来なかった 1 隻に乗っていたのが、阿部仲麻呂であった。鑑真が持ち込んだ天台宗の断片は、後に最澄に受け継がれ、延暦寺の天台宗として現在に至る。759 年、考謙天皇（女帝）より勅額を賜った唐招提寺は、開基鑑真大和上と共に古都奈良の歴史を語り継ぐ世界遺産である。

100 世界遺産の旅 (50)

秦始皇兵馬俑

数多の現代中国男子が憧れる秦の始皇帝は、中国史上、最も有能で、最も極悪非道の皇帝であった。国名 China は、春秋戦国時代を終結させ、紀元前 221 年に中国を統一した「秦」に由来する。

西安駅より観光者向けの市営路線バスに揺られて約 1 時間 20 分、兵馬俑を訪れた。兵馬俑は、始皇帝死後の地下軍団で、現在、1 号坑、2 号坑、3 号坑が発掘されている。しかし、その他の遺坑発掘は、酸化による退色問題が解決されないため、遅々として進まないようである。兵馬俑の退色問題は、日本の高松塚古墳の壁画等と同じ現象である。



兵馬俑 1 号坑、西安、2014 年 9 月

「俑」とは、中国で、死者とともに埋葬した人形で、馬、馬車、戦車なども含まれる。1 号坑は、約 2000 体で、武装した歩兵部隊である。2 号坑は、戦車隊 79 両、騎馬隊 116 騎、歩兵 562 体からなる精鋭機動部隊で、3 号坑は、最高司令部隊で構成されている。

1 号坑が、最大の面積で、前方に、修復が済んだ兵士、馬がぎっしりと並べられているが、奥側では破損した兵隊、馬などが修理中で、全く兵馬俑の無いスペースも 3~4 か所あった。



高官像、文物陳列庁、西安、2014 年 9 月

兵馬俑坑は、秦始皇陵より東側へ 1.5km ほどのところにある。秦の始皇帝が滅ぼした戦国の 6 雄全てが、

東に位置し、また不老不死の薬が、東の方にあると考えられていたからである。秦の時代には、官僚の他、不老不死を唱える方士、いにしへの教えをあがめる学者がいた。方士については、不老不死の薬を求めて約 3,000 人を東方へ派遣したが、行方不明になってしまった。医薬、占い、農業関係以外、不老不死にそぐわない書物を焼き払い、また、方士や学者など 460 人を生き埋めにして殺害した「焚書坑儒」は、始皇帝による残虐極まる悪政であった。



銅馬車、文物陳列庁、西安、2014 年 9 月

兵馬俑の切符売り場で、女性が話しかけてきた。英語ガイドで、私が日本人である事と多少英語を喋る事で、非常に驚いていた。彼女の説明は、素人にも解りやすく、大方理解ができた。ただ、そのガイドは、私の「100 世界遺産の旅」に興味を持ち、ガイド時間の 3 分の 1 は、彼女からの質問攻めであった。渡した英語版 100 世界遺産のリストに挑戦したいと意気込む彼女へ、エールとチップを贈って別れた。



楊貴妃、華清池、西安、2014 年 9 月

兵馬俑見学後、帰路に華清池を訪れた。驪山の北麓にある華清池は、6 代玄宗皇帝と、彼が寵愛した楊貴妃の離宮で、温泉が湧き、寒い季節には長期間滞在していたらしい。玄宗と楊貴妃の時代には、阿部仲麻呂が、中国に滞在していた頃で、高官である仲麻呂も楊貴妃を見たはずである。仲麻呂の帰国が、実現していれば、楊貴妃の美貌の「生情報」が、日本へ伝えられたであろうと思うと残念であった。

100 世界遺産の旅 (51)

洛陽龍門石窟

北魏は、雲崗と龍門、2つの石窟を造営した。460年に始まる雲崗石窟は、北魏の都、平城（現大同・北京の西240km）にあったが、494年、北魏の孝文帝が、後漢・魏・西晋などの時代に栄えた洛陽へ漢化政策実現のために遷都した。龍門石窟は、その洛陽の中心地より南14kmの伊水河畔にある。仏教が、朝鮮の高句麗、百済を経由して日本へ伝来したのは、538年で、北魏の時代と云われている。

また、洛陽と云う地名は、日本/京都の雅称で、京洛、洛南などとして親しまれている。北魏が、造営した2つの石窟のうち、龍門石窟は2000年に、雲崗石窟は2001年に、それぞれ世界遺産に登録された。



龍門石窟、洛陽、2014年9月

雲崗石窟と龍門石窟は、岩山の壁面を削り、石仏を彫刻した点では同じであるが、龍門石窟の特徴は、その硬さで、雲崗石窟の粗い砂岩質と比較して、緻密で硬い岩質であることである。技術上、北魏時代の龍門は、小規模の石像彫刻が中心で、盧舎那仏の様な大きな彫像が出来たのは、唐時代以降である。



盧舎那仏（唐代）、龍門石窟、2014年9月

盧舎那仏は、則天武后が、浄財を寄進して造作された龍門最大の石仏である。716年に入唐した留学僧の玄昉は、龍門石窟を訪れて盧舎那仏を見た時、その大

きさに絶句したようだ。

帰国後、玄昉は、聖武天皇の妃、光明皇后へ報告したところ、光明皇后は、聖武天皇に日本でも盧舎那仏のような大仏を造るよう進言したと云われる。743年、聖武天皇は、大仏建立の勅旨を出し、752年に奈良東大寺の大仏、盧舎那仏の開眼供養会が行われた。



伊水と香山寺、龍門、2014年9月

龍門は、仏像が鎮座する岩壁と、穏やかに流れる伊水の組み合わせが、いかにも浄土の風景をかもし出しているらしい。そのためか、対岸にある香山寺は、白居易ゆかりのお寺で、晩年、この地で過ごしたと云われ、その近くに白居易の墓地白苑がある。

また、1936年10月31日、蒋介石は、50歳の誕生日を、ここ香山寺で過ごした後、西の西安へ移動し、12月12日、張学良による西安事件で捕えられ、翌年、抗日の第二次国共合作へと時代が動いた。



中国高速鉄道、西安⇄洛陽龍門、2014年9月

龍門石窟へは、地下鉄で西安北駅へ行き、西安北駅より東へ、最高時速300kmを誇る北京行の中国高速鉄道で約1時間40分、洛陽龍門駅で下車し、そこから南へタクシーで約15分の所にある。

中国高速鉄道は、日本の新幹線のコピーの様で、乗り心地に違和感はなく、快適な日帰り旅行であった。運賃は安く、往路は5列席のエコノミークラスを2970円で、復路はエコノミークラスが売り切れのため、4列席のファーストクラスを5150円で利用した。

100 世界遺産の旅 (52)

敦煌莫高窟

中国三大石窟は、敦煌の莫高窟、洛陽の龍門石窟、大同の雲崗石窟で、3窟とも世界遺産である。今回の旅では、莫高窟と龍門石窟を訪れた。莫高窟と雲崗・龍門石窟の違いは、前者が、粘土製の塑像であるのに対し、後者は、石像、石彫である。また、色彩豊かな壁画は、莫高窟が持つ比類なき特色である。



北大仏殿、莫高窟、敦煌、2014年9月

オアシス都市・敦煌は、西安より西へ飛行機で2時間30分ほどの都市で、古代中国の西の玄関口であった。莫高窟は、その敦煌の南東約25kmに位置し、鳴沙山の東の麓にあたる。莫高窟は、366年を起源とし、元の時代までに合計734窟の造営が続き、清の時代には仏像の色彩補正がなされた。

莫高窟は、砂漠地帯で降雨量が少ないため、湿度は、20%前後で、像に塗られた色彩の退色問題は、比較的軽微であった。他方、西安の兵馬俑など、湿度が、60%の地域では、酸化による退色問題が生じている。



弥勒菩薩交脚像、莫高窟、2014年9月

莫高窟のすぐ東側に、チベット高原を源とする川が流れている。窟が、その川の氾濫で冠水しないように、

最初2階部分より掘り始められた。治水後、1階、3階へ窟数は拡大し、後期には4階部分も掘削された。第130窟では、1階より3階へ吹き抜けた空間に、弥勒大仏像が、安置されていた。

日本語ガイドによると、高さが29mで、塑石像の中では、世界5番目の大きさであったが、バーミヤンの石像等が、アルカイダによって爆破されたので、現在は、第3番目にランクアップされているようだ。



修復前の莫高窟

1900年に莫高窟より多くの敦煌文書が、発見された。1036年、西夏が、攻めてくる直前に、古文書、板絵等が、隠されたものである。発見後も、古文書は、放置されたため、それらの多くは、英国人オーレル・スタイン等探検家によって海外へ持ち出されてしまった。莫高窟自体も、あまり注目が集まらず、その価値が認められ、保護が行き届くようになるのは、中華人民共和国成立以後のことである。



莫高窟正面入口、敦煌、2014年9月

莫高窟では、朝9時、正午、午後3時の3回、無料の日本語ガイドが付く。午前10時30分に正面入口に着くと、女性日本語ガイドが現れ、即、単独のガイド案内がスタートした。ガイドによると、ここ1年間、日本人の観光客は、皆無の状態で、3回の日本語ガイドは、有名無実になっているようだ。一方、英語のガイドは、欧米オセアニアより観光客があり、3回のサイクルを順守しているとの事である。

100 世界遺産の旅 (53)

新疆ウイグル自治区

敦煌より飛行機で1時間30分、夕方6時にウルムチに着いた。旅行代理店の地図が、間違っていたので、ホテルがなかなか見つからず、たどり着いたのが、午後8時であった。ホットしたのも束の間、問題が発生した。予約確認書を提示したにもかかわらず、外国人(日本人)という理由で宿泊拒否にあった。

40分ほど抗議したが、生意気なフロントの小娘では、埒が明かず、天下の宝刀「Call your boss!」と怒鳴ると、女ボスが、怪訝そうな顔付きで現れ、同じく宿泊拒否を連発してきた。そのうち、男性のスタッフが登場し、結局、午後9時に、その男性スタッフを先導役にして、宿泊可能なホテルを探すことにした。



4月30日の爆発現場、ウルムチ駅、2014年9月

次のホテルも宿泊拒否だったが、たまたまフロントにいたパキスタン人の紹介で、午後10時、ようやく3番目のホテルでチェックイン出来た。どのホテルの漢人も、全く英語は通じないが、彼らは、スマートフォンを駆使し、漢字をインプットし英語に翻訳し意思表示をする特殊兵器で対応してきたのには驚きであった。1番目と2番目のホテルは、築年数が浅く、減価償却が未終了故、爆発または事件に巻き込まれたくたくない漢人経営者の打算とみられた。

3番目のホテルは、築40年は過ぎており、大型ホテルであるが、阿片窟の様に不気味で暗く、何でもOKの様で、客は全て西アジアよりの異国人であった。

開き直って、ベッドで寝ていると、0時30分ごろ電話が鳴って「Massage? Massage?」とコール、なんでここだけが英語なのかと、腹立たしく電話を切った。次の夜もコールがあったので、3日目の夜は、スーツケースをドアの前に置き、電話線を抜いて就寝した。

今年の7月5日は、「ウルムチ騒乱」の5周年、併せて4月30日と5月22日に連続爆弾事件が発生したので、街の警備は、尋常で無く、警官が隊列

を組んで巡回していた。警官等は、拳銃を持たず、防弾チョッキと棍棒の武装姿が異様で、銃の強奪を恐れての対応だろう。また、公共建屋の要所では、武装警察が、自動小銃をかまえて警備していた。



装甲車と新疆ウイグル自治区博物館、2014年9月

宿泊拒否問題で、毒気を抜かれた翌日は、おとなしく近場を散策した。街の中央に紅山公園があったので登ってみた。まあ、驚いたことにウルムチは、8車線のフリーウェイが縦横に走り、漢字の表示が無ければ、ロサンゼルスかと見間違ふほどの大都市に観えた。中国政府が、莫大な資金を投下して、石油、ガス、自然鉱物の豊富なこの地域を我が物にせんとする野望を窺い知ることが出来た。



ウルムチ市街、中国、2014年9月

当初、チベットを訪れる予定であったが、「入境証」という訳のわからない、実質的なVISAの要求があったので止めた。「入境証」は、チベットの旅行代理店にツアーを申し込まなければ入手できないし、ツアーの最中は、朝から晩まで代理店のスタッフが、旅行者を監視することになっているらしい。

西の新疆ウイグル自治区、南のチベット自治区、広西チワン族自治区、北の内モンゴル自治区、寧夏回族自治区などの併合、東は香港の民主化選挙、南シナ海の南沙諸島問題などを抱えながら、中国共産党による一党独裁が、何時まで続くか注視したい。

100 世界遺産の旅 (54)

シルクロード

2014年6月、シルクロードが、世界遺産に正式登録された。登録されたのは、漢や唐の時代に首都であった長安（現在西安）と洛陽から天山回廊と呼ばれるルートを経て中央アジアへ至る約5,000kmの遺跡群で、仏教の石窟寺院や要塞など計33の遺跡が含まれる。申請は、中国と隣接のキルギスとカザフスタンの3国共同によるものである。

シルクロードは、中国特産の絹を西側へ運んだ交易路で、紀元前2世紀ごろから形成されたとされる。



月牙泉（げっかせん）、鳴沙山、敦煌、2014年9月

「道」が世界遺産に登録されたのは、3番目であろう。最初は、スペインとフランスの間の「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」（1993年）である。キリスト教の聖地であるスペイン、ガリシア州のサンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂で、日本の熟年女性観光客が、欧州のイケメン巡礼者を捉まえて記念写真を撮っていたのが思い出される。

2番目は、日本の吉野・大峰、熊野三山、高野山を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」（2004年）である。2013年、熊野参詣道の中辺路を、霊験豊かな熊野本宮大社へ向けて尾根道を歩いたが、険しい中でも、癒しのパワーを感じる参詣道であった。



敦煌の南5km、鳴沙山の北麓に、3000年来、一度

も枯れたことが無いと云われる月牙泉がある。その月牙泉の写真をみると、いつも「月の沙漠」の歌を想い出す。鳴沙山でラクダのキャラバン隊のコースがあり、1時間30分間ラクダに揺られ、鳴沙山の中腹までを往復した。前後左右に、大きく揺れるので、必死で鞍の金具を握りしめながら砂丘を進んで行く、極めてエキサイティングな商隊体験であった。



駱駝商隊、鳴沙山（めいさざん）、2014年9月

法頭は、「上に飛ぶ鳥なく、下に走る獣なし。ただ死人の枯骨をもって道標となす。」とシルクロードの過酷さを表現した。2013年、ウルムチより東西へ延びる「新疆天山」が、世界遺産に認定されたが、僧玄奘もその最高峰、7439mのポペーダ山を眺めながら仏典を求めてインドへ旅したのであろう。



玄奘像、西安、中国、2014年8月

756年、聖武天皇の遺品が、東大寺へ奉獻され、現在、世界遺産である正倉院に収蔵されている。それら遺品の中には、ペルシャや西域からの美術品が、多く含まれる。今年、シルクロードを世界遺産に正式登録するにあたり、ユネスコは、「様々な文明をつなぎ、交易のほか宗教や文化、芸術などの交流を促した」と評価した。この趣旨からすれば、洛陽から日本の奈良までの間もシルクロードとして扱われるのは、極々、理にかなった捉え方である。

しかし、中国が、賛同するかどうか別の課題が残る。

100 世界遺産の旅 (55)

中国旅事情

今回、関空よりの出発が1時間遅れた。アナウンスによると北京空港上空の停滞と云う事であったが、PM2.5 スモッグで北京空港の視界が、極めて悪かったので、危険防止のため上空に旋回する飛行機の総数を制限したものであろう。上空から北京市を見極めるのも難しく、飛行機が着陸体制に入り、降下していくと突然滑走路が現れたのには驚いた。

西安は、中国を代表する古都であるが、郊外には30~40階建てのアパートが100棟以上も建設中で、都市全体が、膨張している様に見える。ただ、それらのアパートのほとんどは、工事中断の状態、稼働するクレーンを見るのは稀であった。昨今、中国経済の失速、シャドーバンキングの崩壊が取りざたされている中で、これらのアパート群は、無事に完成するだろうかと心配せずにはいらなかった。

秦始皇兵馬俑と敦煌莫高窟の2か所でガイドの世話になった。両ガイドともなかなかの美人で、女盛りの37~38歳と云ったところであった。兩人とも、女の子が一人ずついて、「一人っ子政策」のため次の子供が産めないと、共産党員であり国家公務員でありながら、ぼやき、嘆いていた。

街では子供が、爺ちゃんや婆ちゃんに猫可愛がりされている光景をよく目にした。「一人っ子政策」が始まったのは1979年で、人口の多い漢族とチワン族の夫婦に限り適用されている。その一人っ子が、人口の多数を占める頃、中国も大きく変わっていくだろう。



明代城壁~南門、西安、中国、2014年9月

中国訪問は、2回目である。最初は1997年で、技術応援の要請を受けて、圧縮機メーカーのある瀋陽(旧満州奉天)に5日間滞在して実働2日の美味しい出張で、空き時間は、土産の毛皮を見て回った。

訪問は12月、零下10度の厳寒の頃で、顧客の古びた事務所は薄暗く、48歳にして老眼の始まりで、英文の購入仕様書を読むのが、辛かった事を思い出す。



瀋陽駅(旧奉天)、中国、1997年12月

1621年、女真族を統一した後金のヌルハチが、瀋陽を首都とし、後に清の瀋陽故宮が建てられた。1997年訪問時、清朝に関する知識が無かったので、現在、世界遺産の瀋陽故宮博物院を訪問出来なかったことが悔やまれる。ただ、幸いにして北京で1日とれたので、万里の長城、明十三陵と天安門を訪れた。当時の北京は、透き通るような青空であった。



回坊風街、西安、中国、2014年9月

48歳と云えば、ヨーロッパ、アメリカ、カナダへ出かける機会が多く、海外出張も、欧米かぶれの傾向にあった。まあ、当時は、出世している暇がないと云うほど、欧米への旅行が楽しかったのが本音である。時間と旅費は、会社より充てがわれ、現地で名所案内や本場料理の招待を受け、その間の給料や退職金もギャランティーされた。揶揄して「竜宮城へ行ってくる！」と家族へ告げて出かけた。

100回の海外出張ともなれば、約3000万円の経費が掛かり、退職金を2回貰うと考えれば、仕事もまた楽しいものであった。極みは、退職まで内密にしていたマイレージ(無料航空券)で、他人からすれば羨望の的となる役得であるが、合法的、かつ継続的に我が口座へ付与された。60歳で、引き留める会社へオサラバして自由人となり、つらつら考えてみるに、植木等の「サラリーマンは、気楽な稼業」を实践させてもらった事に、感謝以外の言葉はない。

100 世界遺産の旅 (56)

トランスファーの喜び

ニュージーランド/南島にあるクイーンズタウンへ向う途中、タイのバンコクへ立ち寄った。深夜に関西空港を発ち、早朝5時にバンコクへ到着。バンコクより次の出発は、夜の7時で、14時間のトランスファーを利用して街歩きを楽しんだ。



『暁の寺』とボート、バンコク、2015年2月

冬の寒い日本を離れ、暖かいリゾートへ避寒するのは、我ら夫婦の共通の願いである。私個人としては2年ぶりのバンコクであるが、家人にとっては40年ぶりの訪問である。当然、当時の街並みは、見分けられないほどに変貌し、記憶に残るのは、チャオプラヤー川西岸に建つワットアルン(暁の寺)とワット・ポーの涅槃像位と云うことであった。



王宮、バンコク、タイ、2015年2月

バンコク空港の地下駅より電車で街中へ、そしてBTS(スカイトレン)に乗り換えて船付場へ向かった。宮殿や暁の寺へBTSが通っていないので、オリエンタルホテルの近くより乗合ボートに乗船し、リバー・クルージングと洒落こんだ。節約を余儀なくされる我ら夫婦の旅、豪華な海洋クルージングなどは、夢のまた夢の存在で不可能である。一人70円で30分のリバー・クルージングを楽しんだ後、家人の希

望でワットアルン(暁の寺)を訪れたが、工事中だったので入場せず、外堀に沿って回遊した。

ワット・アルン(暁の寺)は、三島由紀夫の小説『暁の寺』の題材となった所で、当然、三島由紀夫も訪れたに違いない。小説に登場する官能的なジャントラバー姫(ジン・ジャン)は、三島由紀夫の周りにいた妖艶な女性をモチーフにしたのであろう。



ワット・ポー、バンコク、2015年2月

ワット・アルンの後、王宮とワット・プラケオへ向かった。王宮の敷地内にワット・プラケオがあるが、入場門を通過してみると、驚いたことに中国旅行団が、所狭しと屯していた。2~3人でも煩いのに、200~300人だと気が狂うので、庭園を見学しただけで退散した。2年前だとロシア人が群れを成して歩いていたが、今年、その姿は無かった。彼らは、兵役でウクライナへ送られたのであろうか?



通勤ボート、バンコク、タイ、2015年2月

ボートとBTSを乗り継いで街の中心部へ戻り、Chit Lom駅の南にあるアマリン・プラザ内のフードコートを覗いてみた。私の大好物であるトム・ヤン・クン(トム=煮る、ヤン=混ぜる、クン=エビ)の店があったのでオーダーした。

エビは小さいながらも、酸味と辛みの調和は絶妙で、280円の安さ。他の具材も感嘆するほどの出来栄で、夫婦2人が十分に楽しめる味と量であった。

巻末(3-5) ニューージーランド/オーストラリア

100 世界遺産の旅 (57)

ミルフォード・サウンド

大きく揺れて、間近に山の斜面を見ながら飛行機は、午前9時にクイーンズタウンへ着陸した。到着後、レンタカーの手続きをして テ・アナウへ向け出発した。きつい風、冷たい雨も時折降ってくる1時間半のドライブであった。テ・アナウは、南緯45度、日本の北海道/稚内の北緯45度に相当する。

そこは、ミルフォード・サウンドやダウトフル・サウンドを有するニュージーランド/南島の世界遺産・フィヨルドランド国立公園の Gateway である。



テ・アナウ、ニュージーランド、2015年2月

久しぶりに、B&B (Bed & Breakfast)を利用した。小綺麗な平屋のホテルであるが、切り盛りしているのが女将さんで、観光案内も兼ねている。地元の新鮮食材使った朝食は、ボリュームたっぷりであった。



ミルフォード・サウンド、NZ、2015年2月

翌朝、幸いにして天候も回復し、フィヨルドランド国立公園で最も人気のある景勝地ミルフォード・サウンドへ向けて出発した。朝食をいっぱい頂いた後、氷河湖であるテ・アナウ湖を左手に見ながらゆっくりと北上し、牧草地や森を抜けてのドライブで、2時間30分後に遊覧船の棧橋に到着した。



Footstool Mountain、NZ、2015年2月

サウンドとは、「入り江」と云う意味で、切り立ったフィヨルド地形と数多くの滝が、感動的である。リアス式海岸は、通常の山地・河谷が、沈水して形成されたものであるのに対し、フィヨルドは、氷河による浸食作用で形成されたU字谷である。

フィヨルドは、「峡湾」を意味し、ノルウェーのソグネ・フィヨルドが有名であるが、ミルフォード・サウンドも負けず劣らぬ南半球の代表格である。



氷河滝/Bowen Falls、NZ、2015年2月

ミルフォード・サウンドが、手軽になったのは1953年で、ホーマー・トンネルが開通して以後の事である。トンネルの掘削技術が、未熟なせいも、現在も道路は、一車線で暗く、交通信号で規制している。

到着後早速、サウンド内を周遊するクルーズを楽しんだ。心地良い風と、日差しを受けて2時間半の周航であった。様々な滝を眺め、アシカの日向ぼっこを観察しながら、船は、ゆっくりと進んでいく。

山々の頂上は、氷河を冠り、最後に、オーストラリアと接するタスマン海に出るが、そこでUターンしてサウンドへ戻る。海面上では、シー・カヤックがリズムミカルに併走し、空には小型飛行機やヘリコプターが頻繁に行きかう。日本では体験できない、大自然に抱かれたダイナミックなリゾートであった。

巻末 (3-5) ニュージーランド/オーストラリア

100 世界遺産の旅 (58)

トレッキング

旅行会社のパンフレットを眺めていると、昨今、中高年者を対象にしたトレッキング付のツアーが多くなってきた。いわゆる付加価値を付けた企画で、2割程度高く設定されている。我ら夫婦もトレンドに乗り遅れまいと、トレッキングを組み入れた。



キー・サミット、ニュージーランド、2015年2月

ミルフォード・サウンドからの帰路、ルートバーン・トラックに登ってみた。The Divide という駐車場より往復3時間の山歩きである。鬱蒼としたブナの森を約1時間歩くと見通しのきく山道に出て、さらに30分程登ると、キー・サミットに到着した。

サミットは2000m級の山々に囲まれ大パノラマが楽しめる展望台であった。そこに湿地があり、屋久島は宮之浦岳下の「花之江河」に似た光景であった。



ルートバーン・トラック、NZ、2015年2月

今回、驚いたことには、山道に全く段が無いことで、行程すべてが、スロープ仕上げであった。究極の「ユニバーサル・デザイン」～老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる物・施設のデザイン～と云っていいだろう。サミット付近

で出会った男性は、左半身が不随で、足を引きずって登頂し、そして下山して行った。



氷河湖と Mt. Cook (3754m)、NZ、2015年3月

もう一つのトレッキングは、南島中央のマウント・クック国立公園内にあるフッカー・バレー・トラックで、往復4時間の山歩きである。キャンプ場に車をおいて、登山を開始すると「ダーン！ダーン！」と凄まじい音が、聞こえてきた。雪崩の音で、雪と云うより氷河の大きな塊が、断崖より落下する音であった。

山道は、整備され、三つある吊り橋付近を除き、やはり段の無いスロープが続いた。ひたすら登り、丁度2時間後に、世界各国からの登山者達が、休息を取っているフッカー氷河湖に到達した。



宿泊ロッジよりの Mt. Cook, NZ, 2015年3月

氷河が、解けて川となる。色は、白濁色からエメラルドグリーンへ、最後に湖へ流れ込んで透明となり、湖面は、ブルーへと変色する。太陽と空の移ろいと共に湖面の色も変わり、その場に身を置かずしては感動できない時々刻々の色彩変化であった。

海外では、スイス・アルプスとカナディアン・ロッキーで雄大なトレッキング風景を楽しんだ。登山者に優しく設計されたニュージーランドのコースもまた、味わい深くて気高さがあり、旅行会社が、挙ってトレッキングを企画するのも理解出来た。

巻末 (3-5) ニュージーランド/オーストラリア

100 世界遺産の旅 (59)

ニュージーランド旅事情

今回、オセアニアの旅で最大の難所は、オークランド空港での通関であった。隣席にいたオーストラリアの女性から「The terrible customs clearance at Auckland Airport!」と聞いていたが、食品の持ち込みが、うるさいとだけしか理解できなかった。

オークランドより、南のクイーンズタウン行き国内線の乗り継ぎは、2時間しかなかったもので、急ぎパスポート・コントロールのカウンターへ向かった。



クイーンズタウン、NZ、2015年3月

パスポート・コントロールは、問題なくクリアしたが、通関待ちの列が長いので時間を食ってしまい、税関員の質問を終えるまでに30分ぐらいかかった。

我々も食物を持参していたので、スーツケースの開放検査を指示されたが、その検査が、遅々として進まないの、覗いてみると税関員が、1人でバッグを開けて中を覗いては検査し、時折スーパーバイザーの所へ行っては、お伺いを立てるお粗末な手際であった。検査を終えるのに1時間近くかかり、結局、国内線の搭乗時間に間に合わず、乗り遅れになってしまった。



善き羊飼いの教会、Lake Tekapo、2015年3月

ニュージーランド航空のチケットカウンターは、心でたもので、即、明朝便の空席を調べ、無料でEチケットをくれた。その後、クイーンズタウンのホテルとレンタカーの予約が、無効にならないように電話してから、オークランドでのホテルを探すことにした。

折しも、2015年クリケット世界選手権が、オークランドで開かれ、しかも中国の春節祭と重なり、多くの中国人旅行客でホテルは、満室状態であった。

国際線ロビーに旅行店があったが、1泊5万円でも無理との返事だったので、腹を決めて夫婦共々、国際線ロビーで一夜を明かすことにした。幸い、レストランは、終日オープンで治安にも問題は無かった。また、長椅子もフラットで寝心地も悪くなく、午前3時に起きて周りを見ると、我々を含む夫婦者が、2組とバックパッカー5人が、長椅子を占拠して眠っていた。



Lake Pukaki, NZ、2015年3月

オークランド空港の食物検査は、国内家畜に対する伝染病と細菌の防疫を目的にしたものであろう。関係者に聞いてみると、5年前まで、食物検査は、全く無かったそうだ。持参した食品の内、ソーセージだけが、没収されて廃棄された。主要産業の羊毛の需要は、低迷する一方で、残る牛や豚の酪農をどうしても守り抜かなければならないとする政府の決意は、理解出来るが、オークランドの通関は、観光後進国さながらの不手際この上ない様であった。

2015年5月6日、スイスのダボス会議で知られる「世界経済フォーラム(WEF)」は、最新の「旅行・観光競争力報告書」を発表した。

日本は、141カ国中9位にランクされたが、ニュージーランドは16位で、中国が17位と続く、一方、オーストラリアは7位であった。ニュージーランドは、観光立国だと理解していたが、16位に合点した。

花も嵐も踏み越えて、今年、結婚40周年の旧婚旅行と洒落こんだが、とんだ難局の遭遇であった。しかし、夫婦が、共に生きる中で乗り越えなければならないチョットした局面だと互いに納得すれば、オークランド空港も、楽しい思い出に変わるだろう。

100 世界遺産の旅 (60)

ブルー・マウンテンズ

オーストラリア大陸の東海岸、北はケアンズより南はシドニーまで約 2500 km にわたる海拔 1000m の山々は、グレート・ディバイディング (大分水嶺) と呼ばれる。その北端にあたるのが、ケアンズの世界遺産「湿潤熱帯地域」で、南端が、シドニーの西 70 km にある世界遺産「グレーター・ブルー・マウンテンズ」で、内陸の乾燥・砂漠地帯と対比される。



スリー・シスターズ (ブルー・マウンテンズ)
シドニー、豪、2015年3月

そのブルー・マウンテンズを訪れてみた。朝7時にホテルでピックアップ後スタートし、交通渋滞を避けて、バスは、迂回しながら西へ向かった。

ブルー・マウンテンズの名前は、気温が上昇するとユーカリに含まれる油分が、気化して空気中に広がり、反射する光のうち、青色の光線を良く通してブルーがかかった色に見えるかららしい。2000年に世界遺産に登録されたことで脚光を浴び、現在では日帰りのツアーとして、非常に人気がある。



キングス・テーブル・ランド、2015年2月

まずブルー・マウンテンズに到着すると、シーニック・ワールドに案内された。ブルー・マウンテンズは、

元々石炭の採炭場であったが、石炭の露天掘り発見後に廃れた。世界一の急勾配(52度)の炭鉱夫搬送用トロッコ列車に乗って谷底へ降りて行った。

そこは、ユーカリの森で、木製歩道の散策を楽しみながらユーカリ森林の歴史についてのガイドがあった。その後、シーニック・レールウェイで地上へ戻り、スカイウェイ (ロープウェイ) に乗り換えて、340m下の谷底を覗きながら、スリー・シスターズが、見えるエコーポイント展望台へ向かった。



炭鉱夫搬送用トロッコ、2015年3月

ブルー・マウンテンズは、USAのグランドキャニオンと同じく太古は、海底であったところである。スケールの大きさでは、グランドキャニオンに譲るとして、ユーカリの原生林で埋め尽くされたジャミソン・バレーは、他に見ない独特の光景であった。



Katoomba Falls、豪、2015年3月

帰路、コアラと一緒に写真が撮れるフェザーデイル自然動物園に立ち寄るグループもいたのでガイドは、コアラの説明をしていた。一度人間が、コアラを触ると匂いに移り、親は子を育てないし、仲間からも外れる。公園にいるコアラは、代々公園内で生まれた後、子供は飼育員に育てられるらしい。我々夫婦は、コアラを抱いて感動するには歳をとり過ぎてしまっているの、そのままシドニーへ戻った。

100 世界遺産の旅 (61)

グレート・バリア・リーフ

想いと現実とは、常に異なる。グレート・バリア・リーフは、ゴールド・コーストの東海岸沖だと思っていたが、実際は、もっと北であった。

南緯 10 度から 24 度にかけて広がり、2600km を超える長さには 2900 以上の暗礁群と、約 900 の島が存在し、世界最大のサンゴ礁地帯＝大堡礁(だいぼしょう)である。そこは、数mmにも満たないサンゴ虫が、幾万の世代を超え、1800 万年かけた営みの賜物である。



大型クルーザー (奥)、ケアンズ、2015 年 3 月

グレート・バリア・リーフは、余りに広すぎて何処へ行くべきか迷ったので、取りあえずケアンズにある旅行店に飛び込んだ。店員は、アウター・グレート・バリア・リーフ (Beyond the Reef) と云うマニアックなクルーズをしきりに勧めてきた。

それを良く見てみるとダイビングやシュノーケルのメッカの様で、我々は、泳ぎのエキスパートにあらず、一般的なランチ付グリーン島クルーズに参加した。



グリーン島、G・バリア・リーフ、2015 年 3 月

当日、ホテルでスイミング用バスタオルを入手して、徒歩で 10 分の所にあるリーフ・フリード・ターミナルへ向かった。クルーズ船の出発時刻、午前 9 時まで

時間があつたので、暑い日差しの下、ケアンズハーバーを散策した。クルーザーは、250~300 人を収容できる大型のカタマラン・タイプ(双胴船)で、季節柄、満員だった。時間通りに出発し、1 時間強のクルージング後に、グリーン島へ到着した。



迫力の魚影、G・バリア・リーフ、2015 年 3 月

到着後、それぞれのアクティビティ毎に班分けされて、余裕時間の合間にランチを取る極めて合理的な流れであった。最初に、我々は、Semi-Submarine と云う船に乗ってサンゴ礁と魚の群れを眺めた。

Semi-Submarine は、船底にガラス張りの観察室を設けた特殊船で、次に乗るグラスボートより格段に海底を見通せた。船員が、Aqua-Feed (エサ) を巻いて魚寄せしたところ、大型の魚が大挙押し寄せてきたのは、感動ものであった。最後に、グリーン島に上陸して白砂青樹の海岸で泳ぐと、10 cm位の青い熱帯魚が、手に取るほどの近さで舞っていた。



グリーン島近辺図、グレート・バリア・リーフ

グリーン島は、1 周 40 分程度の島で、全体が熱帯樹林で覆われ、島内にはレストランやホテルもある。島の周りには広大なラグーンが広がり、一般旅行者が、グレート・バリア・リーフを理解するにあたり、気の利いた入門サンゴ礁の小島であった。

100 世界遺産の旅 (62)

オーストラリア旅事情

オーストラリアを訪問するのは、3回目である。最初は、1997年3月、シンガポールで仕事を終えた後、私的にシドニーを訪れた。シンガポールよりの追加往復航空運賃 15,000 円は、当然、自己負担である。

当時、ブルー・マウンテンズは、それほど有名でなかったもので、バスでシドニーの東にあるボンダイ・ビーチへ行き、泳いだことが、思い出される。

シドニーよりの帰路は、シンガポール経由で、月曜日の早朝に関西空港に着き、その足で出勤した。



シドニー、豪、2015年3月

2回目の訪問は、2003年1月で、西海岸最大の都市パースにおける会議の出席だった。パースは、ガス・石油と鉱物の中心都市で比較的若い家族が、多く住む街である。子供たちは、フレンドリーで、よく声を掛けて来た。オーストラリアと云えば、天然資源国で、この時、富の分配が、比較的公平に行われていると感じた。多くのオーストラリア人は、インドネシアのバリ島を訪れるが、同じガス・石油、鉱物の天然資源国であるインドネシア人が、オーストラリアで観光している姿を見ることは、まず無い。



クイーン・エリザベス号、シドニー、2015年3月



ケアンズ、豪、2015年3月

グレート・バリア・リーフがあるケアンズは、興味深い街であった。海に面していながら、ビーチが無い。海岸に、ペリカンや海鳥が、生息しているので、自然環境保全のためビーチを造らないのだろう。

その代わりに、海岸に巨大な人工ラグーンを建設し、砂を敷きつめ、海水を引いて市民や観光客に無料で開放している。ラグーンの前に、我々のホテルがあり、部屋は広く、南に面したテラス付である。

ただ、毎日の清掃は無く、タオル類は、フロントで受け取るシステムであるが、ツインベッドの部屋が、1泊1万円(税込)のリーズナブル価格であった。ホテルの裏側にスーパーがあり、食料にビールやワインを仕入れて、家人とテラスで楽しんだ。



人工ラグーン、ケアンズ、2015年3月

ケアンズより関西空港へ直行便が、飛んでいる。JAL, QANTAS, JETSTAR の珍しい3社コードシェア便で、我々は、LCC の JETSTAR を片道一人 27,000 円で利用した。JETSTAR の価格は、日々上下し、価格追跡をしてみると、月末と月初めに最安値となるようで、それを狙って航空券を購入した。

LCC には食事が付かない。よって機内食は、JAL と QANTAS の上客だけで、JETSTAR の乗客にサービスは、無かった。我々は、事前にスーパーで買ってきたサンドウィッチを取り出してビールとコーヒーだけを注文し、上客と共に食事をとった。

巻末 (3-5) ニュージーランド/オーストラリア

100 世界遺産の旅 (63)

津軽海峡夏景色

2015 年の夏、東北地方に点在する世界遺産を訪れることにした。マイカーで探訪するため、まずは、フェリーで北海道へ渡った。零時 30 分、山陰の舞鶴より出航し、小樽の到着が 20 時 45 分でおおよそ 20 時間の船旅だった。この発着時刻は、旅行者にとっては不便であるが、数多く載せるコンテナの集配時刻に合わせたものであろう。小樽に到着後、夕涼みがてら、初めての小樽運河を暫し散策した。



小樽運河、小樽、2015 年 8 月

小樽到着が、20 時 45 分と中途半端だったので、ホテルに泊まらず、車で西へ 1 時間の「道の駅：スペース・アップルよいち」で車中泊した。宇宙飛行士の毛利衛氏が、余市出身と云う事で名付けられたそうだ。その道の駅の隣舎が、NHK 朝ドラ「マッサン」のニッカウキスキーの余市蒸留所である。



ニッカウキスキー余市蒸留所、2015 年 08 月

今回の「道の駅」で驚いたのは、駐車している車の半分が、本格的なキャンピングカーであった。我々は、儉約旅行家にして、ミニバンの 2 列目と 3 列目の座席をフラットにし、カーテンと寝袋を備えただけの簡易車中泊である。「道の駅」は、国土交通省が所管する一般道のサービスエリアで 24 時間トイレが利用で

き、一晩中、照明が灯る。



五

五稜郭、函館、2015 年 8 月

早朝、余市を出発して札幌へ向かい、40 年ぶりに時計台を覗いてみた。札幌の後、南の洞爺湖を訪れ、2008 年にサミットが開かれたウインザーホテルへ立ち寄って休憩した。その後、内海湾に沿って車を走らせ、駒ヶ岳をランドマークにして函館へ入った。

まず、函館では、新選組副長の土方歳三に線香をあげたくて五稜郭を訪れた。夕食後、夜景を楽しむため函館山へ上ったが、生憎の曇りで、夜景は、一瞬だけの輝きであった。今回、函館で活イカを食べるのが、楽しみの一つであったが、期待外れであった。長崎で食べた活イカは、ヤリイカで、一方の北海道は、スルメイカで、味は劣った。函館のスルメイカは、一夜寝かせた乳白色の刺身が、ベストであろうと考えつつ、翌朝、フェリーで青森へ渡った。



東北本線最北、青森駅、2015 年 8 月

20 歳代、横浜の事務所に勤務していた関係で、よく北海道、東北へ出張した。特に思い出に残るのが、釧路より列車を乗り継いで、24 時間かけて横浜へ戻った旅である。青函連絡船が、青森港に着くと「津軽海峡冬景色」の曲が流れ、旅情を痛く刺激されて涙した事を覚えている。20 歳代では、出張を利用して個人旅行を楽しんだが、「個人の都合に合わせて国の内外へ出張する」と云う不謹慎な見を起こすようになったのは、30 歳代に入ってからである。

100 世界遺産の旅 (64)

白神山地

多々ある世界遺産のなかでも、理解し難い一つが白神山地であった。唯一知る処は、1993年、「スギ」の屋久島と、「ブナ」の白神山地が、日本で初めて、世界自然遺産として抱きあわせ登録されたことぐらいである。白神山地の中心部へは、徒歩で数時間かかるので、境界部にあたる「暗門の滝散策コース」を訪れたが、変哲もない林と滝だけだった。



白神山地、青森、2015年8月

後に、マタギがガイドをしていると云う白神の森を訪れてみた。生憎、マタギのガイドに先約があり、我々は70歳を超える女性にガイドをお願いして森を散策した。ガイド曰く、ブナは「撫」と書き、「木」として価値が「無」という意味らしい。

ブナの成長は遅く、利用価値が無いが故、伐採されず古代よりブナの群生を許し、結果として自然の水瓶となり、豊富な水が里へ供給され、田畑を潤うらしい。

森にある高木、中木は、全て落葉樹で、秋になると一斉に葉を落とす。一番下の低木だけが、常緑樹である。春の訪れと共に雪が融け、日光が地面まで降り、山菜や草花が芽を吹き、低木部より森は蘇える。



マタギの白神の森・遊山道、青森、2015年8月

今回、初めて、自生する水芭蕉、ミツバ、ワサビ、セリと共に、山深くの水源を観察できたのは、白神の森を知り尽くした老ガイド嬢のお蔭であった。



岩木山より東を臨む：津軽平野、八甲田山

「木を見て森を見ず」では叱られるので、森を凝視したが、それでも白神山地の全体像が掴めない。そこで日本100名山の岩木山(1625m)へ登ることにした。

幸い快晴に恵まれて、白神山地、日本海、八甲田山が一望できた。今回、小説「八甲田山死の彷徨」の現地を訪ねることが出来なかったが、その峰々を遠望出来た事に感動し、一応の納得とした。



岩木山より西を臨む：白神山地、日本海

遠く、東を見れば津軽平野が広がり、その向こうに八甲田山が見える光景は、米どころであり、リンゴの里でもある。一方、西を見れば、白神山地の彼方に日本海が横たわる。雪が融け、栄養分を含んだ水は、当然日本海へも注ぐ。日本海は、世界有数の良漁場で、その豊かさは、森林を抱く山々のお蔭ではないかと思う。韓国を訪れては、度々デパ地下を覗いたが、魚のほとんどはアゴ(トビウオ)のようなものが多く、高級魚は、精々ヒラメぐらいである。

魚種も少なく、小型魚が多いのは、韓国近海の漁場が、大陸棚である事と、木々が、山に少ないのが、要因かと思われる。この仮説が、正しいとすれば、ブナに「撫」ではなく「栴」の字を授けたい。

陸と海の幸コラボ：寿司(米+魚)と云う食文化が根付く日本に生まれて、しみじみと幸せを感じる。

100 世界遺産の旅 (65)

青森ねぶた

「青森ねぶた祭り」は、どうしても見ておきたい東北の夏祭であった。その6か月前、青森のホテルは、満室だったので、弘前へ変更した。おかげで青森と弘前の「二つのねぶた」を楽しむ事が出来た。

「ねぶた」とは、眠たいという意味らしく、夏の農作業が終わって後、祭りに参加するのは眠たくてたまらないと云う事らしい。青森は「ねぶた」と云うが、弘前では「ねぶた」と呼ぶ。形状として、青森は、人形型の灯籠で、弘前は、扇型の形が主で、それぞれ独自の伝統を引き継いで表現している。



弘前ねぶた、武者絵（表側）、2015年8月3日

夜のとばりが下りる午後7時に、弘前のねぶたは、大太鼓を先頭に始まる。薄暗い彼方より練り出しが始まり、最初、囃子だけが聞こえ、次第に、灯籠が近づいてくると周りは暗くなり、幻想的な雰囲気にも包まれる。弘前では、2車線の道路を占拠して行進するので、規模は控えめで、一様に正面が、三国志に出てくる様な武者絵で、裏が、天女、和服姿などの女性の見送り絵であった。形状は、扇型の形に統一され、それが台座の上で回転する仕組みである。



弘前ねぶた、見送り絵（裏側）、2015年8月3日

一方、青森ねぶたは、躍動的で3Dを駆使した様に、超立体的な形状で造られている。リオのカーニバルやハリウッドに出るだけあって、その迫力は、素晴らしいものがある。竹や針金の構造に合成紙を貼り付け、内部には多数の電球が取り付けられている。

よって、灯籠と、鐘・太鼓・笛の鳴物の他、発電機が、ワンセットになって行進する。まあ、世界無形文化遺産に登録したいほどの、ド迫力であった。



青森ねぶた、無音移動、2015年8月4日

夕暮れになると一斉に移動し始めるが、鐘・太鼓・笛の囃子は無く、それぞれの位置まで進み、道路を塞ぎ終わった後、号令の下、囃子の音と共にスタートし、市街3ブロックを循環して回る。4車線を埋め尽くすので、そのスケールたるは、弘前ねぶたをはるかに超えるが、素朴な弘前、躍動的な青森、「二つのねぶた」を見比べてみるのも面白い。



ド迫力の青森ねぶた、2015年8月4日

27歳の時だったと思うが、製紙会社訪問のため、8月下旬の夜、秋田駅に辿り着いた。秋田駅よりホテルまで路地を通るのだが、路地脇の小さな公園で季節外れの盆踊りであろうか、40人ほどの男女が輪を作り回っていた。既に冷たい風が吹き、見物人がいる訳でもなく、ひたすら踊る姿をみて、異様な風景にみえた。

東北の夏は、青森ねぶたで始まり、お盆で終わるのかもしれない。永く続く冬の季節も間近で、往く夏を惜しむかのように、脇目も振らずひたすら踊っていた一団が、脳裏に焼き付いている。

100 世界遺産の旅 (66)

兵どもが夢の跡

東日本にある 3 つの世界文化遺産を訪れた。最北の平泉・中尊寺は、好きな世界遺産の一つで、特に茶室松寿庵からの眺めは、いつ見ても癒される。

東西に衣川が流れ、また南北に東北本線が走る他は、一面に絨毯を敷いたような田んぼと、それを縁取る緑の山々が、遠くに広がる喉かなる風景である。



平泉中尊寺・金色堂、岩手県、2015年8月

奥州藤原氏は、もともと衣川の北に居を構えていたらしい。砂金や駿馬の産出で繁栄し、栄華極まる寺院を建立しようとしたが、衣川の北方は、蝦夷と云われていたので、その南の平泉を選んだ。京都に対するコンプレックスと、成金者の見栄が、そうさせたのだろう。江戸時代に入り、平泉の荒廃を見た松尾芭蕉は、「夏草や兵(つわもの)どもが夢の跡」～平泉毛越寺の句碑～と詠っている。平泉の後、芭蕉は、北上せず、日本海へ旅したのは、江戸時代も衣川が、経済と文化の北限であったのかもしれない。



日光東照宮、栃木県、2015年8月

日光東照宮は、云わずと知れた徳川家康の霊廟である。家康は、仙台藩主・伊達正宗が、謀反を起こすのではないかとする死後の世界を恐れて、北への守りと

して日光に東照宮造営の遺言を残している。

中国の歴代皇帝は、莫大な費用と長い年月を掛けて「万里の長城」を築造したが、守りとしては、蟻の一穴から、もろくも破られる長城の脆弱さを家康も聞いていたに違いない。そこで長大な城壁を造るより、神格化されて東照大権現となり、徳川幕府の行く末を、北の魔物から守護せんとしたのだろう。



旧富岡製糸場、群馬県、2015年8月

富岡製糸場は、明治政府によって造られた最初の近代的な製糸工場であった。しかし工場の創設と云うより、工場閉鎖後、永く工場設備や機械を保全し続けた片倉工業の努力に頭が下がる。一時期、その維持・管理に年一億円かかったと云われる。後に、土地は、富岡市へ売却されたが、建屋、機械類は、無償譲渡され、世界遺産登録への道を開いた。



旧富岡製糸場・製糸機械、2015年8月

富国強兵の号令のもとに新設された富岡製糸場は、外貨獲得の先鋒として健闘したが、残念ながら「安かろう、悪かろう」は、その後、日本製品の代名詞になった。その富国強兵は、1945年8月15日、太平洋戦争の敗戦で終焉を迎え、あの松尾芭蕉が、タイムマシンに乗って、焦土化した日本を見たとするれば、「夏草や兵どもが夢の跡」の他に、如何なる句を詠んだらうかと想いつつ東日本を後にした。

100 世界遺産の旅 (67)

ヴィクトリアの滝

ドイツ、スイス、南アフリカを經由し、33 時間掛けてジンバブエの Victoria Falls Airport に午後着陸した。ホテルに近づくにつれて、ヴィクトリアの滝の水煙が、車窓より見えてきた。

35 度を超える猛暑で、早速、スイミングパンツに着替えて、ホテルのプールへ飛び込み、ビールを買い求め、デッキチェアに寝そべて疲れを癒した。空に飛び交う多くのヘリコプターや原動機付ハンググライダーは、遊覧飛行を楽しんでいるようだった。



ヴィクトリアの滝、西側、2016 年 4 月

世界 3 大瀑布は、ナイアガラの滝 (USA)、イグアスの滝 (南米) とヴィクトリアの滝 (ジンバブエ/ザンビア) であるが、ようやく世界最大を誇るヴィクトリアの滝に辿り着き、感無量である。

108m の落差と雨季の増水と相まって、ド迫力で怒涛のごとき落水は、近づくると地響きさえも感じる。1855 年、スコットランドの探検家リビングストーンによって発見され、当時のイギリス女王にちなんで、ヴィクトリアの滝と名付けられた。



リビングストーン、ジンバブエ、2016 年 4 月



ヴィクトリアの滝、滝壺谷、2016 年 4 月

他の 2 つの滝と比べると、ヴィクトリアの滝は、その形成過程が大きく違う。2 つの滝は、滝が流水で削られて徐々に後退していくが、ヴィクトリアの滝は、滝の後方の石灰岩で出来た柔らかい部分に亀裂が入り、そこが侵食されて新たな滝が出来る。

よって、下流の形状は、蛇行しているような地形に成る。現在の滝は、7 番目で、すでに 8 番目の滝の浸食が始まっているようだ。滝は、西方より深い谷へ落水し、その水は北へ走るが、打ち破られた東側の自然水門より下流へ押し出されるように流れ出る。



東側、ジンバブエとザンビアの国境橋

今回訪れたヴィクトリアの滝があるジンバブエは、もともと南ローデシアと呼ばれ、白人所有の農場を強制収容したが、急激な農業改革の失敗で、ハイパーインフレを招いた。兆単位紙幣が、土産として売られている状態で、現在、自国の通貨を持たず、US ドルと南アフリカ・ランドが、市場に流通している。USA や日本から遥かに遠い国であるが、US ドルの強さと共にトヨタ車の多さには驚かされた。

さて、落差世界一の滝は、ベネズエラにある 978m の エンジェルフォールである。世界 3 大瀑布とその趣は異なるが、何時かはその絶景を見たいと密かなる願望が、南アへ向かう機中で湧いてきた。

巻末 (3-6) アフリカ

巻末 (4-6) 世界 3 大瀑布

100 世界遺産の旅 (68)

チョベ国立公園サファリ

朝7時、ヴィクトリア・フォールズ（ジンバブエ）のホテルでピックアップされた後、隣国ボツワナのチョベ国立公園へ向かった。午前中は水上より、午後は陸上でのサファリである。陸上のサファリは、ゲーム・ドライブとよばれ、ゲームとは「獲物」という意味なので、川や湖では、ゲーム・クルーズと呼ぶべきだろう。インパラのステーキ等のランチ付きで、洗練されたサファリの1日であった。



カバの生息地、チョベ川、2016年4月

チョベ国立公園は、象の生息密度が高く、いたる所で見ることが出来る。しかも、日本のサファリパークのような感じで、ここかしこで野生動物に遭遇した。相違点と言えば、隔離用のフェンスが無い事と、車に防御用ネットが張られてないことだった。

2015年、南アフリカのサファリパークでジープが、ライオンに襲われた事件があり、今回、象の1頭が、逆走して来た時は、度肝を抜かれた。ライオン、豹、象、バッファロー、サイの5種類をビッグ・ファイブと呼ぶが、その内、チョベではサイを除く4種類が生息し、今回、幸いにも豹以外に会うことができた。



キリンの親子、ボツワナ、2016年4月

巻末 (3-6) アフリカ



バッファロー大群、ボツワナ、2016年4月

チェベに多くの動物が、生息しているのは、1年中水が豊富だからで、日本人が、思い浮かべるサバンナの風景とは異なる。北西に位置する高地のアンゴラに降った雨は、地中に浸み込むが地底の固い岩盤に沿って南方へ流れ、湧き水となって地上に戻り、低地にあるボツワナのチェベ川へ流れ込んでいる。チョベ川は、湖のように広く、また水深が浅いので、カバ、ワニなどが多く生息している。

世界遺産のアフリカン・サファリといえば、ケニアのンゴロンゴロ自然保護区であるが、昨今のテロ事件で探訪を断念した。ケニアの場合、最短3~4泊せねばならないが、チョベでは日帰りが可能で、遜色も無く、十分に楽しむことが出来るので、旅費と時間を節約できるのでお勧めである。



水浴後の象一家、ボツワナ、2016年4月

今回のサファリツアーは、南アフリカ人カップルとスイスからの母子の5名であった。嬉しい事に、南アフリカの男性より、このチョベ国立公園は、中部アフリカ以南ではベストであるとお墨付きを頂いた。

スイス人の母親は、イエローカード（黄熱病）をホテルに置き忘れたため、午前中のクルーズに参加できなかった。入国管理の検疫係員に頼み込んで、息子だけは入国を許可してもらい、彼女と言えば、送迎の運転手と共にイエローカードをホテルへ取りに戻るはめになった。アフリカや南米の旅では、イエローカードは、必携であることを肝に銘じる騒動であった。

100 世界遺産の旅 (69)

ケープタウン

4月24日午後8時、南アフリカのヨハネスブルグを經由し、南端のケープタウン空港に到着した。外は雨で、肌寒い。タクシーで市内のホテルへ向かう途中、運転手に聞くと、季節は晩秋とのことだった。



市庁舎とテーブルマウンテン、2016年4月

翌日、朝早くから街の散策へ出かけた。雨は上がり、空に少し雲が残っていたが、日差しと冷気が心地よい。散策後に、2階建て市内観光バスに乗って、テーブルマウンテンへ向かった。日本で言えば、源平合戦の香川県は、屋島と云ったところだろう。屋島は木々で覆われているが、こちらのテーブルマウンテンは、全て露出の岩山である。早速ロープウェイに乗って登頂した。このロープウェイは、面白いことに乗客キャビンが回転する。

乗客は、平等に景色を楽しむことが出来るが、製造コストと保全修理コストを心配せずにいられなかった。山上は、全体に岩石を敷き詰めた平坦な風景が続いていた。ケープ半島一帯が、この様な岩石の山々で、出来ていると見て良さそうだ。



ライオンヘッド、ケープタウン、2016年4月

巻末 (3-6) アフリカ



ロングストリート、ケープタウン、2016年4月

1652年、ケープタウンは、オランダ東インド会社の中継点として建設され、南アの港湾都市としての役割を担ってきた。テーブルマウンテンの麓に、歴史的建造物が建ち並び、ヨーロッパの街並みのような雰囲気が漂う。街の中心部より、歩いて20分ぐらいの所にウォーターフロントと呼ばれるエリアがあり、フードコート、お土産店が、所狭しと並ぶ倉庫風のショッピングセンターである。

ケープタウンの中心部は、治安の問題もあり、廃れているような感じだが、ウォーターフロントでは、古いも若きも集う現代的な街造りであった。



ウォーターフロント、2016年4月

南アフリカと言えば、金やダイヤモンドの産出国として有名だが、今日的には、ワイン産業で、ワイナリーのツアーも多く催行されている。ボトル750mlが約540円で、乾燥した地中海気候のもとでは、水代わりと言うべきか、いくら飲んでも止まらない。

特にギンギンに冷やした白ワインを頂くのが最高である。ただ、問題は、ホテルに冷蔵庫がないので、毎夕、1本のワインを飲み干さねばならず、嬉しいやら、辛いやら、思いは、複雑に交錯しながら、結局のところ、アルコール中毒の一手前まで陥った。帰国後、体調が、平常に戻るまで1ヶ月を要し、ワインを求める心身の制御には苦勞した。

100 世界遺産の旅 (70)

喜望峰

朝7時、ケープタウンを出発して、喜望峰へ向かった。喜望峰は、ケープタウンより南方約60kmの所に位置し、半島の先端である。当初、喜望峰は、最南端だと理解していたが、正確には、最南西で、その西が大西洋、東がインド洋である。互いの潮流が、ぶつかり合っ、潮だまりができるため、帆船が、無事に航行するには困難な海峡であった。

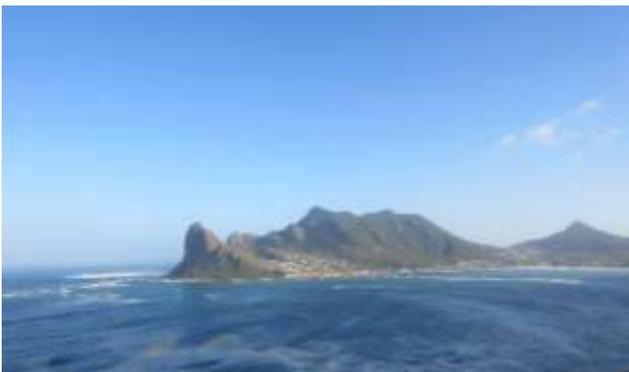
1488年、最初に、海峡を通過して、アフリカを経由し、インドのゴアに辿り着いたのが、ポルトガル人のバスコ・ダ・ガマである。それ以前は、「嵐の岬」と呼ばれていたが、バスコ・ダ・ガマの航路発見で「喜望峰」へ呼称が変わった。



喜望峰(中央)、南アフリカ、2016年4月

「喜望峰」これほど旅のロマンを掻き立てる地名はない。遙か遠く、淡青の空と紺碧の海の境に、水平線が見える。フィリピンでマゼランを失い、最後の一隻となったビクトリア号も通過し、世界一周を成し遂げた。また来日したフランシスコ・ザビエルも通り過ぎたかと想うと胸が熱くなる。

最初に、日本人が、喜望峰を越えたのは、九州のキリシタン大名が、1582年にローマへ派遣した「天正遣欧少年使節団」であろう。喜望峰は、西欧と日本を結び付ける海上交通の要であり、「100世界遺産の旅」の中でも、印象に残る風景の1つになった。



ハウト湾、南アフリカ、2016年4月



ケープ・ペンギン生息地、南ア、2016年4月

ケープタウンより、南方へドライブすると東側は切り立った崖で、西側に大西洋が広がる。さらに40~50分いくと、前方の眺望が開け、ハウト湾を見渡す展望台に着く。その後、道路は、半島を横断してインド洋へ出る。イギリス軍が、建設したサイモンズ・タウンを通過し、ボルダーズ・ビーチへ至る。

ここは、ケープ・ペンギンの生息地で、多数のペンギンを観察することが出来た。繁殖期であったのか、多くのカップルが、卵を交互に暖めていた。その南が、喜望峰自然保護区で、時折、大型の鹿やダチョウをみる事が出来る。これらの保護区も全て、テーブルマウンテン国立公園と呼ぶらしい。そして荒野を縫うように走ると、いよいよ喜望峰に着く。



ロベン島刑務所、ケープタウン、2016年4月

ケープタウンより北西14kmの洋上にある孤島が、ロベン島である。アパルトヘイト時代、主に黒人の政治犯専用の刑務所で、後に大統領になったネルソン・マンデラの独房もある。ガイドは、当時、投獄されていた囚人で、その過酷さが、一層現実味を増す。説明によると、「サボタージュ」の罪名で20年の刑を言われた囚人もいたそうだ。1999年12月に、ユネスコの文化遺産に登録されたが、いわゆる「負の世界遺産」の代表格の1つである。

100 世界遺産の旅 (71)

アフリカ旅事情

アフリカを3度訪問したが、いつも「安全」が、キーワードであった。紛争、テロ、強盗、そして疫病等が、懸念される大陸である。昨今、テロと疫病が多発している北部アフリカと中部アフリカは、旅行に適さないのが、残念でならない。



ケープタウン、南アフリカ、2016年4月

ヴィクトリアの滝では、物売りがしつこくて困るが、道路のあちこちに Tourist Police の制服を着た人が、配置されている。一方、南アフリカのケープタウンは、物乞いが多くて街を歩くにも難儀する。

特にケープタウン駅付近では、危険ささえも感じるが、所々に Security Service の制服を着た面々が、屯している。ケープタウン空港からホテルまで利用したタクシー運転手曰く、「家にも、この車にもピストルを隠し持ってる」と言う恐ろしい現実があった。

多くの事件は、夜間に発生するので、日没後に外出しないことが、「旅の安全原則」である。



アブ・シンベル神殿、エジプト、2008年3月

2008年、家人とエジプト旅行に出かけた。ピラミッド、ツタンカーメン、ルクソール等、古代エジプトの世界遺産を目の当たりにし、思い出深い旅であった。併せて、治安対策を、垣間見る事が出来た。アレキサンドリアよりカイロまで、バスで移動した

時、運転手席の後ろに係員が乗っていた。紹介はなかったが、腰のあたりに大きなピストルを掲げていたので、ガイドに確認すると、私服警官であった。

1997年、ハトシェプスト女王の葬祭殿で、日本人を含む67名が射殺されるテロが発生した。その対策だろうか、カイロから南の隣国スーダン近くにあるアブ・シンベル神殿へは、軍隊が護衛にあたった。

約10台の観光バスが、カイロの駐車場に集結後、隊列を組み、先頭と後尾に軍隊のジープが配備されて出発した。いわゆる、コンボイスタイル（護送船団）で、所々に検問があり、兵隊が警備していた。



ハッサン、カサブランカ、モロッコ、2013年7月

2016年4月、ボツワナで、同じくサファリを楽しんだ南アフリカの男性によると、10年前、1ランド=13円であったが、現在は、1ランド=7円で、その価値が半分になり、海外へ行けないと、ぼやいていた。少し前まで BRICS への投資が、もてはやされていたが、今はどうだろうかと思案される。



サファリ、ボツワナ、2016年4月

地球を歩いている間、家族へ現在地を知らせる必要があり、日本で通話料を含めて1000円/月のドコモのガラケー（携帯電話）を持ち歩いている。

もっぱら SMS (Short Message System) の利用で、海外からの送信料は、1通100円、受信料は0円と、極めて使い勝手の良い通信手段である。非常事態が生じる可能性は低く、SMS の活用で路銀の軽減を計りながら、お気楽道中を満喫している。

100 世界遺産の旅 (72)

超過密都市

25年ぶりに香港を訪ねた。香港と云えばヴィクトリア・ピークからの眺望で、映画「慕情」の主題歌、Love is a many splendored thing を口ずさみながら、ケーブルカーで登頂した。驚いた事に山頂にショッピングモールが在り、これも「爆買」で有名な本土の同胞向けのようだった。

幸い、午前9時発のケーブルカーを利用したので空いていたが、11時前に下山した時、グランド・ステーションでは、乗車待ちの長蛇であった。



ビクトリア・ピーク、香港、2017年2月

まあ、香港は、いつ来ても超過密都市である。ビルとアパートが、林立する世界である。30年前、香港代理店との契約更新時に、Witnessとして訪問したが、事務所と同じ25階のフロアに工場があり、忙しく稼働していたのが、場所柄、異様に見えた。今回、街に走るバスとトラムに乗車する機会を得たが、どちらも、全て2階建てで、狭い道路を走り回っていた。トラムと云えばマッチ箱を立てに2個重ねた様な型式で、長椅子間の通路は、一人がやっと通れる位だ。



香港島繁華街、2017年2月

食に興味があるわけでも無いが、「飲茶」を頂いた。しかしながら、その美味さに感動した。味付けは薄いが、厳選された食材とその新鮮さ、そしてスープの旨味からくる美味さは、絶妙であった。

午前11時にレストランに到着すると約100人が、列を成していた。開店と同時の入店は、無理だと諦めていたが、室内は広く、約25のテーブルが有り、各々、我先にテーブルを陣取っていた。



飲茶・美心皇宮、香港、2017年2月

香港赴任家族の平均的家賃は、55万円程度/月で、日本人学校負担金7万円/月と共に全額会社負担である。また、海外赴任家族の特権か、それとも赴任に対する補償か、カナディアン・アカデミーの学費25万円/月を負担している会社も少なくない。

高額家賃は、中国よりのマンション投資に併せ、在住家族の警備保証や特別施設に起因する。1階、及び階上の2カ所でセキュリティーチェックがあり、安全と共にプール等の施設が提供されている。年々、70階高層の家賃は、2万円程度上昇しているらしい。



九頭竜半島に建つ新マンション群、2017年2月

関空-香港間の航空券は、HK Expressを利用すると片道¥10,230で、大阪-東京の料金と変わらない。香港で見るべき所は、少ないので、時たま、本物の「飲茶」を頂きに訪問してはと考える。

100 世界遺産の旅 (73)

御礼行脚

シンガポールは、第3のビジネス故国である。ここを起点に、石油精製、石油化学のプロジェクトを追いかけて、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンへと飛び立った。種捲きより初めて、4~5年して漸く、客先指定による受注という成果を手にした。併せて、現地の人々と実践英会話の機会を得た事は、以後の人生に掛け替えのない宝となった。



オーチャード通り、シンガポール、2017年2月

初めて Singapore を訪れたのは、1979年の2月だった。寒い朝、伊丹空港を離れ、夕方、シンガポールに到着した。空港は、現在のチャンギ国際空港ではなく、内陸部にあったパヤレバー国際空港だった。

着陸後、タラップを降りてゲートまで駐機場を歩くわけだが、厳寒の日本より飛来して、暖気に触れた瞬間、嬉しさの余り小躍りしたものだ。



セントーサ島、シンガポール、2017年2月

当時は、まだ余裕のある時代で、ビジネスクラスが利用できた。搭乗するやシャンパンのサービス、そして「80日間世界一周」の曲が、快く流れる。昼間の飛行機移動で、食事も2回提供され、しかもワインやビールは飲み放題で、給料はもちろん、退職金まで自動的にカウントされる。これが国際ビジネスマンの一日かと感心し、同時に浮かれた。

また、シンガポール航空のバティック調ドレスを着たスチュワーデスを眺めながら、事故の際、サンダル履きの彼女達の対応は、大丈夫かと心配した。

シンガポールで最も印象に残っているのが、セントーサ島である。本島の南に位置する小島で、当時は、小型ボートとロープウェイ以外に渡る手段はなかった。ゴルフと海水浴だけのアクティビティで、島全体は、ジャングルで覆われていた。

ゴルフ場の周りにコテージがあり、3日ほど滞在した。そのコテージは、快適で、しかも静寂にして、夢に見たトロピカルな雰囲気だった。1997年に訪問した時、コテージは無く、ホテルの建屋だけが残っていた。今回、訪問したセントーサ島は、ユニバーサル・スタジオ等を有するアミューズメント・アイランドへと大きく変貌し、時代の移り変わりを感じた。



Botanic Garden, Singapore, Feb. 2017

2015年に登録されたシンガポール唯一の世界遺産は、オーチャード通りの北端より西へ、20分ほど歩いた所にある Botanic Garden で、鬱蒼とした森林植物園である。敷地は、東京ドームの10数倍で、ひと回りするには2~3時間かかる。その植物園の中にある有名な National Orchid Garden では、いろんな種類の洋蘭を、回遊しながら魅入ることが出来る。



National Orchid Garden, Singapore, Feb. 2017

34歳でUSAの会社へ転籍した時、海外旅費規程が改訂され、ビジネスクラスが、エコノミークラスの最安値へと格下げされた。思いを巡らして「最安値航空券」とは、「月曜早朝帰国即入社」や「海外出張時休暇取得」も容認されるものと勝手に解釈した。これらの前向きな捉え方は、55歳で仕事に飽きるまで、何らお咎めを受ける事なく延々と続いた。

100 世界遺産の旅 (74)

Marina Bay Sands

「絶景かな、絶景かな」は、石川五右衛門が、京都・南禅寺の山門から、満開の桜を観て発した名セリフだが、今回、我々夫婦も Marina Bay Sands の屋上プールよりの眺めをして「超絶景〜！」と叫んだ。

この Marina Bay Sands は、曰く因縁の大型プロジェクトであった。それは、二つの大きな逆境を跳ね返して成し遂げた偉業で、アジア有数のランドマークに仕上げた所以が、天晴れである。また、マカオに負けず劣らずと博打場を開帳し、中国からの爆買同胞を分捕り合うカジノ戦争でもあった。



Marina Bay Sands, Singapore, Feb. 2017

おおよそ 20 年前であろうか、マレーシアへ行く機会が多く、よく耳にしたことであるが、マレーシアとシンガポールの間で「水戦争」が起こっていた。シンガポールは、マレーシアに飲料水を頼っていたが、突然、マレーシアが「シンガポールへの水の供給を停止する」と通告をしたため、紛争が起こった。

取りあえず、問題は、協議続行として収束したが、シンガポールとしては、戦略上、国内に Reservoir (貯水池)を増やさざるをえず、そこで目につけたのがマーライオン前の Marina Bay であった。

当時、マーライオン前は、汽水の湾で、その湾の南側に高速道路が走り、その景観が、醜悪なため、久しく、国民および観光客からの不評が、続いていた。



MBS の北側、マーライオン、2017 年 2 月

結局、シンガポール政府は、Marina Bay の出口にダ

ムを建設し、湾を淡水湖にかえた。今回、Marina Bay を一周した時、マーライオン噴水横の水を少し口にしたが、間違いなく淡水であった。

次に、高速道路の北側を埋め立て、現在の Marina Bay Sands Hotel を建設した。いわば、このホテルは、高速道路、ダムを目隠す屋外几帳である。

さらに、高速道路の南側も埋め立て、バベルの塔に似た植物塔のドームを含む Garden by the Bay を建設した。正に、Kill two birds with one stone の成功例である。



Garden by the Bay & Dam, Feb. 2017

Marina Bay Sands (MBS)は、3 塔の建造物によって支えられている。それぞれ塔の南側と北側に客室があるが、3 塔の設計は、大きく違う。西の塔は、吹き抜けが大きく、いわゆる大股開きの状態で建っている。東の塔は、吹き抜けが殆ど無く、中央の塔が中間位である。それら 3 塔の地下にカジノが在る。

最も特徴とするのが、屋上の舟形プールである。展望台へは、誰でも上れるが、その隣のプールへは宿泊者に限られ、差別的なチェックゲートがある。

屋上プールから、マーライオンをはじめ、高層ビル群、さらに西方には、セントーサ島が見える。

その向こうに、シンガポール石油や EXXON の石油精製工場の島々が見え、30 年ほど前にボートに揺られて訪問したことを、懐かしく思い出して眺めた。



Marina Bay Sands 屋上プール、2017 年 2 月

シンガポールは、元々、淡路島と同じ面積であったが、長年の埋め立てで、現在 1.2 倍になっている。ガーデン・シティと呼ばれたシンガポールは、ラスベガスのアミューズメント手法を取り入れ、今も、国土を拡張しつつ進化しているように見えた。

100 世界遺産の旅 (75)

要塞都市マラッカ

2008年、「マラッカ海峡の歴史的都市群」としてマレー半島のマラッカ（メラカ）と、北部ペナン島のジョージタウンが、世界遺産に登録された。この2要塞に、カリマンタン島のクチンを加え、マレーシアの3大要塞都市と云われている。

幸い、ジョージタウンは、対岸のペトロナス肥料工場の訪問時に数回、カリマンタン島のクチンは、1994年5月、サラワク州の天然ガス生産地ミリ訪問の前、シンガポール事務所の社員旅行に同行した時に立ち寄った。今回、最期の要塞都市マラッカを訪問できた事は、感慨深いものがある。



3大要塞都市、マレーシア

1511年、ポルトガルは、マラッカを制圧し、アジアの拠点として要塞や教会を建設したが、1641年、オランダによって占領された。1824年、マラッカ海峡より西側をオランダ領（現インドネシア）に、東側をイギリス領（現マレーシア）に譲渡分割された。

イギリスは、北のペナン島のジョージタウンと南のシンガポールに城塞を築くことで、海峡植民地（海峡封鎖）を完成したため、要塞都市としてのマラッカの価値は、低下した。



マラッカ要塞、マレーシア、2017年2月

マラッカの街は、比較的狭く、3時間程度で見て歩ける。中心は、砦と小高い丘にある教会、オランダ時代の支配を偲ばせるオランダ広場、そこから橋を渡って北西へ伸びる華僑の中華街、それと時間つぶしには、もってこいの小型船によるリバー・クルーズだった。我々は、旅行中の運動不足を取り戻すために、端から端まで歩き回った。



オランダ広場、マラッカ、2017年2月

マラッカで興味を引かれるのは、マゼラン（1521年フィリピン/セブ島没）とフランシスコ・ザビエル（1552年中国/上川島没）である。1511年、マゼランは、マラッカ制圧に船乗りとして参加し、名声を上げた。ここで、香料諸島（インドネシア/モルッカ）の情報を知り、帰国後に西回りで航行する野望を抱いたようだ。一方、1546年、フランシスコ・ザビエルも、どういう訳か、香料諸島を訪問している。

その後、ザビエルは、宣教監督となり、1549年、薩摩に上陸し、日本で布教を開始した。チェコは、プラハのカレル橋の欄干にも建っているザビエル、今日、彼はカトリック教聖人の一人である。



(左：神戸市立博物館所蔵、右：マラッカ-右手首に注目)

フランシスコ・ザビエル

カリマンタン島（英語名/ボルネオ島）は、3回訪問したが、内2回はインドネシアのBalikpapanより北のガス田Bontangであった。帰路、バリ島で疲れを癒やし、思い出に残る旅だった。カリマンタン島の北部、サラワクは、イギリス人ジェームズ・ブルックが、白人王（スルタン）として支配したので、イギリスは、難なく南シナ海も手中に納め、中国侵略への道を開いたようだ。

後世、サラワクが、インドネシアでなくマレーシアに統合された理由が、今回の旅で漸く理解できた。

話は変わるが、イギリス、オランダを訪問して分かる通り、航海大国が故、「人種のサラダボウル化」である。以前、ドイツはドルトムントの同僚に聞いてみたところ、移民・難民の受け入れ賛成者は、皆無だった。現在、ドイツ政府は、難民の受け入れを表明しているが、「人種のサラダボウル化」に、国民の覚悟が、出来ているかどうか疑問だ。

それは、日本にとっても、対陸の問題ではない。

100 世界遺産の旅 (76)

東南アジア旅事情

2017年3月初旬、無事に東南アジアより帰国した……と申し上げたいところだったが、今回も事件発生である。シンガポールより、長距離バスでマレーシアへ移動中の出来事である。マレーシアの入国管理事務所前で、家人が、降車時に転倒し、歩道のステップに前頭部を強打した。出血が止まらないので、空港係員へ、

私： Please call an umbrella! (傘)

係員： An ambulance? (救急車)

私： Yes, drive her to the emergency hospital!

洗練された会話の後、家人は、救急車で病院へ、そして手術……、私と云えばスーツケース2個を従えて、タクシーで追いかけた次第である。



要塞よりマラッカ市街、マレーシア、2017年2月

今回、初めて、バスで越境する事にした。出発点は、シンガポールで、終点はマレーシアのマラッカである。インターネットの予約で、時間は4時間ほど掛かるが、運賃は、1900円/人と納得のいくレベルだった。

朝11時、ホテルより長距離バス Singapore Golden Mile Complex へ向かった。大きなバスターミナルと思いきや、時刻表も、ゲートもない小さなバス停に困惑した。ビルの1階に小さな旅行代理店が、ひしめき合っていて、その中の運行バス代理店を待合室にした。



マラッカ海峡、マレーシア、2017年2月

予想通り、シンガポールの出国管理事務所に近いところにつれて、交通は、混み出したが、バスレーンは、比較的良かった。バスを降りてパスポートのチェック・カウンターへ向かった。どういうわけか、掲示の「All Passports」の表示が間違っていたらしく、マレーシア人

とシンガポール人以外は、キャンセルされて、外国人専用レーンに移されて、並びなおした。

結局、我々は、おおよそ40分の遅れであった。バスの運転手と他の乗客は、諦め顔をしつつも気長に待っていたようだった。バスは、マレーシアへ向けてジョホール水道の橋を渡るが、その時、凄まじいスコールに見舞われた。マレーシアの入国管理事務所に着いた時、待ち疲れとスコールで、憂鬱な気分だった。バス降車時に足を滑らせて、家人が、転倒したのは、そう云う最悪の状況下だった。



ジョホールバル救急病院、マレーシア

タクシーで救急病院に着くと、家人は、車椅子に座って待っていた。一応、化膿止めの注射を終え、頭部の絆創膏が新しくなっていた。それから、1時間後に正式な診断が在り、傷口が開いているので、縫い合わせることになった。女医は、流暢な英語を操っていたが、こちらは、持ち合わせの英語で対応した。

結局、手術の終了が、午後5時で、精算3,900円(安い!)を済ませて退出した。タクシーでバスターミナル到着後、マラッカ行きのバスに乗り換えて、ホテルの到着が、午後9時半、食事もない国境越えの、長くて、忙しい1日が、終わった。



救急病院：会計(左) & トリアージデスク(右)

帰国後、精密検査を行ったが異常は無かった。家人に、次の「バルカン半島から中欧の旅」はどうするかと聞くと、「行きたい!」という力強い返事だったので、完治を確信した。何時、起こるか分からない怪我と病気に対し、少なくとも治療費2,000万円程度の海外旅行保険加入は、必須だろう。

旅は人生の縮図、夫婦の旅も同じだ。2~3回の転倒を無くして、来たる浄土への旅は、難しいと云われる。

今日、それまでお互い、「老々介護」に努めながら、夢を小脇に、生き長らえて行きたい。

100 世界遺産の旅 (77)

思い出のサンフランシスコ

10 数年ぶりに、12 時間のトランジットを利用して、サンフランシスコ市街へ出てみた。サンフランシスコは、USA の中で、最も好きな街である。

最初にサンフランシスコを訪問したのは、1990 年で、既に USA の会社へ転籍していたが、どう言う訳か日本生産性本部主催の研修旅行に参加させてもらった。

当時は、まだ古き良き時代で、管理職登用時に、海外派遣の慣習が残っていた。また、そのころ、韓国市場の売り上げがブレイクしたことも有り、ご褒美としての研修旅行だと喜んで旅立った。参加者は、ガス会社、地方銀行、建築設備、私鉄、工場資材など、殆ど内需関連会社の管理職であった。

サンフランシスコ見学の定番は、ケーブルカーに乗って、フィッシャーマンズ・ワーフを訪れることだ。ダンジネス・クラブを賞味し、クラブチャウダーで仕上げた後、腹ごなしにサンフランシスコ湾のクルーズに乗船し、至福の一時を味わった。



ケーブルカー、サンフランシスコ、2018 年 2 月

日本生産性本部主催の研修旅行を概説すると次の通りである。対岸にあるオークランドの高級住宅のメガ開発見学、その後、中東部のミルウォーキーへ飛び、Miller 社で Beer 製造見学と試飲、ガス会社では、冬期ガス代未納者へガスの供給停止は厳罰で、街はドラッグ問題で揺れていた。そして、メキシコ湾へ飛行し、ミシシッピ州のニューオリンズでジャズと外輪船を堪能し、ジャクソン市商工会議所主催の昼食会に出席した。そして、ニューヨークへ移動した後、JETRO とウォール街を訪問し、地下鉄を利用して、夕方よりヤンキースの野球を楽しんだ。

この研修旅行は、オプションも可能で、途中で離脱し、ニュージャージーにあるプロジェクト・セールス事務所へ行き、その途中にアメリカ独立記念館を訪れた。またカリフォルニアは、ロングビーチの本社を訪れる前に、途中下車 (機) してラスベガスに立ち寄

って、骨休めの休息も組み込んでもらった。

遊びか研修か判断しがたい旅行の総額は 98 万円で、思い起こせば、こうなったら、地球の全てを見てやろうと云う意欲が、湧いてきたのを覚えている。



フィッシャーマンズ・ワーフ、2018 年 2 月

サンフランシスコは、我が町、神戸と似ている。サンフランシスコは、港湾都市で有りながら海運不況を受け、現在の栈橋はショッピングモールやレストラン、クルージング基地に変貌している。また、サンフランシスコ空港は、国際ハブ空港として繁栄の一途だった。現在も、街の丘へケーブルカーが登り、街から港への平坦なところでは、トラムも現役で走っている。神戸とは、巨大な吊橋が、海峡に掛かっているところも似ている。



ゴールデン・ゲート・ブリッジ、2018 年 2 月

神戸と云えば、市電は、遠い昔に廃止され、国際空港については、反対多数で建設不可となり、お世辞にも繁栄都市とは云えない。西には、明石海峡大橋を有しながら、観光に結びつけられず苦悩しているのが現状である。神戸は、古くて価値のある資産を捨て、新しき好機を予見できない市民性なのかもしれない。

ただ、サンフランシスコでは、アパートの家賃が 30 万円/月ぐらい掛かり、年収が 1000 万円でも暮らしは、苦しいらしい。繁栄を取るか、暮らしを取るか、次世代に任せるしか手立てはない。

100 世界遺産の旅 (78)

映画の舞台を訪ねて

昔見た映画の舞台を、探し求めて歩くのも面白い。USA では、ロケ地や思い出の街を訪ねてみた。1996年、カナディアン・ロッキーのカルガリー工場訪問後、サンフランシスコ空港で家人と落合い、「エデンの東」の舞台であるサリナス、モントレイを散策した。

その後、太平洋沿の道を南下し、ロングビーチまで直走った。帰路にヨセミテ国立公園に立ち寄り、残り1つのテント小屋に宿泊した思い出深い旅だった。後ろの夫婦が、悔しがっていたのを覚えている。



シェーン&エデンの東 (左) OK 牧場の決闘 (右)

約 55 年前、小学校高学年で流行ったテレビ映画と云えば「ローハイド」である。それは、テキサス州のサンアントニオからミズリー州のセデリアまでの牛追いの物語で、今も現役のクリントイーストウッド (89 才/2018 年現在) の若い頃の出演作である。

2 度訪問したサンアントニオは、USA を代表する保養地で、街に流れる運河を小型ボートでクルージングしながら、船上で食事をするのが定番である。また、サンアントニオは、メキシコとの激戦地「アラモ砦」としても有名で、世界文化遺産である。



「ローハイド」と「遙かなるアラモ」

ローハイドの B 面が、「エルパソ」で、好きな曲である。歌手 Marty Robbins は、ウエスタンの歌手と同時に、ハワイアンもこなし、現在、私は、ハワイアン曲の練習に良く利用させてもらっている。彼は、「アラモの歌」を出したが、ブラザーズフォーの「遙かなるアラモ」の方が有名になってしまった。そのエルパソへは、2002 年に訪問した。3 方が山に囲まれ、南はメキシコのシウダファレスに接する。それぞれの街道に検問所があり、メ

キシコからの不法移民を摘発するのが任務である。

エルパソよりメキシコのシウダファレスを訪れる現地ツアーに参加した。当時、メキシコのシウダファレスは犯罪の街と呼ばれ、短いツアーであったが、2つの国境の街を見比べると、経済・貧富の格差は歴然であった。



メキシコからエルパソへの入国管理、2002年2月

エルパソ訪問前、「OK 牧場の決闘」の撮影地アリゾナ州ツーソンでガンファイトのアトラクションを見学した。そして、アリゾナ州サワロ国立公園、ニューメキシコ州カールスバッド洞穴群国立公園、ホワイトサンズ国立公園等、有名公園の旅へ出かけた。2000年、USA 本社からラスベガスで開催される President Meeting に招待を受け、家人と共に出席した。

その機会に、グランドキャニオン、アリゾナ大隕石孔国立記念物、化石の森国立公園、そしてモニュメントバレーを訪れた。モニュメントバレーは、インディアンの所有地で、国立公園でも、世界遺産でもないが、その光景は映画どおりの絶景であった。



映画「駅馬車」のモニュメントバレー

グランドキャニオンとともに、有名な世界遺産であるイエローストーンも魅力的な国立公園である。2度訪問したが、巨大な木造建築の Old Faithful Inn に泊まらなかったのが心残りである。

イエローストーンの南に接するのが、「シェーン」で有名な、ノコギリ型の山々が連なるグランドティトン国立公園である。1953年の映画だが、よくも国立公園のド真ん中で映画が撮れたものと感心しながら、主演アラン・ラッド気取りで見て回った。

USA の世界遺産は、国立公園の訪問が中心だ。早曉前に出発し、太陽が大地から昇る雄大な景色を見ながらその光景に感動し、また気に入った田舎町に気楽に泊まる旅である。改めて、国立公園や世界遺産探訪の手掛りを与えてくれた映画に感謝したい。

巻末 (3-7) 北米/中米/南米

巻末 (4-5) 世界三大瀑布

100 世界遺産の旅 (79)

世界3大銀山

世界遺産の3大銀山を歩いてみることにした。グアナファト銀山(メキシコ)、ポトシ銀山(ボリビア)、石見銀山(日本)で、17世紀頃、これら3銀山で世界の銀80%を産出したと云われる。まず、今回の中南米の旅では、メキシコシティの北西270kmに位置するグアナファト銀山を訪れた。



グアナファト銀山、メキシコ、2018年2月

グアナファト空港に着いたのが昼の12時で、空港近くの予約ホテルに荷物を預けて、タクシーで市内へ向った。窓外は、広大な平原で、General Motorsの工場等が建ち並び、近代的な産業エリアだった。

市街地に到着後、ケーブルカーで、市内を一望できるピピラ公園に昇ってみた。ピピラとは、独立運動で活躍した炭鉱夫の名で、その功績を記念して造られた公園である。見渡す市街は、山の上腹まで家々が立ち並び、メキシコで最も素晴らしい景観の一つとされている。広大な平原があるのに、狭い谷間に街を造成したのは、水利と共に銀鉱山が故であろう。



ラパス広場、グアナファト、2018年2月

日曜日のグアナファトは、歩道を歩くにも困難なくらい、観光客が街にあふれていた。各教会もミサが行われ、1732年イエズス会によって設立されたグアナファト大学も、多くの人々で賑わっていた。



ポトシ銀山、ボリビア (参考)

南米は、ボリビアのポトシ銀山も訪れる予定であったが、ボゴタ(コロンビア)よりラパス(ボリビア)行きのフライトが、エンジントラブルで3時間遅れのためラパスよりポトシ行きのフライトに乗り遅れてしまった。1日1便のフライトしかないので、泣く泣く予定を変更して、次の訪問地ウユニへ直行する事にした。しかし、ウユニ行きのフライトも満席で、バスで行くには10時間の悪路である。

腹を決めて、全てのウユニ行きのフライトにスタンバイする事にした。幸い、早朝だったので7時30分発のウユニ行きのフライトに座席を確保する事が出来たが、運賃19,000円の余計な出費だった。



石見銀山、日本、2017年7月

2017年7月、石見銀山は、国宝5城の松江城を訪れる前に立ち寄った。最初に到着した郊外の「石見銀山世界遺産センター」は、ガラ空きだったので町中にある駐車場へ向ったが、そこも十分な空きがあった。

銀山のある大森町は、何処にでもある田舎町で、世界遺産の認定は、町民にとって有難迷惑だったかもしれない。ポトシ銀山は1987年、グアナファト銀山は1988年、そして石見銀山は2007年の認定である。

石見銀山は、他の2銀山が認定された後、同時代の銀山と云う事と、2銀山には見られない森林再生とする環境面から評価された様である。グアナファト銀山は、大学、観光都市として栄えているが、石見銀山は、観光客も少なく凋落の印象だった。折角の世界遺産認定に対して、更なる工夫が必要のようだ。

100 世界遺産の旅 (80)

マヤ文明

中南米の古代文明と云えば、マヤ文明、アステカ王国、そしてインカ帝国である。1992 年アステカ王国のテノチティトラン (現メキシコシティ) と、5 世紀頃繁栄したテオティワカンを訪問し、2014 年インカ帝国の首都クスコとマチュピチュを訪れた。

そこで、今回は、ユカタン半島にあるマヤ文明のチチェン=イツァ遺跡を探訪する事にした。なおマヤ文明とアステカ文明は、メソアメリカ文明と云われ、インカ帝国と共に、モンゴロイド系である。



アメリカの古代文明

インカ帝国とアステカ王国の神殿や宮殿は、スペイン人によって完全に破壊され、その石材は、聖堂や教会の建設に利用された。しかしマヤ文明は、都市国家が点在していた事と、金銀の産出が、少ないと云う事から神殿等は放置されて現存した。チチェン=イツァは、映画「太陽の帝王」でジョージ・チャキリスが神殿の最上階に出てくるシーンを観て、一度は訪れたいと想っていた。リゾート地・カンクンよりバスで片道3時間、チチェン=イツァ遺跡に到着した。

見所は、ピラミッドにも似た神殿や古代の球戯場等である。昼食付きのツアーは、US \$ 30 で、帰路、聖なる泉セノーテに立ち寄りスイミングを楽しむ事が出来るコスパの高いツアーだった。



ククカン神殿、チチェン=イツァ、2018年2月



聖なる泉セノーテ、ユカタン半島、2018年2月

セノーテとは、ユカタン半島の低平な石灰岩地帯にある陥没穴に地下水が溜まった天然の泉で、そこで遊泳は、ツアーのハイライトである。



テノチティトラン遺跡、メキシコシティ、1992年1月

南米からの帰路、13時間のトランジットを利用して、メキシコシティへ出た。1992年以降の訪問で、宝石店の前では、ガードマンが、拳銃を所持し、一層危険な都市になったように見えた。



太陽のピラミッド、テオティワカン、1992年1月

テオティワカンは、メキシコシティ北東約50キロの地点にあり、「太陽のピラミッド」や「月のピラミッド」は、エジプトのピラミッドに引けを取らない巨大さで、頂上からの絶景は、今でも忘れられない。

100 世界遺産の旅 (81)

憧れのリゾート・カンクン

カンクン、これほど巨大で近代的なリゾート地を見たことがない。メキシコのユカタン半島の先端にあたり、カリブ海とラグーン(潟)に挟まれた約20kmの長い砂州である。そこに大型リゾートホテルが延々と立ち並ぶ光景は、驚嘆に値する。

砂州(Sandbank)とは、京都府の宮津湾にある「天橋立」を思い浮かべば分かり易いが、その大きさ、長さと言えは比ではない。世界で最も美しいと云われるビーチは、純白の砂で覆われ、そして海水の透明度も素晴らしい。これは、ユカタン半島が、石灰岩から出来ている所以であろう。



白砂ビーチ、カンクン、メキシコ、2018年2月

空港から砂州のホテルゾーンへの直行バスは、運行されていない。バスを利用する場合、まず市内のバスターミナルへ行き、そこでホテルゾーン行きのR1バスに乗り換える。バスターミナルの停留所では、頻繁にR1バスが到来し、均一料金70円を払えば良い。

何時でも何処でも、70円でラグーンの施設を回遊でき、市内へも出られる便利な交通手段だ。多くの大型ホテルは、All Inclusive制を採用している。ホテル代は、2人で3~4万円程度で、アクティビティ、食事、ドリンク、何を注文しても料金に含まれている。財布は不要で、余計な出費の心配から解放され、サイン一つで済むシステムである。



白砂青椰子のビーチ、カンクン、2018年2月



オオトカゲの夫婦、カンクン、2018年2月

バス道から、砂浜へ下りる遊歩道の下にオオトカゲの夫婦が、散歩をしていた。丁度、バス道にポップコーンの販売店が有り、海水浴客が、食べながら砂浜へ下りてくる間にこぼすポップコーンを狙っての散歩のようだった。どう言う訳か、雌の方が、リードして積極的に坂下までアプローチしていた。

これらのオオトカゲが、太平洋を泳いでガラパゴス諸島へ辿り着き、イグワナに進化したと想うと、次に行くガラパゴス諸島が一層楽しみになってきた。



クルージング、カンクン、2018年2月

カンクンの沖合約10kmの洋上に浮かぶ全長8kmの小島が、イスラ・ヘレスである。シーニック・タワーよりフェリーボートが運航されていたので渡ってみた。所要時間は40分で、往復19ドルであった。

フェリー代を含め外人を対象にしたアクティビティは、全てUS支払いで、メキシコ政府が義務付けているペソ支払いを無視していた。島内の交通手段として多くのゴルフカートが行き交い、浜辺では、ヨットやスピードボートの待合で混雑し、またダイビングに使われる空気ボンベの積載に追われていた。

島の中心部の北側にあるココ・ビーチは、波も穏やかで、海は透明にして熱帯魚も多く見られた。そして、白い砂浜で日光浴を楽しむトップレスの女性達を眺めていると、南国の楽園で、時間も忘れてしまうぐらいのリゾート気分であった。

100 世界遺産の旅 (82)

カリブ海の真珠

初めて「カリブ海の真珠」と呼ばれるキューバを訪れた。元来、キューバ訪問は、無理だと諦めていたが、今回、メキシコを再訪した機会にカンクンより往復した。キューバを訪れるに当たっては、入国ビザの代わりに Tourist Card の要求があり、事前に日本で取得した。

戸惑ったのは、カンクン空港の出発ゲートでの執拗な所持金の検査であった。主に US\$ と考えられるが、躍起になって外貨を稼ごうとするキューバに対する経済封鎖の名残であろう。



コロニアル市街、ハバナ、キューバ、2018年2月

ハバナの旧市街は、世界の他に見られないほど大規模なコロニアルに驚かされた。約 3km 四方の街の区画は、碁盤の目のように整備されていたので、地図と磁石を持ち歩けば迷うことはなかった。

旧市街地にもホテルはあるが、数も少なく、また価格が高かったため、手ごろな民宿を利用した。4階と5階に4部屋の客室と経営者の部屋が有り、朝食、エアコン、バルコニー付きの部屋が、一泊4500円だった。

シャワーとトイレは共用であるが、ほぼ快適であった。30歳位の若女将が経営しており、英語も上手く、たくましい商魂の持ち主だった。旦那も若くて男前だったが、髪結いの亭主と云った感じだった。



プンタ要塞より新市街、ハバナ、2018年2月



旧国会議事堂、ハバナ旧市街、2018年2月

朝食後、街の探訪に出かけた。まずは、16世紀に造られたピエハ広場へ向った。ベランダが特徴の中高層建物に囲まれた広場で、小学生の団が遊戯を楽しんでいた。キューバは、学費と医療費は無料であるが、外国の旅行者には、海外旅行保険を義務付けている。

次に、旧総督官邸、プエルサ要塞、カテドラルを経てエントラーダ運河に沿ってカリブ海へ出てみた。亡命の海峡と云われ、フロリダのキーウエストまで120kmであるが、当然、島影は目視できなかった。旧市街の北端にあるプンタ要塞より新市街地を遠望しながら、旧国会議事堂へ向った。



1940~50年代のアメ車、ハバナ、2018年2月

初めての街では、まずスーパーマーケットを探すのだが、ハバナの旧市街を一通り回っても見当たらず、一見してドラッグストアの前には客が列を成していた。店内の客数は、少なかったため、見ようによっては、万引き防止の対応かもしれない。

キューバは、2重通貨制を採用している。外国の旅行者には、ほぼ US\$ と同じ価値 CUC の使用を義務づけ、国民は、CUP という人民ペソを使っている。交換比率は約 20 倍で、旅行者には極めて不公平な通貨制である。当然ながら US ドル紙幣での支払いは、全く問題はなかった。さて、トランプ政権は、オバマの対キューバ政策を完全に解消するとし、国交正常化は、遅々として進んでないのが現状のようだった。

100 世界遺産の旅 (83)

慶長遣欧使節団

1613年10月28日、伊達政宗の命令により支倉常長を団長とした使節団が、石巻の月浦を出航した。一行は、メキシコ西海岸のアカプルコに上陸した後、大陸を横断し、カリブ海のキューバへ向った。そして、1614年7月23日にハバナへ上陸した。

その来航を記念して、団長の支倉常長像が、エントラダ運河の畔に建てられている。日本庭園の中に在る銅像は、キューバと日本の友好関係のシンボルになっている。支倉常長が掲げる右手は、遠く東方のローマを指しているのであろう。また、表敬訪問した総督官邸は、道路を隔てた所に位置する。



支倉常長像、ハバナ、キューバ、2018年2月

慶長遣欧使節は、徳川家康によって裁可されたが、伊達政宗は、スペインとの同盟を模索し、倒幕を企てようとしたと云われる。その企みに勤付いた家康の胸中は、穏やかではなかったと推察される。

出発は1613年、帰国は1620年、家康が他界したのが1616年である。家康は「徳川家・未来永劫の安堵」を念じ、北の守り神として日光東照宮建立の遺言を残した。2代目将軍秀忠は、家康の遺意を受け継いで、1617年、日光東照宮を完成させた。



旧総督官邸、ハバナ、2018年2月

巻末 (3-7) 北米/中米/南米



エントラダ運河よりカリブ海、2018年2月

キューバ訪問後、使節団は、スペインへ向かい、セルビアを経由して首都マドリッドに到達した。そこでフェリペ3世に面会した後、イタリアを訪問し、バチカンでローマ教皇パウロ5世に謁見した。ただ、1612年に日本では「慶長の禁教令」が発せられていたので、スペインとの交渉は、不成功に終わった。

帰路、使節団は、スペイン・アンダルシア地方のコリア・デル・リオに滞在し、そこで複数の随行者が離脱して現地に留まった。現在、その子孫でハボン(Xapon=日本)を名乗る市民が、600人ほど確認されて、彼等の乳児のお尻に蒙古斑が現れると聞く。支倉常長は、メキシコ、フィリピン・マニラを経由して、1620年に帰国し、1620年、失意のうちに他界した。



天正遣欧少年使節像、長崎県大村湾、2016年10月

時代は、少し遡るが、日本よりローマへ派遣された使節団はもう一つあった。それは、織田信長が、「本能寺の変」で襲撃された1582年の天正遣欧少年使節(～1590年帰国)である。慶長遣欧使節と違い、インド洋、喜望峯経由でスペインに到着し、その後イタリアのローマへ入った。バチカンでは教皇グレゴリウス13世に謁見し大歓迎を受けた。

海上の長崎空港より架橋を渡った大村市の西岸に、その顕彰の像があり、伊東マンショを初め全員が、ローマのバチカンがある西方を望んでいる。

天正、慶長両使節団とも、当時の禁教令が故、末路は悲惨だったようだ。天正遣欧の少年達の中には、棄教した者、キリスト信者を貫き殉教した者、また信仰を求め海外で生涯を終えた者もいる。

100 世界遺産の旅 (84)

老人と海の舞台を巡る

USA イリノイ州シカゴ生まれのアーネスト・ヘミングウェイは、寒冷地を嫌い、トロピカルなフロリダ州のキーウエストや、キューバの首都ハバナを愛した。今回の旅では、ハバナにあるヘミングウェイ博物館と、ゆかりの場所を訪ねてみた。



ヘミングウェイ博物館 (Finca La Vigia) ハバナ

最初にヘミングウェイが、ハバナを訪れたのは1928年、当初はホテル住まいで、オビスポ通りのHotel Ambos Mundosを定宿にしていた。その501号は、特別室として有料公開されている。1940年に出版された「誰がために鐘は鳴る」で得た印税で、ハバナの南にある豪邸 Finca La Vigia を購入した。現在、キューバ政府に寄贈されて博物館になっている。

タクシーをチャーターして、そこを訪れたが、テニスコートやスイミングプールがある広大な敷地の豪邸で、人気作家だった彼を偲び、多くの観光客が、見学に来ていた。室内へは入れないので、窓から各部屋を覗くわけだが、読書家だったらしく各部屋には、多くの書籍棚が並べられ、蔵書で溢れていた。



PILAR 号、ヘミングウェイ博物館、2018年2月

PILAR 号は、ヘミングウェイの愛艇で、博物館の庭に展示されている。KEY WEST の文字が読めることから、フロリダより持ち込んだボートであろう。この PILAR 号での釣りを題材にして、1954年、ノ

ーベル文学賞の「老人と海」を書き上げた。今回、訪問できなかったが、邸宅の北西にあるカリブ海に面したコヒマル港よりトローリングで、カジキマグロを追いかけたようだ。釣り三昧の日々であったが、1959年のキューバ革命で追われて USA へ帰国後、1961年に61歳で他界した。



フロディータ、ハバナ、キューバ、2018年2月

キューバのハバナにあるヘミングウェイお馴染みのバーとしては、ラ・ボデギータ・デル・メディオとフロディータが有名で、その2軒とも訪れた。フロディータのカウンターにはヘミングウェイの実物大の銅像が置かれ、肩を並べて記念撮影するのが、客の狙いである。そこで、一杯US\$6のラムベース「パパ・ヘミングウェイ」を頂いたが、度数の高いカクテルと思いきや、飲みやすい女性向きのフローズン・カクテルであった。



ヘミングウェイの家、フロリダ、USA、1997年11月

1997年、USA フロリダ州のエバーグレイズ国立公園を覗いた後、車で地の果てまで続く海道を走り、USA 最南端のキーウエストを訪れた。そこにヘミングウェイの家があり、彼がこよなく愛したカリブ海を臨む絶景の地である。ヘミングウェイが、スペインから帰国後、全財産を叩いて購入したのがヘミングウェイの家で、現在、博物館として公開されている。

本土最南端のキーウエスト沖では、数隻の豪華客船が行き交い、その優雅な船影は、今も脳裏に残存している。又、道中、レンタカーのタイヤがパンクし、難儀した事も思い出される。

100 世界遺産の旅 (85)

ガラパゴス諸島

ガラパゴス諸島と云えば、ダーウィンの進化論を思い浮かべる。難解な理論はさておき、簡単な例として、西島（サン・クリストバル島）と東島（イサベラ島）のゾウガメの体形は異なる。西島は、山が高く、降雨があり食料の草が豊富で、我々が良く知るゾウガメの体形である。一方、東島は、降雨が少なく、草は生えないのでサボテンが主食で、ゾウガメの首が長くなり、その首で甲羅を変形させる。

ガラパゴス諸島は、西の島が新しく、東へ行くほど古い島で、長い年月を経て、東の島々は、海底へ沈下して行く。丁度、ハワイ諸島と東西真逆である。



「ロンサム ジョージ」 ダーウィン研究所

ガラパゴス諸島は、エクアドル本土より西 900km の赤道直下で、4つの海流がぶつかり合い、多種の動物や植物が、流れ着いた。西よりクロムウェル海流（深層水）、東より南赤道海流（暖流）、北よりパナマ海流（暖流）、南よりペルー海流（寒流）である。これら海流の交差点は、エルニーニョ、ラニーニャ現象が、現れる海域としても有名である。



ウミイグアナ、トルトゥーガ・ベイ、2018年2月

サンタ・クルス島の中心地プエルト・アヨラから徒歩で1時間の所に真白なパウダーサンドの浜辺トル

トゥーガ・ベイがある。唯一ナチュラリスト・ガイドの同行を必要としない浜辺で、ウミイグアナのコロニーがあり、あらゆる所で遭遇できた。



昼寝のアシカ、プエルト・アヨラ港、2018年2月

到着した日は、まずもってクルージングの価格調査と予約であった。町中の代理店では価格が、まちまちで要領がつかめなかったのも、滞在ホテルが、提供しているUS\$110のランチ付きクルージングを予約した。

クルージングは、2日後とし、翌日は、午前中にトルトゥーガ・ベイを散策し、昼食および昼寝の後に、徒歩で30分ぐらいの所にあるチャールズ・ダーウィン研究所へ向かった。そこでは多くのゾウガメやガラパゴス諸島特有の植物を観察することが出来た。



クルージング、ガラパゴス諸島、2018年2月

ガラパゴス諸島は、火山島であるが故、往々にしてゴツゴツした溶岩で覆われ、上陸しても歩行が難しいので、主にクルージングが、アクティビティの中心である。クルージングにしても船長とは別に、ナチュラリスト・ガイドの同行が義務づけられている。目的地ビンソン島で、貸与されたシュノーケルとウェットスーツを身につけて海に飛び込んだ。

若者達は、それぞれ自力で泳ぐことが出来るが、私やアルゼンチンの年配女性は、ガイドが引っ張るウキにしがみついて、時折、海底を覗く程度である。凄まじきは、アシカの補食で、魚雷のように海中を泳ぎ回り、魚を追っているようだった。魚影も濃く、エキサイティングな遊泳の後、トローリングを楽しみながら帰航についた。船のエンジンは100%近く日本製であった。

100 世界遺産の旅 (86)

3 都探訪

目的があったわけでないが、赤道下にある南米の北西部に位置する 3 カ国の首都を探訪した。エクアドルの首都キト、コロンビアの首都ボゴタ、ボリビアの首都ラパスの 3 都である。

海拔 0 のガラパゴス諸島から、標高 4000m のボリビアのポトシ銀山へ一気に飛行すれば、高山病を患うのは必定である。そこで 3 都を訪れ減圧しながら体を慣らすことにした。航空便のワン・チケットに途中下車(機)を組み入れた 2 泊 3 日の行程であった。

3 首都 海拔			
訪問順	海拔	都市	国
↓	0m	ガラパゴス諸島	エクアドル
	2850m	首都キト	
	2640m	首都ボゴタ	コロンビア
	3650m	首都ラ・パス	ボリビア
	4000m	ポトシ銀山	
	3700m	ウユニ塩湖	
(参考) 富士山 3776m			

ガラパゴスの空港を発ち、エクアドル第 2 の都市グアヤキル空港を経由し、夕方、首都キトに到着した。

キトは、インカ帝国の北都である。キト空港から市街地までは、タクシーで急峻な谷と山を越えて、約 1 時間で辿り着いた。よくもこんな険しい高地に北都を建設したものだと感心した。早速ホテルに荷物を預け、独立広場へ向った。水曜日の夕方にも関わらず、多くの人々が、散策を楽しんでいた。



首都キト、エクアドル、2018 年 2 月

早朝、キト空港を発ち、午前 11 時にコロンビアの首都ボゴタに到着した。次のフライトは午後 10 時なので、その間、ボゴタの街へ出てみた。ボゴタは広々とした高原で、その端のモセラレーテ山の麓に中心街があった。16 世紀半ばまでチブチャ族の都で、黄金の装身具を身

につけていたことから、エル・ドラード(黄金郷)の伝説を生み出した。空港のバスターミナルから市街へ出たが、バスは専用ラインの走行でスムーズであった。

終点は、多くの学生が行きかうボゴタ大学の正門前で、そこから南に繁華街があり、カテドラルまで歩いてみると、ここも多くの人出であった。



首都ボゴタ、コロンビア、2018 年 2 月

ボリビアのラパスは、世界で最も高地の首都である。街はすり鉢状で、中心街は、鉢のドン底にあたる。少し坂道を登ると息が切れる街で、ロープウェイ網が、日常の交通手段として張り巡らされ、予想以上に観光の目玉として脚光を浴びていた。



首都ラパス、ボリビア、2018 年 2 月

旧教の宗主国スペインが、インカ帝国やアステカ王国を侵略するに当たり、その統治者を抹殺し、宮殿や神殿を完璧までに破壊した。

スペイン人の入植後、キリスト教が強制され、現地人と混ざり合いながら新国家を作り上げた。よって国民は「人種のるつぼ」の状態にある。一方、新教のイギリスは、現地の統治者を利用して植民地を運営し、宗教についても寛大であった。現地人との混ざり合いは少なかったため、「人種のサラダボール」の方向へ進んだ。

中南米では、強盗、殺人こそ多かれ、宗教テロはない。一方のイギリスでは、宗教テロが頻繁に起こっている。結果として旧教、新教による植民地化は、皮肉にも、異なった社会を造りあげたようだ。

100 世界遺産の旅 (87)

ウユニ塩原

ウユニ塩原は、超神秘的で、超絶景である。数百万年前、海底が隆起しアンデス山脈が出来上がった。その時に、海水ごと持ち上げられたのが、ウユニ塩原である。海拔 3700m で、その成り立ちは想像を絶する。雨期には、水深 1cm の水をたたえ、南北 100km、東西 250km の広大な鏡面塩原が現れる。



午前 11 時、ウユニ塩原、ボリビア、2018 年 2 月

午前 10 時、約 100 台の車が、一斉にウユニ塩原を目指し出発する。全てが、トヨタのランドクルーザーで、1 台あたり 4~5 名の観光客が乗車している。その殆どが、中南米、韓国、中国、日本からの 20 代の若者で、年配者は皆無だった。

陸地より塩原への段差は 0.6m 位あり、ランドクルーザーでも入水に難儀していた。午前 11 時頃、車のコンボイ隊列が徐々に崩れ、目的地に着いた。眼前には水深 1cm の塩水が張り詰められ、波一つ立たない鏡面の世界である。200m 程歩いたが、鏡面の状態は全く変わらず、驚くべき自然の造形美である。



午後 1 時、昼食、ウユニ塩原、ボリビア

午後 1 時に昼食で、相変わらずの晴天であるが、遠く南方の空より雲の沸き出しが、見えてきた。昼食

後、ドライバー主導による撮影大会で、トリック写真や、動画撮影に 2 時間ほど費やした。

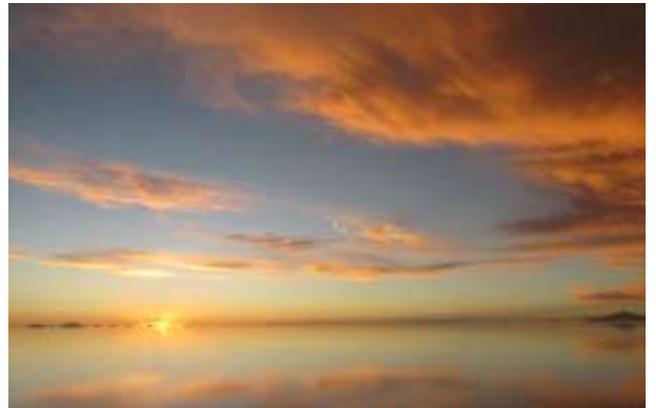


午後 5 時、暴風、ウユニ塩原、2018 年 2 月

午後 4 時頃から雲行きが大きく変わってきた。午後 5 時には、雨こそ無いが、強風で立つてもいられない。まるで極地のブリザードを想わせる暴風だった。

今日の夕日は絶望かと、全員に不安が広がったが、午後 6 時頃から暗雲は、我々の方へ向きを変え、頭上を越えて後方へ流れ出した。午後 6 時半頃、僅かながら水平線を見ることが出来た。そして、時間と共に、天空が開いて、太陽が水平線に吸い込まれていった。

その残光が、流れる雲に鮮やかに反映し、人生で、初めて見る壮大な夕照となっていた。



午後 7 時、夕焼け、ウユニ塩原、ボリビア

一般的な 1 日ツアーだと、夕方にウユニの街へ戻るが、我々のツアーは、価格に相反しグレードが高く、夕日と星空鑑賞もセットされていた。

快晴の大鏡面世界の朝、妙味なボリビア風の昼食、立ってられない程の烈風、大空を焦がす夕日、そして星降る夜空を堪能できた。将に、1 粒で 5 度美味しい、ウユニ塩原の 1 日だった。夜は、満天の星空だが、当然、水面は、真っ暗闇で、車は GPS のみを頼りに、暗中模索状態で、市街への帰路についた。

地殻変動の産物と云うべきか、世界には多くの塩原がある。USA は、ラスベガスの西北 120km にデスバレーと呼ばれる塩原があり、海拔マイナス 86m のバッドウォーターも絶景で、探訪に値する。

100 世界遺産の旅 (88)

古希からの旅路

蓄財は、儘ならずとも、蓄歳は、着実に重ね、2019年3月に古希を迎えた。旅は、実践型体験と云われ、認知症の予防に有効らしい。旅行計画時の高揚感、訪問先での不安感と陶酔感、無事に帰国しての安堵感、そして情景が、走馬燈のように夢の中に現れる。

さて、60歳から75歳までの15年間を人生最後の黄金期と呼ぶらしい。5年を一つの節目と考えれば、第二節の終わりが、70歳の古希で、それは、神戸市男性の健康寿命70.1歳にほぼ符合する。

何時まで旅を楽しむ事が出来るか分からないが、古希からの旅路は少し慎重を期する必要があるようだ。



王宮前、カトマンズ、ネパール、2013年3月

幸いにして持病も無く、古希を迎えたが、私は、一体何者だったのだろうかと思案することがある。

どうも私の特性は、「嫌デスク・ワーク症候群」の一員のように思う。この症候群は、学生時代においては悲惨であったが、会社の営業職であれば、外回りの間は、デスク・ワークから解放される。

国内営業だと1~2日だが、国際営業だと10日ほど海外で過ごし、机に向う必要が無い。その間のデスク・ワークは、助手に任せれば良いことになる。

26才で韓国へ、30才代は、東南アジアへと飛び回った。40才、アメリカ訪問時、全世界を見てやろうと云う強い願望が沸いてきた。45才、3週間のヨーロッパ研修では、「もう仕事をしている暇は、無かたですたい!」と覚悟を決めた。そして55歳、仕事に飽きたとして、60才定年のゴールを目指した。勉強、仕事、人生の目標ではないとする気楽さが、「嫌デスク・ワーク症候群」の神髓なのかもしれない。

当然、悪弊極まる残業は、皆無であり、大阪の香里園在住時代は、会社にも近く、夕方6時に帰宅し、よく子供達を河川敷へ連れて行ったものである。お陰で子育ては、平穩無事に終了した。50才で、長女が結婚し、53才で次女が大卒後就職したので、金銭的負担より解放された。そして還暦を迎え、人生最後の黄金期と云われる15年に突入した訳である。

話は変わるが、何故、浦島太郎は、乙姫と別れて享楽の竜宮城から現世へ戻ってきたのだろうかとも考えていた。結局のところ、人生には、節目、潮時があり、残された時間で「自分がやりたい事を成し遂げる」ために帰郷したと結論づけた。



グエル公園、バルセロナ、スペイン、2010年7月

若い時は、多少の無理も出来たが、健康寿命を越える歳になってはそうはいかないようだ。

現在、足腰に問題は無いと云えども、日々のテニスや軽登山へ、軽登山は歴探ハイクへと時間割を変更し、何時までも2足歩行が出来る様に、足腰をプロテクトしている。それに加え、ハワイアン音楽をこよなく愛していきたい。いわゆる動的活動から静的活動への転換期が、古希かもしれない。



自由の女神、USA、2005年9月

旅で心配なのは、心臓や脳の循環器系疾患で、何時遭遇するか予見できない。昇天してしまえば、ピンピンコロリで理想的なのだが、怖いのが、後遺症である。そこで、策として、我が日常の体調を承知している家人に、旅の同行をお願いすることになる。

旅は「一人だと寂しい」、しかし「家人と一緒にだとうるさい」が、率直な捉え方だった。その考え方を改め、家人と思い出を共有し、いやが上にも快く朽ちて行かぬばと覚悟を決めた。「穢土・現世の旅」の終着駅は、死であるが、そこで「浄土の旅」へ路線を変更すれば、旅は永遠に続く様に感じ始めた。

100 世界遺産の旅 (89)

永遠の都

バルカン半島のボブロボニク訪問前に、当初、予定していなかった永遠の都ローマを再訪した。

日本よりヨーロッパへ行くに当たり、最も安い航空券は、なんと中国国際航空の関空ーローマ往復航空券 62,570 円であった。しかも中国国際航空は、ユナイテッド航空が主管する Star Alliance Group のメンバーで、50%であるがマイレージが付与される。

この獲得マイレージも、将来、無料航空券の一部として、我が海外渡航の力添えになると確信する。



コロッセロと騎馬隊、ローマ、2019年5月

ローマ訪問は、3回目である。初回と前回は、トレビの泉で後ろ向きに1枚のコインを投げたが、今回はコインがなかったので諦めた。4回目のローマ訪問は、実現可能だろうか。未だ、勝手知ったローマとは言い難いが、まずは定番のコロッセオよりスタートする事にした。そこで朝早く騎馬隊の訓練に遭遇した。

何らかのイベントが近くにあるのであろう。永遠の都ローマは、街全体が博物館で、一般の建屋にしても手の込んだ建築技法が施され、見所に事欠かない。しかし、毎度のことであるが、海外旅行者が街に溢れ、歩行にも難儀する賑わいであった。



トレビの泉、ローマ、イタリア、2019年5月

最初の訪問は、1996年で、日本人観光客が溢れか

えていたが、現在、その数は激減し、それに代わって中国、韓国の旅行者が、忙しく走り回っていた。

フォロ・ロマーノを左に見て、ミケランジェロ意匠のカンピドーリ広場への階段を上がり、エマヌエーレ2世記念堂へ出た。その後、ローマの3大広場と言われるトレビの泉、スペイン広場、ポポロ広場を通り、サン・ピエトロ大聖堂へ足を伸ばした。



ミケランジェロのピエタ、サン・ピエトロ大聖堂

現在、サン・ピエトロ大聖堂の最大の呼び物と云えば、死後に十字架から降ろされたキリストを抱く聖母マリアの彫刻ピエタである。

ミケランジェロが、唯一完成させたのが、ここサン・ピエトロ大聖堂のピエタである。1996年訪問時は、ピエタにタッチすることが出来たが、2013年訪問時はガラスで覆われ触れることは出来なかった。今回と云えば特別な壇上に移設され、周囲全体が幕で覆われ、日本の特別記念展示のように列を成して拝見した。



「アテナイの学堂」ラファエロの間、バチカン美術館

2018年には、イタリアは、最多54の世界遺産を誇っていた。大聖堂の後、バチカン美術館を訪れたが、システリーナ礼拝堂は、足の踏み場も無かった。

バチカン美術館は、ラファエロとミケランジェロの美の競演の館で、どの絵、彫刻を取っても感動に値する。ミケランジェロとバチカン側の意見の対立があった隙を縫って、本来「ミケランジェロの間」と呼ばれるはずだった空間は、「ラファエロの間」になってしまった。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島

100 世界遺産の旅 (90)

アドリア海の真珠

アドリア海の真珠と云われるドブロブニクは、世界遺産の中でも探訪するに難しい都市の 1 つであった。それは、地理的な条件もさることながら、長らく続いたユーゴスラビア内戦に起因していた。

ドブロブニク 1 都市だけなら、ローマより LCC 利用 (往復 8,522 円) で 1 泊 2 日の旅で充分だろう。



ドブロブニク旧市街、クロアチア、2019 年 5 月

昼 12 時に、ドブロブニク空港に到着したが、生憎の雨だった。30 分ほどバスに揺られ、旧市街の入口、ピレー門で下車し、スーツケースを転がしながら宿へ向った。旧市街は車もなく、多くの観光客が散策を楽しんでいた。ドブロブニクは、中近東から欧州へ海上輸送される物資の商いで富を成したが、覇権をベネチア等と争う内に、海洋都市として発展した。

412m のスルジ山で背後を固め、周りは城壁で囲まれた要塞都市である。スルジ山へロープウェイで上れるが、税務署よりの業務命令で 20 日間の営業停止になっていた。恐らく脱税容疑だろう。



ドブロブニク城壁巡り、クロアチア、2019 年 5 月

ドブロブニクの最大の呼び物は、城壁巡りである。一人 3400 円と高額であるが、1 時間 30 分ほど空中散歩を楽しむことが出来た。2 カ所在る門を閉めれば、完全に外部より隔離されて要塞となる。城内には全く

駐車場はなく、朝一番に外部から食料や資材を運搬していた。朝、小学生が登校していたので、城内に小学校はあるようだ。



ドブロブニク港、クロアチア、2019 年 5 月

さて、ホテルと云えば、旧市街には皆無である。歴史的要塞都市であるが故、ホテルを建てる余地が、全く無かったのだろう。宿泊施設は、アパートで、マネジメント会社が、一手に借り上げて、部屋貸ししていた。

よって、フロントは無く、マネジメント会社より、部屋と入り口の鍵をもらって、案内してもらうシステムだった。1 建屋に 4 部屋ほどで、合計約 60 部屋を管理していると聞いた。



ドブロブニク裏通り、クロアチア、2019 年 5 月

アパートの部屋貸しと云うことで、バスタオルも 5 日毎の取り替えであった。我々は 5 日毎の取り替えを事前に知らされていなかったなので、クレームを入れると、新しいバスタオルをサービスしてくれた。

部屋の内装と云えば、それは素晴らしく、家人の見立てによると女性プロのコーディネーターによって施されたようだった。部屋の内装は、コピーされないようにホームページには掲載されず、9.2/10 の高評価を売りとして集客しているようだった。

ドブロブニクでは、新市街のホテルではなく、旧市街のアパートメント宿泊を強くお勧めしたい。人通りが少なくなる夕方、現地のレストランで、美味しいシーフードを賞味するのもグッドアイデアだ。

100 世界遺産の旅 (91)

アクロポリスの丘

2003 年以来、久しぶりにギリシアのアテネを訪れた。アテネの象徴と云えば、アクロポリスにあるパルテノン神殿であろう。エントランスより、神殿へ歩いて上るわけのだが、チケット売り場から、人また人の行列で、1 時間にして、漸くパルテノン神殿まで辿り着いた。神殿は、広くて平坦な台地にあるので、人の多さを感じなかったが、それでも人を避けて写真を撮るのには難儀した。



パルテノン神殿、アテネ、ギリシア、2019 年 5 月

アクロポリスは、「高い丘の上の都市」と云う意味で神殿と共に都市国家の要塞でもあった。紀元前 5 世紀ごろに、現在のパルテノン神殿が建造された。アクロポリスの近くに大理石の丘があり、元々はそこから切り出して建材にしたのであろう。

当時、既にアテネでは古代民主主義が芽生えており、日本で言えば、我が祖先が、稲作を始めた弥生時代で、文明格差に愕然とさせられる。

1687 年に、ベネチア軍の砲撃を受けて大破して以来、修復作業が続いている。2003 年に訪れた時も修復中で、現在も完了していないところを見ると、ギリシアの財政破綻が大きく影響し、何時、修復に終止符が打たれるか予想も付かない。



国立考古博物館、アテネ、2019 年 5 月

アクロポリスの北側にアゴラ（公共空間）が隣接している。2003 年では、両方の門より直接行き来できたが、今回は両門とも閉ざされ、遠くに迂回せねばならなかった。アゴラに観光客は少なく、アクロポリスとは違っていたことから、アクロポリスとアゴラの管理者間で何らかのトラブルがあったと推察する。



リカビトスの丘より遠望、アテネ、2019 年 5 月

アクロポリス、アテネ市街、エーゲ海の全貌を見るには、標高 273m のリカビトスの丘に登らねばならない。一般のツアー旅行では、決して立ち寄ることはないので、自由旅行のアテネ訪問時に、リカビトスの丘に登って、素晴らしい眺望を堪能してもらいたい。

朝 9:00、アテネの中心地シンタグマにあるホテルを出発し、市街地を抜けて、徒歩で山道に登ること約 1 時間で、頂上に到達した。山道は、全て整備されていて歩きやすく、多くの人々が、朝の散歩に繰り出していた。頂上にも多くの観光客がいて、アクロポリス、アテネ市街、エーゲ海の遠望を楽しんでいた。



パナシナイコ・スタジアム、ギリシア、2019 年 5 月

リカビトスの丘の後、国立考古学博物館で彫像と陶器を観覧したが、ギリシア時代には、全く絵画が無いのが印象的だった。国立考古博物館後、ローマ時代のハドリアウス門、ゼウス神殿を経て、パナシナイコ・スタジアムに向った。1896 年、第 1 回近代オリンピックが、開催されたスタジアムで、2020 年東京オリンピックのメダルの表側に「パナシナイコ・スタジアムに立つ勝利の女神ニケ像」として刻まれている。

100 世界遺産の旅 (92)

エーゲ海クルーズ

豪華客船のクルーズは、憧れの的ではあるが、夢のまた夢、路銀の制約上、ギリシアではエーゲ海1日クルーズに参加した。朝8時、アテネのホテルでピックアップされ、ピレウス港へ向った。幸い、快晴にてクルージング日和で、サロニコス諸島のイドラ島、ポロス島、エギナ島を目指して出帆した。



エーゲ海クルーズ、ギリシア、2019年5月

11時30分、イドラ島に到着し、約1時間30分、街を散策した。道は迷路のようで、車両は見当たらず、今でも運搬は、ロバに頼っているようだった。海水の透明度は高く、異国籍の交換学生らしい男女グループが、岩の上より飛び込みを楽しんでいた。



イドラ島上陸、ギリシア、2019年5月



イドラ島、波止場

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島

イドラ島を出るとすぐにバンド演奏が始まり、多くの乗客が輪になって踊っていた。特に印象に残る曲は、一昔前のポピュラーソング「Never on Sunday / 日曜はダメよ」で、オリジナルは、ギリシアかと調べてみると、1960年、ギリシアで制作された映画の主題歌であった。出航後、暫くしてランチのアナウンスがあり、一階のレストランへ向った。

ブッフェ・スタイルのメニューは、色とりどりで、特に地中海のシーフードが美味しく、別料金であるがローカル・ビールと共に食した。



ギリク・ダンスショー、船内、2019年5月

食後のエンターテインメントは、ギリク・ダンスショーで、女性の方の踊りは、あまり上手くなかったが、愛らしく笑顔を振りまいていた。

ダイハード主演のブルース・ウィルスに似たスキンヘッドの旦那と一緒に、客を舞台や通路へ誘い、なかなかのエンターテイナー・カップルであった。



ペロポネソス半島とポロス島(右)、2019年5月

ポロス島は、最も小さい島で、海峡を挟んでペロポネソス半島の近くに位置する。丘を少し登ってみると対岸のペロポネソス半島を望むことが出来た。



エギナ島、エーゲ海、2019年5月

最後のエギナ島は、特産品ピスタチオが有名で、港近くの土産物屋より、「試食、試食」と日本語で声が掛かり、多くの無料ピスタチオを頂いた。

また、エギナ島は、頂上付近にアフェア神殿があり、対岸には、古代コリント遺跡やエピダヴロス遺跡が点在し、独立ポリス繁栄の地中海風景を存分に魅入った。午後7時、ピレウス港に帰着し、解散となった。

100 世界遺産の旅 (93)

メテオラ修道院群

エーゲ海クルーズの翌日、列車でアテネの北 260km にあるメテオラ修道院群を目指した。朝 7 時 20 分にアテネ駅を立ち、片道 4 時間の旅である。往路は、オーストラリアの白人年配女性と一緒に旅だった。

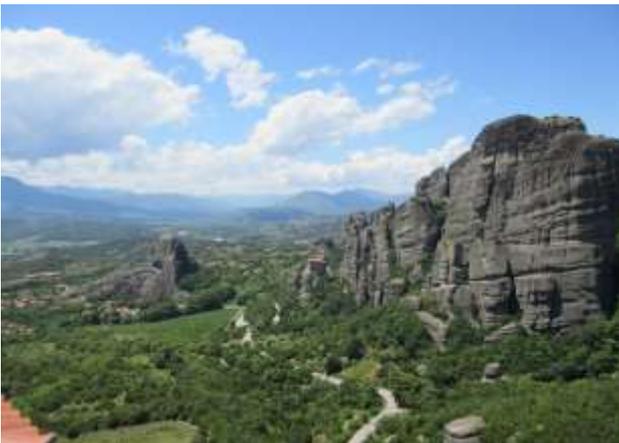
彼女は、アフリカのローデシアで生れ、小女時代にローデシア紛争のため追われて、オーストラリア国籍を取得した元難民であった。



アギオス・ステファノス修道院とテッサリア平原

列車は、オリーブ畑の平原を北進していく。途中、パルナッソス山 (2457m) とオリンポス山 (2917m) を遠くに眺めながらの時速 65km のゆっくりとした鉄道旅であった。2 つの山は、6 月にも関わらず残雪をいただき、季節柄、不思議な光景に見えた。

テッサリア平原を抜けて、終着駅カランバカに到着し、そこで予約をしていたタクシーの出迎えを受け、メテオラ修道院群へ向った。



メテオラ奇岩群、メテオラ、2019 年 5 月

メテオラの写真は、あまり目にすることは無いが、世界遺産の中でも絶景の 1 つで、高所恐怖症の私にとっては、苦手な場所である。USA のグランドキャニオンと同じく、柵がないので、崖っぷちの手前に立つだけで身の毛がよだった。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島

古来メテオラは、台地であった。長年の風水で柔らかい部分は浸食され、固い部分が残されて、高さ 40~200m の奇岩の山々となったのだろう。

奇岩風景も驚きであるが、なんと云っても、その頂上に建つ修道院で、14 世紀頃、道もリフトもない時代に、滑車で人や物を吊り上げ、修行の修道院を建てた。メテオラとは、「空中浮遊」という意味で、空中の修行道場である。現在、メテオラ修道院は、6 カ所あり、女性修道院が 2 カ所、男性修道院が 4 カ所で、その内の 4 カ所に参拝した。



アギア・トリアダ修道院、ギリシア、2019 年 5 月

現在、駐車場より修道院までの歩道は完備されているが、その道たるや、まずは谷底まで下り、橋を渡って、そこから急峻な階段をひたすらに登り詰める。

2 つめの修道院訪問より足がこわばり、最後はよろめきながらの参道登山であった。アテネに戻った後、2~3 日、太ももの筋肉痛が残る始末であった。



ヴァルラーム修道院、ギリシア、2019 年 5 月

メテオラより北西 120km にマケドニア王国の首都ペラがある。そこは、紀元前 4 世紀、アレキサンダー大王の生誕地で、同時に、哲学者アリストテレスを師とした教育の場でもあった。

アレキサンダー大王もメテオラの絶景を聞き及び、コリントス同盟の盟主として中央ギリシアを南下する前に、メテオラをも訪問しただろうと想像しながら、メテオラ修道院群の探訪を終え、午後 10 時 30 分、無事にホテルへ帰り着いた。

100 世界遺産の旅 (94)

ドナウの薔薇

久しぶりに「ドナウの薔薇」と呼ばれるハンガリーの首都ブダペストを訪れた。早朝、ブダペスト空港に到着し、通常、バスと地下鉄を利用するのだが、時間と安全性を考慮し Door to Door のエアポートシャトルでホテルの玄関まで直行した。

翌日、朝 5 時半発の電車でスロバキアの首都ブラチスラバへ行く予定なので、ホテルは西駅近くに取、まずは、切符と指定席券購入のため、チェックインした後、すぐに西駅へ出かけた。



くさり橋と王宮の丘、ハンガリー、2019年6月

ドナウ川は、ドイツの「黒い森」を水源とし、オーストリア、ハンガリー、ルーマニア等 10 か国を経て黒海へ注ぐヨーロッパ屈指の大河である。ハンガリーのブダペストは、そのほぼ中間点にあたる。

ハンガリー人は、ロシアの南北に走るウラル山脈より西方へ移動し、カルパチア盆地を征服した後、定住した。中世、ハプスブルグ家やオスマントルコの熾烈な支配から脱したキリスト教国である。

ドナウ川の西地区がブダ、東地区がペストで、ブダとペストを含めた 3 都市が統合されて首都ブダペストとなり、1849 年「くさり橋」で結ばれた。



ドナウ川と国会議事堂、ハンガリー、2019年6月



漁夫の砦、王宮の丘、ブダペスト、2019年6月

西駅でチケット購入後、乗降が自由な市内観光バス (Hop on Hop off Bus) を利用してくさり橋へ向った。下車後、くさり橋を渡り、ブダの名所・王宮の丘へ登った。丁度、昼食時刻だったので、王宮の丘のレストランでハンガリー名物のハラースレー (ハンガリー風魚スープ) を注文した。

確か、ハンガリーには、海がないと想っていたが、スープの魚は、淡水魚で、王宮の丘に、漁夫の砦があり、なぜ海のないブダペストに漁夫の砦 (魚市場) が、立ったのか漸く理解できた。



英雄広場 (ペスト側)、ブダペスト、2019年6月

王宮の丘の見物を終えた頃から、雨が降り出してきたので、徒歩での市内観光は諦め、市内観光バスで行く先を定めず、大まかな名所を車上より見物することにした。英雄広場が、折り返し地点で、天候も回復してきたので、下車し再び散策を楽しんだ。

「ドナウ川のさざなみ」という素晴らしい曲がある。1880 年作で、ルーマニアの作曲家ヨセフ・イバノビッチのワルツ曲である。最終、ドナウ川は、ルーマニアの黒海へ注ぐわけだが、優美な川の情景と、その終焉という切なさを曲にしたのだろう。「ドナウ川のさざなみ/Waves on the Danube」を BGM にしながら、このページを仕上げさせてもらった。

100 世界遺産の旅 (95)

歴史と音楽の都

ウィーンは、ヨーロッパの中でも好きな都市の1つで、3回目の訪問である。神聖ローマ帝国のハプスブルク家が栄華を誇り、またモーツァルトやヨハンシュトラウス達が、活躍した音楽の都でもある。



シェーンブルン宮殿、オーストリア、2019年6月

ウィーンを代表する宮殿と云えば、シェーンブルン宮殿である。郊外に在り、フランスのベルサイユ宮殿を模したハプスブルク家の夏の離宮である。

女帝マリア・テレジアや末娘マリー・アントワネットのロココ調の豪華な部屋を見学できる。1814～1815年、ウィーン会議が開かれたのも此処であった。

シェーンブルンとは「美しい泉」と云う意味で、2003年訪問時、広大な敷地内の英雄を祀るグロリエッテやネプチューンの泉などを見て回った。



ベルヴェデーレ宮殿、ウィーン、2019年6月

市内に戻り、ベルヴェデーレ宮殿を訪れた。この宮殿は、オスマントルコを撃退した英雄プリンツ・オイゲン公のバロック式の豪華な離宮である。

後になって、ハプスブルク家のマリア・テレジアに買い取られ、フランスのルイ16世に嫁いだマリー・アントワネット達が過ごした離宮である。残念ながら、内部は見学できなかったが、綺麗に手入れされた庭園を、無料とばかり、歩き回った。

宮殿の後、北へ歩き、オペラ座を通り、ウィーン市

街の中心であるシュテファン寺院を覗き、寺院の屋上よりウィーン市街の眺望を楽しんだ。



オペラ座、ウィーン、2019年6月

毎年、オペラ座で開催されるニューイヤーコンサートでは、ヨハンシュトラウスの「美しく青きドナウ」等の曲が演奏される。2002年、ウィーン国立歌劇場音楽監督を務めた世界的な指揮者の小澤征爾が、指揮をとった。翌年訪問時、彼のニューイヤーコンサートのCDを買い求め、今でも聞いている。

シュテファン寺院の後、王宮へ向った。王宮は、ハプスブルク家が、650年間にわたり中欧を支配した居城である。その王宮は、様々な建物が増築された複合建築物となり、数多の歴史を物語っている。



新王宮、ウィーン、オーストリア、2019年6月

新王宮は、オーストリア帝国の皇帝フランツ・ヨーゼフ1世と、その王妃で、絶世の美貌を誇っていたエリザベットの居城であった。旅行好きのエリザベットは、スイス旅行中に、ジュネーブ・レマン湖で暴漢に刺殺された。2019年、帝国劇場で、彼女の生涯を、ミュージカル「エリザベット」として上演された。

ドイツのノイシュヴァンシュタイン城のルートヴィヒ2世は、エリザベットの従兄妹の息子にあたり、2人は親しい間柄だった。1995年、仕事を終えた後、ロマンチック街道を經由しノイシュヴァンシュタイン城を訪れた旅が、懐かしく思い出された。

100 世界遺産の旅 (96)

ウィーン美術史博物館

欧州の3大美術館と云えば、フランスのルーブル美術館、スペインのプラド美術館、そしてロシアのエルミタージュ美術館と云われている。ウィーン美術史博物館は、差し詰め4番手であろう。しかも、名称が表すように、博物館のおまけ付きである。

スペインは、元々ハプスブルグ家の統治下だったので、ウィーン美術史博物館とプラド美術館を併せれば、欧州最強の美術館と云えるかもしれない。



美術史博物館、テレジア像、ウィーン、2019年6月

美術史博物館前に堂々と建つ銅像が、ハプスブルグ家の豪腕女帝マリア・テレジアである。申し訳ないが、ふっくらした風貌の酷似からして、彼女と、ロシアのエカチェリーナ2世、英国のヴィクトリア女王を、「欧州3傑・肝っ玉女帝」と捉えている。



カフェ・ゲルストナー、美術史博物館、2019年6月

美術館で展示されてる作品の代表的な画家は、ルーベンス、ブリューゲル、レンブラント、フェルメール、ラファエロ、デューラー、バンダイク達で、それらの作品の2~3点でも日本へ持ち込めば、長蛇の列は間違いないだろう*。絵画に見疲れたら、カフェで、ウィンナー・コーヒーとケーキでも頂いて休憩しよう。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島



ラファエロ「草原の聖母」



フェルメール「絵画芸術」



ベラスケス「薔薇色の衣装のマルガリータ王女」



ブリューゲル「雪中の狩人」

100 世界遺産の旅 (97)

サウンド・オブ・ミュージック

ウィーンを離れ、ザルツブルグとハルシュタットを訪れるため、電車とバスを利用して、1泊2日の小旅行へ出かけた。大型荷物は、ウィーンの宿泊ホテルに預け、中央駅を朝5:30に出発し、8:00にザルツブルグ駅に到着後、市内へ飛び出した。



ミラベル庭園、ザルツブルグ、2019年6月

まずは、サウンド・オブ・ミュージックでジュリー・アンドリュースが、子供達と走り回るミラベル庭園を歩いてみた。ミラベルとは「美しい眺め」という意味で、多くの観光客が訪れる名園として手入れされていた。庭園は、ザルツァッハ川の東岸にあたり、そこから西岸の旧市街へ行くことにした。



モーツァルト小橋よりホーエンザルツブルグ要塞

ザルツァッハ川に掛かるモーツァルト小橋も、サウンド・オブ・ミュージックに出てくる場所で、ジュリー・アンドリュースと子供達が「ドレミの歌」を歌いながら、自転車で駆けて行くシーンである。

幅2m位の歩行者専用の橋は、サウンド・オブ・ミュージックの時代に相応しい鉄骨造りで、踊りながら渡って行きたいような気分になった。橋を渡って大聖堂を覗いた後、ザンクト・ペーター墓地へ入った。多

くの花で飾られた墓地は、トラップ一家が、ナチス軍に追われた時、隠れた所である。

ザンクト・ペーター教会の横を通り、トラップ一家が感動的な「エーデルワイス」を歌った音楽祭会場を左に見て、子供達がピクニックへ行く途中、馬車の中で歌いながら通った馬洗い池に辿り着いた。

そこから、エレベーターに乗ってメンヒスベルクの丘に登り、ホーエンザルツブルグ城塞の遠望を楽しんだ。メンヒスベルクの丘には、マリアと子供達が「ドレミの歌」を練習した石畳の坂道がある。



レジデンス広場、ザルツブルグ、2019年6月

サウンド・オブ・ミュージックの上映は、1965年で、最も印象に残っているのは、長女役のシャーマン・カーが、雨の中、ガラスの家で「Sixteen Going on Seventeen」を歌いながら、踊る場面である。残念ながら、彼女は、73歳で他界した。



モーツァルト像と生家、ザルツブルグ

ザルツブルグは、モーツァルト生誕の地としても知られ、サウンド・オブ・ミュージックと考え合わせれば「音楽の街」と呼ぶに相応しい所である。

レジデンス広場にモーツァルトの像が建ち、その西側のゲトライデガッセ通りに生家がある。1756年、モーツァルトは、4階で生を受け、生誕の部屋は、今でも保存されて、博物館になっている。

100 世界遺産の旅 (98)

ヨーロッパ・アルプス

ザルツブルグの街歩きを終え、バスでハルシュタットへ向かった。バスは、PostBus と呼ばれ、郵便馬車の名残であろう。実際、郵便物を運んでいるか不明だが、正確な時間で、我々を運んでくれた。



ザルツカンマーグート、オーストリア、2019年6月

ザルツブルグからハルシュタットの間広がる山々と湖の美しい一帯をザルツカンマーグートと呼ばれる。そこは、ハプスブルク家の「塩の御用地」で、夏は避暑、冬はスキーと観光客が絶えない。

もともと、この地も海であったが、イタリア半島が、ヨーロッパ大陸に激突した結果、ヨーロッパ・アルプスが誕生した。ザルツカンマーグート地域は、丁度、オーストリア・アルプスの北側に当たり、山々と湖が入り組んだ景勝の地である。



ツェルファーホルンよりザンクト・ギルゲン

山々と湖のザルツカンマーグートにも、サウンド・オブ・ミュージックの郊外ロケ地がある。マリアとトラップ大佐が結婚式を挙げた教会は、モントゼーにあり、またピクニックシーンの蒸気機関車のシャフベルク登山鉄道もザンクト・ヴォルフガングより出ている。サウンド・オブ・ミュージック・ファンにとっては、

見逃せない訪問エリアである。



オーストリア・アルプス、2019年6月

予定していなかったが、あまりにも美しい湖があったので下車して散策を楽しんだ。また、山を仰げばリフトが運行されていたので、山頂へ登ってみた。そこは、パラグライダーの飛翔地で、多くのパラグライダーが、湖に向かって飛び立っていった。

リフトの頂上駅よりまだ上に山の頂があり、20分程かけて登ってみた。すると南方に、万年雪を頂いたオーストリア・アルプスが、あたかもパノラマ写真のように展望が開き、感動の風景であった。



マッターホルン、スイス、2000年7月

PostBus の楽しい旅については、2000年7月にスイスで初体験した。マッターホルンを眺めるためにインターラーケンよりツェルマットへ行くにあたり、スーツケースを鉄道会社のチッキ便に預けた。

我々夫婦は、手ぶらでマイリンゲン駅よりオーバーバルド駅まで PostBus で山越えをし、グラムゼム峠では、休憩タイムがあったので高原の散策を楽しんだ。

PostBus の終点オーバーバルド駅で氷河特急を待つこと1時間、遠くに見えるスイス・アルプスの光景を思い出す。ツェルマット駅に到着後、待ちきれず、登山鉄道に乗りかえて、ゴルナーグラートへ登り、マッターホルンの素晴らしい山容を仰ぎ見た。なんとも懐かしい PostBus と氷河鉄道の旅だった。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島

100 世界遺産の旅 (99)

湖岸の町ハルシュタット

オーストリアのハルシュタットは、湖岸の町で、その景色に魅せられて、多くの観光客が訪れる。ここにも岩塩坑があり、塩産出で栄えた町である。町は、狭いが故ホテルの数も少なく、そのホテル代たるは高額なので、町外れのガストホフを宿とした。

ガストホフ(Gasthof)とは、気楽に泊まれるドイツ風の旅籠である。一階に広いレストランが在り、地ビールまたはワインと共に郷土の料理を味わう事が出来る。当然、フルブレックファーストは、無料で提供される。



ハルシュタット湖畔、オーストリア、2019年6月

通常、鉄道を利用してハルシュタットへ行くことになるが、その場合、フェリーで湖を渡らねばならない。

我々は、ホテル近くの停留所よりバスを利用して、湖岸沿いにハルシュタットの町へ入った。オーストリアにおける人気の穴場と云うことで、国内外を問わず、多くの観光客で溢れかえっていた。



マルクト広場、ハルシュタット、2019年6月

世界で最も美しい湖岸の町と云われるハルシュタットは、町中と湖畔を散策後、岩塩坑を訪れるのが一般的なルートである。ケーブルカーで山の中腹まで登り、

そこから坑道に入り、巡回するコースだ。我々は、暗い坑道に興味はなく、2,995mのダッハシュタイン山の中腹にある Five Fingers を目指した。



絶景 Five Fingers、ハルシュタット、2019年6月

恐怖のオーバーハング展望テラスと云われる Five Fingers へは、ハルシュタットよりバスでおおよそ 15 分の所にあるオバートラウンよりロープウェイで登る。第2区間へ乗り継いで、次の駅で下車して、歩くこと 20 分、雪渓を踏み越えて到着した。

名前の通り、5本の鉄骨製のテラスが、湖に向かって突き出しているが、高所恐怖症者ならずとも、その怖さと云ったら形容の言葉すらないらしい。



ダッハシュタイン山、ハルシュタット、2019年6月

恐怖の Five Fingers と雪山のオーストリア・アルプスを堪能して、ロープウェイ地上駅に降りてきた。ここからおおよそ 40 分かけて鉄道駅オバートラウン目指して、山道を下り、河畔道を歩いて行った。

途中、マウンテン・バイクのコースやキャンプ場など野外娯楽施設が整っていた。おそらく、休日ともなれば多くの若者達が来るのだろう。町には、コテージのような瀟洒な家々が、立ちならんでいたが、歩く人は見当たらなく、過疎化の村の様な雰囲気だった。

無事、ザルツブルグとハルシュタットの現地小旅行を終え、午後4時、オバートラウン駅発の電車に乗り、午後9時、ウィーン中央駅へ帰着した。

100 世界遺産の旅 (100)

プラハの春

午前6時39分、ウィーン駅を発ち、4時間後にチェコのパラハ駅に到着した。6月7日の宿泊は、ドイツのドレスデンなので、パラハ駅の手荷物預かり所に2個のスーツケースを託して市内へ出かけた。

まずは、地下鉄を利用して、ヴルタヴァ川を見下ろす小高い丘に建つ歴代王のパラハ城に向かった。地下鉄の駅から登り坂を歩くこと、約20分で、最も高くそびえる聖ヴィート大聖堂の広場に着いた。



カレル橋とパラハ城、パラハ、チェコ、2019年6月

大聖堂と司教宮殿を見学し、1402年完成のカレル橋へ下った。現在、その欄干に30体の像が建ち、そのひとつが、フランシスコ・ザビエルである。

1618年勃発の30年宗教戦争で、十字架を除く全ての像が破壊され、その後には再建された。1534年設立のカトリック教イエズス会のNo.2で、後に聖人となったフランシスコ・ザビエルの像を、カトリック教の象徴として、欄干に加えたと推察する。



ヤン・フス像、旧市街広場、パラハ、2019年6月

宗教改革と云えば、1517年のドイツはマーチン・ルターである。ここチェコでは、その100年前に、ヤン・フスが、プロテスタント運動の先駆的な役割を果たしたが、1415年に火刑になっている。チェコは、改革を重んじる風土の国かもしれない。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島



ヴァーツラフ広場、パラハ、チェコ、2019年6月

カレル橋を渡って旧市街へ入った。広場で、旧市庁舎の壁に取り付けられている天文時計を眺めたが、あまりに人が多すぎて身動き出来なかった。まさに、パラハは、驚愕のオーバーツーリズムであった。

さて、パラハと云えば、1968年に起こった「パラハの春」を思い浮かべる。共産党の一党独裁に対する抗議で、ドプチェク第一書記が、改革を推進した。

一連の改革に危機感を抱いたソビエトが、戦車を侵攻させたため、多くの市民が、ヴァーツラフ広場に集結し抗議したニュースを覚えている。「パラハの春」は、チェコ事件として収束したが、歴史は、1991年のソビエト連邦崩壊へと激しく変動した。



ミハエル門、ブラチスラバ、スロバキア、2019年6月

我々団塊の世代には、チェコと云えばチェコスロバキアであったが、1993年、無血で、それぞれ独立を果たした。その後、チェコはNATOの一員となり、またユーロにも加盟し、新たな一歩を踏み出した。

チェコ訪問の数日前に、スロバキアの首都ブラチスラバに立ち寄ったが、パラハとは雲泥の差で、ミハエル門では、ちらほら旅行者を見かけるだけだった。

ブラチスラバ駅でのこと、トイレ料金0.5ユーロ(60円)は、クレジットカード使用可能で、究極のキャッシュレス社会を垣間見た。ちなみに、2013年のフィンランド・ヘルシンキ駅では、現金のみで、トイレ料金は、1ユーロ(120円)であった。

100 世界遺産の旅 (101)

古都復興

プラハ発ベルリン行きの電車が、2時間遅れだったので、目的地ドレスデンに到着したのは、午後10時頃だった。幸い、我々は、自由席を確保できたが、多くの乗客は、立席を余儀なくされていた。



ツヴィンガー宮殿とレジデンツ城、ドレスデン

ドレスデンは、エルベ川の大都市で、16世紀にザクセン王国として繁栄した。ザクセン選定侯は、アウグスト強王と云われ、女性に大モテで、360人の子供がいたらしい。また、この王は、日本の陶磁器をこよなく愛し、マイセンを世界的に発展させた。

ツヴィンガー宮殿内に陶磁器コレクションのコーナーがあり、多くの古伊万里を見ることが出来る。



マーチン・ルター像とフラウエン教会、ドレスデン

ドレスデンのフラウエン教会の前にマーチン・ルターの銅像が在る。ルターは、北西130kmにあるヴィッテンベルクで「95カ条の論題」を発表した。ドレスデンやヴィッテンベルクのザクセン地方全体が、宗教改革の発祥地と云えるかもしれない。

第二次世界大戦時、市街は、完全に爆撃で破壊された。そして、瓦礫の中から一つ一つの石材をも拾い集め、復興に取り組んだ。建物の白い部分が新しい石材で、黒っぽいところが破壊前の石材である。

2003年、ドレスデンを訪れた時は、復興の真っ最中で、今回にして完全に復興したドレスデンを見ることが出来た。ドレスデンは、宗教改革の地であり、完全復興の古都であり、また叛骨精神の地でもある。

2006年、エルベ川に架かる新ワルトシュレスヘン橋のデザインが、古都の景観に似合わないとして、ユネスコは、設計見直しの要求を入れた。ドレスデン市が、その要求を拒否した結果、「ドレスデン・エルベ渓谷」は、世界遺産リストから抹消された。

ワルトシュレスヘン橋は、機能重視であるが、旧市街から東に約3km離れた住宅街にあり、ユネスコの要求は、少し行き過ぎではないかと思えた。



君主の行列、ドレスデン、ドイツ、2019年6月

ザクセン王の居城レジデンス城の壁に、マイセンの陶磁器のタイルで飾られた君主の行列がある。

1123年から1904年までのザクセン君主の騎馬像や芸術家達が描かれている壮大な壁画で、この壁画は、奇跡的に戦災から免れた貴重な遺産である。



マイセン博物館、ドレスデン、2019年6月

マイセン市は、ドレスデンより電車で30分のところにある。マイセン陶磁器は、オランダ商船が日本より持ち帰った古伊万里の模倣より始まり、現在、世界のマイセンとして君臨している。ただ、陶磁器産業の世界的な衰退の波は、マイセンにも無関係ではないようで、シャッター店が多々見られた。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島

世界遺産の旅 (102)

ベルリンの壁

最初にベルリンを訪問したのは、1994年で、ライプチヒからの帰路であった。ライプチヒへは、韓国の顧客を案内し、肥料・化学工場でガスコンプレッサーに取り付けられたガスシールの運転性能を確認するために訪れた。当時、東ベルリンの治安は悪く、ブランデンブルグ門より東側では降車できなかった。

1989年、ベルリンの壁は崩壊した。その1年前、ライプチヒにあるニコライ教会で月曜デモとする反体制運動が起き、これが東ドイツにおける民主化運動の始めで、ベルリンの壁崩壊へ繋がった。



ブランデンブルグ門、ベルリン、2019年6月

サッカーの名門ドルトムントより車で、速度無制限のアウトバーンを経由してライプチヒへ行き、工場見学後、現地デレクターの計らいで、遠回りしてベルリンに立ち寄った。聞いてみると、ドイツも朝鮮も分割された共通の歴史があり、韓国人顧客に崩壊したベルリンの壁を見せたかったようだ。



ドイツ連邦議会議事堂、ベルリン、2019年6月

ベルリンは、ドイツの首都だけあって、非常に広い都市である。ただ観光スポットは限られており、

ベルリン動物園より、100番の路線バスを利用すれば、おおかた見て回れる。バス運賃は、1日券がEUR 6.8で、コスパの高い公共交通手段である。



カイザー・ヴィルヘルム記念教会、ベルリン

ベルリン動物園の近くにカイザー・ヴィルヘルム記念教会がある。ここは、広島原爆ドームと同じく第2次世界大戦の記念モニュメントである。

100番バスは、戦勝記念館、大統領官邸、ドイツ連邦議会議事堂を経由して、ブランデンブルグ門へ至る。以前は、門を通っていたが、現在は迂回して旧東ベルリンに入り、ベルリン大聖堂、博物館島へと続く。片道約40分のコースは、2階のデッキがお勧めで、アレキサンダー広場がターミナルとなる。



サンスーシ宮殿、ポツダム、ドイツ、2003年5月

2003年、ベルリン訪問時、ポツダムへ行き、啓蒙専制君主として名高いプロイセンのフリードリヒ2世のサンスーシ宮殿を見学した。ベルリンから電車で、30分の所にあり、この地域の世界遺産を「ポツダムとベルリンの宮殿群と公園群」と称する。

その後、タクシーで10分のところにあるツェツィーリエンホーフ宮殿に立ち寄った。1945年7月にアメリカ、ロシア、イギリスの首脳が、日本の降伏を求める「ポツダム宣言」を採択した場所である。

100 世界遺産の旅 (103)

水都アムステルダム

欧州の中で、最も好きな街は、アムステルダムである。最初にアムステルダムを訪れたのは、1993年、ベルギーとの国境近くにある Roosendaal 工場と、ドイツの Dortmund 工場を訪問する際に立ち寄った。その後も欧州を訪れる際、少なくとも数回、好んでアムステルダムを Gateway とした。



アムステルダム駅と運河、オランダ、2019年6月

アムステルダムの街は、駅を中心にして、南西へ放射線状に開け、運河は、きめ細かく整備されている。海運貿易の街で、教会、豪商の邸宅、飾り窓、飲み屋街、興味を注がれる独特の港町風景である。

また、アンネ・フランクの家、ゴッホ美術館、国立美術館などの文化施設、そして自動車規制や自転車道など環境整備も、上手く取り込んでいる。



王宮とダム広場、アムステルダム、2019年6月

江戸時代末期まで、欧州の国で唯一、日本と通商貿易を行ってきたのが、オランダである。1600年、大分の臼杵に漂着したオランダの商船リーフデ号の乗組員より、徳川家康は、1588年にスペイン無敵艦隊が、壊滅した事を聞いていたに違いない。

徳川家康は、内2人の乗組員を重用した。旗本になった英国人ウィリアム・アダムス（三浦 按針、京

急/按針塚の駅名)と外交交渉のオランダ人ヤン・ヨーステン(後の地名/八重洲)である。

1623年、インドネシアのアンボイナで、オランダに襲撃されたイギリスは、平戸より撤退した。1637年、切支丹による島原の乱を平定した徳川幕府は、1639年、鎖国令を発し、ポルトガル人を追放した。宗教色の無いオランダは、平戸より長崎の出島へ移転し、230年余り通商独占権を手中に収めた。

アムステルダム市の建設費の多くが、日本との通商の利益によると云っても過言で無いだろう。



マヘレの跳ね橋、アムステルダム運河、オランダ

日本からの輸出品は、主に銅、銀(石見)、漆工芸品、樟脳と陶磁器であった。陶磁器は、古伊万里で、オランダ国内ではデルフト陶器として発展し、ドイツでは、マイセン陶磁器として大成した。



復元帆船、アムステルダム港、1997年10月

1997年にアムステルダムを訪れた時、港の Marine Museum と、その前に係留されている復元帆船を覗いてみた。若者10数人が、乗船体験であろうか、忙しく朝食の用意をしていた。Marine Museum では、日本に関わる資料や、航路の解説があるので、遠く、大航海時代のロマンに浸るのも一考である。

何時か、「100世界遺産の旅」が、一段落したら、天草、島原、長崎、平戸、併せて、高校修学旅行の大部分、宮崎、鹿児島を周遊したいものである。

100 世界遺産の旅 (104)

ゴッホ美術館

アムステルダムは、博物館、美術館の宝庫である。ゴッホ美術館、国立美術館、歴史博物館、ユダヤ歴史博物館、エリミタージュ美術館アムステルダム別館、レンブラントの家、アンネ・フランクの家、国立オランダ海事博物館、多岐にわたる。



*ゴッホ美術館、アムステルダム、2019年6月

特に人気があるのが、*ゴッホ美術館で、おおよそ3ヶ月前に入場券を入手する必要がある。当然、現地で当日入場券の入手は、全く不可能である。

アムステルダム駅よりNo2のトラムに乗って約20分の所にある。生憎の雨であったが、エントランスに多くの観客が集まって列をなしていた。

- * 2019/10/11～2020/01/13、上野の森美術館、ゴッホ展
- * 2020/01/25～2020/03/29、兵庫県立美術館、ゴッホ展



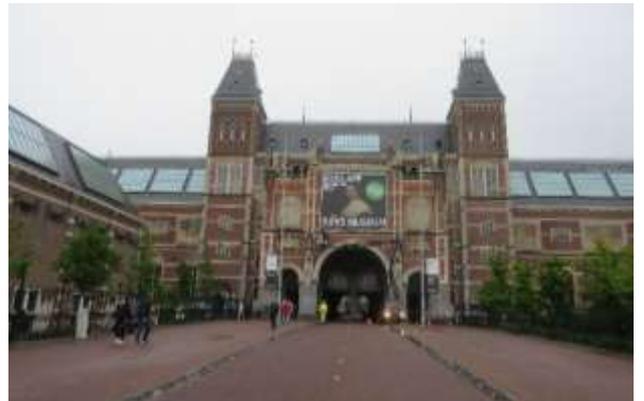
ゴッホ自画像、アムステルダム、2019年6月

ゴッホは、日本の浮世絵に興味を示し、多くの浮世絵を模写している。それ故、日本人が、親近感を持つ画家の一人である。彼は、南仏のアールでゴーギャンと同棲していた。狂気の性格だったようで、ゴーギャンが、アールを離れてフランス領ポリネシアのタヒチへ旅立った後、失意で左耳を剃り落した。その後、精神病を患い、フランスで他界した。

2002年4月に、アールを訪問したが、そこはローマ時代の闘技場が、驚くほど良い状態で保存されていて、何故か、子供達の遠足に混じって見学した。

残念ながら、ゴッホとゴーギャンに関する史跡を見ることは出来ず、ゴッホのアール時代の作品「黄色い家」を想像しながら、市内を巡った。ゴッホは、黄色とか、赤色とかの温暖色を好んで使用し、新たな作風を創出した所に特徴が在るのだろう。

「アヴィニオン捕囚」で有名なアヴィニオンを起点としてアールや、フランス最古の港マルセイユの南仏を周遊したが、ニームに近いローマの水道橋ポン・デュ・ガールへは、バス停が分からず、行けなかった悔しさが、今も思い出として残っている。



アムステルダム国立美術館、オランダ、2019年6月

ゴッホ美術館より徒歩で5分のところにあるのが国立美術館である。美術館で最も人気があるのが、レンブラント作の「夜警」で、いつ見ても見応えがある。また、フェルメールの最高傑作「牛乳を注ぐ女」や「手紙を読む青衣の女」「恋文」「デルフトの小路」の4作品を一挙に見られるのも嬉しい。



夜警、レンブラント、国立美術館、アムステルダム

「夜警」は、縦3メートル63センチ、横4メートル37センチの巨大な絵で、多くの人が、右へ左へと移動しながら鑑賞していた。市民隊の隊長と隊員17名から制作を依頼された夜警出発直前の絵で、オランダ黄金時代の絶頂期である1642年に完成した。

巻末 (3-8) 中欧&バルカン半島

100 世界遺産の旅 (105)

アンネの日記

私は、残酷恐怖症である。歴史的な残酷事件を考えるだけでも、恐怖心が現れてどうしようもない。2003年、ポーランド訪問時も、ユダヤ人大虐殺のアウシュヴィッツ強制収容所へ足は向かなかった。

アムステルダムへは、数度訪問したが、アンネ・ハウスへ入ったことはない。1993年、最初にアムステルダムを訪れた時、アンネ・ハウスの前まで行ったが、足が震えて、運河の対面にあるデルフト陶器店へ逃げ込んだ事を鮮明に覚えている。当時は、予約がなくともアンネ・ハウスへ入館できる時代だった。



アンネ・ハウス、アムステルダム、2019年6月

2019年にして初めて、家人の要望も有り、意を決し、アンネ・ハウスを訪れることにした。まずは、3ヶ月前に入場券をインターネットで取る必要があった。昨今、有名な史跡、美術館、博物館は、入場券を事前に入手せねば、入館できない。一般のツアーでは、アンネ・ハウスの入館は難しいだろう。



アンネ・ウォーク、アムステルダム、2019年6月

当日、午前中にゴッホ美術館と国立美術館の入館を終え、午後2時より4時までのアンネ・ウォークに参加した。ガイドは、オランダ在住のユダヤ人で、日本の事情を良く知っていた。参加者は、世界各国からの20数名で、その中に、ユダヤ人が含まれて

いたと思うが、見分ける術はなかった。

アンネ・ウォークの終点が、アンネ・ハウスである。ウォークの参加者の内、アンネ・ハウスに入館できたのは、家人と私だけだった。話によると、2ヶ月前では入場券は入手できなかった様だ。

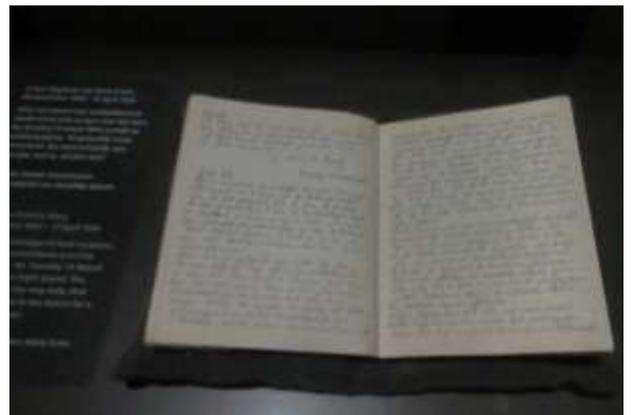


隠れ家の入り口を塞いだ本棚、アンネ・ハウス

1942年、ドイツのナチス親衛隊から逃れるため、フランク一家は身を隠す必要があった。父オットー・フランクの会社の3~4階に秘密の隠し部屋を設け、知り合いを含め8名で暮らした。唯一聞こえるのは西教会の時報を告げるベルの音だけだった。

1944年、密告によりアンネ一家の隠れ家は、発見された。アンネは、姉のマルゴット・フランクと共に、ドイツのプロイセン州にあるベルゲン・ベンゼン強制収容所へ送られ、そこで極度の飢えと、腸チフスを煩い、わずか15年の人生だった。

1945年3月5日に、アンネは死んだ。丁度、終戦を迎えて強制収容所開放の2ヶ月前だった。



アンネの日記、アンネ・ハウス、2019年6月

隠れ家の8名の内、唯一生き延びたのは父オットー・フランクだけだった。元従業員のオランダ人ミーブ・ヒースが所持していた日記は、父へ返され、「アンネの日記」として広く世界で出版された。

1942年から2年間の隠れ家生活中に、アンネは、日常の思いを日記として書き綴った。それは、平和で、自由な世界を切望しながらの執筆だった。

100 世界遺産の旅 (106)

北欧3国

23 日間バルカン半島・中欧旅行の最後に、デンマークのコペンハーゲンを訪ねた。コペンハーゲンの街は、ワンデイ・ハイキングに適した広さである。

午前8時に駅近くのホテルを出発し、チボリ公園へ出た。公園と市庁舎の間にあるアンデルセンの銅像に挨拶を済ませ、北西へ進みコペンハーゲン初期の建物であるクリスチャンボウ宮殿を周回した。



ニューハウ、デンマーク、2019年6月

写真映えがするニューハウ（新しい港）を經由して、国王の居城であるアマリエンボー宮殿へ行き、そこでは衛兵の交代式を見ることが出来た。

最北部の城郭すぐ横にある人魚姫の像が、終点となる。そこは各国観光客のたまり場で、多くの人々が、人魚姫の像に抱きついて写真を撮っていた。

人魚姫の像より中央駅へ戻る際、北側の別ルートを通った。途中にあるローゼンボー城の博物館に立ち寄ったが、金銀とダイヤモンド装飾の王冠、ネックレスは、見応えのある絶品ぞろいであった。



人魚姫の像、コペンハーゲン、2019年6月

1997年、Dortmundでの仕事を終え、夜行列車で北欧へ向かった。当時はまだ、コペンハーゲンと大陸を結ぶ橋は無く、列車ごとフェリーで渡ったが、寝台車だったのでフェリーへの乗船すら気付かなかった。

コペンハーゲンでは、観光バスを利用し、再度夜行列車でスウェーデンへ向かった。ストックホルムを見

学し、夜にノルウェーのオスロへ辿り着いた。北都に相応しく、落ち着いた風情の3首都だった。



スウェーデン王宮、ストックホルム、1997年10月

北欧3国は、ゲルマン人の古地で、スカンジナビアのデンマーク、スウェーデン、ノルウェーの国々を指す。また、SAS (Scandinavian Airlines System) は、北欧3国共同運航のナショナル・フラッグキャリアとなっている。一方、フィンランドも、北欧の1カ国であるが、ロシア/ウラル系として区別される。



国会議事堂、オスロ、ノルウェー、1997年10月

今回、コペンハーゲンでは、一見して難民、移民の人達が目立ち、駅とその周辺では少し不安を感じた。

2013年に訪問したヘルシンキでは、駅のトイレ代が120円で、駅周辺では悪臭が鼻についた。地下にあるスーパーの前では30人ぐらいの難民移民がたむろし、拾ってきた空き缶を店で小銭に換えていた。

2013年5月、スウェーデンでは、ストックホルム郊外で、難民移民による暴動が5日間連続発生した。

地域	国名	EC加盟	ユーロ圏	NATO加盟
北欧3国	スウェーデン	○	X	X
	デンマーク	○	X	○
	ノルウェー	X	X	○
非3国	フィンランド	○	○	X

EC加盟国には、難民の割り当

てがあるのだろう。何時か、ECの非加盟国であるノルウェーを再訪し、検証してみたいと思う。

難民移民問題は、判断を誤れば、後世に憂いを残す重要な事案であるので、日本としても慎重に扱わねばならない。難民の引き受けを拒否しようとするイギリスが、EC離脱に踏み切ったのは良い例で、間違えれば多大なる犠牲を覚悟せねばならない。

100 世界遺産の旅 (107)

欧州鉄道旅事情

ヨーロッパの交通手段は、なんと言っても鉄道である。ドイツの Dortmund 工場で仕事を終え、現地休暇を取って、ヨーロッパを旅する訳だが、時間とホテル代を節約するため、寝台列車をよく利用した。

1995年7月、朝早く Dortmund 駅を立ち、デュッセルドルフの街とケルン大聖堂を見学した後、前首都・ボンより夜行列車でパリへ向かった。夜遅かったので、寝台の指定が取れず、そのまま乗車した。

出発後、同じく指定の無い現地女性と話していたところ、車掌が来たので寝台券を購入した。通常、女性と男性は、別々のコンパートメントであるが、車掌は、夫婦と思っただけで、4人部屋のコンパートメントが宛がわれた。既に若い女性2人が寝ていたの、女性3人と私、夏の寝苦しい寝台だった。



パリ北駅、フランス、1995年7月

2005年、海外出張もこれが最後とばかり、ロンドンからビートルズで有名なリバプールへ行き、その後ヨーク、世界遺産のドラムを經由して古都エディンバラまでも思い出に残る鉄道旅行だった。当然、終点ではスコッチ・ウイスキーを心底楽しんだ。



エディンバラ駅、スコットランド、2005年5月

2019年、中欧の旅では、ハンガリーのブダペストよりドイツのベルリンまで、鉄道で北上した。よく思うことであるが、ヨーロッパの鉄道は、日本人に

は乗り勝手が悪い。まず、乗車口のステップが高いため、スーツケースの上げ下ろしには苦勞させられる。また、3席が向かい合うコンパートメントでは、荷物置場が無くて困る。頭上に細長い棚があるが、スーツケースが落ちてこないかと心配になる。

プラハとドレスデンの間、イギリス女性と話す機会があった。どうも、ハードフレームのスーツケースで日本人だと分かるようだ。ヨーロッパでは、ファスナー付きの布製スーツケースが主流である。



ブダペスト西駅、ハンガリー、2019年6月

更に、ヨーロッパの鉄道はサービスが悪く、質問があれば、その都度、駅のインフォメーションへ行かねばならない。そして到着時刻が、度々遅れる。

今回プラハでは2時間遅れで、出発10分前でないプラットフォーム No. が掲示されない。その No. が出ると乗客が一斉に走り出し、我々もスーツケースを引っ張って、競争に参加せねばならなかった。

これも、欧州の鉄道が国営で、殿様商売に起因する。一方、日本は、民営化を終え、ヨーロッパでは数少ない私鉄も多々あり、鉄道先進国と云える。



ベルリン中央駅、ドイツ、2019年6月

最後に、欧州の鉄道では、スリに注意せねばならない。スーツケースの形で日本人だとすぐ分かり、日本のご婦人は、ショルダーバッグに現金を持ち歩く事も周知なので、特に気を付けねばならない。

最も危ないのは、空港から市内へ行く電車内で、スリ軍団が、カモ待ちするドア付近である。欧州のキャッシュレス社会移行にあたり、スリ軍団撲滅が、1つの成果になりつつある今日、日本人旅行者が、スリ軍団延命の糧になってはならない。

100 世界遺産の旅 (108)

究極のマイレージ旅行

2019 年は、23 日間ヨーロッパ、8 日間フランス領ポリネシアのタヒチへと、なかなか忙しい年だったが、夫婦で旅して、良かったとしみじみ思う。

5 年前から、マイレージ (無料航空券) を使ってフランス領ポリネシアの旅を狙っていたが、設定数そのものが極めて少なく、さらに往路フライトを見つけても、復路が無いという状況で諦めていた。

幸い、2018 年の秋、8 日間の往復航空便を発見し、即予約した。必要マイルは、30,000 マイルで空港利用料は 14,570 円であった。オーストラリア経由であれば、10,870 円であったが、首都オークランドを歩きたく

てニュー
ジーラ
ンド経
由にし
た。

30,000
マイルは、
極めて少
ないマイ

ル数である。(表1)で分かりますとおり、ハワイ、ニュージーランドを除く、ポリネシア、ミクロネシア、メラネシアへのマイル数は、隣国の韓国、中国と同じ30,000マイルである。

要するに、ユナイテッド航空 (UA) のスターアライアンスは、運航距離を度外視して、ポリネシア、ミクロネシア、メラネシアを日本の隣接地として扱っているのである。但し、パラオへは、何時でも行けるが、タヒチやニューカレドニアへの設定数は、極めて少ないので、気長にトライする必要がある。

出発	目的	必要マイル
日本	国内	10,000
	韓国	30,000
	中国	30,000
	タヒチ (ポリネシア)	30,000
	ニューカレドニア (メラネシア)	30,000
	パラオ (ミクロネシア)	30,000
	ハワイ	50,000
	ニュージーランド	60,000
	ニューヨーク	70,000
	ロンドン	90,000



ポリネシアン・トライアングル

南太平洋は、一生に一度は訪れてみたい憧れのリゾートであるが、一体どの地域を指すのか検討が付かなかった。赤道以南の太平洋を指すわけだが、ガラパゴス諸島などは、南太平洋と云わないだろう。

個人的な見解であるが、南太平洋は、赤道より南に位置するポリネシアと考えれば理解しやすい。その中心が、フランス領ポリネシアである。また、そのフランス領ポリネシアのほぼ中央にあたるのが、新婚旅行の超人気リゾート、タヒチである。

南太平洋を理解するには、太平洋にある3ネシア (諸島群) の地域概念を理解せねばならなかった。

- ポリネシアのポリは、多い事を意味し、ハワイ島を頂点として、ニュージーランド、イースター島のトライアングルで、最大の領域である。
- ミクロネシアのミクロは、小さいことを意味し、グアム島、パラオ島が含まれる。
- メラネシアのメラは、黒い色の人達を意味し、ニューカレドニア島などがある。

海外自
由旅行
を楽し
むには、

2年間クレジット利用額	2年間獲得マイル
200万円/1,000円X15マイル =	3万マイル
(1,000円で15マイル獲得)	

マイレージ (無料航空券) を上手く獲得しよう。

たとえば、クレジットカードを利用し、公共料金、税金、日常生活費など全ての支払をすれば、(表2)のように、約2年間で、30,000マイルを獲得し、関空からタヒチの往復旅行が可能になる。但し、UAの場合、クレジットカードの年会費も考慮する必要があるので、(表3)に示すとおり、オーストラリア経由だと、2年間の総経費は24,910円となる。

海外旅行
を安く上
げるには、
まず世界
を見たい
という強
い願望

UAカード年会費X2年 (1,000円で5マイル獲得)	¥3,240
UAMイルアップ年会費X2年 (1,000円で10マイル獲得)	¥10,800
往復空港税(関空-豪州-タヒチ)	¥10,870
総経費	¥24,910

と、無料往復航空券が必要になる。

24 歳、会社に「海外渡航者資格試験」という制度があったので、受験してみた。3 名が受けて、残念ながら、全員不合格であった。そして翌年、再挑戦したところ、私だけが合格した。まあ、話は簡単で、受験したのは、私 1 人だけだったのである。

26 歳、韓国へ行き、世界へのスタートを切った。40 歳、USA 本社よりユナイテッド航空のマイレージ会員になるよう半強制的に指示された。後に副社長になった極東担当 Manager によるもので、日本はもちろん、アジア訪問では同行し、また北米、ヨーロッパにある工場訪問の機会を多々享受した。

60 歳、定年退職時に 576,478 マイルを保有し、ライフワーク「100 世界遺産の旅」に活用させてもらった。現在もクレジットカードを常用しながら 127,650 マイルを保持し、世界を見たいという願望と、無料航空券を両翼にして、旅を楽しんでいる。

100 世界遺産の旅 (109)

南太平洋/タヒチ島

タヒチを想う時はいつも、映画「南太平洋」の名曲「魅惑の宵」の心安らぐ旋律が聞こえてくる。2019年8月23日午前3時、ロングフライトを終え、タヒチ島のパペーテ空港に着陸した。

今回の旅は、家人のマイレージを使わせてもらった。現役時代、海外出張にかこつけて、家人に USA、東南アジア、韓国へ同行を願ったが、今になって、予期せぬボーナスを頂いた気分である。



ハーバーライトと屋台広場、パペーテ、タヒチ

タヒチ島のパペーテは都会で、リゾート気分を味わうには少し遠方へ足を伸ばさねばならない。

ただ、毎晩、ハーバーで開かれるルロット（移動式屋台）では、ローカル、フレンチ、中華料理が混在し、独特のエスニック料理を楽しむことが出来る。価格も1皿1,000円ぐらいで、日本人だと2人前のボリュームである。しかし、アルコールを販売していないので、事前にコンビニで仕入れる必要がある。



マルシェ・ショッピングセンター、タヒチ島

何故、フランスが、遠い太平洋の島々を属国にしたのかは不明であるが、フランスの地中海沿いの浜辺は、殆ど砂浜が無いので、美しい砂浜を求めたのかもしれない。フランス人を問わずヨーロッパの人々が、平和 (Pacific) な大洋に浮かぶ珊瑚礁の島々に憧れる気持ちは、日本人が想像する以上である。

タヒチ島のパペーテより、西18kmの海上にある

のがモーレア島である。この島は、映画「南太平洋」の中で歌われる Bali Hai と云う山のモデルとして知られ、その山々を仰ぎ見ながら港を散策した。



モーレア島、タヒチ、2019年8月

タヒチは、フランスの画家ゴーギャンが愛し、そして永眠した所で、タヒチ女性を描いた絵画を特徴とする。ただ、現地には史跡がなく、現地女性の服装柄にゴーギャンの面影を感じるぐらいだった。

タヒチと云えば、タヒチアン・ダンスである。私は、ハワイアン・バンドのメンバーであるので、1度は、本場のタヒチアン・ダンスを観たいと願っていた。ハワイのフラダンスは、有名であるが、そのオリジナルがタヒチで、躍動感は、その比ではない。



タヒチアン・ダンスショー、2019年8月

金曜日の夜に開催されるインター・コンチネンタルホテルのディナー&タヒチアン・ダンスショーが、最も豪華であると云われる。パペーテから送迎バス付きで、リッチな料金であるが、1時間30分の魅了されるタヒチアン・ダンスショーであった。

団塊世代から、新婚旅行で海外へ出かける風潮が高まっていたが、まだ、庶民には高嶺の花だった。「タヒチは無理なので、ハワイへ行ったカップル」「ハワイは無理なので、グアムへ行ったカップル」「グアムは無理なので、九州へ行ったカップル」我々の新婚旅行は、九州だったので、結婚45周年の今回、タヒチ旅行の機会を得た事に感謝したい。

100 世界遺産の旅 (110)

南太平洋/ボラボラ島

タヒチ島とモーレア島の訪問だけでも、南太平洋のリゾートを十分に満喫できるが、タヒチ島より北西 260km の海上にあり、「南太平洋の真珠」と呼ばれるボラボラ島へプロペラ機で訪れた。

そこは、新婚旅行の超メッカで、そそり立つ山々、ラグーンと珊瑚礁が、極めて希に一体化し、美しい環礁が、ほぼ完璧なサークルを形成している。



プロペラ機よりボラボラ島、南太平洋、2019年8月

環礁の形成過程は、火山島ができた後、島の周囲にサンゴ礁ができる。やがて島は沈下し、サンゴ礁が取り残されて、陸地と環礁の間に、遠浅のラグーンができ、多くのサメ、エイや熱帯魚が生息する。

ラグーンは、透明度が高く、波も無いところから、高級ホテルの水上コテージが、数多く点在する。タヒチ、モーレア、ボラボラ島を含む領域をソシエテ諸島と云い、フランス領ポリネシアの中心である。



エアポートハーバー、ボラボラ空港、南太平洋

ボラボラ島の空港は、環礁上の幅広に有り、空港から本島までは、エア・タヒチのシャトルボートが無料で運航している。一方、環礁にある高級ホテルは、離着陸時間

に合わせて、送迎ボートが行き交う。

そびえる山の景色と水上コテージを遠方に観ながら、約 20 分の運航で、本島のバイタペ港につき、そこで待機していたジープに乗り換えてホテルへ向かった。



本島パブリックビーチ、ボラボラ島、2019年8月

我々は、陸上コテージを利用したので、翌日レンタカーを借りて、ドライブを楽しんだ。本島の1周は、約1時間程度のコースで、その途中にパブリックビーチがあったので、持参の浮輪を取り出した。

そこは、パブリックと云いながら、遊泳客は皆無で、夫婦水入らず、海水のビーチでスイミングを楽しんだ。パブリックビーチの無料駐車場には、着替えとシャワーの施設が有り、独占的利用だった。



水上コテージ、ボラボラ島、南太平洋、2019年8月

タヒチ島よりボラボラ島への直行便は、運航されているが、あえて、我々は、経由便を利用した。

往路は、ソシエテ諸島第2の島、ライアテア島を、復路は、モーレア島に着陸するフライトであった。それぞれ島の滞在は、機内で40分位であるが、離着陸時に仮装遊覧飛行を楽しむことが目的だった。

通常、単独の遊覧飛行は、US\$100ぐらいする。プロペラ機の場合、ゆっくりと旋回しながら空港に着陸するので、その間、ライアテア島とモーレア島の全貌を観ることが出来た。当然、座席の位置が重要なので、チェックイン時に、ベスト席を確保した。

100 世界遺産の旅 (111)

シティ・オブ・セイルズ

旅の効率を考える時、途中下機（車）は、選択すべき有効な手段である。今回、タヒチよりの帰路にニュージーランドの首都オークランドへ立ち寄った。同一航空運賃、ホテル代不要の街歩きである。

タヒチの出発が午前3時50分で、オークランド到着が午前7時20分であった。次にオークランドの出発が、午後7時52分なので、ゆうに12時間以上、オークランドの街歩きをエンジョイできた。



クイーン・ストリート、オークランド、2019年8月

入国審査を終え、空港のシャトルバス停へ行くと、空は鉛色で寒かった。8月末と云う事で、オークランドは、日本と反対の真冬であった。日陰に入ると寒いので、選んで太陽の当たる日向を歩いた。

街には、多くの若い中国人、韓国人の声が聞こえた。恐らく彼等は、大学か語学研修できているのであろう。ただ、日本人の若者には出会わなかった。



ヨットハーバー、オークランド、2019年8月

オークランドの街は、シティ・オブ・セイルズと呼ばれ、多くの帆船がヨーロッパより往来した名残であろう。街は、サンフランシスコに似ており、ケーブルカーはないが、坂道の多い首都だった。一

方、マクドナルドやバーガーキングの前などに多くの白人のホームレスが、寝袋にうずくまり、少なからず嫌悪感を覚えた。トイレ利用と残飯あさりの目的で屯しているようだった。



スカイ・タワー、オークランド、2019年8月

初めて訪れる街の全貌を見るには、どこでもそうだが、タワーへ登るのがベストである。そのスカイ・タワーより眼下を見渡しているとき、突然人間が落ちて行くのを目撃したのには驚きだった。

有料アトラクションで、引っかけられた綱と共に落ちて行く仕掛けで、2度ばかりお目にかかった。

2015年に訪問したニュージーランド南島のクイーンズランドでは、バンジー・ジャンプで、大声を上げながら鉄塔から飛び降りていたが、どうも白人達は、この種の危険な遊びが好きな様である。



ワイテマタ湾、ニュージーランド、2019年8月

ニュージーランドは、観光立国というよりは、畜産農業国である。特に気を付けねばならないのは、入国時の通関で、国内の畜産、農業を保護するため、食料品などは徹底的に調べ上げられる。また、靴底につく砂や草などには執拗な検査が待っている。

ニュージーランドは、華やかさはないが、街は落ち着いた様相で、じっくりと語学研修、Working Visa 滞在を楽しむには打ってつけの国かもしれない。

100 世界遺産の旅 (112)

天安門

8月31日午後7時20分、オークランド空港を離陸して、翌日午前5時、第2の途中下機地の北京空港に着陸した。過去、中国は2度訪問したが、今回は、家人の要望で、天安門見学のため街へ出た。

次の北京発関西空港行きの便は、午後1時50分発であるので8時間50分の天安門詣である。



天安門、北京、中国、2019年9月

北京空港での入国審査を終え、エアポートエクスプレスと地下鉄を乗り継いで天安門へ向かった。今回驚いたのは、検問所の多さである。空港から駅までの乗り換えでは、乗車下車時ともに検問で、天安門広場への入り口は、長蛇の列だった。

天安門広場より地下鉄駅までの帰路、団体は最短ルートで戻ることが出来るが、我々のような個人旅行者は、交差点を横断して迂回せねばならなかった。



天安門広場入口、北京、中国、2019年9月

日本の落語に「ぜんざい公社」という風刺の効いた演目がある。ぜんざいを食べるため、公社で何度も承認を必要とする落語を思い出しながら天安門広場へ向かった。天安門広場も多くの観光客が行き交い、また天安門へは多くのフェンスで遮られ、天安門の間近へ行くことさえ不可能だった。

前回、天安門を訪れたのは、1997年12月で、瀋陽（旧奉天）での仕事を終えて、北京で1日過ごしたが、観光客も少なく、支障なく天安門へ登れた。



人民大会堂、天安門広場、北京、2019年9月

世界を歩くにあたり、大きなハードルが2つある。それは、時間と路銀である。時間が出来てから...！ お金が貯まってから...！ 定年退職してから...！と云うようなバッチ的思考では、世界全体を見るには間に合わない。リアルタイムの思考で対処せねばならない。そのためには、チャンスがあればすぐに行動し、また日頃、路銀の備えに努めねばならない。

欧州、北米、アジアへと出張し、毎回ではないが、現地で有給休暇を取って小旅行を楽しんだ。たとえば、ロサンゼルス訪問時は、メキシコへ足を伸ばし、ドイツ工場へ行った時は、南欧や北欧を巡り、シンガポール訪問時には、オーストラリアを往復した。

当然、現地休暇時の宿泊費や交通費は、個人負担であり、また、大事なことは、家計へいかなる影響も及ぼしてはならないと云うことである。



八達嶺、万里の長城、北京郊外、中国、1997年12月

出張時、家人に同行を願った事も幾度かある。USAでは、ホテルやレンタカーは、二人でも同一料金なので、家人同行の選択肢を放棄する手はない。

定年後をめざして旅行を計画するのも良いが、2020年のコロナ禍のように、予期せぬ疫病が大流行し頓挫せねばならない。世界を見たいと云う強い願望が確立したならば、強かで、かつ間髪を入れず、好機を手中に収める心がけが、日々重要である。

USAに「Look and Lose」の言葉がある。ポーと見てたら、機会を失ってしまったと云う意味だそうだ。

100 世界遺産の旅 (113)

能登半島

コロナ禍で、海外旅行は、完全に座礁してしまった。この1年は、国内でコロナ感染者数の少ない地方を歩くことにした。まず、未訪の能登半島を目的地とし、バスや鉄道では三密を回避し難いと考え、マイカーを利用して1泊2日の旅へ出かけた。

途中、古戦場の関ヶ原を訪れたが、武将達の陣形の案内はあるものの見るべき所がなかったので、日本100名山の伊吹山へ軌道修正した。季節柄、美しい紅葉を見ながらドライブウェイを登坂した。



伊吹山より関ヶ原古戦場、岐阜県、2020年11月

頂上は、ガスっていて琵琶湖を眺望できなかった。驚いたことは、車道のガードレール外側の断崖絶壁に50名程の、しかも約60cmの望遠カメラを携えた人々が屯していた。売店の人に聞くと、イヌワシの滑空を撮影する人々だそうだ。イヌワシは、おもに小動物を捕えるが、時には子鹿も襲うらしい。



一乗谷、朝倉家屋敷跡、福井県、2020年11月

伊吹山の後、北陸道を北へ走ると、「小谷城スマートIC」の標識が見えてきた。大名・浅井長政、戦国一の美女といわれた織田信長の妹・お市の方や、浅井三姉妹と呼ばれる茶々、初、江の居城だが、今は石垣を残す廃城で、東の山間にあるようだ。

次の賤ヶ岳SAで休憩をとったが、西にある余呉湖が、豊臣秀吉と柴田勝家の賤ヶ岳古戦場である。

休憩後、文化大名の朝倉義景が、繁栄を享受した一乗谷へ足を向けた。一乗谷は、想っていたより手狭で、時代を読み違えた朝倉家は、織田信長との姉川の戦い(長浜市)に破れ、浅井家と共に滅亡した。

なお、朝倉攻めに参陣した明智光秀は、以前に朝倉家を頼り、10年間仕えたとも云われている。



曹洞宗 永平寺、福井県、2020年11月

一乗谷の北、車で15分の所にあるのが、曹洞宗の大本山・永平寺である。紅葉の見頃で多くの観光客が散策していた。永平寺の見所は、階段状の回廊で、雪深い冬も修業出来るように工夫されている。

能登半島は、名所が少ないので、まず見附島へ行くことにした。空海が、佐渡島より能登へ渡る時に見付けたと云う伝説からその名が付けられたが、空海が、佐渡島へ渡ったという事実はなさそうだ。

見附島の後、帰路に輪島へ回ったが、漆塗りは、非常に高価だったので、博物館だけで済ました。



見附島、能登半島、石川県、2020年11月

折しも、議論沸騰のGo to Travel利用で、夕食付宿泊代は、39,600円(山中温泉/石川県)-13,860円(Go to Travel 助成金)-1,542円(旅行割引)=24,198円/2人であった。夕食は、蟹三昧で、雄雌各一匹のズワイ姿蟹が供された。当然ながら、宿泊代からして、雄はタグ付き越前ガニとはいかなかった。

また、6,000円(地域共通クーポン)は、ガソリン代に充当し、夜10時、無事に神戸へ帰着したが、道中、観光バスに行き交うことは、皆無であった。

100 世界遺産の旅 (114)

神戸市立外国人墓地

神戸で生まれ、神戸で育ちながら、恥ずかしくも、初めて神戸市立外国人墓地を訪れた。一般公開は、4月～11月の第4日曜日、午前/午後の2回、それぞれ20名で、申し込み多数の場合は、抽選になる。

今回は、別枠で、団体の一員として入園させてもらった。墓地まで、我が家より徒歩で1時間20分、秋日和の下、集合場所の再度公園へ向かった。



再度公園より神戸市立外国人墓地、2020年11月

神戸市立外国人墓地は、再度公園の修法ヶ原池より北200メートルの所にある。再度公園は、神戸を代表する憩いの場で、コロナ禍の市街地を避けて、多くの人々がハイキングや紅葉を楽しんでいた。

「再度公園」の名称は、空海が、遣唐使として出国前と帰国後に、神戸の山を訪れたことに由来する。



修法ヶ原池、再度公園、神戸市、2020年11月

居留外国人の要望で、当初、小野浜外国人墓地(中央区浜辺通6丁目)が開園され、その後、春日野外国人墓地(中央区籠池通4丁目)が造成された。戦後、両墓地とも手狭で、また都市開発も重なり、1952年に小野浜墓地を、1961年に春日野墓地を閉鎖し、再度公園内の修法ヶ原外国人墓地へ移転した。

移転前は、盗掘や装飾品の窃盗が、相次ぐなど問題があったので、当初、修法ヶ原墓地は、立ち入り禁止だったが、神戸市民の要望で公開になった。

代表的な埋葬者をあげると、

- ジョン・マーシャル (初代神戸港長)
- エドワード・ハンター (日立造船創業者)
- ヴァレンティン・モロゾフ (菓子モロゾフ創業者)
- ウォルター・ランバス (関西学院創設者)

彼の父ウィリアム・ランバスは、神戸の国際化に貢献した「パルモア学院」を創設したが、その学院は、2021年の春に、134年の幕を閉じる。



神戸市立外国人墓地、2020年11月

- ヘンリー・ルーカス (歌手/尾崎紀世彦の祖父)
案内担当者によると、尾崎紀世彦は、一度、祖父の墓参りに来たらしい。彼の歌に「しのび逢い」があるが、その中に「霧降れば、ぬれる外人墓地に..♪」という歌詞がある。それは、横浜の「港が見える丘公園」にある横浜外国人墓地を指している。

横浜で所帯を持った私は、よく「港が見える丘公園」の後、中華街へ下って食事をしたものである。



神戸市立外国人墓地、2020年11月

「しのび逢い」も「また逢う日まで」も、作曲/筒美京平、作詞/阿久悠で、両者共、印税という莫大な財産を残して他界したが、歌手としての尾崎紀世彦は、如何なものかと、不謹慎な疑問が頭をよぎった。

神戸の外国人墓地は市立だが、横浜の外国人墓地は公益財団法人である。神戸の外国人墓地は、その殆どが無縁仏で、また神戸の発展に大いに貢献した外国人と云うことで、神戸市が祀っている。

100 世界遺産の旅 (115)

六甲・摩耶

閑中、さらに閑ありと云うことで、11月の晴天日、久しぶりに摩耶山と六甲山に登ってみた。

朝9時スタート、我が家より森林植物園へむかった。正門から入り、紅葉を楽しんだ後、東門を抜けるとトゥエンティクロスに着く。その小川を渡って、なだらかな山道を登れば、おおよそ20分で桜谷道に出会う。そこから急峻な道を登ること50分で、摩耶山頂に着く。単独行で、マスクは不用だった。



神戸市立森林植物園、2020年11月

我が家は、六甲山系の西肩にあたり、海拔336mで、森林植物園まで20分の所にある。特色の無い新興住宅であるが、緑の濃さは何処にも負けないし、また六甲山登山に適した所である。三ノ宮までバスと神戸市営地下鉄利用で19分、現在、個人的であるが、アーバン・リゾートと称して、悦に浸っている。



摩耶山頂より市街、神戸、2020年11月

摩耶山より六甲山までは、なだらかな山道が続く、正午に六甲山記念碑台に到着し昼食をいただいた。トレッキング時、食べるおにぎりの味は格別である。六甲山最高峰を通過した後、昔、神戸の魚崎より六甲山を越えて、有馬へ魚を運んだと云われる魚屋道(ととやみち)を下り、有馬温泉の「金の湯」

で汗を流し、湯上がりビールで疲れを癒やした。



六甲山頂、神戸、2020年11月

神戸市は、「六甲山上スマートシティ構想」を発表している。現在、多くは閉鎖されているが、六甲山にある保養所や別荘をビジネスに活用するテレワーク構想で、インターネット回線を整備し、六甲山上でおしゃれなオフィス環境を構築する計画だ。市内企業はもとより、首都圏からの企業も誘致している。

2020年度はコロナで中止だったが、六甲・摩耶と云えば、「六甲全山縦走」がある。須磨浦公園を朝5時半に出発し、宝塚に夜8時過ぎに到達する56kmの過酷な縦走登山である。私も51歳の時、チャレンジし完歩したが、2日間、足の痛みが取れなかった。



六甲山最高峰(931m)、神戸、2020年11月

今にして想えば、51歳、その頃が、我が人生の絶頂期だったようだ。併せて、金銭的責任より解放された安堵感は、何時になっても忘れられない。

48歳：神戸市北区硬式テニス・ダブルス3位

50歳：長女結婚

51歳：六甲全山縦走

52歳：優秀セールスでラスベガスへ夫婦招待

53歳：次女大学卒業&就職

55歳：最後の海外出張(ドイツ&イギリス)

55歳の時、仕事に対する意欲が全く途絶え、以後定年退職後の人生を想定した日々を送った。そして60歳、晴れて社内自由業としての職責を終えた。

100 世界遺産の旅 (116)

有馬温泉

寒い2月は、日本を飛び出して、東南アジアのビーチへ行きたいが、コロナ禍で如何ともし難い。そこで、冬場の楽しみの1つとして温泉通いがある。

日本を代表する有馬温泉が近くにあるので、寒い日によく出かけている。我が家(標高336m)より谷上駅(標高246m)までバスだとすぐだが、木漏れ日の中を歩いて30分、谷あり、滝あり、徒渉ありの登山道で、なかなかのトレッキング風情である。



大関橋より有馬温泉、神戸、2021年2月

谷上駅より有馬温泉までは、神戸電鉄の利用だが、現在、シーパスワンと称する敬老パスが、全線1日360円で、プラス、神戸市営「金の湯」650円が必要である。六甲山系と丹生山系の山間を電車は、森林の風景を車窓に映しながら縫うように走って行く。

湯治(とうじ)と云う文化がある。温泉地に少なくとも1週間以上滞留して特定の疾病の温泉療養を行う行為であるらしい。私の場合は、時間と費用を節約して「日帰り湯治」と言って楽しんでいる。



神戸市営「金の湯」、有馬温泉、2021年2月

有馬温泉は、日本3古泉の1つで、「関西の奥座敷」とも呼ばれている。有馬といえば豊臣秀吉を想いかべるが、彼は9回、有馬を訪れている。時には、北政所や利休を従えて、戦(いくさ)の傷や苦労を湯治場で癒やしたのだろう。

秀吉は没収地の農民に年貢を免除し、有馬温泉の御殿は、もてなしの場として活用した。



秀吉と北政所、有馬温泉、神戸、2020年11月

有馬特有の赤茶色した「金の湯」は、無色または白濁色の温泉と違い、いかにも治療に効果がありそうに見える。1928年、神戸電鉄の湊川～有馬間が開通し多くの温泉客が詰めかけた。よくも、戦前に神戸唯一の山岳鉄道を開通させたものだと感心する。

神戸は、素晴らしい街である。風光明媚な瀬戸内海に面し、六甲の山々、そして有馬温泉がある。

また、神戸は、カーライフを楽しめる街でもある。家人も私もドライブが好きなので車2台を所有し、時折、有馬方面へ走らせている。車は、ショッピング用の軽自動車と、寝袋を積んで出かけるワンボックスカーで、市内も郊外も混まないのが嬉しい。



秀吉の岩風呂遺構、有馬温泉、2021年2月

神戸を離れたのが19歳、そして家庭を築いて戻ってきたのが40歳。家人は、生粋の東京生れの東京育ちであるが、古都が大好き、古刹が大好き、神戸が大好きな歴女&旅女なので、神戸への回帰に支障はなかった。島崎藤村/作詞「椰子の実」の最後に次の文言がある。「いずれの日にか 国に帰らん」

100 世界遺産の旅 (117)

ポートアイランド

新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言が、解除されたので三ノ宮からポートライナーでポートアイランドへ渡り、西岸沿いを歩いてみた。

出発点は、ポートライナーの京コンピュータ前駅からで、駅前には4部門で世界一になった「富岳」を擁する理化学研究所・計算科学研究センターがある。玄関前に立ってみると「2位じゃダメなんですか？」の声が聞こえてくるようだった。

「京」にかわり「富岳」が稼働したことで、2021年6月、その駅名は、計算科学センター駅（神戸どうぶつ王国・「富岳」前）に変更されるようだ。



理化学研究所・計算科学研究センター、2021年3月

ポートアイランドは、東側が港湾地区で、西側が神戸市立中央市民病院、大学、研究機関、展示場があり、中央部にアシックス本社などのビジネス街、そしてマンション群が混在する。

神戸市立中央市民病院は、近代的な素晴らしい総合病院である。3年前、大腸に2cm大の腫瘍が見つかったので5日ばかり入院した。4人部屋のレイアウトでドアは無かったが、個室に居るような雰囲気だった。幸い良性腫瘍だったので、大手を振って退院し、近場のコンビニに寄って、一人、ビールで無事を祝った。



神戸市立中央市民病院、2021年3月

ポートアイランドは、原口忠治郎元市長の構想に基づき須磨と垂水区の山を削り、その残土で埋め立てられたものである。宅地開発と人工島造成を同時にやったことや、後に開催された「ポートピア'81」博覧会の成功で、株式会社神戸市ともてはやされた。

しかし、その後は人口減少に歯止めが掛からない。致命的な失策は、ほぼ決まりかけていた神戸国際空港を神戸市が辞退したことである。サンフランシスコが、港湾不況時、国際空港に活路を見いだし、危機を脱した事を知る者がいなかったようだ。



神戸空港、2021年3月

神戸市は、国際都市である。アメリカの人材コンサルティング会社である「マーサー社」が発表した世界都市ランキング「外国人駐在員が住みたい街」で、アジア地区では1位がシンガポール、2位が東京と神戸である。P&G ジャパン (USA)、ネスレ日本 (スイス) の本社が神戸にあるのもうなずける。

神戸市は、外国人向けの就労情報サイト「WORK IN KOBE」を開設したが、アジアの特定国よりの就業者に偏らないようお願いしたいものだ。



神戸ウォーターフロント、2021年3月

神戸市にゆかりのある科学者と建築家の面白い談話がある。ノーベル賞の山中伸弥教授は「若き科学者は、積極的に海外へ出よ！」と檄をとばし、世界的建築家の安藤忠雄氏は、「地球儀を抱いて寝よ！」とスタッフに指示している。地球儀を抱いて寝ると血だらけになると心配していたが、ビーチボール・タイプの地球儀があるのを知って安堵した。

100 世界遺産の旅 (118)

国宝 5 城

2021年3月30日、桜満開の便りに誘われて、久しぶりに世界遺産/国宝姫路城を訪れた。さすがに日本が誇る別名白鷺城は、スケールの大きさと云い、優雅さと云い、多々ある城の中の最高傑作である。



姫路城（連立式望楼型）、兵庫県、2021年3月（黄砂）

コロナ禍中、どう言う訳か、多くの北関東や東北地方のナンバー・プレートが目についた。2月の緊急事態宣言解除や、北国の遅い春を待ちかねて、国宝姫路城と満開桜のコラボを楽しみに来たのだろう。



松本城（連立式層塔型）、長野県、2016年7月

2016年、松本城は、西国33ヶ所巡りの満願成就の御札に善光寺(長野県)をお参りした時に立ち寄った。典型的な平城で、国宝5城の内、唯一の5重6階の層塔型天守が美しい。松本市の中心にあり、その高さや広さは、姫路城に次いで2番目である。



犬山城（複合式望楼型）、愛知県、2016年7月

犬山城は、室町時代の1537年に建てられ、天守は現存する日本最古の様式である。2004年に公益財団法人へ移譲されるまで、個人が所有する最後の城だった。木曾川より88メートルの断崖絶壁に立つ城で、眺望は抜群だが、天守閣の廻り縁を歩くと欄干が低く、高所恐怖症の私にとっては、足がすくむおもいだった。



松江城（複合式望楼型）、島根県、2017年6月

2017年、世界遺産/石見銀山を見学した後、帰路に松江城を訪れた。明治時代に180円(現在価格80万円)で売却されたが、その後買い戻された。

1935年、松江城天守は、国宝に指定されたが、1950年、文化財保護法の施行により重要文化財に格下げされ、2015年に再び国宝に指定された。



彦根城（複合式望楼型）、滋賀県、2008年9月

2008年、世界遺産/白川郷と郡代・代官所が現存する飛騨高山(岐阜県)の探訪後、帰路に琵琶湖畔の彦根へ立ち寄った。彦根城は、多くの大老を輩出した譜代大名の井伊家の居城で、望楼型天守の破風飾り屋根を特徴とする。

1871年、廃藩置県の発令後、全国各地の城郭の多くは廃城・破却処分となった。江戸時代の初期に建てられた現存天守は12城で、その中の5城が最重要文化財として国宝に指定されている。

残りの現存天守7城の内、既に、弘前城(青森県)、丸岡城(福井県)、備中松山城(岡山県)、伊予松山城(愛媛県)を訪問したが、速やかに、四国3城の丸亀城(香川県)、宇和島城(愛媛県)、高知城(高知県)の登城を終えたいと願っている。

100 世界遺産の旅 (119)

神戸 2 大仏

神戸には、2つの大仏がある。1つは、鶴越墓園内の「鶴越大仏」で、もう1つは、能福寺（兵庫津）の「兵庫大仏」である。奇しくも、この2つの大仏は、源義経の行軍線上に建っている。皁月晴れの1日、家人と共に探訪したが、幸い参拝者は皆無だった。



鶴越大仏、鶴越墓園、神戸、2021年5月

1932年建立の「鶴越大仏」は鉄筋コンクリート製で、当初は鶴越共葬墓地の最上段にあった。「鶴越大仏」の存在を知る人は少なく、また、現在、神戸市立墓園と云う事で、政教分離の制約なのか、整備は行き届いておらず、仏像の顔はひび割れて黒ずみ、泣いているような様相だった。

この大仏は、兵庫津を見下ろす鶴越の丘に鎮座し、源平合戦で落命した武士達の鎮魂の祈りも込められているように見えた。



「鶴越の逆落とし」、鶴越墓園、神戸、2021年5月

墓園の管理事務所近くに「史跡鶴越」の石碑があり、私としても、地形からして、この地が、「鶴越の逆落とし」の現場であると考えている。少なくとも源義経の本隊は、丹波⇒篠山⇒三木⇒藍那⇒鶴越より、平家が陣取る兵庫津へ攻め下ったのだろう。

鶴越墓園の後、ひよどり展望公園へ下り、湊川を經由して、兵庫津まで歩くことにした。



兵庫大仏、能福寺、神戸、2021年5月

兵庫津にある能福寺は、最澄により創建された古刹で、平家の祈願寺であった。戦前、日本3大仏の1つだったが、戦時中の金属類回収令で解体されて国へ供出された。1991年に再建された毘盧舍那仏は、高さ11m、重量60トンの鑄造坐像である。



清盛塚、兵庫津、神戸、2021年5月

能福寺の南にある清盛塚は、清盛の墳墓と考えられていたが、発掘時に遺骨は発見されなかった。



しかし、宋との交易に意欲を燃やし、兵庫津を開く偉業を成し遂げた清盛の供養塔であることに間違いはない。

1184年の源平合戦と神戸2大仏の由来に接し、「諸行無常の響きあり」を感じずる1日だった。

100 世界遺産の旅 (120)

銭湯物語

山歩き、街歩きの後には必ず寄るのが銭湯である。神戸電鉄の1日乗車切符があったので、湊川へくだり、平清盛ゆかりの地を散策した。まず訪れたのは、福原京の安徳天皇在所跡で、その後、平清盛の邸宅があった雪見御所町公園を覗いてみた。



新湊川、兵庫区、神戸市、2021年5月

雪見御所町公園は、石井川と天王谷川の合流地であり、その合流点から新湊川が始まる。旧湊川は、東山商店街、兵庫区役所、湊川公園、新開地を通過して兵庫津へ流れ込んだが、流出土砂による神戸港埋没問題、頻繁に起こる氾濫のため付け替えられた。

明治34年、会下山公園下に湊川隧道を貫通させ、長田で苅藻川に合流する新湊川が誕生した。



湊山温泉、兵庫区、神戸市、2021年5月

平清盛の「雪見御所」石碑を確認後、創業131年の湊山温泉に辿り着いた。石碑より徒歩15分くらいの所にある温泉で、源泉掛流しのため、一般銭湯の450円より高めの700円を入浴料としている。

洗い場のタイルをよく見ると、温泉特有の化学成分で腐食しており、遠い昔、平清盛もこの温泉につかったのかと想像しながら入浴を楽しんだ。

2021年3月13日付けの神戸新聞NEXTによると、

浴場組合に加盟する神戸市内の銭湯は1990年に229軒あったが、利用者の減少や業者の高齢化の後継者不足、阪神・淡路大震災による被害などで、この30年で85%減の35軒になった。ちなみに2015年の統計では71軒で、減少傾向を裏付けている。

銭湯の水代は、厚生省の施策で、戦後の衛生向上を目的とし、極めて低額に設定され、各水道事業の赤字分は、一般家庭の水道代で補填されている。



水木湯、兵庫区、神戸市、2021年5月

新開地より西方に水木通りがある。『ゲゲゲの鬼太郎』で有名な妖怪漫画家の水木しげるは、この近くでアパートを経営していたらしい。そのアパート経営が、素人ゆえ挫折したため、アパートを売却して、東京へ出て漫画家としての道を歩んだ。

漫画家のペンネームを「水木しげる」としたのは、神戸市と水木通りに愛着を持っていたからであろう。水木通りに「水木湯」があり、水木しげるは良く通っていたらしい。その「水木湯」は、今では珍しい番台と、心地よい電気風呂がある銭湯であった。



湊山温泉、水木湯、新開地&湊川

暫くは、コロナ禍のため行動範囲が制約されるので、街歩きは近場とし、将来、消滅すると予測される神戸の銭湯を数多く体験したいと考えている。

100 世界遺産の旅 (121)

小豆島

コロナ禍の最中であるが、チャンスとばかり、香川県の小豆島を訪れてみた。そのチャンスとは、3回目緊急事態宣言終了と、我が夫婦の2回目コロナワクチン接種後、2週間が経過したことである。併せて、小豆島の低コロナ罹患率も考慮に入れた。



明石海峡、兵庫県、2021年6月

朝6時、神戸港を出帆し、小豆島を目指した。まず、明石海峡を通過するわけだが、804年、空海と最澄の遣唐使の通過など、いにしえに想いを馳せながら、須磨、垂水、舞子、明石の風景を楽しんだ。

乗船のジャンボフェリーは、小豆島経由高松行きで、乗客は20人程度、小豆島で下船したのは、我ら夫婦とバイクに乗る若き男性の3人だった。

午前10時、到着した坂手港でレンタカーを借りて、まずは銃後の守りを描いた高峯秀子主演の戦争悲劇物語「二十四の瞳」の映画村へ向った。



二十四の瞳映画村、小豆島、香川県、2021年6月

「二十四の瞳」の映画村は、ロケセットをそのまま利用したテーマパークである。瀬戸内海を見渡せる海岸沿いに古い停車場、木造校舎などが再現され、昭和初期のノスタルジックな雰囲気であった。

「二十四の瞳」の映画村の後、一気に登坂路を駆け上り、約30分で、寒霞溪の頂上に辿り着いた。

日本三大渓谷美の1つと賞される寒霞溪は、瀬戸内海国立公園を代表する景勝地で、200万年の歳月を経て創り上げた奇岩の断崖絶壁が美しい。



寒霞溪、小豆島、香川県、2021年6月

小豆島は、中央に鎮座する星ヶ城山(817m)を頂点とした牛の形をした島で、耕地面積が極めて狭いので、有名な「中山千枚田」などの棚田が開けた。

棚田見学後、山道を下り、樹齢1600年、幹周囲16.6mのシンパク(イブキの一種)の宝生院を参拝して、海岸のエンジェルロードに辿り着いた。



エンジェルロード、四国/屋島を遠望、香川県

エンジェルロードとは、潮の満ち引きで形成される砂州で、幸い干潮だったので、南の中途島へ渡れた。遠くに四国の屋島を眺めながら、誰もいない浜辺で頂くおにぎりの味は、格別である。



オリーブ林と風車、小豆島、香川県、2021年6月

小豆島と云えば、オリーブで、穏やかな瀬戸内の気候風土に適した樹木である。小豆島は、オリーブ国内栽培の発祥地として広く知られている。1907年に農商務省の指定で栽培が始まり、現在では、醤油、佃煮、石材業と共に、島の主要産業である。

なお、日本で最も古いオリーブの木は、神戸市にある。湊川神社内の「日本最古のオリーブの樹」で、明治時代、万博関係者が外国から日本へ持ち帰った苗木から育ったものと伝えられている。

100 界遺産の旅 (122)

憧れのハワイアン

2020年に始まったコロナ禍で、多くの人々が、人生の軌道修正を余儀なくさせられたと思う。私もその1人で、ライフワーク「100 世界遺産の旅」の海外旅行は、75歳までと願っていたが頓挫し、国内旅行へ、しかも近場に切り替えざるを得なかった。



「神戸まつり」花舞台、東遊園地、2011年5月

もう1つのライフワーク「ハワイアン・バンドとボランティア活動」については絶望的である。バンドではハワイアンソングの歌が欠かせないが、3密回避のため練習が全く出来ない。また、老々感染を避けるため、ボランティア先の介護施設では、外部との接触を完全に遮断し、打ち合わせすら出来ない。

還暦を迎えて、我が人生にやり残しは無いかと、つらつらと考えるうちに「音楽とボランティア」に辿り着いた。そこで神戸市シルバーカレッジに入学し、奮起一番とばかりハワイアンクラブの門をたたいた。まさに、還暦を迎えて「60の手習い」という未知の世界に身をゆだねた。



神戸市主催「いきいきシニアライブ」、2015年9月

入部して驚いた事は、セミプロ級ギタリスト、ほぼ絶対音感の持ち主、CDを聞いて曲を採譜する人など、音楽に精通した人達との出会いであった。初心者の私は、バンドボーイの心づもりで、ボーカル、ウクレレ、エレキベースギターの習得に取り組んだ。

特に苦労したのはボーカルで、簡単な歌でもバンドにあわせて、歌い出し、発声、音程、リズムを楽譜通りに歌うことは至難の業であった。

楽器、歌ともに芸事のインプットは多難だったが、次第にアウトプットができる幸せを感じるようになった。さらに、歌った後、ボランティア先のお客さんより、「上手い！」という声を、時折、頂いたのが励みとなり、日々の練習にも熱が入った。



「さくらホーム」ボランティア、神戸、2011年11月

兵庫県民ボランタリー助成金の30,000円/団体を受給するには、年間12回のボランティア出演が条件だったので、私の出演数も優に100回を超えた。

平日、神戸市内で、生バンドとフラダンスのコラボ出演ができるグループは、極めて限られていたので、神戸市からもイベント出演の依頼が多々あった。

「いきいきシニアライブ」、「水の科学博物館」、「愛の輪ふれあいコンサート」などで、また「神戸まつり」では、メインの花舞台に出場させてもらった。

神戸市社会福祉協議会 福祉の情報誌

きずな KOBÉ

第4号
TAKE FREE
July 2013



神戸市情報誌「きずな KOBÉ」表紙、2013年7月号

ハワイアンに飛び込んだのが60歳、それから11年間、歌や楽器の技術習得に精進したが、我が「お気楽人生」において厳しい時期であった。その一方、充実したボランティア活動の日々に感謝している。

もう少し若いときにやっておけば良かったと思うが、そうはいかない。若い時は、仕事や家庭の事情もあり、アウトドア活動の時間も必要で、気楽ながらも、忙しく生きていたのが実情であった。

ただ、「老人呆け易く、芸成り難し」は、芸事に挑戦した11年間の率直な感想である。

100 世界遺産の旅 (123)

ハワイ火山国立公園

2020年と2021年の夏は、コロナ禍で、ハワイアンソングを歌うことも、ウクレレを奏でることも出来ず、空しく過ぎ去ってしまった。それでと云う訳ではないが、ハワイアンミュージックを聴きながら、ハワイにある世界遺産の旅を回想してみた。

1987年、USAのハワイ島にあるハワイ火山国立公園が、自然区分の世界遺産に登録された。



マウナ・ケア山 (4205m) ハワイ島、2009年2月

2009年2月にオアフ島のホノルルを訪れた時、足を延ばして、ホノルルより飛行機で東方へ50分のところにあるハワイ島ヒロ空港を目指した。

着陸前に見えるのが、ハワイ諸島最高峰のマウナ・ケア山で、空気が澄み、晴天率が高いことから世界で最も天体観測に適しているらしい。年に数回雪が降り、今回の訪問時も冠雪を見ることが出来た。

ヒロ空港に着陸後、迎えのミニバンに乗り換え、まず訪れたのがハワイアンソングで有名な「アカカの滝」である。鬱蒼としたジャングルの中、130mの落差を誇り、ハワイで最も美しい滝である。その後、溶岩でできた空洞のサーストーン溶岩トンネルに立ち寄り、ハイライトのキラウエア火山に向った。



ハレマウマウ火口、キラウエア火山、2009年2月

ハワイ島の火山は、今も活発に活動している。爆発を起こす事はまれで、通常は、粘性の低い溶岩が流れ出して、アスファルトが吹きこぼれるように、周囲を滑らかに覆いながら、なだらかな山稜を形成する。マウナ・ケア山もそうであるが、このような形状は、楯を伏せたように見えるため、楯状火山と呼ばれる。

日本にも、楯状火山（月山、八幡平）はあるが、成層火山（富士山、桜島）や鐘状火山（昭和新山、普賢岳）の方が日本的と云えるだろう。



キラウエア火山より海岸への溶岩道、2009年2月

溶岩が流れる地域では、建物に被害が及ぶ前に避難を余儀なくさせられる。今回も焼け出された家々の一部が、多く放置されていた。

我々は、溶岩が太平洋へ流れ出す「海のホース」を観察するため海岸へ向った。溶岩の表面は黒色で冷え切ったように見えていても、内部は真っ赤な溶岩が流れている場合があるので、溶岩道に付けられている黄色の歩行誘導マークを遵守し、それから外れてはならなかった。



溶岩流出による水蒸気、ハワイ島、2009年2月

残念ながら、海への溶岩流出は、水蒸気が赤く染まることでしか確認できなかった。真っ赤な溶岩の流出を確実に観るには海上からのアプローチしかないので、次回訪問時の楽しみとして、夕暮れにオアフ島のホノルルへ帰着した。

100 世界遺産の旅 (124)

屋久島

1993 年、日本で初めて世界遺産に登録されたのは、文化部門の「法隆寺地域の仏教建造物」と「姫路城」、自然部門の「白神山地」と「屋久島」であった。

1969 年 20 歳の夏、「洋上アルプス」と呼ばれる屋久島を訪れ、九州最高峰の宮之浦岳に登頂した。



宮之浦港（海拔 0m）、屋久島、1969 年 8 月

早朝、国鉄鹿兒島駅に到着し、歩いて 30 分の所にあるフェリー屋久島の船着き場へ向かった。出航後、フェリーは、左舷に桜島を眺めながら錦江湾を南下し、5 時間後に屋久島の宮之浦港に着岸した。

当時、島内の公共交通の便が悪く、突堤だけの宮之浦港（海拔 0m）から宮之浦岳（海拔 1936 m）までの全行程は、テントを背負って歩いた。



三代杉（海拔 740m）、屋久島、1969 年 8 月

まずは、初日のテント場を探すため宮之浦港を後にした。幸い、林道の入り口付近に古い建物があつたので、無断であるが、宿泊させてもらった。どうも小動物が屋根裏を走るらしく、何度も目が覚めた事を覚えている。

2 日目、いよいよ早朝よりの登坂である。屋久島は、屋久杉の産地で、伐採した杉は、トロッコで安房へ運んでいた。我々は、トロッコと遭遇する危険を避けるため、敢えて宮之浦より楠川歩道コースを選び、白谷雲水峽

（海拔 600m）の森の景色を楽しみながら、小杉谷山荘を目指した。辻峠、楠川の分れを經由して、午後 1 時頃、トロッコ従業員や登山者が利用する小杉谷山荘（海拔 740m）に到着し、近場の空き地を借りて、早速テントを設営した。

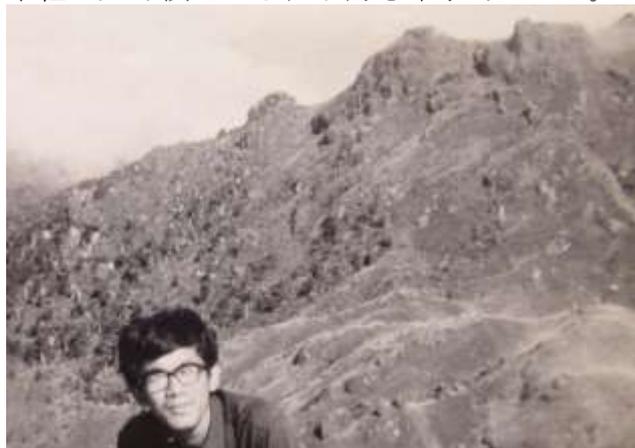


宮之浦岳（海拔 1936m）、屋久島、1969 年 8 月

3 日目、小杉谷山荘より花之江河（海拔 1640 m）へ向かったが、予想以上の急勾配で這うようにしての登り坂であった。花之江河は、雪解け水で出来た湿地で、美しい湖水が見られた。

4 日目、漸く宮之浦の頂上に辿り着いた。途中、ガスっていたが、一瞬、強風が霧を飛ばした直後に、黒味岳の大きな岩山が、眼前に出現した時は、感動の余りに絶叫してしまった。

宮之浦岳に登頂した後、北の永田岳へ向った。永田岳から海岸へ一直線に落ち込む断崖と、その向こうで噴煙を上げる硫黄島の眺望は、まさに絶景である。また、北東の眼下に、草鞋の如く横たわる種子島も印象的だった。



宮之浦岳より永田岳（海拔 1886m）、1969 年 8 月

屋久島の「ひと月に 35 日の雨が降る」は、林芙美子「浮雲」の文言だが、幸いにして、滞在した 10 日間は、希に見る快晴であった。

栗生へ下って、ひたすら無舗装の県道を歩いて安房へ向った。強烈な太陽の日差しの下、恐ろしいぐらい濃い紺碧の海は、若き日々の想い出として、未だに強く脳裏に残っている。

100 世界遺産の旅 (125)

四国古城巡り

秋の好楽シーズン到来と云う事で、四国をドライブすることにした。今回の目的は、国内現存天守 12 城のうち、未訪の丸亀城、高知城、宇和島城と、既訪の伊予松山城に登城する事であった。

天守閣には 2 種類の形があるようだ。

- ① 望楼型：下層は入母屋造りで、その上に物見の建物（望楼）をのせた形
- ② 層塔型：下層から同じ形状の建物を、規則的に上段へ積み上げていく形

また天守閣に付属する建物の構造から、独立式、複合式、連立式、連結式に分類されるらしい。



丸亀城 (独立式層塔型)、香川県、2021 年 11 月

丸亀城は、小高い山の頂上にあり、瀬戸内海が一望できる。現存天守閣の内、最も小さい天守で、瀬戸内海を行き交う船を見張る砦だったのだろう。



高知城 (独立式望楼型)、高知県、2021 年 11 月

高知城は、唯一、天守と本丸御殿の両方が現存している城で、天守は古風な形式をとっている。

関ヶ原の後、山内一豊が築いた城で、後の在郷武士の坂本龍馬は登城資格がなかったようだ。戦前、この城は、国宝だったが、江戸中期の再建と云う理由で、戦後、重要文化財に格下げされた。



宇和島城 (独立式層塔型)、愛媛県、2021 年 11 月

宇和島城主の伊達秀宗の人生は、悲運だった。仙台の伊達正宗の長子として生れながら、人質としてではあるが、豊臣秀吉と秀頼に仕えたが故に、徳川家康に疎まれ、宇和島へ移封させられた。

昔の宇和島は、宇和海に面し、三方は険しい山々に囲まれる郷であった。それ故、農地面積も限られ、宇和島での藩経営は厳しかったと推察される。



伊予松山城 (連立式層塔型)、愛媛県、2021 年 11 月

伊予松山城は連立式の名城で、土曜だったこともあり、多くの観光客で賑わっていた。城内には、刀や鎧などの武具が展示され、また、築城の歴史に関わる資料なども興味深かった。

今回、高知県の宿泊キャンペーン「龍馬の休日」を利用して、神戸から高速有料道路代の一部 5,000 円が、キャッシュバックされた。

1959 年、三橋美智也の歌に「古城」がある。発売当時、歌詞の意味は、良く分からなかったが、現存天守 12 城を巡り終えて、国宝 5 城を除く、7 城天守の物哀しさが、この歌に相応しいと感じた。

松風さわぐ 丘の上

古城よ ひとり何しのぶ

栄華の夢を 胸に追い

ああ 仰げばわびし 天守閣

現存天守 12 城「(118) 国宝 5 城」参照

100 世界遺産の旅 (126)

日本海軍発祥地

神戸は、日本海軍発祥の地である。
1864年、神戸村に軍艦奉行の勝海舟を長とする幕府直轄の海軍操練所が開設された。そして、その勝海舟を師として仰ぐ坂本龍馬によって、諸藩士、浪人、町人、百姓の海軍塾が併設された。
場所は、現在の神戸市中央区新港町で、西は京町筋の浜側より、東は神戸税関のあたりである。



海軍操練所跡、神戸市中央区新港町、2021年11月

1860年、勝海舟は、日米修好通商条約の批准のため、福沢諭吉等と共に咸臨丸でサンフランシスコを訪れている。帰国後、操船技術向上の必要性を幕府へ進言し、攘夷論高揚の当時、大阪湾防備を考え合わせ、操練所は神戸村に決定された。

坂本龍馬の海軍塾の開設にあたっては、越前藩主の松平春嶽より千両以上の融資があった。春嶽は、啓蒙専制大名というべき人物で、先見の目が有り、生糸やお茶などの交易で富を蓄えたようだ。

春嶽はまた、勝海舟に警護の申し出をしたが、海舟は固辞し、次の句を送り決意を示した。

国の為、世の為、死なん身なりせば
生田の杜の神もたのまじ

1864年、長州藩が、京都へ進攻して「禁門の変」が勃発したが、反幕府分子として海軍塾生が含まれていたことから、1865年、海軍操練所は閉鎖された。

海舟は海軍營之碑を制作したが、軍艦奉行罷免がゆえ、海軍操練所には設置されなかった。海舟が「今

のうちに神戸の土地を買っておくがいい」と勧めたところ、地価が高騰し、親交のあった神戸村庄屋の生島四郎は、大きな利益を得たので海舟の助言に感謝し、碑を引き取って庭に埋めて保存した。

1915年、海軍營之碑は、生島家より神戸市に寄贈された後、再度山麓にある諏訪山に設置された。



勝海舟・海軍營之碑、諏訪山、神戸、2021年12月

1865年、坂本龍馬は長崎へ移り、1867年、海援隊を結成している。龍馬は、薩長同盟や大政奉還の演出家であったが京都で暗殺され、後に勝海舟（幕府）と西郷隆盛（倒幕）が、歴史の主演を演じた。

王政復古の号令を経て誕生した新政府は、1868年、兵庫城跡に兵庫県庁館を建設し、初代知事には、後に首相となった伊藤博文が就任した。

伊藤博文の銅像は、神戸/大倉山公園（ホテルオークラの大倉財閥の元別荘）にあったが、金属供出で解体され、彼自身はハルビンで凶弾に倒れた。



初代兵庫県庁館（復元）、兵庫城跡、2021年11月

楠木正成、新田義貞、足利尊氏、平清盛、源義経、豊臣秀吉、坂本龍馬、勝海舟などの武人が兵庫津/湊川/神戸に去来し、数多の歴史を刻んだ。



從摩耶山至須磨寺眺望 愛山筆 文久元年（1861）神戸市立博物館蔵

100 世界遺産の旅 (127)

神戸に世界遺産を！

世界遺産登録を目指す活動が、神戸にもある。「平和共栄の街、神戸北野・山本地区の世界文化遺産登録をめざす会」で、主に北野・山本地区の有志が発起人となり、大リーグ・ダルビッシュ投手の父親ファルサ氏も名を連ねている。

北野地区には、北野天満神社を頂点として、ジャイナ教、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教などの宗教施設が平和共栄しており、その共存共栄形態を登録申請の根拠としているらしい。



① 北野天満神社、神戸北野、2021年11月

1180年、平清盛が神戸へ都を移し「福原京」を造るにあたって、鬼門である北東の場所に、京都北野天満宮より勧請して祀られた神社である。



② バグワン・マハビールスワミ・ジェイン寺院、ジャイナ教、神戸北野、2021年11月

1885年、インドから取り寄せた大理石で献堂された日本唯一のジャイナ寺院である。ジャイナ教は、インドのマハーヴィーラを師と仰ぎ、禁戒など苦行・禁欲主義を厳守する宗教である。



③ 関西ユダヤ教団シナゴーク、神戸北野

1912年、関西ユダヤ教団は設立された。シナゴークとは、ユダヤ教の会堂であり、国内にもう一つのシナゴークが、東京の広尾にある。



④ 神戸ムスリムモスク、イスラム教、神戸北野

1935年、神戸ムスリムモスクは、神戸在住のトルコ人、タタール人、インド人貿易商らの出資により建てられた日本で最初のモスクである。



⑤ カトリック神戸中央教会、キリスト教、神戸北野

1999年、神戸中央教会は、旧中山手教会跡地に建てられ、2004年、対面式丸型主聖堂が献堂された。なお、県庁前の神戸栄光教会は、新教である。



北野の魅力は、異人館など国際的な雰囲気の街である。もともと外国人は、居留地に住んでいたが、人口が増えるにつれて住宅地が不足してきた。

そこで高台にあり、神戸港を一望できる北野地区に外国人たちが居住するようになった。現在は、風見鶏の館などの異人館で観光客が行き交っている。

今回、写真を撮るため北野地区を散策したが、電柱と蜘蛛の巣のような電線網が邪魔して上手く撮れなかった。ユネスコは、歴史的な景観と調和するように、電柱を取り除き、電線類を地中に埋めてから出直して来いと言うだろう。

100 世界遺産の旅 (128)

神戸水道

2021年の春、家人と有馬川沿いの桜を見物した後、北神戸の千刈貯水池を訪ねた。有馬川は、有馬温泉より北方へ流れる川で、三田市で長尾川と合流し武庫川となる。武庫川は、宝塚市で逆瀬川、仁川と出会い、大阪湾に注ぐ大河である。



桜づつみ回廊、有馬川、北神戸、2021年4月

「桜づつみ」とは、洪水から堤防を守るため、堤防の陸地側に土を盛り、そこに桜を植栽する治水方法である。堤防を強化するとともに、良好な景観の形成を図るもので多くの河川に見られる。

桜を楽しみながら、千刈（せんがり）貯水池に着いた。千刈貯水池は、神戸市の最北にあたり、角のように突き出した地形で、地理的には三田市、西宮市、宝塚市に囲まれる特異な位置にある。

千刈貯水池がある旧有馬郡道場村は、神戸市が浄水を確保するため、政治的な判断で、無理やり神戸市の一部に組み込まれたようだ。



千刈貯水池、神戸市北区、2021年4月

神戸市には、烏原貯水池と布引貯水池があるが、人口が増えるにしたがって、水不足が生じた。そこで神戸市では、1919年、千刈貯水池完成後、地中パイプラインで水を市街へ送る計画が持ち上がった。所謂、貯水池と神戸水道のコラボ建設である。

1921年、第一期工事が完成した神戸水道は、千刈貯水池から宝塚を通り、西宮市の上ヶ原浄水場を経

由して奥平野浄水場（現神戸市水の科学博物館）に送られて、家庭へ供給されている。

パイプラインの全長は34kmにおよび、そのほとんどが地中で、直径90cmの配管を埋設するにあたり、高さ180cmのトンネルで掘り進められ、破損や水漏れを防ぐためコンクリートで固められている。

ちなみに、神戸市灘区の「水道筋」は、水道管を道路の下に埋設するにあたり命名された。



神戸水道、JR武田尾駅、宝塚市、2021年12月

千刈貯水池で思い出すのは、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災である。神戸市のほとんどの家は断水したが、北区だけは千刈貯水池よりの取水で断水を免れた。また、電気もガスも供給されたので、日常生活に問題はなく、阪神間在住の知人が入浴に来たことが思い出される。

今でも、神戸市北区の住人は、千刈貯水池を建設した先駆者の偉業に感謝して止まない。



震災時、私は、神戸市の姉妹都市であるUSAシアトルに滞在后、カナダのカルガリー（-25°C）で講習を受け、ロスを経由し「世界遺産/アラモ砦」で有名なサンアントニオでの会議に出席していた。

阪神淡路大震災発生時のサンアントニオ時間は、1995年1月16日（月）14時46分で、阪神高速道路の倒壊をテレビで見つて仰天したが、21時に漸く、国際電話が通じ、家族の安否を確認し安堵した。

100 世界遺産の旅 (129)

須磨散策

2022年3月の吉日、「梅は咲いたか、桜はまだかいな〜♪」の詩にひかれて須磨界隈を散策した。

まずは、JR 須磨駅前須磨海水浴場より、淡路島と明石海峡大橋の遠望を楽しんだ後、西国街道を東へ1kmの所にある綱敷天満宮に参拝した。



綱敷天満宮、神戸市須磨区、2022年3月

菅原道真が、左遷されて九州の大宰府へ行く途中、波風を避けるため須磨に上陸した時、漁民達が綱を巻いて円座を作り、菅原道真をもて成したという。参拝時、梅の花は満開で、良い香りが漂っていた。

東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花

あるじなしとて 春を忘るな

(菅原道真/百人一首)

須磨は、菅原道真と係りあいが深かったようだ。町名「飛松」は、京都の松が道真を慕って飛んできたと云うし、また「板宿」は、里人が板囲いの宿を道真のために建てたことに由来するらしい。



平重盛とらわれの遺跡、須磨寺駅、2022年3月

綱敷天満宮のあと須磨寺へ向かった。山陽電車/須磨寺駅のすぐ北側に、平重衡（しげひら）とらわれの遺跡があったので寄ってみた。

平重衡は、平清盛の5男で、一の谷の戦いで逃げ遅れ、この地で捕らえられて鎌倉へ送られた。宇治平等院で戦死した源頼政の挙兵の後、平重衡は、東大寺や興福寺を焼討ちしたので、南都衆徒の要求で引き渡され、淀川支流の木津川河畔で斬首された。



須磨寺、神戸市須磨区、2022年3月

須磨寺の正式名称は、福祥寺と云い、神戸を代表する古刹である。古代から須磨は、白砂青松の景勝地として知られ、畿内平地の「すみ」が変化し「すま」と呼ばれるようになったらしい。

須磨寺は、小学生のころ自転車で行き、裏山手にある未舗装の神明道路まで担いで上り、離宮公園までぶっ飛ばした懐かしいところである。

寺の境内も美しく整備されて経営も上手くいつているようだが、墓地を覗いてみるとひとつ気になった。墓のところどころに「要連絡、墓石撤去」の文字が見られた。立派な墓もあり、縁故者は、神戸を捨てて行方知れずになったのだろう。



須磨の関守跡、神戸市須磨区、2022年3月

須磨寺から、JR 須磨駅へ下る途中、マリスタ国際学校の隣に「須磨の関守跡」がある。本当に関守跡かどうか定かではないらしいが、この辺に、海または陸の関を司った須磨の関があったようだ。

淡路島 かよふ千鳥の 鳴く声に

いく夜寝覚めぬ 須磨の関守

(源兼昌/金葉和歌集)

2022年3月は、中国を起源とするコロナの感染者数の高止まり、ロシアによるウクライナでの殺戮、東北地方の地震など、憂鬱なニュースの毎日である。虐殺者プーチンに聞きたい、「世界がコロナ禍の真ただ中、ロシアにコロナ感染は無いのか？」

【故郷・神戸を歩く】=《ふるさとは 近きにおいて 遊ぶとこ》は、76歳からのテーマと考えていたが、閉塞感打破のため前倒しにすることにした。

100 世界遺産の旅 (130)

須磨浦公園

2022年4月の晴天日、須磨浦公園へ行った。須磨浦公園は、もともと御用地であったが、昭和天皇ご成婚を記念して、昭和9年に神戸市へ払い下げられて公園として整備された。海岸の松原とあわせ、一の谷、鉢伏山、鉄拐山を含む広大な公園である。



安徳天皇内裏跡、神戸市須磨区、2022年4月

まずは、須磨駅より国道2号線沿いを西へ歩き、「戦の浜」の碑を見て右に折れ、九十九折りの階段を上ること約15分で安徳天皇内裏跡に到着した。

当然、安徳天皇内裏が設置された史実はなく、8歳で平清盛の妻である祖母と共に壇ノ浦で入水し、落命した悲運な天皇を同情して祀られたのだろう。

この祠で興味深いのが、左右の石灯籠である。米国の富豪ジョージ・モルガンと結婚し、夫の死後に莫大な遺産を手にして、世界を周遊したモルガンお雪の寄贈である。灯籠の裏側に「モルガンユキ」の刻字があり、一時、外国人が多い神戸に居住した。



敦盛塚五輪塔、須磨浦公園、神戸市、2022年4月

須磨浦公園西端で国道2号線際に、高さは4m程の敦盛塚五輪塔がある。平敦盛は、清盛の弟経盛の子で16歳の若さで、源平合戦で戦死した。

隣に駐車場があり、そこが六甲全山縦走の起点である。朝5時半に出発し、まず鉢伏山へ駆け登り、

旗振山、鉄拐山、須磨アルプス、高取山、菊水山、摩耶山、六甲山の各ピークを通過して、宝塚到着は、午後8時過ぎの過酷な大縦走である。

今回、25年ぶりに歩いて鉢伏山に登ってみた。



蕪村俳句碑、須磨浦公園、神戸市、2022年4月

駐車場を出てすこし登ると、句碑群がある。まず目に入るのが、与謝蕪村の句碑である。

春の海 ^{ひねもす} 終日 のたり のたりかな
次に松尾芭蕉の句碑が見える。

^{かたつぶり} 蝸牛 角振り分けよ 須磨明石

蕪村の「春の海……」は、おだやかな茅渚の海を介し淡路島を臨むにふさわしい句だが、蕪村が、須磨に来た事実は見当たらず、故郷丹後の海を詠んだものらしい。一方、芭蕉は、須磨、明石まで足を延ばしているの、この地で詠んだ句とみられる。

松尾芭蕉と与謝蕪村は、旅をこよなく愛した江戸時代の俳人で、俳句を嗜めない私であるが、国の内外は別として「放浪の旅」は見習いたいと思う。



鉢伏山より須磨海岸、神戸市須磨区、2022年4月

鉢伏山の北、須磨浦公園最高峰・旗振山南西の麓にあり、瀬戸内海へ流れる境川が、摂津国と播磨国の境界で、現在の須磨区と垂水区の境にあたる。

南東の一の谷は、急峻で、現在のような国道、JR、山陽電車もなく、昔は極めて狭い海岸だったようだ。そこで源平合戦を繰り広げたとは考えにくく、一の谷の逆落は創作で、源義経が平家を急襲したのは、大輪田泊と福原京に近い嶋越だと思えるのが妥当だろう。

歴史をたどる旅は、ロマンである。

100 世界遺産の旅 (131)

明石海峡大橋

2022年5月のGWに、舞子公園を歩いてみた。「明石海峡大橋」の中央支間長1991mは、世界最長であったが、2022年3月に完成したトルコ「チャナッカレ1915橋」の2023mに、その座を譲った。

「チャナッカレ1915橋」は、小アジアとヨーロッパ側ガリポリ半島のダーダネルス海峡に架かる大橋である。2009年トルコ周遊時、バスもろ共にフェリーで海峡を渡り、透き通る青い空を仰いだ。

吊り橋では、USA/サンフランシスコ湾の「ゴールデン・ゲート・ブリッジ」とポルトガル/リスボン・テージョ川の「4月25日橋」を懐かしく想います。



明石海峡大橋、舞子公園、神戸市、2022年5月

舞子は、明石藩の所領で播磨の東部にあたり、江戸時代末期、米英仏などの外国船による襲来を恐れて、勝海舟が設計した砲台が設置された。

京都を守護する観点から明石は、同じく砲台設置を予定していた阿波・蜂須賀藩の淡路北端砲台群とともに、外国船打ち払いの要所であった。



舞子砲台跡、舞子公園、神戸市、2022年5月

天候もよく、多くの人たちが岸壁に並んで、釣り竿を操っていた。オキアミを金網に入れたサビキ釣のようで、釣果は確認できなかったが、初夏の日差しを受

け、人々は釣り日和を楽しんでいた。



移情閣（孫文記念館）、神戸市、2022年5月

明石海峡大橋の東下に、移情閣がある。楼閣の「移情閣」という名称は、窓から六甲山地、瀬戸内海、淡路島と「移り変わる風情」を楽しめることから名づけられたそう。中国人の富豪/呉錦堂の別荘で、1913年、中国革命の父と仰がれた孫文一行が神戸を訪れた際、歓迎会の会場になった。

確か子供のころは、「六角堂」と呼ばれ、ポツンと舞子の海岸に建っていた光景を思い浮かべる。



五色塚古墳、垂水区、神戸市、2022年5月

舞子公園より垂水駅へ向う途中、久しぶりに五色塚古墳へ寄ってみた。国道2号線よりJRの高架をくぐって坂道を登り、山陽電車の踏切を渡って約20分で到着した。丸い石と円筒埴輪を巡らせた古墳で、舞子明石近辺の豪族の墓と云われている。

丸い石は、淡路の五色浜付近で産出されたものらしい。五色浜付近と云えば、北海道/函館の発展に貢献し、兵庫区西出町を拠点として莫大な財を成した北前船の高田屋嘉兵衛を輩出した土地でもある。

五色浜は、淡路島の西海岸にあたり、若い時、明石からフェリーとバスを乗り継いで海水浴へ行き、帰路に小豆島方面に沈む美しい夕日を眺めた。

五色塚古墳を含め、西舞子の大歳山古墳や狩口台きつね塚古墳が、高台にあるのは、死後も瀬戸内海/淡路島を一望できるようにとの願いからだろう。

100 世界遺産の旅 (132)

たんじょう／やまだ さと 丹生/山田の里

2022年、神戸市北区にある丹生/山田の里を、家人と尋ねた。神戸市には大きく分けて3つの山塊がある。まずは、瀬戸内海沿いに連なる六甲山系と須磨アルプス山系、そして、内陸部の丹生山系である。

六甲山系と須磨アルプス山系の間、南から北へ走るのが有馬街道で、平野からの長い坂道を上り詰めて、丹上山系に出会うところが箕谷である。

箕谷を東に折れれば、有名な有馬温泉へ向かい、西に折れれば、湯の山街道を経て三木へ至る。

平清盛は、丹生山を京都の比叡山に見立てて、その山中に日吉山王を祀ったので、平安時代、既に平野からの有馬街道は、通じていたと考えられる。



① 寿福寺、丹生/山田の里、神戸市北区、2022年4月

まずは、箕谷にある寿福寺に寄ってみた。寿福寺の住職によると、豊臣秀吉の播州征伐時、山田の里にある寿福寺、無動寺、明要寺は、三木城の別所长治の所領であったために焼き討ちにあい、明要寺は、多数の僧兵を失ったのちに廃寺となった。

征伐時、殺された稚児たちの運命を哀れみ、供養として石を積み上げた所が、稚児ヶ墓山である。



② 無動寺、丹生/山田の里、神戸市北区、2022年4月

毛利軍は、船で兵糧を花隈城へ運び入れ、有馬街道から丹生/山田の里を経て、三木城を援助したが、1580年、

三木城、花隈城ともに落城し、三木城の別所长治は切腹、花隈城の荒木村重は、一族郎党を見捨てて、兵庫津より毛利軍の安芸へ逃亡した。

畦道から道を逸れて登ること20分で、聖徳太子開基の無動寺に辿り着いた。無動寺は、5体の国宝級仏像を有していたが、戦後の国宝見直しで、重要文化財に格下げされた。本尊の大日如来坐像は、檜の一本づくりで高さ2.8mを誇り、一見に値する。



③ 石峯寺、丹生/淡河の里、神戸市北区、2021年10月

丹生山の北側は、丹生/淡河の里である。日本の仏教伝来は538年で、百済王聖明が、欽明帝へ仏像、経典を公式に献上したことに由来する。

数年後、百済と新羅の戦いの中、聖明の息子の一人/恵と一族が渡来して明石に上陸後、明石川を遡上して、淡河に辿り着き永住の地をひらいた。その淡河には651年創建の石峯寺があり、恵一族の子孫が、その建立に係わったと伝えられている。



丹上/山田の里は、農村歌舞伎舞台、六条八幡宮、民間最古の木造建築である箱木千年家など、貴重な文化遺産を受け継ぐ村落である。その村の、湯の山街道沿いに丹生神社の鳥居があり、そこから南へ山道が走り、藍那を経て鶴越へと続くのが義経道である。

神戸は、海あり、山あり、そして歴史の里がある。

100 世界遺産の旅 (133)

商店街盛衰

神戸をぶらぶら歩きながら、時折、商店街を覗いている。今回、板宿南部市場へ入ってみたが、市場機能は完全に停止状態で、入口の2店を除きすべてシャッター一店であった。一部、マンションの建設が始まっており、残りの大部分は、個人の所有権問題なのだろうか、地域再編が進まないようだ。



板宿商店街、神戸市須磨区、2022年7月

小中学生時代、近所に住んでいた関係で、板宿商店街へはよく行った。昨今は、上品に板宿商店街と呼ぶようだが、昔は「板宿のイチバ」と呼び、夕方ちかくは、足の踏み間もないくらい盛況だった。

銀映通りの東南の角にお好み焼き屋があり、その先に大映の映画館があったが、今は両方ともない。

そう云えば、東映、日活、東宝もあり、板宿は、市場と共に娯楽のメッカだった。特に、高校一年まで、東宝へ植木等の無責任シリーズを観に行き、「サラリーマンは気楽な稼業」は、我が人生の大きな指針となった。もう少し「ゴマすり」が出来れば、出世したかもと、不真面目ながら思い出す。



長田商店街、神戸市長田区、2022年7月

高校時代は、長田商店街を通る機会が多々あった。新湊川を挟んで南北に公設市場と私設市場があったが、

阪神大震災で建て替わり、現在、南側の「ながた中央・いちば」はシャッター店が目立ち、北側の「食遊館」はミニスーパーに変わっていた。



東山商店街、神戸市兵庫区、2021年12月

神戸市で一番活気のある市場は、湊川の東山商店街であろう。何といても生鮮魚介類の店が多いのが特徴である。威勢の良いかけ声が流れてくると、何となく心躍る感じがして、よく訪れている。

殻付きカキ、渡り蟹、明石タコ、ハモ、セコ蟹などの旬の食材を求めて歩いている。また、立ち食い全品100円の稲田串カツ店があり、缶ビールの持込みOKという庶民的な店で、時々立ち寄っている。



水道筋商店街、神戸市灘区、2022年6月

六甲登山の後、銭湯で疲れを癒し、水道筋商店街経由で帰路についた。当商店街は、大正時代に90cmの水道管を埋設した後、地上に設けられた市場で、現在、ドラッグストアが、やたらと目に付く。

各商店街の衰退は、同一地域内に建設された大規模小売店ダイエーの出現と、阪神大震災時の甚大な被害に起因する。ダイエーは、神戸に自社施設が集中していたことから、被災後、倒産の憂き目に遭い、ジャスコ（現イオン）へ経営権を譲渡した。

商店街は、昨今の少子化、消費者動向の変化、後継者不足などの悪条件下であるが、栄枯盛衰の歴史を繰り返しながら、変遷していくのだろう。

100 世界遺産の旅 (134)

西国三十三所巡礼①

2 回目の西国三十三所巡礼の旅へ出かけることにした。初回は、2011 年、友人たちと公共交通手段を利用して、日帰りプラス 1 泊 4 回の巡礼だったが、今回は、家人と二人で、車による巡礼である。

西国三十三所巡礼は、観音菩薩を祀る三十三カ所を巡る旅で、法華経に、観音菩薩は、三十三の姿に変身し、人々を救うと書き記しているらしい。

三十三所の「所」は、「寺」でなく、札所の意味である。寺によっては、本尊は釈迦如来であるが、境内に観音堂を設けて観音菩薩を祀っているところがあるので、これも「寺」ではなく「所」となる。

「西国」は、江戸の巡礼者を、伊勢参りや熊野詣の後、関西一円へ誘う謳い文句だったのであろう。

なお、うち 3 寺(所)が、世界遺産である。



第 16 番 清水寺、京都市東山区、2022 年 6 月

京都最強の観光寺である清水寺へ、八坂神社、産寧坂経由で登ってみた。今回は、中国や韓国の観光客も少なく、山の緑と空の青さの間に、檜皮葺の屋根と、懸造りで有名な「清水の舞台」の景観を楽しんだ。

古寺は、山の麓にあるので、それぞれ山号をもち、清水寺は、音羽山で「音羽の滝」が有名である。



第 17 番 六波羅蜜寺、京都市東山区、2022 年 6 月

清水寺より鴨川へ下り、約 25 分のところにあるのが、

六波羅蜜寺である。平清盛の時代より六波羅は、平家一門の邸宅が連なる地域で、平家滅亡後、鎌倉幕府により六波羅探題が設置された。口から阿弥陀仏の 6 像を吐き出す空也像を拝観できる。



第 18 番 頂法寺、京都市中京区、2022 年 6 月

京都の寺の中で、最も商魂たくましいのが、頂法寺である。住職が華道の家元で、地下駐車場、コンビニ、貸しビル、華道の施設など高層ビルに囲まれ、朱印代を稼ぐ六角堂と三門を残すのみである。

比叡山を下山した親鸞は、この寺で 100 日間参籠した後、法然に入門し、のちに浄土真宗を開いた。



第 19 番 行願寺、京都市中京区、2022 年 6 月

行願寺は、京都御所の南に位置し、近年まで荒れ果てていたが、昭和に入り尼僧住職の努力で復興し、西国札所の面目を回復した地味なお寺である。

今回は、6 月末、コロナ感染の減少期だったので京都府民割を利用して出かけた。10,500 円(朝夕 2 食付) - 5,000 円(兵庫県民利用可) = 5,500 円 x 2 = 11,000 円で、他に 4,000 円/2 人の京都応援クーポン付きだった。豪華料理とサービスでホテル業界復活の意気込みを感じる滞在であったが、7 月に入りコロナ感染急増で、失望以外の何ものでも無いだろう。

仏教の奥深さはさて置き、仏教建築や仏教芸術を見て歩く「西国三十三所巡礼」の旅を満喫したい。

巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類

100 世界遺産の旅 (135)

西国三十三所巡礼②

西国三十三所の「中興の祖」とされる花山法皇は、三十三所観音霊場の巡礼を発願した。ただ、西国三十三所の中には、花山法皇よりも後に創建された所もあり、没後に宗教界の力関係を背景にして、現在の西国33所が確定されたものと思われる。

観音菩薩は、煩惱の三毒である貪欲（とんよく＝むさぼり）・瞋恚（しんに＝怒り）・愚痴（ぐち＝無知）より、衆生を開放すると云われる。



第15番 今熊野観音寺、京都市東山、2022年6月

後白河法皇の熊野詣は、34回に及んだが飽き足らず、京都に新熊野神社を勧請した。神仏習合で人々を救う化身は神の姿であるが、その本来の姿である観音菩薩を祀る今熊野観音寺も建立した。

今熊野観音寺へは、泉涌寺総門を通過して辿る。泉涌寺は、皇室と所縁のある寺で、かつて今熊野観音寺の敷地も泉涌寺の一角だったかもしれない。



第13番 石山寺、滋賀県大津市、2022年6月

琵琶湖の南端より宇治へ流れるのが瀬田川で、古くから北陸・東国と大和を結ぶ重要な水路であった。その瀬田川の西岸に建つのが石山寺で、平城や東大寺建立の資材の集積場管理のために建てられた東大寺司石山院が、後に石山寺になった。

寺の創建は、聖武天皇の747年に遡る。また、王朝貴族に愛された石山寺は、紫式部が「源氏物語」の構想を練ったところと伝えられている。



第14番 園城寺、滋賀県大津市、2022年6月

園城寺は、寺の本尊（弥勒菩薩）と観音堂の本尊（如意輪観音）が異なる典型的な寺である。

壬申の乱で大友皇子（天智天皇の第一皇子）と敵対した天武天皇（天智天皇の弟）が、686年、この寺の建立を許可し「園城寺」の称号を与えた。

琵琶湖近くにある園城寺（天台寺門宗）と比叡山の延暦寺（天台宗）とは同じ天台宗でありながら、長く覇権争いを続けたのは有名な話である。

なお、663年、朝鮮の白村江で敗れた天智天皇が、唐・新羅連合軍の来襲を恐れて、飛鳥より遷都した大津京跡は、園城寺の北2kmのところにある。



琵琶湖疎水、滋賀県大津市、2022年6月

園城寺のすぐ下に流れるのが、琵琶湖疎水である。疎水は、琵琶湖の湖水を西隣の京都市へ給水するため、明治時代に作られた水路で、京都市内では、水道橋の南禅寺水路閣が有名である。次回、京都まで琵琶湖疎水クルーズを、是非体験したい。

旅はのんびりと、気ままだ良いようで、目的とちがったロケーションで道草するのも一興だろう。

巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類

100 世界遺産の旅 (136)

西国三十三所巡礼③

多かれ少なかれ西国三十三所の本尊は、数十センチの木造または金属製の小ぶりの像だったであろう。日本の仏教伝播期、寺も小規模で本尊もそれなりのサイズだったと推察される。時代が進むにつれて観音菩薩ブームが起こり、寺自体のスケールは大きくなっていくが、本尊自体は変わらなかった。

そこでオリジナルの本尊を絶対秘仏として本殿の厨子に安置し、その御前に見栄えの良い仏像を設置するようになった。我々が本堂で見る立派な後世の仏像は、「お前立ち御本尊」と呼ばれる。



第 28 番/成相寺、京都府宮津市、2022 年 9 月



天橋立、成相寺より遠望、京丹後、2022 年 9 月

西国三十三所のうち最も北にあるのが、京丹後の成相寺である。木造の表面は、白く干からびたような状態で、長年の風雪による木肌荒れのように見えた。文武天皇の勅願で建立されたとされるが諸説あるようだ。

成相寺より日本三景の一つ「天橋立」の全貌を見ることができた。橋立とは梯子と云う意味で、神話では梯子が壊れて砂州である天橋立になったといわれる。



第 29 番/松尾寺、京都府舞鶴市、2022 年 9 月

舞鶴の山奥にあるのが松尾寺で、現在、仁王像を含め本堂の修復工事が行われていた。朱印所で聞いてみると工事は複数年かかり、億単位の費用を要し、風雪よりも害虫の被害の方がより深刻だそうだ。朱印代以外に駐車場代 2 人分の徴収があったが、寺の修復を考えれば仕方ないだろう。

この寺は、唯一馬頭観音を祀る寺として知られているので競馬ギャンブラーの参拝者が多いと聞く。



第 30 番/宝厳寺、琵琶湖、滋賀県、2022 年 9 月

松尾寺の後、琵琶湖の今津へむかった。宝厳寺は、湖上の竹生島にあるので、今津で船に乗り換えて 25 分のクルージングを楽しんだ。乗船後、スイス景勝地「インターラーケン」の船名には驚いた。

観音堂の入口は、豊臣秀吉時代の大阪城で唯一残存した唐門（国宝）で、少し違和感を覚えた。また、宝厳寺の本尊は大弁財天、観音堂の本尊は千手観音、その隣には都久夫須麻神社があり、浄財を回遊式に納める竹生島特有の神仏混在経営には感心した。



竹生島、琵琶湖、滋賀県、2022 年 9 月

竹生島後、宿泊地彦根へ向かい、大きな鏡のような湖を半周しながら久しぶりにその広さを実感した。

今回は、滋賀県民割を利用した。県の予算が余っていたのか、地域クーポンは 8,000 円/2 人で、近江牛のステーキを 2 枚購入して帰宅後に賞味した。人生最初にして、最後の豪華な霜降りディナーだった。

晩節の旅は、人間の感覚である視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の五感を蘇らせる行為であろう。

巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類

100 世界遺産の旅 (137)

西国三十三所巡礼④

西国三十三所巡礼で感じるのだが、清水寺、興福寺、長谷寺など有名観光寺を除き、大半の寺は、その経営に苦勞しているようだ。朱印代 300 円は協定価格のようであるが、その他、拝観料または入山料、駐車代などは寺ごとで決定している。

よくよく観察すれば建屋の一部が朽ちている寺もあり、管理運営には多額の費用を要するようだ。

寺が最も恐れているのは火災で、寺自身による失火、戦渦時の放火、落雷による出火などである。昭和に入っても 2 つの札所が、火災に見舞われた。



第 32 番/観音正寺、滋賀県近江八幡市、2022 年 9 月

1993 年、観音正寺は、原因不明の失火で本堂は完全に焼失し、同時に重要文化財の本尊も灰燼に帰した。2004 年、本堂の落慶法要と新本尊の開眼法要が行われたが、現在、駐車代、拝観料、朱印代とは別に、復興財源の一つだろうか、新本尊の千手観世菩薩が、特別に開帳されていた。



第 31 番/長命寺、滋賀県近江八幡市、2022 年 9 月

長命寺は、琵琶湖を眺望できる長命寺山の山腹にある札所である。元々、この地は、島であったが、近年に入って陸続きになった。健康長寿を念じながら 808 段のまっすぐに伸びる石段を登りつめると、本堂を含む諸堂のほとんどが檜皮葺き屋根で、周りの木々と調和して美しかった。

巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類



第 12 番/正法寺、滋賀県大津市、2022 年 9 月

正法寺は、西国三十三所のうち、バス停よりの距離が最も長い道のりで、片道 2 時間の道をひたすら登らねばならない。11 年前、その坂道を脇目もふらず、歩いて登った思い出がよみがえってきた。



芭蕉俳句碑、正法寺古池

正法寺は、松尾芭蕉が、参籠した寺と伝えられ、後日、蛙に係る次の俳句を詠んだ。

ふるいけ かわずとびこむ みず おと
古池や 蛙飛び込む 水の音

芭蕉は、「野ざらし紀行」(1684~1685)で西国へ出かけているので、正法寺に立ち寄った可能性は否定できない。ただ、当句は、1686 年、芭蕉庵で催した「蛙」の発句会で詠んだものとされる。

芭蕉 (50 歳没) は、旅を愛する俳諧師と呼ばれるが、私は、諸国放浪者としての道を究めたい。



第 20 番/善峯寺、京都市西京区、2022 年 9 月

京都と云えば清水寺、銀閣寺、知恩院などがある東山であるが、この善峯寺は、西山にある。これは極楽浄土が、西にあるとされていたからであろう。

ただ冬の京都は寒いので、西日が当たる西向きの建物が好まれる。欧州のキリスト教会も基本的には、教会広場や入り口のある塔が西側で、祭壇は東側に位置し、その配列をオリエンテーション「方向を定める」と呼ばれる。冬の厳しい時期、西日が恋しくなるのは、仏閣もキリスト教会も同じである。

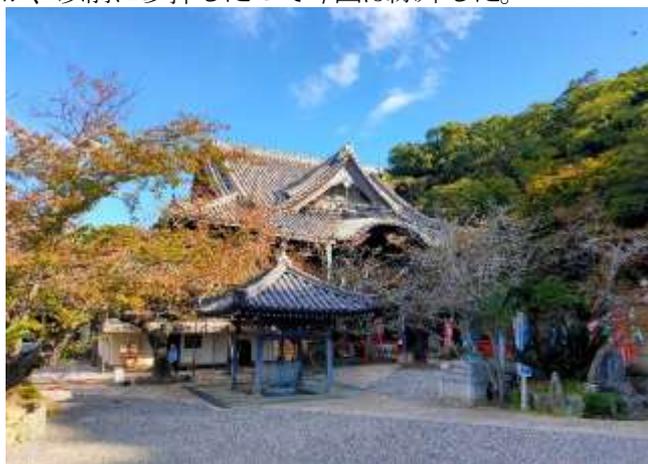
100 世界遺産の旅 (138)

西国三十三所巡礼⑤

いよいよ巡礼の旅も中盤に入り、行楽シーズンの 10 月、和歌山から奈良へ、紀の川沿いの札所を訪ねてみた。三十三所の朱印所は、朝 8 時に開くので、早朝 6 時に神戸を出発し、家人とおにぎりやサンドイッチを頬張りながらのドライブだった。

1 泊 2 日の旅であるが、雨天になれば楽しさも半減する。そこで県民割利用のホテルを 3 泊分予約し、曇りと雨天の 2 泊分は、無料キャンセルした。

和歌山県には、那智勝浦に第 1 札所の青岸渡寺があるが、以前に参拝したので今回は除外した。



第 2 番/紀三井寺、和歌山市、2022 年 10 月

紀三井寺は、和歌山市が一望できる山麓にあり、紀州徳川家のお膝元である。県庁所在地の地理的な好条件からであろうか、リフトやエレベーターが完備され、裕福な寺という感じである。

別棟には巨大な金ピカの高さ 12m の観音像があり、無料で公開しているが、こんな派手な立像になんの意味があるのか疑問が残る寺であった。



第 3 番/粉河寺、和歌山県紀の川市、2022 年 10 月

粉河寺の縁起を描いた絵巻物「粉河寺縁起絵巻」(京都国立博物館寄託) は、平安時代末期の作と云われ、国宝に指定されている。紀の川支流の粉河沿いに寺の諸

堂が立ち並び、雄大な桃山時代の庭園は見応えがある。また礼堂と正堂が結合した本堂は、三十三所の中で最大である。



第 4 番/施福寺、大阪府和泉市、2022 年 10 月

施福寺は、駐車場より急峻な山道を登る事、約 35 分で着いた。朱印所の担当者は、毎日徒歩で寺まで通い、本堂まで車道がないので、必要物資は、歩荷に頼っているそうだ。いろいろ聞いてみると、33 か所の中で、最も経営が難しい寺のように覚えた。

弘法大師空海もこの施福寺で修業し、寺の愛染堂は、空海が剃髪した場所と伝えられている。



第 7 番/岡寺、奈良県明日香村、2022 年 10 月

岡寺は、明日香村の飛鳥宮の東方に位置し、天武天皇と持統女帝の草壁皇子の岡宮の跡に建立された。高さ 4.6m の塑像が有名な寺で、有料公開されていたが、外側からも見えたので内陣は失礼した。

飛鳥宮は、蘇我入鹿殺害の現場であり、大化の改新の原点でもある。また高松古墳や天武天皇と持統女帝の陵墓もあるので、日を改めて探訪したい。

車による巡礼と言えども、1 日約 1.5 万歩が万歩計にカウントされる。今回の夕食は、精進料理にすべきところ、奈良県民割クーポン 2000 円/人を利用して、年甲斐もなく焼肉食べ放題 (70 歳以上 3,058 円/人) を注文し、お気楽巡礼旅の疲れを家人と癒した。

巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類

100 世界遺産の旅 (139)

西国三十三所巡礼⑥

多くの仏教寺院は、音羽山清水寺のように山号と寺号の2つの号を持つが、西国33所の内、奈良時代に建立された興福寺だけが、山号を持たない。

桓武天皇は、奈良における仏教政治の弊害を断つため平安京へ遷都した。平安京でも仏教寺院が権力を持つのを避けるため、護国鎮護の官寺である東寺などは別格とし、寺院の建立を禁止した。

後に寺院の建立は許可されたが、山岳または山麓に限定された。そこで中国仏教にならない、寺が建立されている山の名を取って山号としたようだ。



第9番/南円堂、興福寺、奈良市、2018年6月

2018年、興福寺の南円堂へは、世界遺産「古都奈良の文化財」の探訪時に立ち寄った。南円堂は、藤原冬嗣によって父内麻呂の供養のため建てられた。

一方、法相宗の興福寺は、大化の改新を主導した藤原鎌足の病氣平癒を祈願して建立され、後に藤原家の氏寺となり、南都7大寺の1つである。

藤原鎌足は、大王の神祇祭祀をつかさどる神祇長官の養子で、仏教派の蘇我蝦夷と入鹿を殺害したが、その藤原家が、仏教寺院の興福寺を建立したのは、仏教の興隆を無視できなかったからであろう。



第8番/長谷寺、奈良県桜井市、2022年10月

長谷寺の特徴は、上、中、下の計399段の登廊と懸造の国宝本堂であろう。誰でも拝観できる観音菩薩立像は、高さ10mで、圧倒的な存在感を発している。また、4月下旬から5月上旬に咲き誇るボタンの花が有名で、多くの人々が訪れている。



第11番/醍醐寺、京都市伏見区、2022年10月

世界遺産醍醐寺は、秀吉の「醍醐の花見」で有名である。観音堂である准胝堂まで、醍醐寺より歩いて約1時間登らねばならない。10年前に受付で聞いたところ、2008年の落雷が原因による火災で准胝堂は焼失し、観音菩薩像も完全に消滅したらしい。

准胝堂 焼けて本尊 あの世ゆき

今回、仮の朱印所で知ったのだが、准胝堂の再建を諦めて、醍醐寺内に新観音堂を建設するそうだ。



第6番/壺阪寺、奈良県高市郡、2022年10月

壺阪寺は奈良盆地の南部にあり、浄瑠璃の代表演目「壺坂霊験記」の伝承地といわれる。お里と盲目の沢市が、心中で身を投じた谷が不気味に見えた。

この寺は、インドとかかわりが深く、住職の趣味だろうか、やたらとインド産の石像が目についた。

観音菩薩の功德は、三毒(むさぼり・怒り・愚痴)の煩惱から人を解放するものとされているが、私としては、他人に迷惑をかける事なく、適当に煩惱を小脇に抱えて生涯を終えたいと願っている。

巻末(4-1)西国三十三所巡礼地、(4-2)観音菩薩の種類

100 世界遺産の旅 (140)

西国三十三所巡礼⑦

世界には、いろんな巡礼がある。キリスト教のエルサレム巡礼、サウジアラビアは、イスラム教のメッカ巡礼、インドの仏教4大聖地巡礼などがある。

2010年、サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂を訪れたことがある。そこは、キリスト教聖地の巡礼終着地で、フランス各地からピレネー山脈を超えてスペイン北部を目指す巡礼路である。リュックを足元に置き、地面に腰を下ろした若い巡礼者たちの達成感満ち溢れる笑顔が、印象的だった。

日本の世界遺産/熊野古道も巡礼路と呼ぶにふさわしく、また、四国は八十八カ所巡りが有名である。日本4島の内、四国だけに世界遺産がないので、四国八十八カ所巡りを申請してはどうかと思うが、真言宗信者にとっては、要らんお世話かもしれない。



第21番/穴太寺、京都府亀岡市、2022年12月



涅槃「なで仏」、鎌倉時代、穴太寺

穴太寺のある京都府亀岡市は、丹波国の最南端にあたり、古代から開けた土地であった。歴史を感じる七堂伽藍の佇まいは、古刹と呼ぶに相応しい。

この寺の特長は、狩野派による格天井の動物絵、桃山風の豪壮な庭園、鎌倉時代の「なで仏」である。悪い部位を撫でると治癒すると云われ、体全体を撫でまわしたが、御利益は如何ほどだろうか。



第22番/総持寺、大阪府茨木市、2022年12月

総持寺は、JR 総持寺駅と阪急総持寺駅の中間で、近くには継体天皇陵もあり、歴史の長さを感じるエリアである。駐車料も拝観料も無料で、西国三十三所の中でも太っ腹の寺である。裏返せば潤沢なお布施を受け、安定した経営下にあるのだろう。

総持寺は、日本料理中興の祖といわれ、4月18日に山蔭包丁式が披露され、多くの料理人が訪れる。



第23番/勝尾寺、大阪府箕面市、2022年12月

2000年、全面改修された勝尾寺は、全く新しい本堂のように見えた。寺の名前から勝運祈願の寺として知られ、商売、試験、スポーツの勝運を願う参拝者が絶えないらしい。勝尾寺から約3kmの所に「箕面の滝」があるので、森林浴を楽しみながら歩いて、阪急箕面駅より帰路につくのも面白い。



第5番/葛井寺、大阪府藤井寺市、2018年05月

2018年、葛井寺へは、世界遺産「古都奈良の文化財」の探訪前に立ち寄った。葛井寺は、渡来系氏族の百済王族の後裔と云う葛井(藤井)氏の氏寺として創建され、近くには応神天皇陵などの古市古墳群があり、古代ロマンを彷彿とさせる地域である。

2020年に発生したコロナ禍で、身動きが取れない状況を覚悟していたが、幸い、Go to Travel、県民割、全国旅行支援を利用して、能登半島、四国一周、西国33所巡りなど計6回の宿泊旅行を楽しんだ。

交通機関は、すべてマイカーで、極力、人との接触を避け、訪問先も人が少ない観光地や神社仏閣だった。ドライブ中、家人と世間話や、行く末の事案なども話し合えて、意義ある夫婦の旅であった。

巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類

100 世界遺産の旅 (141)

西国三十三所巡礼⑧

西国三十三所は、京都府 11 所、滋賀県 6 所、兵庫県 4 所、大阪府 4 所、奈良県 4 所、和歌山県 3 所、それに岐阜県 1 所の合計 33 所である。

岐阜県を除く 2 府 4 県を「関西」と呼び、それに三重県を加えれば「近畿」になるが、三十三所巡礼を「西国」としたのは、古を偲ぶ憧れの巡礼路が、関東から見て西方にあったからであろう。



第 27 番/圓教寺、兵庫県姫路市、2011 年 10 月

圓教寺は、三十三所の内、最も西にある札所で、姫路城より北西 6 km の山上に位置する。この寺は、トム・クルーズや渡辺謙らが出演した映画「ラストサムライ」、NHK 大河ドラマ「軍師官兵衛」のロケ地としても有名である。標高 371m の書写山にある天台宗の寺で、「西の比叡山」と呼ばれている。



第 26 番/一乗寺、兵庫県加西市、2021 年 3 月

一乗寺は、自然が一杯で、ひと際ひっそりとした田園風景の中に佇んでいる。失礼ながら、三十三所に入っていないければ、訪ねることもないお寺の一つであるが、加西市近郊は、田舎暮らしを切望される人々にとっては魅了される村落かもしれない。

~~~~~

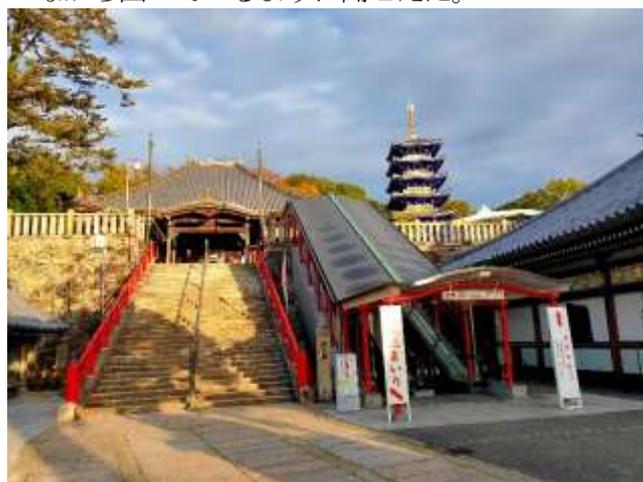
巻末 (4-1) 西国三十三所巡礼地、(4-2) 観音菩薩の種類



第 25 番/播州清水寺、兵庫県加東市、2021 年 3 月

播州清水寺は、寺号から察して、京都の清水寺と関係があるように見受けられるが、関係はなく、ただ清水が湧き出る寺としての共通点がある様だ。

中山寺は、阪急中山観音駅より歩いて 2~3 分のところにあり、商魂たくましい寺である。いかなる願い事にも対応できる多種多様な仏様を取り揃えており、安産祈願の岩田帯の販売では、日本屈指に入るらしい。無料のエスカレーターの駆動音は、妊婦様大歓迎と歌いながら回っているように聞こえた。



第 24 番/中山寺、兵庫県宝塚市、2022 年 12 月

地球を歩いている時、世界遺産と共に教会・寺院を覗くことはよくあるが、我が身は「お気楽人生」がゆえ、宗教の本質を理解するのは無理だった。

若い時、「宗教は恐怖心の賜物である」という言葉に接したことがある。賜物とは言いすぎだと思っていたが、古代より人間は、自然界や人間界において恐怖心を抱いていた。自然界においては、時代が移るにつれて科学によって解明されてきたが、人間界に存在する恐怖心は、未解明のままである。

またマーケティングで、唯一理解しているのは「購買の動機は、恐怖心に起因する」で、「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」「靈感商法」などは、相手に恐怖心を抱かせて金縛りにする罠である。それを打破するには、理性しかないが、理性で解決できない事案については、拒否する勇気が必要である。

## 100 世界遺産の旅 (142)

### 京都南座顔見世

これまで、好きなことをやってきた我が身であるが、人生も70歳半ばに達すると、「人生にやり残しは無いかな」と、ふと思う時がある。そこで、取り留めもなく思いを巡らして、たどりついたのが京都南座の顔見世で、早速予約を入れた。

例年、京都大好きな家人と、冬の京都を散策するのが慣わしだが、今年も、京都河原町に師走の風情があり、京都南座顔見世興行の風物詩「招き看板」も整然と飾り付けられていた。



八坂神社・西楼門、京都、2022年12月

開演まで時間があったので、阪急電車烏丸駅で下車して大丸百貨店より東へ向かい、京都の台所「錦市場」を覗いてみた。コロナ禍のせいだろうか、なんとなく活気が無いように見受けられた。

その後、四条通を東に進んで鴨川を渡り、右手に南座を見ながら、八坂神社へたどり着いた。師走も半ばで、境内は人もまばらであった。八坂神社の後、円山公園を通過して、法然上人の知恩院を訪れ、八坂神社同様に、家内の安寧を祈願した。

ただ二つの有名な神社仏閣が、古都京都の世界遺産に含まれていないのが不思議でならない。



国宝三門、知恩院、京都、2022年12月

昨今、関西歌舞伎の大御所は、何ととっても人間国宝/片岡仁左衛門で、その「招き看板」も最上段の右翼に掲げられていた。片岡仁左衛門のファンかどうか知らないが、観客の約80%は女性だった。

役者の魅力は、①「容姿」、②「人柄」そして③「演技力」であろう。現在の片岡仁左衛門は、体調の不具合で、時折休演している。その仁左衛門の覚悟であろうか、今年の顔見世に先立って、先人が苦勞して築いた、伝統文化として受け継いできている技術を後輩へ伝授したいと意気込んでいた。



京都南座顔見世「招き看板」、2022年12月

演目は、吉原の花魁の身請け話「封印切」と赤穂浪士の「松浦の太鼓」の二話で、片岡仁左衛門は、赤穂浪士に同情する松浦藩主/松浦鎮信役だった。

当然だが、開演後の写真撮影は禁止されていたので、開演前の緞帳と客席だけを撮らせてもらった。



京都南座顔見世興行、開演前、2022年12月

過去、家人と劇場で観賞したのは次の3回で、それぞれ記憶に残る味わい深い舞台であった。

- ① 2005年、USA/ニューヨーク・ミュージカル「マンマ・ミーヤ」主題曲 ABBA/Dancing Queen
- ② 2013年、ロシア/サンクト・ペテルブルグ「白鳥の湖」ロシア国立アカデミー・バレエ
- ③ 2014年、日本/神戸文化ホール (▲=故人)  
「東西落語名人選」桂文枝/笑福亭鶴光/月亭八方 /▲桂歌丸/▲人間国宝・柳家小三治/柳家三三

## 100 世界遺産の旅 (143)

### 大相撲三月場所

2020年より続いたコロナ禍も、ようやく終息の兆しが見えてきたので、2023年、大阪の大相撲三月場所を観戦することにした。升席の予約をとるには、まず、大相撲ファンクラブに入会し、その後、希望日と升席の種類を選択して抽選となる。

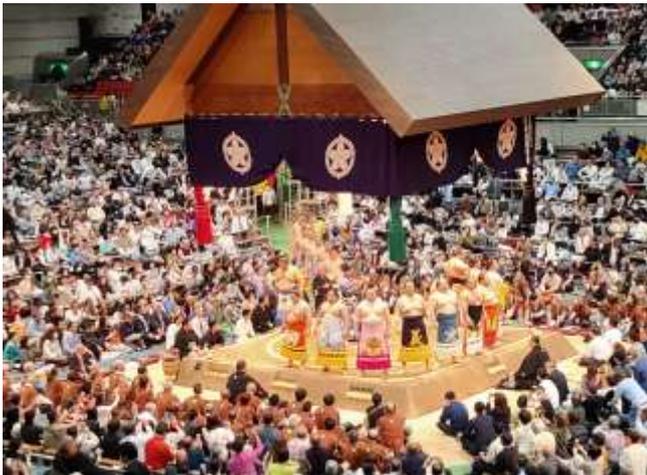
升席は、旅行会社や谷町筋が年間契約で買い占めか、また、大阪場所に限っては日本相撲協会の東西会が事前に手だてをしているようだった。

当方は、一回きりの客にて、升席ではなく椅子席にした。升席も椅子席も外人客が多く、大相撲は、国際的な人気スポーツになったことが確認できた。



エディオンアリーナ大阪（府立体育会館）2023年3月

大多数の取り組みは、押し相撲が中心で、4~5秒で決着がつく。30年ほど前のことだが、親孝行の真似事のもつりで、神戸ハーバーランドの神戸巡業を観戦したが、取り組みは、押しの後に組み相撲で10秒程度かかっていた。本場所は勝ち星を、巡業は無怪我を、第一義にして勝負しているようだ。



幕内土俵入り、三月場所、大阪、2023年3月

残念ながら、三月場所は、横綱・照ノ富士、大関・貴景勝とも休場で、寂しい本場所であった。

一方、元氣な逸ノ城は、十両優勝したが、5月場所前に、不可解な電撃引退になってしまった。



結びの一番、○霧馬山 vs ●豊昇龍、大阪場所

最も印象に残った取り組みは、モンゴル勢の霧馬山と豊昇龍の対戦で、立ち合いの後組み相撲となり、息をのむ激しい投げ合いで、霧馬山に軍配が上がった。

優勝を決めた霧馬山は、五月場所で大関ありと見ていたが、案の定、霧島の名跡を継いで大関になった。また、豊昇龍も近いうちに大関になるだろう。

現大関の貴景勝が、心もとない勝ち星が続く中、日本勢の朝乃山、若元春と若隆景に大関を期待したい。



大村崑ちゃん（東西会）、大阪場所、2023年3月

今回、廊下で、神戸市長田区東尻池町出身の大村崑さん（91才）と出会った。崑ちゃんは、我々団塊の世代にとってはアイドルであり、テレビ放送における先駆者的存在である。また、テレビ創生期では、それぞれの番組を1社のスポンサーが受け持つ時代だった。

- ・「やりくりアパート」 (1958年4月/ダイハツ工業)
- ・「番頭はんと丁稚どん」 (1959年3月/七ふく製菓)
- ・「頓馬天狗」 (1959年9月/大塚製菓)

その後、国民のお笑い番組の主演として全国制覇したのが、馬顔がトレードマークの藤田まことだった。

- ・「てなもんや三度笠」 (1962年5月/前田製菓)

崑ちゃんに気づいたのは、わたくし一人で、写真を撮らせてもらった後、周りを見渡すと他の老若男女は、その前をただ通り過ぎて行くだけで、「昭和は、遠くになり」にけり」を実感するひと時であった。

## 100 世界遺産の旅 (144) 欧州アルプス 3 名峰 ①

2000 年、欧州アルプス 3 名峰を見たくて、スイスとフランスを探訪したが、フィルム現像後、いつしか写真が行方不明になっていた。幸いにして、2022 年、2 階の屋根裏よりネガと共に写真が出てきた。

欧州アルプス 3 名峰とは、スイスのユングフラウとマッターホルン、フランスのモンブランである。

ユングフラウ (4158m) は、メンヒ (4099m)、アイガー (3970m) と共にベルナー・オーバーラント 3 山と呼ばれ、「スイスアルプス ユングフラウとアレッチ (氷河)」が世界自然遺産である。



### フィルスト山よりベルナー・オーバーラント 3 山

ドイツのフランクフルトを經由して、鉄道でスイスのチューリヒに到着、その後、ルツェルン、首都ベルンを経てアルプスの町インターラーケンに入った。

翌朝、登山電車に乗ってグリンデルワルトへ行き、そこでリフトに乗り換えて、ベルナー・オーバーラント 3 山の対面にあるフィルスト山 (2168m) へ登った。

昨日までの雨雪は止み、前方に広がる 4000m 級の冠雪の山々に、ただただ圧倒されるばかりであった。



### フィルスト山トレッキングコースの避難小屋

フィルストから西のブスアルプまでのトレッキングコースを歩いてみた。たまたま、アイゼンを持ってきたので、昨夜に積もった雪氷の登山道では助かった。

避難用の丸太小屋を過ぎると下りとなり、夏の高原牧場でカウベルを付けた多くの牛が放牧されていた。

あまりの牧歌的な風景に見惚れていると、町のバス停までの時間が過ぎてしまった。慌てて、夫婦そろって、草原の斜面を転げるように駆け下り、車道で手を振って、折り返しのバスを捕まえることができた。



### スフィンクス展望台 (3571m) よりメンヒ山頂

グリンデルワルトで登山電車に乗り、中間駅のクライネ・シャイデックへ向かった。そこで、1912 年開業のユングフラウ鉄道に乗り換えて、全区間の 3/4 がトンネルである急こう配の軌道を登って行った。

ユングフラウ鉄道は、ラックレイル方式で、途中「アイガー北壁の窓」と呼ばれる駅に停車し、眼下にグリンデルワルトやフィルスト山が眺望できた。

最終、メンヒとユングフラウ間にあるユングフラウヨッホ駅 (標高 3454m) に到着、ヨッホとは、馬の鞍という意味で、階上のスフィンクス展望台に上がれば、眼前にアレッチ氷河が現れた。



### シュタウプバッハの滝、インターラーケン、2000 年 7 月

夕闇も迫り、いよいよ下山である。広いベルナー・オーバーラントの山々を眺望するトレッキングコースを踏破するには、3 日は必要で、残念であるが、次のマッターホルンへ向けて、気持ちを切り替えた。

巻末 (3-11) 欧州アルプス 3 名峰

## 100 世界遺産の旅 (145)

### 欧州アルプス 3 名峰 ②

スイスの山と云えば、まず紺碧の空に突き刺さる石の鍬に似たマッターホルンを思い浮かべるだろう。ポストバスと氷河特急を乗り継いで、昼過ぎに、マッターホルンの町ツェルマットへ到着した。

ツェルマットは、山の麓にある小ぢんまりとした町で、南の端まで登り詰めたが、尾根に隠れてマッターホルン (4478m) は、頂上しか見えなかった。

マッターホルンは、ドイツ語で牧草地を表す **Matt** と、角のような山頂を表す **Horn** の合成語である。



マッターホルンと登山電車、スイス、2000年7月

翌日、晴天の朝、登山電車に乗ってゴルナーグラート展望台 (3089m) へ向かった。トンネルがないのでマッターホルンが見える大パノラマであるが、マッターホルンは、進行方向の右手からしか見られないので、家人と急いで右側の席を確保した。

展望台に立つとマッターホルンは、手に取るような位置に聳え立ち、単独峰がゆえ、世界で最も美しい山の1つで、1度見れば忘れ難い山容である。



ゴルナーグラート展望台、スイス、2000年7月

あまりに景色が美しすぎて、展望台より登山電車の代わりに徒歩で下山することにした。下山中、どこから見ても逃げないマッターホルンの光景であった。

緩やかな谷の山道を下って1時間半ほどすると、撮影名所「逆さまッターホルンの湖」で有名なリップフェル湖 (2757m) に辿り着き、早速リュックを下ろして記念撮影と洒落こんだ。幸い快晴で、期待していたよりも満足のいく「逆さまッターホルン」が撮れた。



逆さまマッターホルン、リップフェル湖、2000年7月  
リップフェル湖からも穏やかな坂道で、何人かの登山者と遭遇して挨拶を交わしたが、我々は、電車で登り、徒歩での下山なので、なんとなく

後ろめたさを感じた。標高2000mより下は、樹林でマッターホルンが見難くなるので、リップフェルアルプ駅で登山電車に乗ってツェルマットへの帰路に就いた。



ツェルマットと滞在 Hotel Derby、スイス、2000年7月

滞在中のホテルで、朝食をとっていると、日本人らしい中高年のご婦人達が「日本人の方で、ご夫婦の自由旅行ですか?」と聞いてきたので「そうです。」と答えた。彼女たちは、航空券、電車、ホテルだけが旅行会社手配のセレブな個人旅女達に見えた。

ツェルマットでは、ガソリン自動車の乗り入れは禁止で、馬車と電気自動車が、町中の交通機関である。また、朝夕2回、ヤギの一群が、牧童に追われて町中を行き来する様は、酪農国スイスを象徴する微笑ましい光景であった。宿泊ホテルのテラスで夕食のチーズフォンデュを頂きながらマッターホルンの眺望を回想し、ツェルマットの1日を終えた。

巻末 (3-11) 欧州アルプス 3 名峰

## 100 世界遺産の旅 (146)

### 欧州アルプス 3 名峰 ③

ヨーロッパの最高峰は、フランスとイタリアの国境にあるモンブラン (4810m) で、朝、スイスのツェルマットを出発し、正午にフランスのモンブラン・シャモニ駅へ着いた。4000m級の山々に囲まれたシャモニは、登山とスキーのリゾート地である。

シャモニ駅より歩いて 10 分の所にあるロープウェイの山麓駅に向かった。すでに多くの人が列をなして、我々も並んで二人分の搭乗券を購入したが、結果、出発まで 1 時間の順番待ちであった。

時間を潰すために町の中心であるバルマ広場へ行き、さすがに多くある登山用品店を覗いてみた。



シャモニよりモンブラン、フランス、2000 年 7 月

モンブランを間近に見るには、エギーユ・デュ・ミディまでロープウェイで登らねばならない。エギーユとは、鋭くとがった岩峰を意味する。エギーユ・デュ・ミディは、モンブラン山系のシャモニ針峰群の最高峰で、標高 3842m は、富士山 3776m を超える高さなので高山病が心配だったが、幸い気分は良かった。

大型ロープウェイは、まさに垂直に上昇していく心地で、途中駅で乗り換えて、山頂駅へ到着するまで約 20 分、その速さは驚愕以外の何物でもなかった。



ロープウェイ北峰駅、フランス、2000 年 7 月

エギーユ・デュ・ミディは、北峰、中央峰、南峰の 3 峰から成り、北峰にロープウェイの終着駅があ

る。その北峰駅には、屋上に空中大展望台があり、シャモニの町やフランス・アルプスが一望できた。

北峰より中央峰へは、鉄橋を渡ってトンネルへ入る。トンネルは、左右に分かれていて、右の坑道を行けばエレベーターで中央峰の展望台へ上れる。

中央峰を支える岩盤の一部が崩れないかとする恐怖心を覚えながら展望台を回っていると、手に届きそうな近さに、雄大なモンブランが現れた。



中央峰より北峰とシャモニ市街を望む、2000 年 7 月

欧州一の高さを誇るモンブランの山容を堪能した後、エレベーターで階下に降りれば、展望台より南峰の頂上にクライマーの登攀を見ることができた。

中央峰の東に径 3m の洞があり、狭い稜線を伝って登山者が上がってきたのには驚いた。入り口から眼下を見ようとしたが、足元は氷結しており、怖くて見ることは出来ず、登山者の隊列は、北峰と中央峰の間にある鉄橋より確認するしかなかった。



中央峰よりモンブラン、フランス、2000 年 7 月

休火山の富士山や、海底隆起の北米ロッキー山脈、南米アンデス山脈と違い、インド亜大陸がユーラシア大陸に激突してエベレストができたように、欧州アルプスは、イタリア半島がヨーロッパ大陸に衝突し、結果として突き上げられた産物である。

鍛造で出来たような頑強な岩盤は、スイスの登山電車や山岳トンネルの掘削、フランスのエギーユ・デュ・ミディにある展望台の建設を可能にした。

巻末 (3-11) 欧州アルプス 3 名峰  
エギーユ・デュ・ミディへの登山者

## 100 世界遺産の旅 (147)

### 氷河特急

マッターホルンを見るには、インターラーケンより直接ツェルマットへ通常の電車で行くことができるが、今回は、あえて「ポストバスの峠越え」と「氷河特急」のコラボ旅行を楽しむ事にした。

スイスでは、旅のジャンルの1つとしてポストバスを利用する「アルプスの峠めぐり」がある。郵便馬車の名残であるポストバスは、各国郵政省の所管で、ザルツブルグよりハルシュタットまでポストバスで行き、オーストリア・アルプスを堪能したこともある。



グリムゼル峠 (標高 2165m)、スイス



ポストバス、スイス、2000年7月

インターラーケンより電車で40分、マイリンゲン駅へ行き、そこでポストバスに乗り換えた。10数人の客を乗せたポストバスは、はじめはゆっくりと坂道を登っていくが、峠に近づくにつれて急な山道になった。

その急な山道を登り詰めたところが、グリムゼル峠と呼ばれ、スイスで最も壮観な峠と云われている。

その峠にホテル、レストラン、公園があり、約20分の休憩で、乗客は下車して、トイレに行くなり、周りの雪山と氷河湖の大パノラマを眺望するなりしていた。



グリムゼル峠よりオーバーワルト駅への坂道、スイス

峠を出発して、日光の「いろは坂」を思い浮かべる九十九折の急峻な坂道を下り、氷河特急の停車駅であるオーバーワルト駅にたどり着いた。氷河特急到着ま

での待ち時間は1時間半で、天候は良好、遠くツェルマット方面に、冠雪の高い山々が見え、長閑な田園風景を味わいながら、暫し、駅の近辺を歩いてみた。

アメリカ映画「真昼の決闘」で、悪党達がボスの到着を駅で待つシーンを思い出すほど、駅は、静寂として、人が見当たらない。200mほど先に林間学校へ行くのだろうか、見渡す限りの風景に、唯一、20人位の学生たちの一行が、音もなく見える動体だった。



オーバーワルト駅、スイス、2000年7月

1930年に開通した氷河特急は、スイス南部のサンモリッツとツェルマットの有名な2つのリゾートを結ぶ山岳鉄道である。全長291kmを約8時間で走行し、時速36kmは「世界で最も遅い特急」と云われる。

ゆっくりと流れる時間と風景を楽しみながら、食堂車でランチを頂くのが、氷河特急を乗車するにあたっての最高の楽しみ方であるが、予約で満席だった。

旅は、人生の縮図である。その旅においても「断る勇氣」と共に、時には「諦める勇氣」が必要である。



氷河特急の車窓風景と「傾いたワイングラス」、スイス

今回、氷河特急の旅は、オーバーワルト駅(標高1300m)で乗車し、ブリーク駅(標高671m)を経由して、ツェルマット駅(標高1604m)までだった。

鉄道全線の最大標高差は1362mで、この高低差をヒントにして「傾いたワイングラス」が考案され、氷河特急・乗車記念の代表的な記念品になっている。

しかしながら、実際の線路の傾きは、最大で約6度に対し、ワイングラスの傾きは、15度にデザインされ、記念品には誇張が盛り込まれているようだ。

## 100 世界遺産の旅 (148)

### スイスの旅 ①

2000年7月のスイス旅行では、Baden を最初の宿泊地とした。Baden は、チューリヒ近くにある有名な温泉保養地で、宿泊の Hotel Verena Hof は、設備もよく整い、歴史を感じる重厚なホテルだった。

朝早く、水着を借りて浴場へ行ったが、入浴と云うより大きな温水プールで水浴びの感じだった。我々夫婦以外は、現地の年配女性らしい二人で、泳ぐでもなく、浸かって早朝の会話を楽しんでいた。

Baden は、ドイツ語で温泉入浴と云う意味で、ドイツの黒い森北部に Baden Baden と云う有名な温泉都市があり、両都市は、間違えられる事が多い。



ライン滝、チューリヒ近郊、スイス、2000年7月

スイスのボーデン湖を発したライン川 (1320 km) は、穏やかにドイツへ流れると思っていたが、ラインに滝が有るといので電車で見学に行った。土曜日と云うことで、多くの観光客が見受けられ、川は滝となり、漲って轟音を響かせて流れ落ちていた。

そのライン川は、ドイツとフランスの国境付近で北へ折れ、黒い森を経由してフランクフルトへ、そしてオランダで北海へ注ぐ。一方、欧州2番目の長さを誇るドナウ川 (2850 km) は、ドイツの黒い森を水源とし、10か国以上を経由して黒海へ流れる。



チューリヒ市街、スイス、2000年7月

チューリヒは、もともとローマ帝国時代にイタリアと中央ヨーロッパを結ぶ幹線道路にある関所で、現在は、商業、重工業、文化、芸術、金融業の中心都市である。チューリヒという街の名前も、税関を意味するツェリクムに由来している。

神戸のガデリウスが代理店であった重工業の多国籍企業 ABB 社もチューリヒに本社を置いている。



カペル木廊橋、ルツェルン、スイス、2000年7月

ルツェルンは、多くの湖がある美しい地域と聞いていたので、リギ山よりその眺望を楽しもうと考えていたが、雨模様で断念し、暫く街を散策した。

その街で最も有名なのが、カペル橋で、紅葉で有名な京都は、東福寺の通天橋を思わせる木造である。長さ 200m に 110 枚の三角形をした板絵が取り付けられ、ルツェルンの守護聖人が描かれている。



首都ベルンの時計台、スイス、2000年7月

世界遺産である首都ベルン旧市街地の見どころは、時報の4分前に小熊の行進が現れる時計塔の仕掛け人形である。街は、森を切り開いた建設時、最初に捕らえられた動物が、熊だったので、ドイツ語のベルン (熊) と名付けられた。

スイスは、北部より南西に向かって、大都市のチューリヒ、ルツェルン、ベルン、ローザンヌ、ジュネーブが連なり、その南側にユングフラウ、マッターホルン、モンブラン (フランス) の欧州アルプスが鎮座する地形のように見えた。

ベルン観光を終えると、ようやく雨が止んで、次に訪れるインターラーケンに晴天を祈った。

Copyright © 2011 by Shogakukan Inc. All rights reserved.

## 100 世界遺産の旅 (149)

### スイスの旅 ②

2000年7月、「欧州アルプス3名峰」の旅は、中盤から天候に恵まれ、最後に、ローザンヌやジュネーブがあるスイス西部のレマン湖を訪れた。

レマン湖は、北側がスイス領で南側がフランス領である。スイス側は、欧州屈指の高級住宅が建ち並ぶ地域で、アメリカ映画で有名なチャールズ・チャップリンやオードリー・ヘプバーンも、晩年をこの地で過ごし、レマン湖畔に埋葬されている。



シヨン城、レマン湖、スイス、2000年7月

フランスのシャモニからスイスのマルティニーを経由してレマン湖に入ると、まず左手に現れるのがモントルー近郊の湖畔に立つシヨン城である。

シヨン城は、バイロンの叙事詩「シヨンの囚人」の舞台であった。またジュネーブ共和国の生まれで「社会契約説」と「人民主権」を表した思想家ルソーもシヨン城に関わる小説を残している。



ネスレ本社、ヴヴェイ、レマン湖、2000年7月

シヨン城を過ぎると次にヴヴェイの街に入る。ここにもレマン湖に面して、ネスカフェで有名なネスレ本社がある。ネスレはもともと、乳業会社であったが、牛乳は日持ちしないので、練乳を開発し販売した。また、当時、チョコレートは、ブラックが標準だったので、そのチョコレートに牛乳を混ぜて、ミルクチョコレートを発売して成功を収めた。なお、ネスレ日本の本社は、神戸市の三宮にある。

途中のローザンヌを通り過ぎて西へ進み、スイス最西端にして第2の都市ジュネーブへ向かった。地図を見てわかる通りジュネーブは、極めて特異な位置にあり、フランスに取り囲まれた都市である。

ドイツのルター、チェコのヤン・フスと並び、ジュネーブは、宗教改革者カルヴァンの聖地であり、スイス独立時には絶対手放せない都市だった。

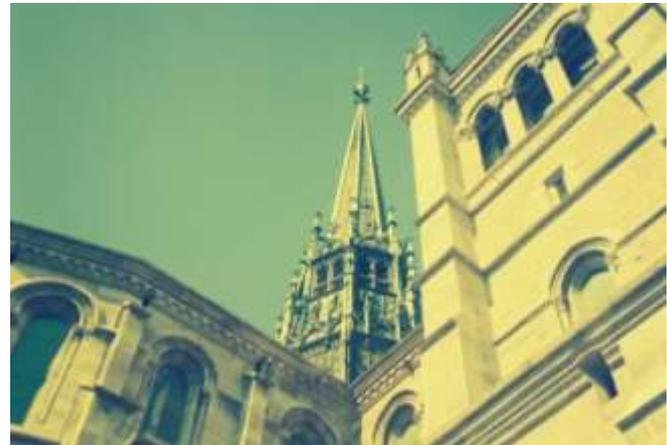


宗教改革記念碑、ジュネーブ、スイス、2000年7月

フランスの時計職人は、カルヴァン派のユグノーが多く、宗教改革時にジュネーブへ移り住み、後に、機械式時計が、スイスの国家産業となった。

機械式時計の性能では日本のSEIKOも負けないだろうが、ジュネーブに本社があるROLEXは、徹底した秘密主義でカリスマ的国際商品に育て上げた。

2023年、日本では稚拙な貴金属強盗が目立ったが、そのROLEXは強奪対象商品の一つであった。



サン・ピエール大聖堂、ジュネーブ、スイス

観光客には優しいが、移民に対しては極めて厳しい国スイスには、戦前に「国際連盟本部」があり、現在は「国際連合ヨーロッパ本部」や「国際赤十字委員会」の国際機関がジュネーブに集結し、平和の祭典オリンピックの「IOC国際委員会」はローザンヌにある。

永世中立を国是とし、平和象徴の国スイスは、国際機関誘致など、平和ビジネスに長けている一方、国際紛争防止に関わるコメントが少ないのが残念だ。

スイス国家も、一般企業も、マネーロンダリングが囁かれる銀行も、秘密主義を貫くお国柄のようだ。

## 100 世界遺産の旅 (150)

### 世界を観る、地球を歩く①

人生を豊かにしてくれる海外個人旅行は、3段階のフェーズで構成される。まずは、高揚感あふれる計画時、陶酔感と不安感を抱く旅行時、帰国後の安堵感と達成感、そして反省となる。夢に現れる旅の情景は、幸いにして、穏やかな眠りの助けとなる。

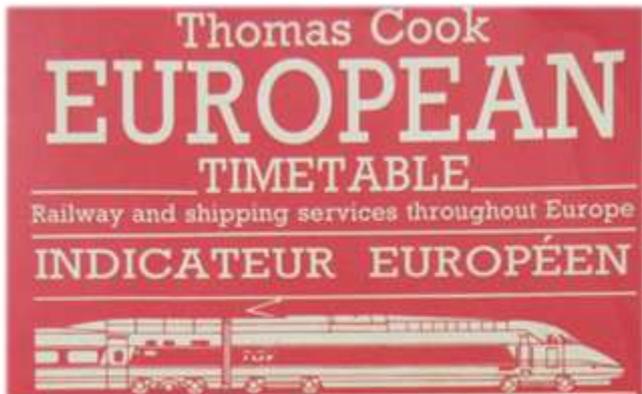
なお、個人旅行とは、団体旅行やパッケージツアーを利用せずに、個人が主体者となる観光旅行を指し、旅を成功させるには、その必需品を厳選する必要がある。まず、最も大事なのが旅行案内書で、若い頃は JTB ポケットガイドを利用していましたが、「地球の歩き方」が発刊されてから、それに切り替えた。



JTB ポケットガイド (左)、地球の歩き方 (右)

「地球の歩き方」は、旅行計画に欠かせない道中案内に加え、歴史の情報が多く掲載されているのが嬉しい。訪問国の歴史を前もって調べ、現地でのその国や地域の歴史を検証するのも面白い。海外個人旅行は、世界史を巡る「歴史探訪の旅」とも云える。

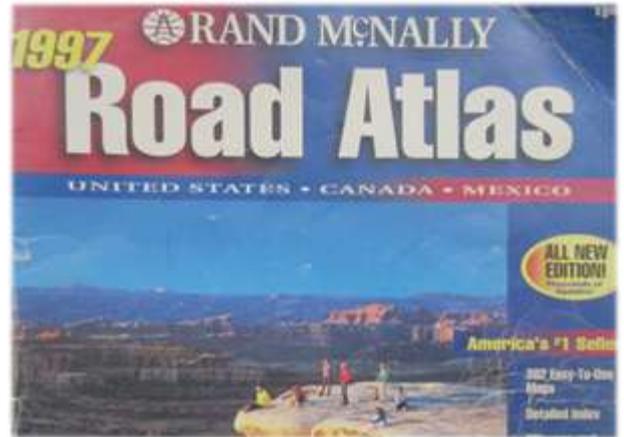
「地球の歩き方」は、もともとダイヤモンド社発行だったが、2022年、コロナ禍で経営不振となり、現在は、学研グループに事業譲渡されている。



Thomas Cook European Time Table, England

ヨーロッパを旅する時は、鉄道利用となるのでトーマスクック時刻表が必携であった。東はモスクワ、西はリスボン、南はナポリ、北はオスロ間に利用した。

いわゆる、旧国鉄の時刻表と考えれば、その使用方法も自ずと分かるものである。私は、鉄道オタクではないが、若い時から国鉄監修日本交通公社の時刻表や Thomas Cook European Time Table を、出張や旅行時、カバンに忍ばせて乗車中の暇を見つけては、眺め回して愉悅に浸る一人であった。



Road Atlas, USA

アメリカの旅は、レンタカーになる。ドライブの地図としては、全米を網羅している Road Atlas が、旅の計画時も、ドライブ中も手助けになった。アメリカやカナダの道路は、日本やヨーロッパと違い、広々とした大陸に近代的な整備が施されており、とても分かり易く、一冊の道路地図帳で充分である。

2004年5月、Canada の Calgary を出発して USA の Yellow Stone へ向かったが、輝くような日の出と、突如、空を横切る白頭鷲の飛翔が忘れられない。

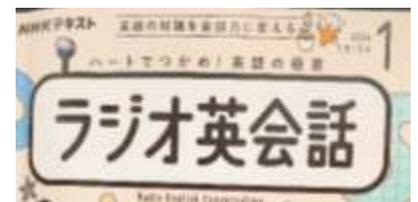
スマホについては、今後一層、旅行時の必要性は高まるだろう。現地の情報入手は序の口で、Wi-Fi 環境であれば、LINE を使って、日本国への電話やビデオ通話が無料になる。また、スマホは、携帯電話(ガラケー)に比べ、月々の支払いが安くなるのが嬉しい。

私は、OPPO Reno A を ¥29,800 で購入し、Docomo 網の「日本通信」を利用している。電話代は別であるが、Data 量 1GB で 293 円/月の料金には助かる。家では光 Wi-Fi なので、スマホは 1GB で充分である。

さて、日本を一步出れば、英会話の世界に身を置くことになる。南アの黒人ドライバーが言っていたが、「日本人が、世界で最も英語を喋らない国民」だと。これは、英語が聞き取れないため、それゆえ喋れないのである。

私も大いに、この問題を抱える一人であるので、毎朝 15 分、NHK「ラジオ英会話」¥550 を聞いている。

幕末、渡航に失敗した思想家/吉田松陰が曰く、「地を離れて人はなく、人を離れて事はなし、故に人事を論ぜんと欲せば、先ず地理を観よ」松陰の望みは、世界を観て、地球を歩いて、帰朝後に、列強と相競える日本を創りたかったのだろう。



## 100 世界遺産の旅 (151)

### 世界を観る、地球を歩く②

パッケージツアーも、利用する価値は充分にある。メリットは、コスパ、計画不要、添乗員同行で安全、特にスペイン、ポルトガル、トルコ、エジプト方面では、ほとんどがバス移動で乗り換えが不要である。デメリットは、自由度制限、集団行動であろう。

我ら夫婦も、過去4回パッケージツアーを利用した。下記②～④の国々では、世界遺産が散在しており、交通機関の乗り継ぎが難しいのが理由だった。

#### 過去利用のパッケージツアー

| 順 | 訪問年月    | 年齢 | 対ドル  | 訪問国           | 日数 | 旅行代金/人 |
|---|---------|----|------|---------------|----|--------|
| ① | 1996年1月 | 46 | 108円 | イタリア          | 8  | 14万円   |
| ② | 2008年3月 | 58 | 97円  | エジプト          | 10 | 18万円   |
| ③ | 2009年6月 | 59 | 97円  | トルコ           | 8  | 13万円   |
| ④ | 2010年7月 | 60 | 86円  | スペイン<br>ポルトガル | 14 | 23万円   |

58～60歳は定年ゴール前の引継ぎなどで、気忙しい日々だったのでパッケージツアーが有効だった。

55歳時に定年退職は60歳と決めていたので、会社より延長要請があったが、人生最後の黄金期(60～75歳)を謳歌したく「断る勇氣」で対処した。ただ、コロナ禍で最後3年の渡航自粛は、残念至極である。

2024年3月現在、上表のパッケージツアー価格は40～50万円に設定されており、驚愕以外の何物でもない。特に燃料サーチャージと称して、別途請求する旅行業界の悪習は、極悪非道のぼったくりである。

現在の価格設定は、最早一般庶民を相手にするのではなく、富裕層向けである。円安や原油高に直面し、コロナ禍での損失を一気に取り戻そうとする旅行業界の焦りと、サバイバルの苦闘が垣間見られる。



ピラミッド、カイロ、エジプト、2008年3月

2008年のエジプトは、素晴らしい旅行であった。最初に、エジプト北部のアレキサンドリア空港に到着し、バスに乗り換えた直後、80歳男性の具合が悪くなりツアーより離脱した。幸い息子さんが同行していたので、2人はカイロより帰路に就いたらしい。

その時、私は、海外旅行の最終年齢を80歳までと密かに決めた。アレキサンドリア、カイロ、ルクソール、アスワンダム、アブ・シンベル神殿、そしてエジプト考古学博物館でツタンカーメンとの再会等、夢に見る古代エジプトの歴史回廊巡りだった。



カッパドキア、トルコ、2009年6月

2009年当時も、小アジアの東部は、きな臭い情報もあり、トルコツアーは、イスタンブールをスタートし、中部のカッパドキアやパムッカレの自然遺産訪問後、地中海へ出た。イスタンブールでもそうであるが、地中海側は、東ローマ帝国の遺跡が多数見受けられた。宗教、人種、領土の争いで、1453年、東ローマ帝国は滅び、小アジアは、オスマントルコによって征服された。

2024年現在もイスラエルとパレスチナ、ウクライナとロシア間の戦争の悲惨さを目にして、無力な国連に失望を禁じ得ない。

2024年現在もイスラエルとパレスチナ、ウクライナとロシア間の戦争の悲惨さを目にして、無力な国連に失望を禁じ得ない。

サクラダ・ファミリア、スペイン、2010年7月

2010年に訪問したスペイン&ポルトガルの旅も素晴らしい。今でもそうであるが、両国をまたぐツアーは珍しく、しかも、気の利いたことにヨーロッパ最西端のポルトガル/ロカ岬とスペイン北部のサンチャゴ・デ・コンポステーラも訪問地だった。

人生は無情である。何時になっても、楽しい旅を夢見るのは変わらないが、そこには大きな障害が待っている。それは、誰しもが避けられない寿命である。

私も日ごろから好奇心を研ぎ、路銀の節約に努め、好機とみればすかさず旅に出かけたが「100世界遺産の旅」は、危険なイスラム圏の9地域を除く91地域の探訪で頓挫する可能性がある。全100地域未完の場合、「諦める勇氣」をもって対処せねばならない。

巻末 (3-12) 過去のパッケージツアー行程図

## 100 世界遺産の旅 (152)

### 首都ハノイ

2024年2月、避寒、避花粉、そして金婚前年祭でベトナム、オーストラリア、シンガポールを周遊した。

26～50歳代、仕事で韓国、台湾を始め、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシアへ出かけたが、カンボジアとベトナムは未訪だった。

我々団塊の世代には、ベトナム戦争とカンボジア内戦の生々しい戦場のシーンが記憶に残っている。

2013年、カンボジアは、アンコールワットを探訪したので、今回はベトナムの首都ハノイを訪れた。



#### ホーチミン廟、ハノイ、ベトナム、2024年2月

1964年～1975年のベトナム戦争で、USAは、共産主義より南ベトナムを守るため、陸海空軍の総力をあげて戦ったが、結果は、USAの敗北に帰した。

その北ベトナムで戦争を指揮し、ベトナムを統一に導いたのが、ホーチミン国家主席で、ホーチミン廟は、首都の真ん中にあり広大な面積を占めていた。

世界の警察を自称し、民主主義のリーダー国であるUSAのイメージは、大きく損なわれ、以後、USAは、戦争に勝利出来ない大国として運命づけられた。



#### タンロン皇城遺跡、ハノイ、ベトナム、2024年2月

首都ハノイにある唯一の世界遺産は、タンロン皇城遺跡である。タンロン（昇龍）はハノイの旧称で、1010年から1804年まで、ベトナム王朝が、この地に都を置いたため、各時代の遺跡が重なり合っているのが特徴である。2010年にユネスコの世界文化遺産に登録された。皇城遺跡の周りに数十台の観光バスが駐車し、ホーチミン廟と同様に人気を博している。



#### ベトナム料理の定番「フォー」、2024年2月

ベトナム料理といえば、「フォー」だろう。朝食は、ホテルのブッフェで頂き、昼食は、ベトナムのサンドウィッチ「バインミー」を食し、夕食は300円位で濃厚なビーフスープの「フォー」が、3食だった。

「フォー」は、フランス料理ポトフの「フ」が語源と云われている。毎夕、ライムや激辛唐辛子を加味して頂く「フォー」に飽きることはなかった。

ハノイの旧市街に位置する狭い路地には、現役の線路があり、ホテルへの帰路に、偶然列車が通過する場面に遭遇した。踏切係員が、観光客を排除して、一生懸命、遮断機を手動で閉めていたのが印象的だった。



#### トレイン・ストリート、ハノイ、2024年2月

ハノイは都市計画が極めて遅れた首都に映った。タクシー以外公共交通は見当たらず、道は狭く自動車やバイクで渋滞し、歩道はバイクの不法駐輪場だった。

また、フランスの統治下時代の設計だと思うが、主な交差点は、ロータリー式で、四方八方から車やバイクが中心部に集まり、そこから放射状に出ていく。

ロータリー交差点を渡るのは難しく、方角を知るのも困難だった。ホーチミン国家主席は、草葉の陰で、ハノイの都市計画の無策に垂泣していることだろう。

ベトナムの首都ハノイと南部ホーチミン市（旧サイゴン市）の距離は1,160kmである。首都ハノイは、あまりにも都市計画が遅れているので、いつかホーチミン市を訪れ、南北大都市の違いを検証してみたい。

巻末 (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (153)

### ハロン湾

世界遺産のハロン湾は、ベトナム北部において、最大の観光資源である。朝8時、ホテルのロビーで、案内人にピックアップされて、徒歩でバスへ向かった。

ホテルから少し離れた所で、我々2人を大型バスに引き渡した後、案内人と別れた。どうも案内人は会社員で、出勤前のアルバイトのように見えた。



ハロン港、ベトナム北部、2024年2月

ハロン湾は、石灰岩のカルスト地形からなる奇岩と島々からできている。北は中国の桂林からなる広大な石灰岩台地の1部で、地殻の変動で石灰岩台地が沈降を繰り返す中、浸食作用が進み、現在の姿になった。

首都ハノイよりハロン湾までの距離は約170kmあり、途中パーキングエリアでトイレタイムがあった。

そこは、真珠を販売する大型ショッピングセンターで、真珠の本場である日本に住んでいる我々夫婦にとっては退屈な休憩だったが、多くの観光客は真珠を手にとって、品定めと価格の交渉に余念がなかった。



ハロン湾、ベトナム北部、2024年2月

ハノイ市中は、交通渋滞が尋常でなかったが、郊外よりハロン湾までは、高速道路が整備され、停滞することもなく港に着いた。送迎バスの定員が50名で、観光船1隻の定員も50名、数十隻の観光船が、交互に行き

かうハロン湾である。出港後すぐにランチのサービスがあり、観光客は、運ばれるディッシュの料理と、有料であるがビールで、ランチを楽しんでいた。



ハロン湾、ベトナム北部、2024年2月

テーブルの隣に座っていた青年は、オーストラリアのシドニーからで、明日の会議を前にハノイ観光とハロン湾を楽しんでいたようだ。出張を利用して、世界遺産を訪れるとは、なかなかの旅巧者だと感心した。

世界遺産の探訪談義をしていると、彼も時折海外渡航の経験があるようで、ギリシャの世界遺産メテオラ修道院の写真を得意そうに見せてきたので、早くリタイヤして、「100世界遺産の旅」の挑戦を勧めた。



ハロン湾、ベトナム北部、2024年2月

最初に着いたのは、砂浜のある島で、少し寒いと思っただが、多くの若者たちが泳ぎ始めた。また他の人たちは、階段を登って展望台へ向かったが、生憎の曇り空で眺望はきかなかったようだ。次に、カヌーや手漕ぎボートの洞窟巡り、最後に鍾乳洞の見学であった。

ハロン港に戻ったのは夕方6時近くで、その後、大型バスへ乗り換えて、8時過ぎにハノイへ帰着した。

朝8時から夜8時までの丸12時間、世界遺産ハロン湾のランチ付きツアー代は、9000円/人であった。

我々は、ホテル近くの道路で降ろされ、途中小さな食堂に立ち寄ってフォーを堪能し、1日を終えた。

巻末 (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (154)

### 古都メルボルン

ベトナムの後、オーストラリアを久しぶりに訪れた。国民はフレンドリーで、豊富な鉱物資源からの利益は、国民へ平等に分配されているように見える。

オーストラリアにおける自動車の完成車メーカーは、トヨタを含め、すべて撤退した。これは国内市場が限られる一方、人件費が高いことが要因であった。



ヤラ川、メルボルン、オーストラリア、2024年2月

1901年にオーストラリア連邦が成立してから、1927年にキャンベラへ移転されるまで、メルボルンは、連邦の首都で、新旧の建築物が混在する古都である。



旧メルボルン監獄、2024年2月

元来、先住民族クリン (Kulin) の地であったが、ヨーロッパの移民や囚人によって持ち込まれた疫病に多くの人々が感染し、1870年代にクリン族は絶滅した。この感染絶滅は、太平洋の先住民族に多く見られた。



王立展示館、メルボルン、2024年2月

王立展示館とカールトン庭園が、メルボルンの世界文化遺産である。王立展示館は、1880年メルボルン博覧会で使用するために建てられた建造物で、オーストラリアで最初の欧風建築と言われる。建物は、ロマネスク等の様式で建設されたが、外壁の装飾は、極めて簡素なので、失礼だが、巨大倉庫のように見えた。

カールトン庭園は、市民の憩いの場所で、野鳥と共に多くの人が散策を楽しんでいた。公園の南側には、博物館があり、老若男女の入場者が列をなしていた。

ビクトリア州立図書館は、6階まで吹き抜けの極めて豪華な施設である。3階で読書している人々は、それほど多くは無く、少しもったいない空間に見えた。



ビクトリア州立図書館3階、メルボルン、2024年2月

図書館前の公園で、家人と昼食のサンドウィッチを食べていると40歳くらいの女性が声をかけてきた。

日本人で、大阪の桜ノ宮出身だった。我々は、来年金婚式で、今年は、その前年祭でオーストラリアに来たと云うと、羨ましいという言葉を出発していた。

女性は、独身でシドニーに15年、メルボルンに5年在住して営業の仕事をしているらしく、古都メルボルンは、保守的な土地柄で生活が難しいので、シドニーへ戻るそうだ。一日も早い結婚を祈って別れたが、キャリアバッグを引く、その後姿が寂しそうだった。



無料トラム、メルボルン中心街、2024年2月

メルボルンは、神戸市が切望しているトラム (市電) を大切にしている街である。トラムの形も新旧様々で興味深く、市民の重要な公共交通機関であるのに加え、太っ腹なビクトリア州は、東西2 km、南北1.5 kmの中心街を走るトラムを、無料で提供している。当然ながら、我等夫婦も複数回利用させてもらった。

巻末 (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (155)

### ゴールドコースト

オーストラリアの東海岸にあるゴールドコーストは、どうしても訪れてみたいオーシャンサイドリゾートであった。午前11時10分、メルボルン空港から国内線でゴールドコースト空港へ、着陸後バスとトラムを乗り継いで約1時間30分、午後2時に中心街サーファーズパラダイスにある宿泊ホテルに着いた。



ゴールドコースト、オーストラリア、2024年2月

ゴールドコーストは、砂州上に超高層ビルが林立するリゾート地で、東は南太平洋に面し、西はラグーンを挟んで内陸へと続き、住居型の建物が広がる。

この砂州と云うのは、規模は小さいが、京都北部の白砂青松で有名な天橋立を思えば理解しやすい。

砂州の南北中心街にトラムが走り、郊外はバスと電車の運行で、公共交通手段の使い分けをしている。



サーファーズパラダイス・ゲート、ゴールドコースト

1997年11月、オーシャンサイドリゾートを観たくて、USAはフロリダのマイアミビーチと、ブラジルはリオデジャネイロのコパカバーナビーチに滞在した。

旅行前に旅のテーマソングを聞くのが慣わしで、マイアミは、♪ Miami Beach Rumba、コパカバーナは、その名の通り♪ Copakabana だった。この Copakabana は、現在、地球の裏側の日本で「マツケンサンバII」として

パクリ後蘇生し、丁髷とキンキラ着流しの衣装で踊る姿は、世紀末的なエンターテインメントである。

今回、オーストラリアの旅曲として、1948年イギリス生まれで、オーストラリア出身のオリビア・ニュートン＝ジョンの♪ Have you never been mellow? & ♪ If you love me, Let me know を選んだ。乳がんを発症した彼女が73歳の若さで他界したのは、誠に残念である。



ホテルよりの眺望、ゴールドコースト、2024年2月

滞在ホテルから見える他のホテルとコンドミニアムは、夜の窓明かりから推察すると、空き部屋が多いようだった。ホテルは、短期滞在向けで、館内サービス、レストランなども含めて快適に過ごすことが出来る。一方、コンドミニアムは、長期滞在向けで台所機器やランドリーなど生活に必要なものが揃っている。



サーフライフセービング、ゴールドコースト

早朝、海岸を散歩していると、世界的に有名なサーフライフセービングの訓練が行われていた。さすが、100m沖のボートまで、クロールで一気に泳いで行く姿は、訓練された若きスイマー達に見えた。

サーフライフセービングは、海水浴場の人命救助として生まれたが、隊員たちは水泳競技やトライアスロンでオリンピック代表に選ばれる者も多いらしい。

巻末 (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール (3-3-1) 北米/南米・行程図

## 100 世界遺産の旅 (156)

### 聖火のブリスベン

シンガポールへ行くに当たり、ゴールドコースト空港は国内線専用だったので、トラムと郊外電車を乗り継いでブリスベン国際空港へ向う必要があった。その途中で州都ブリスベンがあり、途中下車してみた。

ただ、残念なことに、事前の調査に反し、駅に荷物の一時的預かり所やロッカーがなく、コンビニで聞いても不明だったので、諦める勇気をもって、夫婦それぞれのスーツケースを引っ張って、市街を徘徊した。



#### ブリスベン市役所、オーストラリア、2024年3月

ブリスベンには、シドニー、メルボルンに次ぐオーストラリア第3の都市で、クィーンズランド州の州都である。バス、トラム、郊外電車の公共交通は、クィーンズランド州政府によって一元的に運営されている。

州都は、大きく蛇行するブリスベン川沿いに開け、1988年、建国200年を記念して、ブリスベン万博が開催された。シティの対岸にある万博跡地は、サウスバンク・パークランドと称し、市民の憩いの場である。



#### 万博跡地サウスバンク・パークランド、ブリスベン

2028年のロサンゼルスに続き、2032年のブリスベンは、オリンピックの開催地である。過去のオリンピック開催地で、アトランタ/USAだけは訪問できなかったが、開催時に紹介される各都市の風景を見ることは、懐かしくもあり、新たな発見もある。

2024年のパリでは、競技のおもしろさに加え、選手村のニュースが目にとまった。それは、室内にエアコンがなく、床下に水を通していただけでは、室温が

下がらず苦情が出た。恐らく、床下のパイプは、韓国のオンドルのような暖房も共用だろう。

フランスもドイツも、ツーリストホテルに冷房は無く、冷蔵庫も設置されていない。よく屋外のテラス席で食事をする風景を見るが、これは店内が暑いためである。また、フランスやドイツに共通する認識として飲み物を冷やすと体に悪いとする言い伝えがあり、ドイツ人は、ビールを冷やして飲まない。

昨今、温暖化の影響で、夏に30℃を超えることがあり、ヨーロッパの季節感も変化していくようだ。



#### シティのクィーン通り、ブリスベン中心街、2024年3月

オーストラリアは、英会話のスキルアップに、最適な国である。ワーキングビザでの入国であるが、2024年は円安で、多くの青年が押し寄せ、就職難と聞く。

コンビニやレストランでの求人は、少ないらしいので、建築や農業の現業に従事するのも面白い。

日本学校教育の「目から学ぶ英語学」も大事だが、現地で「耳から学ぶ英会話」を実践し習得しよう。



#### ゴルフ場のワラビー、パース、オーストラリア、2003年1月

2003年、会議でパース訪問時、街で外国人向けのホームステイや仕事の紹介所を見つけた。直接入国後、現地でワーキングビザを取得しても良いだろう。

オーストラリアの主要都市は、水利の関係で東海岸に集中しているが、西海岸のパースも見逃せない。

西部の資源採掘産業の中心都市で、比較的若い家族が在住する。オーストラリアの何処に住みたいかと問われたら、夕日が美しい西海岸のパースを選びたい。

巻末 (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (157)

### 青春の街角①

今回のシンガポール訪問も、Stop over=途中下車(機)を利用し、朝5時5分にチャンギ国際空港到着後、空港より出て、午後1時まで市内を散策した。

まずは、MRTに乗って、シンガポールのランドマークであるマリーナベイ・サンズ ホテルへ向かった。

2017年は4万円/泊だったが、2024年の10万円/泊には驚いた。ホテル唯一の魅力は、屋上プールであるが、旅行者増加と円安で室料アップになったようだ。



マリーナベイ・サンズ、シンガポール、2024年3月

青春とは、何時の時期を云うのか、いつも考えていたが、過去を振り返ってみると、韓国、台湾、東南アジアを担当していた30歳代だったように思う。

シンガポールの初訪問は、45年前の30歳で、チャンギ空港ではなく、その前のパヤレバー空港だった。

寒い1月、日本を出発し、到着後搭乗機からゲートまで歩くわけだが、温かい外気に小躍りしたものだ。



ガーデン・バイ・ザ・ベイ、シンガポール、2024年3月

30歳から10年間のシンガポールは、抱腹絶倒の日々だった。会議が終わると海鮮屋台村で夕食、そのあと全員で定番のディスコホールへ繰り出し、真夜中まで遊んだものだった。39歳ごろ、韓国、台湾、東南アジアの受注が好調で、一番面白い時期だったが、何時まで続くのかと、不安な気持ちもあった。

1979年当時の宿泊は、オーチャード通りと交差するスコット通りの4階建てHotel ASIAで、現在は無いが、ガタガタ遅いエレベーターが懐かしい。またHotel ASIAやセントーサ島のコテージのクーラーは、軋む音ながら、昼寝の心地良さは今でも覚えている。



オーチャード通り、シンガポール、2024年3月

シンガポールの南部は中心街やセントーサ島、東部は空港や住宅街、北部はマレーシアとの国境ジョホール海峡、西部はJurongの工業地帯で、仕事柄シェルやモビルの石油精製工場を良く訪問したものである。

後にも先にもファーストクラスに搭乗したのは一生に一度だけである。台北からシンガポール行きのボーイング747の2階で、トータル6席だったと思う。

台湾で昼食をとり、私の大好きな四川料理の雲白肉を二皿平らげた後、ビジネスからファーストクラスへのグレードアップで、最初はゆっくり眠れると期待していたが、乗客は私を含め2名、いざ離陸するとCAの食事攻めで、一睡もできずシンガポールに着いた。



マーライオン、シンガポール、2024年3月

さらに困ったことに、出迎えのチーフエンジニアCEより、夕食の招待を受け、マーライオン近くにある高層ビルのレストランへ行ったが、会話の内容は覚えていない。30歳頃、東京は品川区戸越のマンション13階に住んでいたもので、ほぼ毎日地震を感じると言った時、CE夫妻の驚いた表情が、忘れられない。

巻末 (3-13) ベトナム/オーストラリア/シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (158)

### 後期高齢からの旅路

60～75 歳が、人生最後の黄金期であるが、私の 75 歳も残すところあと数か月になった。75 歳は後期高齢者の初年度で、併せてフレイルと云われる脆弱化の予備群でもある。最近、80 歳を超える日本男性を揶揄して、「末期高齢者」と耳にすることがある。

これは、2024 年、日本男性の平均寿命が 81.09 歳に対し女性は 87.14 歳、また日本人 100 歳以上は 92,126 人だが、内 88.5%が女性である所以であろう。日本男性は、日本女性に比べると生命力が劣るようだ。



トレド、スペイン、2010 年 7 月

日本男性の平均寿命を悔やんでも仕方がないので、75 歳を人生最後の転換期と心して、最終章へ突入せねばならない。そこで 76 歳から 81 歳までの期間を考えるにあたり、国内旅行と海外旅行の混在の時期を、私なりに「旅の汽水期」と呼ぶようにしている。

鮭が外洋を回遊後、生涯の終わりに故郷の川へ戻るがごとく、私も国内外の旅を終えて、ふるさと神戸の土に還るが、しばらくは日本の情景を楽しみたい。



シカゴ&ミシガン湖、イリノイ州、USA、1998 年 3 月

そこで、最終章「日本歴史探訪の旅」の始めに、今年山口県と北部九州を巡ることにした。なぜ山口県かと云うと、全国 47 都道府県庁所在地の内、未だ訪問出来なかったのが山口市で、特に意味はない。

さらに来年は、我ら夫婦の結婚 50 年に当たり、新婚旅行で訪れた熊本、長崎県を再訪する予定である。

ただこの 2 県だけではもったいないので、1968 年、高校の修学旅行で訪問した大分、宮崎、鹿児島を回り、2 カ年で九州全体を周遊することになっている。



ボラボラ島、タヒチ、南太平洋フランス領、2019 年 8 月

若い時、拡大販売と称して、石油精製と製紙産業の顧客訪問のため、南は鹿児島から北は北海道まで出かけたが、残存する未訪地を 81 歳までに終えたい。

来年の九州が終われば、再来年は、北海道の稚内、利尻島、礼文島、そして北海道の世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を訪れる計画である。

遠隔地より順番に未訪地をこなした後、徐々にその範囲を狭めていき、81 歳以降は、ゆっくりと歩きながら、京都、奈良、大阪の歴史探訪を楽しみたい。



アヴィニョンの橋、南フランス、2002 年 4 月

「100 世界遺産の旅」は、91 地域で頓挫中である。残りの 9 地域はイスラム圏で、現在も戦争や紛争が絶えず、我が存命の間は、極めて難しいだろう。

人類の絶え間ない領土と宗教の争いを見るに付け「ええ加減にせんかい！」と云いたい心境である。

海外については、韓国（第 2 ビジネス故国）、台湾（第 4 ビジネス故国）を近く御礼行脚したいと思う。また、冬の寒さが苦手な我ら夫婦は、避寒旅行として東南アジア訪問を組み入れる事も考えている。

何時昇天するか分からないが、運よく日本男性平均寿命 81 歳を越えることが出来れば「100 世界遺産の旅」に終止符を打ち、あの世への旅支度にかかる。

## 100 世界遺産の旅 (159)

### 車中泊のすすめ

誰しも旅に出かけるにあたっては、路銀の捻出に苦心するものである。その旅に占める2大出費は、交通費と宿泊費である。交通費については、検討する余地はあるが、ゼロにすることは出来ない。

一方、宿泊費は、野宿、テント泊、夜行列車または夜間飛行の利用等で、ほぼゼロが可能である。



九重山、大分県、1969年10月

若い頃はお金もなく、鈍行列車と地方バスを乗り継いで、旅行がてら九州や四国の山々、屋久島の宮之浦岳や北アルプスを登ってきたが、人生の指針となる極めて有意義な体験だった。登山中はテント泊で、地面にころがる石のため背中が痛く、また寒さに耐えながら、温かい布団の中で就寝する夢をよく見たものだ。

所帯を持ち、子供ができると車にテントを載せ、淡路、四国、紀伊半島のキャンプ地へ出かけた。その子供達も大きくなり、結婚して孫ができると、孫たちともキャンプを楽しんだが、その期間は短かった。



キャンプ場、しあわせの村、神戸市、2020年8月

やがて孫達が育つにつれて、否が応でも、家人と二人三脚となる。こうなると恥も外聞もかなぐり捨て、車中泊という究極の境地に立ち、低コストでの旅スタイルとなる。車中泊と云っても、用意するものはシュラフ(寝袋)で、それを車に積んでいく旅である。

車中泊の留意点は、車に純正のカーテンセットを取り付けるぐらいである。後付けのカーテンだと旨くす

法が合わず隙間が空き、取り付けにも時間がかかるので、カーディーラーの純正カーテンが不可欠である。



車中泊「道の駅ゆふいん」、大分県、2024年10月

車中泊の開始は、神戸へ転居後の45歳頃で、現在トヨタのワンボックスカー(8人乗り)は2代目である。

もともと車中泊の目的は、登山のベースとして利用していた。前日に登山入り口の駐車場で車中泊し、夜明けと同時に出発する効率の良い登山を目指した。

それが転じて通常の旅行にも車中泊を利用するに至った。そのメリットは、宿泊費ゼロ、予約不要、天候次第では計画の変更が可能である。また、各地にある名湯や秘湯に立ち寄ることも忘れてはならない。



「道の駅よいち」、余市、北海道、2015年8月

2015年夏、フェリーで北海道へ行き、そこから車中泊を利用して東日本の旅へ出かけた。「道の駅よいち」では、さすが北海道、本格的なキャンピングカーで溢れていた。これらのキャンピングカーは、維持費や運転コストが予想以上に掛かるので、日常生活の利便性を考えればワンボックスカーで充分であろう。

国土交通省所管の「道の駅」は、2024年4月現在、全国に1221か所あり、多くの車が夜間も駐車しているので、比較的安全である。しかし、ゴミの持ち帰り、24時間利用可能トイレの使用、休憩所や駐車場の利用においては、エチケットを守らねばならない。

## 100 世界遺産の旅 (160)

### 長州藩

都道府県庁所在地の内、未訪だった長州の山口市を訪れた。西国の覇者で戦国大名毛利氏は、8か国を領有していたが、関ガ原の戦いで西軍として敗れた。

その結果、毛利氏は、徳川幕府より周防と長門の2か国に減封させられて長州藩となり、日本海の萩を藩都に命ぜられたが、幕末の有事に備え、藩政の中心を萩から瀬戸内に近い山口へ移転した。この山口市にある藩庁門のすぐ横手に高層の山口県庁が建っている。



山口県庁前の長州藩庁門跡、山口市、2024年10月

外様の長州藩は、尊王攘夷論を藩是としていた。尊王については、毛利元就時代より、朝廷に対する盆暮の進物を欠かした事がなく、礼儀を尽くしていた。

一方、攘夷については、外国船打ち払うべしとし、1863年、関門海峡を通過する外国船に対し砲撃をおこなったが、翌年、オランダ、アメリカ、フランス、イギリス四国艦隊の攻撃を受け、幕府と諸藩の長州征討と相まって尊王攘夷派の活動は、影を潜めた。



四連合軍占領の前田砲台、下関、1864年



現在の前田砲台跡、下関市、2024年10月

1866年、長州藩は、土佐藩出身の坂本龍馬・中岡慎太郎らの仲介で、薩英戦争で攘夷は不可能だと知った薩摩藩と薩長同盟を結び、倒幕開国へ舵を切った。

この倒幕開国は、清国のアヘン戦争が大きく影響した。時代遅れのサムライ型戦では西洋の近代兵器に太刀打ちできないと悟り、近代化を急がねば日本も清国同様に植民地にされる恐れがあった。そこで欧米諸国に対抗できる日本立憲君主国を樹立するために倒幕、そして開国へと激動する変革期に直面した。



関門海峡大橋、下関市、2024年10月

1894年、明治政府は、朝鮮半島を巡って清国と戦争を起こして勝利し、下関で日清講和会議を開いた。富国強兵を目指す日本国は、清国より得た賠償金を使って、八幡製鉄所の設立や軍備の増強を図った。

日清講和会議の日本全権は、長州藩出身の伊藤博文と紀州藩出身の陸奥宗光で、会議場の春帆楼は、関門海峡を見下ろせる位置にあり、デモンストレーションとして、日本海軍の軍艦を一堂に、関門海峡間へ航行させ、清国の代表/李鴻章たちを驚かせた。



日清講和会議図、春帆楼、下関市、1895年4月



日清講和会議記念館、春帆楼、下関市、2024年10月

巻末 (3-14) 山口&九州北部

## 100 世界遺産の旅 (161)

### しょうかそんじゅく 松下村塾

2015年に認定された世界遺産「明治日本の産業革命遺産」は、幕末および明治初期のグラバー邸、軍艦島（長崎県）、八幡製鉄所（福岡県）等に加え、山口県の「松下村塾」と「萩城下町」が含まれていたため、日本海に面した萩市を訪れた。まずは、松陰神社の境内にあり、吉田松陰が塾長を務めた松下村塾へ向かった。



松陰神社、萩市、山口県、2024年10月

吉田松陰は、もともと山鹿流兵学の師範で、9歳の時、藩校である明倫館の兵学師範として就任し、11歳時に、藩主毛利慶親の御前で講義を行い賞賛の言葉を貰うほどの秀才であった。1800年頃は、すでにロシア、アメリカ、イギリス、フランスの船が日本近辺へ来航していたので、1830年生まれの松陰は、日本海を航行している外国船に向かって石でも投げたであろう。

鎖国の江戸時代、多感な年ごろの松陰は、異国船打ち払いの尊王攘夷思想の持ち主だったが、反面、世界をこの目で見たいという衝動もあったに違いない。



松下村塾、萩市、山口県、2024年10月

1850年、松陰は、平戸へ遊学して海防論を習得し、そして、江戸に出て砲学、西洋兵学を学んでいる。江戸藩邸時代には、水戸、会津、秋田など東北まで足を延ばして見分を広め、津軽海峡を通過する異国船を見ようとした。長州藩の通行手形無し脱藩旅行だったが、道中に得た情報から、異国船に乗って世界を見たいという願望が、一層芽生えてきたようだ。

1853年、長崎でロシア船に乗り込もうとして失敗し、1854年、ペリーが再び来日した時、下田でポーハタン号に漕ぎ寄せて乗船は出来たが、渡航は果たせなかった。密航未遂の幽閉中に、故叔父が主宰していた塾を引き継ぎ、生家の敷地に松下村塾を開いた。



明倫学舎、萩市、山口県、2024年10月

私塾の松下村塾は、足軽・中間など軽輩の身分に隔てなく塾生を受け入れ、久坂玄端、伊藤博文、山縣有朋、吉田稔麿、入江九一などが松陰に教えを乞うた。教科は、倫理学、地理学、歴史、経済、芸術の総合学科で、特に、世界史に時間を割いたようである。

一方、長州藩の藩校である明倫館は、武士でも上士身分の者しか入れず、高杉晋作、桂小五郎、井上馨等が入校し、松陰が明倫館時代に教えた弟子であった。

松陰の密航未遂は、死罪でなかったが、老中暗殺計画を進んで告白したため、1859年、井伊直弼による安政の大獄に連座し江戸で死刑が執行された。吉田松陰は、相手かまわず積極的に啓蒙する性癖があったようで、思想家かつ塾長からくる職業病だったのだろう。

ちなみに、楠木正成を尊敬する松陰は、大楠公を祀る神戸の湊川神社に4回参拝した記録が残っている。



明倫学舎、萩市、山口県、2024年10月

現在、明倫学舎に数多くの銃、大砲、武具が陳列されており、そのほとんどは、古美術商小川家より寄贈されたものである。幕末時代の銃を持たせてもらったが、非常に重かった。戊辰戦争を顧みる一助として、松下村塾と併せ、明倫学舎の訪問もお勧めしたい。

日本歴史探訪は、日常生活を離れ、地図帳と歴史書を両手に携えて巡る人生最終章の夫婦旅である。

巻末 (3-14) 山口&九州北部

## 100 世界遺産の旅 (162)

### はぎじょうかまち 萩城下町

山口県萩市は、明倫学舎を中心に、東に松下村塾、西に萩城がある。世界遺産「萩城下町」は、明倫学舎と萩城の間にあり、そこには藩士の家が建ち並ぶ。明倫学舎より城下町へ行く途中、町の小川に戯れている多くのサワガニを、足を止めて懐かしく眺めた。

城下町の入り口に公園があり、そこに尊王攘夷の立役者である高杉晋作の立志像が堂々と立ち、晋作は、萩で最も尊敬される藩士の一人だと見受けた。



高杉晋作立志像、萩城下町、山口県、2024年10月

1862年、高杉晋作は、藩命で長崎から上海へ渡航し、清の植民地化や太平天国の乱を見聞し、日本の将来を憂いた。1863年、高杉晋作は、下関防衛の責任者となり奇兵隊を結成したが、その奇兵隊は正規軍ではなく、身分を問わない志願者による義勇軍であった。

英米仏蘭の4国連合艦隊下関砲撃後、高杉晋作は交渉役に任命され、賠償金や彦島租借の要求を撤回させるなど、大いに外交力を発揮したが、1867年、結核で他界した。奇兵隊は、藩内の幕府恭順派を排除し、王政復興後、新政府軍に参加して戊辰戦争を戦った。



高杉晋作生家、萩市、山口県、2024年10月

私個人として、数多い長州藩士の中で、最も興味を惹かれる人物は、初代内閣総理大臣で初代兵庫県知事の伊藤博文である。彼は、幕末から明治維新にかけて渡航した国際派の志士であり政治家だった。

1863年、藩命により英国へ藩命で密航して英語を習得している。1864年、4国連合艦隊に敗北後、藩代表である高杉晋作の通訳として和平交渉に当たった。

1870年、通貨改革調査で渡米、1871年～1873年、岩倉具視使節団の副使として、渡米、渡欧しプロイセンのヴィルヘルム1世や宰相ビスマルクにも謁見した。

1881年、伊藤博文は、大隈重信が唱える英国型議会政治を退け、1882年、憲法調査でドイツやオーストリアを訪問後、憲法草案の作成にあたり、1889年、日本最初の明治憲法・大日本帝国憲法を制定した。

残念ながら明治憲法は、君主大権の強いドイツ型憲法で、陸海軍は独立し天皇の統帥権にあり、後に軍隊の横暴を許し、取り返しのつかない大戦に突入した。



城下町風景、木戸孝允邸前、萩市、2024年10月

初代の内閣総理大臣を決めるに当たって、総理は、世界情勢の認識に長け、英語などの外国電報を理解できなければだめだということで、国際派の中でもピカイチの伊藤博文に白羽の矢が立ったといわれている。

伊藤博文は、足軽の出だったが松下村塾の門弟で、吉田松陰の「世界を觀たい」とする夢を、師匠に代わって諸国を外遊し、日本の近代国家実現に奮闘した。



伊藤博文 板垣退助 大隈重信  
(日本議会政治の3賢人、国会議事堂中央広間)

中学校3年時、お上りさんとはばかり修学旅行で東京へ行き、国会議事堂を見学した。中央広間に4つの台座があり、そこに明治時代に議会政治の基礎を造った3賢人が鎮座していた。伊藤博文(長州)、板垣退助(土佐)、大隈重信(佐賀)で、残り4番目の台座に銅像は無く、将来、極めて秀でた政治家が出現した時に鎮座する目論見だが、未だに実現していない。

## 100 世界遺産の旅 (163)

### 九州神社巡り

山口県から関門橋を経由して福岡県へ入り、九州の神社を巡ってみた。九州に有名な神社が多いのは、天孫降臨や神武天皇東征など日本古来の神話が多くあるのが影響しているのではないかとと思われる。

一方、九州に古刹は少なく、渡来系の大臣・蘇我馬子が、飛鳥で石上神宮の祭祀者・物部守屋に対抗するため仏教を独占し、政争の具にしたからだろう。



宇佐神宮、国東半島、大分県、2024年10月

まずは、国東半島北部の首根っこにある宇佐神宮を訪れた。宇佐神宮は、八幡宮の総本社で、石清水八幡宮（京都府）、鶴岡八幡宮（神奈川県）と共に日本3大八幡宮の1つである。平安時代中期の武将・源義家は、石清水八幡宮で元服したことにより「八幡太郎」と呼ばれた。ご祭神・応神天皇は武の神様で、武士たちは、守護神として八幡さまを信仰したようだ。

面白いのは、宇佐八幡宮神託事件で、769年、女帝・称徳天皇の時、情男・道鏡に天皇の位を譲るべく宇佐八幡宮より神託があったとしたが、虚偽だと分かり、道鏡は九州とは反対の下野国へ所払いされた。古今東西、尊卑を問わず男女関係は難しいものだ。

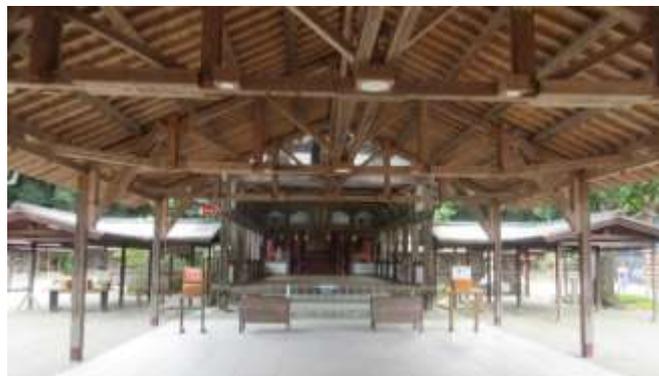


太宰府天満宮、太宰府市、福岡県、2024年10月

次は、学問の神様・菅原道真を祀る太宰府天満宮である。地理的に近いせいも、それとも菅原道真の秀才ぶりをご存知か分からないが、驚いたことに日本人以上に、韓国、中国よりの観光客で溢れかえっていた。

菅原道真は遣唐使に任命されたが、渡航の危険性と唐の内乱情勢を理由として遣唐使に反対した。

901年、左大臣藤原時平らの陰謀によって筑前国の大宰府へ左遷され、翌々年に現地で他界した。その学問の神様・菅原道真を祀るため、大宰府や京都北野をはじめに、多数の天満宮や天満神社が建立された。



宗像大社辺津宮、福岡県、2024年10月

最後に訪れた福岡県北部にある「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、理解するのに難しい世界遺産である。宗像大社は、辺津宮（本土）、中津宮（大島）、沖津宮（孤島）の3宮から成り、ご祭神は天照大神の3女神で、それぞれの宮に祀られている。

今回は、宗像大社辺津宮を訪れた。3つの宮群が対馬を経て、朝鮮半島まで一直線に並んでいることから、海上の安全を祈願しているのか、また沖ノ島の多くの出土品が国宝に指定されて「海の正倉院」と云われることから、シルクロードの一端かもしれない。



朝倉宮跡、朝倉市、福岡県、2024年10月

筑紫平野の東の端に朝倉市があり、柿畑の一角に朝倉宮跡があった。斉明天皇勅宣のもと、先進文化と鉄製武器入手ルート確保目的で、百濟復興軍を支援するため朝鮮へ数万の大軍を派遣した。しかし663年黄海に面した白村江の戦いで唐と新羅連合軍に大敗した。

その時に設けられた最前線の指令本部が、朝倉宮と云われる。母斉明天皇は当地で崩御し、その子の中大兄皇子（天智天皇）と大海人皇子（天武天皇）は、唐と新羅連合軍の倭国侵攻を恐れて退却し、飛鳥宮留守役の中臣（藤原）鎌足と共に近江大津宮へ遷都した。

近江大津宮で、藤原鎌足は他界したが、代わりに藤原不比等をもうけ、藤原家の繁栄を盤石にした。

## 100 世界遺産の旅 (164)

### よしのがりいせき 吉野ヶ里遺跡

1969年の初夏、佐賀県と福岡県の境にある脊振雷山系の脊振山に登ったことがある。脊振山より南を臨めば、遠くに有明海が眺望でき、その手前に広々とした筑紫平野の田園地帯に、筑後川が横切る風景があった。

1986年、その田園地帯に、忽然と吉野ヶ里遺跡が出現するとは夢にも思わなかった。ボランティアの案内係に聞くと、昔から甕の欠片などの遺物が見られ、何かがあると憶測されていたが、その地に工場建設が持ち上がり、試掘したところ広大な遺跡が出現した。



宮室、吉野ヶ里遺跡、佐賀県、2024年10月

魏志倭人伝に、3世紀の初め、倭国に卑弥呼を女王とする邪馬台国があるとの記述があり、昔よりその所在地は九州説と近畿説の論争がある。卑弥呼は、鬼道を操り、祭祀と占いをつかさどる巫女であると共に王であったが、政治は同族の男性が執り行ったようだ。

環濠集落の中には、魏志倭人伝が云う「宮室」、物見櫓の「楼観」、食料を保管する「邸閣」、「城柵」、そして「墳丘墓」があることから、吉野ヶ里遺跡が邪馬台国ではないかと色めき立った。だが吉野ヶ里遺跡は、その規模や墳丘墓の年代から邪馬台国ではなく、邪馬台国連合のうちの1つである弥奴国で、邪馬台国は、筑後・八女付近ではないかと考えられている。



楼閣と邸閣、吉野ヶ里遺跡、佐賀県、2024年10月

魏志倭人伝に、魏の植民地である帯方郡（現在の韓国ソウル付近）より距離1万2千里に邪馬台国があるとの記述があり、そこは九州北部にあたるが、日数による記述部分では、近畿か北九州か見解が分かれる。

邪馬台国論争で、私が最も興味を惹かれるシナリオは、邪馬台国は九州北部にあり、それとは別に形成されたヤマトの国へ東遷し、統合した説話である。

東遷の理由は、246年に卑弥呼が他界した後も、宗女・台与が継いだ邪馬台国と南の狗奴国（熊襲）との争いが続いたが、魏を滅ぼした西晋より後ろ盾を得ることが出来なかったのでヤマトへの東遷を決断した。



環濠、城柵、楼観、吉野ヶ里遺跡、2024年10月

近畿説という奈良県桜井市の箸墓古墳は、卑弥呼の墓ではなく、東遷した台与の墓とする説がある。

また魏が卑弥呼に贈ったとされる100枚の三角縁神獸鏡の多くは、近畿で出土したが、中国考古研究所の調査結果、魏に三角縁神獸鏡の鑄造実績はなく、そして鏡の出土もない事から倭国製だと結論付けている。

邪馬台国東遷は、伝承として後世に伝わり、8世紀に編纂された古事記や日本書紀にある天孫降臨や神武天皇東征など九州を起原とする神話に影響を及ぼした。



漢委奴国王の金印、福岡市博物館、2025年10月

魏は、卑弥呼に金印を贈ったとされるが発見されていない。それより前の紀元57年に倭の奴国の使者が後漢の光武帝より印綬を受けている。奴国は福岡市付近の小国で、同市の志賀島からその金印が発見された。

今回、大濠公園の西にある福岡市博物館で拝見させてもらったが、各辺2.3cm、金純度95.1%の国宝金印は、2000年の変遷をもちともせず光り輝いていた。

卷末 (3-14) 山口&九州北部

## 100 世界遺産の旅 (165)

### サイゴン陥落

1975年4月30日、ベトナム戦争は終結した。アメリカ軍が、数えきれない程の枯葉剤やナパーム弾を空中より投下したにもかかわらず、南ベトナム大統領府（現統一会堂）へ北ベトナムの戦車2台が突入し、首都サイゴンは、完全に陥落した。

その2台の内の1台、ソ連製 T54 式戦車は、統一会堂の敷地内に、国宝として展示されている。

米軍の死者は、約 58,000 人に及び、アメリカ国内でも反戦デモが起こった。逃げるようにサイゴンを去るヘリコプターや、空母に着艦したヘリコプターが海上へ放棄される光景は、記憶に新しい。

1976年、ベトナム社会主義共和国が誕生した。



統一会堂（旧南ベトナム大統領官邸）、2025年3月

北ベトナムの勝因は、主席ホーチミンのリーダーシップ、軍の士気と中国/ソ連の武器支援である。

この論理からすれば、ウクライナは、アメリカを含む NATO からの武器支援、日本や諸外国からの援助、そして最も大事なことは、ゲリラ戦も厭わない士気が国民にある限りロシアに勝利するだろう。

常任理事国でありながら国際法を犯したロシアを断罪し、国土を解放するために、ウクライナは、ベトナム戦争のような長期戦を覚悟せねばならない。



仏時代の郵便局、ホーチミン市、ベトナム、2025年3月

30歳より54歳まで仕事で東南アジアを駆け巡ったが、ベトナムの訪問は、極めて縁遠く、東南アジア

管轄の G. Manager が「地雷を踏むと危ないからビジネス訪問は延期」と言った言葉を思い出す。

去年はハノイを、今年にはホーチミン（旧サイゴン）を訪問し、長年刺さっていた棘がようやくとれた思いである。ハノイは、首都であるが、ホーチミン廟や官庁街を除けば、市街に路地が多く、しかもロータリー交差点で、徒歩での観光は難しかった。

一方、ホーチミンは、道路は広く直線で、高層ビルが立ち並び、その中の超高層ビルをランドマークとして街歩きすれば迷うことは無かった。



人民委員会とホーチミン像、2025年3月

ハノイもホーチミンも公共交通網が整備されていないように見られた。気候は亜熱帯であるため、日常の交通としてはバイクが一般的のようで、縦横無尽に走り回っている。公共交通網等の不整備は、政府の無策によるもので、最大の問題は汚職である。

ベトナムは共産党の一党体制で、党の上部から下部まで汚職まみれで、国政の停滞を極めていたが、2024年に入り、党幹部約4000人が起訴され、政治局メンバーも7人が失脚し、改善の兆しがみられる。



ゲンフエ通り、ホーチミン市、2025年3月

2024年2月、ハノイの東にある世界遺産ハロン湾でクルージングを楽しんだが、2025年7月、そのハロン湾で一隻の観光ボートが、強風で転覆し、子供を含む38人が死亡、5人が行方不明になった。若い頃、この種の報道を、特に意識しなかったが、昨今、事故に恐怖心を覚えるのは、晩節に達した我が心情であろう。

## 100 世界遺産の旅 (166)

### バリ島

2025年3月、避寒と避花粉を兼ねて、久しぶりにインドネシアのバリ島を訪れた。ハワイとは違う豊かな自然と美しいビーチリゾート、東南アジア特有のトロピカルな雰囲気、我ら夫婦に似合うようである。

また夕日が美しく、物価も安く、コスパの良いローカルツアーが多くあるのも嬉しい。前回2012年では、アユン川のラフティング、ウブド宮殿のレゴンダンスやLembongan 島往復のヨットクルーズを楽しんだ。

今回は、ネットで現地専門旅行社の Viator 社へ車を予約し、朝8時にホテルを出発して、10時間のドライブで、ヒンズー教寺院2か所と棚田を巡った。



ランプヤン寺院 (天国の門)、バリ島、2025年3月

まずは、現在バリ島で最も人気のある1つで、島の東部にあるランプヤン寺院へ向かった。バリ島南部のクタを出発し、東へ向かって海岸沿いを進み11時ごろに到着した。入場口で腰巻を付けてもらって、坂道を登ること約20分で目的地・天国の門に到達した。

多くの観光客が日差しを避けて待っていた。観光客の目的は、アグン山を背景に天国の門の間に立ち、いろんなポーズをスマホに収めてもらうことである。

撮影料金は、入場料に含まれていたが、2時間待ちだったので、我々は、寺院を見学後早々に退散した。



棚田、バリ島、インドネシア、2025年3月

バリ島には多くの棚田があり、ジャティルウィの棚田が世界遺産である。その棚田のある農道を縫うようにして、世界遺産ウルン・ダヌ・バトゥール寺院へ

向った。バリ島の南部と海岸沿いの道路以外は未整備で、しかも車が一台しか通れない道もあり、さぞかし疲れる運転だと案じながらの同乗だった。

2012年3月時、バリ島に世界遺産は無かったが、今回は、ヒンズー教寺院と棚田が認定されていた。



ウルン・ダヌ・バトゥール寺院、2025年3月

ヒンズー教のうち最大の寺院で、バリ島東北部にあるウルン・ダヌ・バトゥール寺院は、世界遺産にも拘らず、参拝者が全くいなかったのには驚いた。

この寺は、もともとバトゥール湖の湖畔に建っていた仏教寺院であったが、後世にヒンズー教と融合後、バトゥール山の噴火で破壊されたため、外輪山上に移築された。かやぶき屋根の様なメルと呼ばれる多重塔が多く立ち、バリ島を代表する寺院である。

インドネシアは、イスラム教国である。仏教やヒンズー教は、先に伝播したが、現在、仏教(1%)、ヒンズー教(2%)のマイナーな存在となっている。



バトゥール山&バトゥール湖、バリ島、2025年3月

バリ島に限っては、島民の9割がヒンズー教徒で、インドのヒンズー教と仏教、土着信仰が融合したものである。ヒンズー教は、日本の神教と同じく、万の神を祀り、アルコールもOKなので嬉しい宗教である。

ドライバーは英語もうまく、バリ島の名ガイドぶりであった。ローカルツアーで英語案内を選択すれば日本語案内より5割ほど安く済むので旅費の節約になる。

今回は、10時間2人分が9,926円のリーズナブル価格だったが、ガイドは、長時間のマニュアル運転でさぞかし疲れただろうと思い、少しチップをはずんで渡すと、大喜びして握手を交わし、互いの1日を終えた。

\*\*\*\*\*

巻末 (3-15) ベトナム、インドネシア、シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (167)

### リゾートホテル

リゾートホテルとは、多くの人が休暇や余暇を過ごす場所、つまり行楽地や保養地にあるホテルである。そのリゾートホテルには、ピンからキリまであり、実際に予約して宿泊しなければ評価の下しようがない。

今回、インドネシアバリ島のホテルは、極めて素晴らしいリゾートホテルだったので記録に留めたい。



中プール、滞在ホテル、バリ島、2025年3月

プールは、大中小と3プールがあり、それぞれ特色あるレイアウトで、木々が茂る庭園の中にある。

特に注目するのは、海側の中プールで、プールの傍にレストランがあり、レストランと海の間は、遊歩道が設けられている。そこを歩行者がプールを見ながら行きかう光景は、宿泊客にとって愉快である。

フロントで聞くと、バリ島では、コロナ禍以降、日本人の観光客が激減し、街を歩いても日本人に出会うことは無かった。ホテルも日本人は、我々夫婦だけだったので異国情緒を満喫出来る滞在だった。



大プール、滞在ホテル、バリ島、2025年3月

我々は大プールに入って、泳ごうとしたが、足が底につかず、併せて痙攣の様な状態で危険を感じた。夫婦で手を取りあったが、溺れそうになったので、必死に藻掻いてプールの縁へ辿り着いた次第である。

昨今、年配者が、海や山で遭難する記事をよく見かけるが、密かに、我が過信を戒めた次第である。



小プール、滞在ホテル、バリ島、2025年3月

小プールは、主に幼い子供達がいる家族用である。このような気配りのプールがあるので、多くの家族連れの見光客が、滞在していたのも納得が出来た。



ガーデンレストラン、滞在ホテル、バリ島、2025年3月

6時より朝食が可能なガーデンレストランは、ブッフェ形式であるが、完璧なブレイクファーストが提供された。我々夫婦の朝食だが、多くの料理を取り過ぎた場合、残せばもったいないので、ジャム、パン、ゆで玉子等は持ち帰って昼食時に食することにしている。



宿泊ルーム、バリ島、インドネシア、2025年3月

ホテル名は、Bali Garden Beach Resort で Bali 国際空港からタクシーで15分ぐらい、人気のクタ地区にある。

ホテル代は、朝食付き2人分12,724円/泊で、庭園、部屋、朝食とも申し分のないリゾートホテルであった。

卷末 (3-15) ベトナム、インドネシア、シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (168)

### 青春の街角②

またまた、シンガポールを訪れた。バリ島よりの帰路、午後3時に到着し、翌午前1時が関空行の出発時刻だったので、空港を出て市街を散策した。

シンガポール初訪問は、30歳頃で、合計30回ぐらいの訪問になるだろう。まずは地下鉄のラッフルズプレイス駅へ行き、マーライオンに挨拶をした後、シンガポール川を渡って、旧市役所へ向かった。



旧市役所、シンガポール、2025年3月

旧市役所（現ビクトリア・シアター&コンサートホール）の前には英国副総督ラッフルズの銅像が迎えてくれた。ラッフルズは、シンガポールの英雄で、マレーシア半島を占拠した後、シンガポールの繁栄に寄与した。また探検家でもあり、インドネシアの世界遺産ボロブドゥール寺院の発見者である。

旧市役所から、国会議事堂、最高裁判所、アンドリュース聖堂を経て、ラッフルズホテルへ向かった。



ラッフルズホテル、シンガポール、2025年3月

ラッフルズホテルは、シンガポールを代表するホテルで、グッドウッド・パークホテルと共に老舗の高級ホテルである。ラッフルズホテルのアフタヌーンティーは、特に有名で、伝統的なテーブルセッティングに3段重ねのケーキスタンドが供される。

その値段たるは、お1人様約1万円であるが、シンガポール訪問時アフタヌーンティーを体験しよう。

ラッフルズホテル前にある近代的なショッピングセンターのラッフルズ・シティーを覗いてみた。



アシックス (Onitsuka Tiger)、ラッフルズ・シティー

地球を歩いていると、ロンドンやコペンハーゲン等で、アシックス（本社神戸）の海外店をよく見かけた。近く、アシックスは、USA市場に再挑戦するらしいので KOBE-made products に声援を送りたい！



ラッキープラザ、オーチャード通り、2025年3月

オーチャード通りに、ショッピングセンターの老舗ラッキープラザがある。テニスラケット、ゴルフクラブセット、スポーツウエア等を買ったものだ。

ショッピングセンターの浮き沈みが激しい今日でも生き残り、また交差点の伊勢丹も頑張っている。

伊勢丹を北東へ折れてスコット通りの端が、有名なニュートンサーカスで、屋台村から衛生的なフードコートに変貌したが、活気のなさは否めない。



ニュートンサーカス、シンガポール、2025年3月

現役時代、最後にシンガポールを訪れたのが54歳で、会議出席者の平均年齢が、おおよそ40歳だったのを知って、いよいよ場違いを強く認識した次第である。

60歳リタイヤを決断していたので、55歳から60歳を人生最後の蓄財期とし、仮想年金生活へ突入した。

その5年間は、今様の流行語 Quiet Quitting（静かな退職）に傾注し、すべての海外出張を辞退して社内自由業に徹した。我が青春の街・シンガポール、有難う！

巻末 (3-15) ベトナム、インドネシア、シンガポール

## 100 世界遺産の旅 (169)

### EXPO 2025

EXPO 2025 へ「行きたくもあり、行きたくもなし」と迷っていたところ、家人の「何時行くの？」と云う主語の無い不意の問いに戸惑ったが、結局、5 月の下旬にお供した。情報によると、地下鉄が連絡する東口は、混雑するらしいので、西口へのバスを利用した。

朝 8 時、JR 三宮駅高架下の神姫バスターミナルに到着すると長蛇の列があり、EXPO 行は約 1 時間並ぶ必要があったので、夫婦別々にカフェで朝食を取った。



西ゲートエントランス、EXPO 2025、2025 年 5 月

EXPO 会場ではバス停からエントランスまで、幸いにして混雑は無く、ゲートを過ぎると公式キャラクターであるミャクミャクの立像が待ち構えていた。

何とんでも今回 EXPO の最大の目玉は、大屋根リングであろう。早速、登ってみると展望が効き、パビリオン全体を見渡せるのが嬉しい。一周 2 km のリングは 30 分の歩行で、ところどころ最上まで登れるスロープが造られていた。当日は、曇りであったが、遠くに我が街・神戸や六甲山を見渡せた。



大屋根リング内部、EXPO 2025、2025 年 5 月

大屋根リングの構造はすべて木材で出来ており、その 7 割は国産で、3 割は輸入の集材材である。大屋根リングの一部 350m 程は、記念に保存されるようであるが、残り全部が解体されて廃棄されるとすれば不合理極まりなく、自然保護の観点からも疑問が残る。

フランス、イタリアやアメリカ等のメジャー国のパビリオンは、事前予約にも関わらず何処も長蛇の列で、イギリス館では、当日の枠だろうか、2 時間待ちの行列であった。メジャー国のパビリオンの見学は、極めて難しいと分かったので入館を諦める事にした。

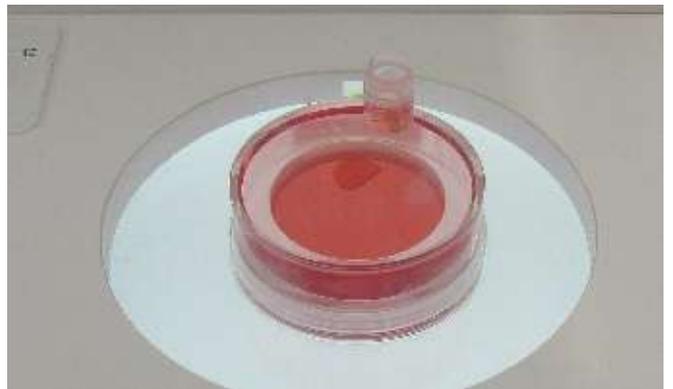
そこでマイナーな国々が集まる COMMONS を覗いてみたが、各国とも小ブースに写真を飾り、液晶ディスプレイによる展示が主で、文化祭の様相だった。

ガーナではコーヒー販売、イエメンではガラス細工品の即売会のように、興ざめて早々に退出した。



大屋根リングより神戸&六甲山、2025 年 5 月

人類が、築き上げてきたその時代の技術・芸術の頂点を世界に向かって発信する機会を提供するのが、EXPO の目的である。その趣旨からすれば、ノーベル賞に輝いた IPS 細胞の実用化を目指す大阪ヘルスケアパビリオンの「IPS 心臓細胞」は当を得ている。培養液の中を神秘的に拍動する細胞は、感動的だった。



IPS 心臓細胞、EXPO 2025、2025 年 5 月

1970 年の EXPO 大阪では、ベトナム戦争でアメリカはカンボジアへ侵攻し、今回の 2025 年 EXPO 大阪ではロシアによるウクライナ侵略戦争や、イスラエルによるガザでのジェノサイドで多くの犠牲者を出している。

また 2025 年 6 月、イスラエルとアメリカによるイラン核施設攻撃に対し、報復合戦の打ち止めが望まれる。一方、平和ボケした日本人が、パビリオンに殺到して浮かれる姿に接すると、違和感を禁じ得ない。

EXPO の目的に平和の理念が無いのは不思議でならないが、国際法が死語になった現在、人類の愚かさが故、戦争なき地球の実現は絶望的であろう。

## 100 世界遺産の旅 (170)

### 金婚旅行

早いもので結婚して 50 年が過ぎた。その 50 年は金婚と云われ、人生の大きな節目の一つである。

金婚旅行として、今年には新婚旅行の熊本/長崎、高校修学旅行の大分/熊本/宮崎/鹿児島へ行き、昨年訪問の福岡/佐賀と併せて、九州一周の旅を完結した。



唐津城、唐津、佐賀、2025 年 10 月

新婚旅行では、当然ながら一般的な高級ホテルに泊まったが、50 年も経てば、見栄も捨てて、ビジネスホテル 2 泊、車中 3 泊の節約重視の夫婦旅となった。

まずは、山陽道、九州自動車道を経て、福岡へ向かった。そして福岡より西へ進み、景勝地・虹の松原を過ぎると、唐津市の松浦川の河口に唐津城が現れた。

築城は 1602 年だったが廃城になり、1966 年に再建された城で、唐津市のランドマークタワーである。



菜畑遺跡、末盧館、唐津、2025 年 10 月

弥生時代に、朝鮮より稲作の技術が入ってきたが、最初に日本で稲作が行われた所が、倭国の末盧国（まつらこく）で、唐津の菜畑（なばたけ）遺跡である。

邪馬台国の構成国と考えられている末盧国は、壱岐島に近く、北の対馬島を經由して、朝鮮半島の南部へと続き、大陸文化の受け入れ基地であった。後の肥前国松浦郡で、現在の佐賀/東松浦半島地域にあたる。

唐津城からほど近いところに末盧館という展示場があり、その建屋の奥に菜畑遺跡があるが、一見すると小さな田んぼを遺跡として展示していた。

唐津と云えばもう一つの城があった。呼子にある名護屋城で、豊臣秀吉の朝鮮征伐の本陣であった。1592 年文禄の役と、1597 年慶長の役の 2 回にわたり朝鮮半島に侵略し、朝鮮を戦乱に巻き込んだ。

今、残っているのは、石垣だけで、所々に、徳川家康、加藤清正、伊達正宗、小西長政、真田昌幸など、諸大名陣営跡の立て札があるぐらいである。

韓国で、最たる極悪非道の日本武将は、豊臣秀吉である。しかし、韓国人が、一番に訪れたい日本の名所は大阪城で、韓国人の気質を知ることが出来る。



名護屋城博物館、唐津、2025 年 10 月

佐賀/東松浦半島の呼子は、イカの活け造りで有名である。水槽で泳いでいる剣先イカをすくい上げて造りにして供される。動いている胴体部を刺身で食した後、ゲソや頭部のエンペラも造りにしてもらった。

イカと云えば、函館のスルメイカも忘れられない。スルメイカは、活け造りも旨いが、1~2 日置いて乳白色した胴体部を刺身にして頂くのがお勧めである。



活けいか造り、呼子、唐津、2025 年 10 月

結婚式と金婚式の違いは、前者は、結婚する 2 人で決定できるが、後者は、子供と孫のスケジュールに合わせ、また会食のメニューも子供と孫の好みになる。

今年の金婚式も、50 年前の結婚式と同じく神戸の「舞子ビラ」で、50 年共に歩んで来た家人に感謝し、孫たちの健やかな成長に幸せを感じる 1 日だった。

孫 5 人へ記念品の代わりに現金を手渡すと、年金生活者なのに大丈夫かいな？ という声が聞こえてきた。

巻末 (3-16) 金婚旅行 九州一周  
(3-16-1) 九州一周 行程図  
(3-16-2) 高校修学旅行 今昔 5 景

## 100 世界遺産の旅 (171)

### 西海国立公園

西海国立公園は、長崎県北部の平戸地域、中部の九十九島と五島列島の3地域からなる。今回は、佐賀県の伊万里を出発して、平戸と九十九島を訪れた。

平戸大橋を渡ると右手に平戸城が見えてきた。50年前の新婚旅行時、天守閣だけだったが、現在は、2つの櫓（やぐら）が、新たに造営されていた。



平戸城、長崎県、2025年10月

平戸は歴史の街である。1609年オランダが、そして1613年イギリスが、商館を設けた。1623年インドネシアのアンボイナ事件でオランダが勝利した結果、日本におけるイギリスの経営は不振となり商館を閉鎖した。

キリスト禁教令でポルトガルが来航禁止になった後、1641年オランダは、平戸の商館を長崎の出島へ移転し、濡れ手で粟のごとく、日本と欧州の交易を独占した。

ウィリアム・アダムス（日本名：三浦按針）は、初めて日本に渡来したイギリス人で、武士（旗本）の身分を得て、徳川家康の外交顧問として重用された。

1616年家康死後、彼は不遇の身となり、併せて、イギリスへの望郷の念を禁じえず、平戸より渡欧を試みたが、1620年当地で病死し、埋葬されている。



旧オランダ商館、平戸、2025年10月

新婚旅行時、平戸は長閑な城下町だったが、平戸大橋の無料化に伴い、大いに都市化が進んだようだ。

平戸は世界遺産に登録されている。それは「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」である。

現在、平戸にも多くの教会があるが、明治以降になって建設されたもので、それまでは、禁教政策の「踏み絵」にも耐えた隠れキリシタンの里であった。



寺と教会、平戸、長崎県、2025年10月

新婚旅行時、佐世保に泊まり、弓張岳より九十九島を眺望した後、佐世保の鹿子前から平戸港まで、九十九島を縫うようにして、連絡船の旅を楽しんだ。

残念ながら、その連絡船航路は廃止されていた。

現在、九十九島を臨む新たな展望台として、九十九島観光公園があり、大パノラマの絶景を楽しめる。



九十九島観光公園、佐世保市、2025年10月

長崎県の新富豪と云えば、甲高い声で商品説明する「ジャパネットたかた」の創業者・高田明氏（1948年生）で、団塊世代の地方起業家の一人である。

佐世保市日宇町に「ジャパネットたかた」の本社ビルがあるので寄ってみた。大きなビルではないが、多くの番組撮影は、その社屋で行われている。



西海橋と針尾無線塔、大村湾、長崎県、2025年10月

佐世保と長崎の間に西海橋がある。この橋は大村湾と外海を結ぶ170mの針尾瀬戸に掛かっている。

その西側に3本の針尾無線塔が立ち、太平洋戦争開戦の暗号「ニイタカヤマノボレー二〇八」を発信した無線基地の一か所として保存されている。

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 巻末 (3-16) | 金婚旅行   | 九州一周 |
| (3-16-1)  | 九州一周   | 行程図  |
| (3-16-2)  | 高校修学旅行 | 今昔5景 |

## 100 世界遺産の旅 (172)

### 長崎くんち

2025年、九州一周の旅における最大のテーマは、長崎くんちの観覧であった。長崎くんちは、諏訪神社の祭りで、10月上旬の3日3晩、すべての長崎市民が、祭りに酔いしれるといっても過言ではない。

諏訪神社は、厄除け、縁結び、海上安全のご利益があるとされ、おくんちは、秋の大祭で、諏訪神社への奉納であり、約400年の歴史を誇っている。



#### コッコデショ、おくんち、新婚旅行、1975年10月

奉納踊りを披露する当番の町を踊町といい、7つの組に分けられ、それぞれの出演は7年毎になる。

今回は1975年に観覧したので、当然2025年の演目とは異なるが、龍踊りだけは毎年出演している。

1975年の想いで残る演目はコッコデショで、神輿を上下に振り動かした後、空へ向かって投げ、担ぎ手全員が片手で受け止める勇壮な技であった。

くんちは、九州北部の秋祭りの総称で、9日に奉納が行われることに由来する。現在、長崎くんちは、重要無形民俗文化祭に指定されており、日本、中国、南蛮等の異国情緒豊かな踊りが奉納される。



#### オランダ漫才と芸者舞、おくんち、2025年10月

2025年最初の演目は、オランダ漫才と踊りで、ユーモアがあり、見て楽しかった。しかし奉納に座布団を敷くと失礼になるのか、太鼓、三味線、唄の芸者衆は、地べたに正座して演奏していたのは驚きだった。



#### 龍踊り、長崎伝統芸能振興会より、2025年10月

2025年の観覧は、10月7日であったが、朝日の直射には参った。帽子は禁止で、観客はタオルをほっかむりしていたが、我々には予備知識がなかった。

演目が終わると、係員が数名飛び出し、両手を大きく広げて「もってこい〜。」と叫ぶ。これはアンコールと拍手の催促で、観客一同が呼応して「もってこい〜!もってこい〜!」と絶叫するのである。

諏訪神社の後、奉納踊り連は、お旅所、八坂神社、中央公園くんち観覧場へと場所を移し、途中に要望があれば演じて、なにがしの礼金を受け取っていた。



#### 場外客、諏訪神社、2025年10月

50年前は、予約の必要もなく、早朝出かけて立席であるが陣取り、しかも奉納舞台の近くで見ることが出来た。今回は、事前に予約し、4,500円/人の指定席を確保したが、その数だけ席は、舞台より遠く、また前方観客の頭で観覧と撮影に苦労した。

今回特別に、ウクライナより留学している長崎市内の高校に通うチュング君が、相撲部顧問と一緒に弓取式を奉納した。大相撲のウクライナ出身/安青錦の人も手伝ってか、大きな声援を貰っていた。

2025年安青錦は、九州場所で優勝した後、長崎県諫早市の地方巡業でチュング君と面談し、そこで2人はウクライナの苦況も語り合ったであろう。

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 巻末 (3-16) | 金婚旅行   | 九州一周 |
| (3-16-1)  | 九州一周   | 行程図  |
| (3-16-2)  | 高校修学旅行 | 今昔5景 |

## 100 世界遺産の旅 (173)

### 異国情緒あふれる街

異国情緒あふれる街は、我が街・神戸、横浜、函館などがあるが、長崎くんちを観覧した後、長崎の歴史的建造物を探訪しながら異国情緒を味わった。

まずは、諏訪神社近くにある眼鏡橋へ向かった。眼鏡橋は、1634年日本最古の唐寺である興福寺の住職が架設した日本最初の唐風石橋で、近くには亀山社中跡があり、坂本龍馬も革靴で渡ったであろう。



眼鏡橋、長崎市、2025年10月

長崎には2つの世界遺産がある。①「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と②「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」である。

1859年開港時、大浦天主堂は外国人信徒のために建設され、明治以降、長崎や天草の隠れキリシタンは、挙って教会を建設した。大浦天主堂は、観光の立地条件に適した長崎市の南山手で、①の世界遺産を代表する教会であり、あわせて日本の国宝でもある。



国宝・大浦天主堂、長崎市、2025年10月

大浦天主堂に向かって右手へ折れ、坂を登ってゆくとグラバー園の入り口に辿り着く。以前は徒歩で登っていたが、今ではエスカレーターが設置されていた。

まずは、明治期に建てられた外国人乗組員用の宿舎で移築された旧三菱第2ドックハウスが現れ、そこから回遊路を下っていくとグラバー邸の庭に着く。



グラバー邸、長崎市、2025年10月

グラバーは、スコットランド出身で、軍艦・武器等を販売する「死の商人」である一方、近代的な修船施設の建設、蒸気機関を導入した洋式炭坑の開発など、幕末、明治における日本の近代化に大きく貢献した。

グラバー園に残る日本最古の木造洋風建築グラバー邸は、「明治日本の産業革命遺産」の構成建造物である。「亀山社中」を立ち上げた坂本龍馬も、軍艦や銃の購入にグラバーの援助を受けたといわれる。

グラバー邸では、「くいしん坊! 万才」の撮影中で、スタッフ達が庭園での撮影構図に苦心していた。

パーソナリティは、元プロテニスプレーヤーで、「くいしん坊! 万才」11番目の松岡修造であった。



グラバー園より稲佐山、長崎市、2025年10月

グラバー園より稲佐山を臨むと、港には豪華客船が着岸しており、その向こうに「明治日本の産業革命遺産」の1つである三菱長崎造船所関連施設が見えた。

子供の頃、神戸大丸百貨店の屋上で、うなぎ釣りをした後、最上階段を昇ると神戸港に係留されている多くの船を見ることが出来た。何時かは船に乗って、欧州やアメリカへ行ってみたいと願ったものである。

大人になって、世界を巡ることが出来たが、船ではなく、飛行機であった。どうも船での長旅は、行動が制約されるため、私の性に合わないだろう。

巻末 (3-16) 金婚旅行 九州一周  
(3-16-1) 九州一周 行程図  
(3-16-2) 高校修学旅行 今昔5景

## (添付1)

| 100 世界遺産の旅 チェックリスト                                      |         | 訪問年/月   |
|---------------------------------------------------------|---------|---------|
| 週刊『ユネスコ世界遺産』 全100刊 (講談社 2000年10月創刊)                     |         |         |
| [01号]【イタリア】 ローマの歴史地区 [1] フォロ・ロマーノとコロッセオ (2019/05 イタリア再) |         | 1996/01 |
| [02号]【イタリア】 ベネチアとその潟                                    |         | 1996/01 |
| [03号]【ギリシア】 アテネのアクロポリス、パルテノン神殿、アゴラ、アテネオリンピック競技場         |         | 2003/11 |
| [04号]【フランス】 パリのセーヌ河岸 [1] ノートルダム大聖堂とエッフェル塔               |         | 1995/07 |
| [05号]【イタリア】 ローマの歴史地区 [2]、バチカン市国、 (2019/05 再)            |         | 1996/01 |
| [06号]【イギリス】 ウェストミンスター宮殿、ウェストミンスター・アビー、ロンドン塔             |         | 1993/10 |
| [07号]【イタリア】 フィレンツェ歴史地区、サンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂              |         | 1996/01 |
| [08号]【イタリア】 ローマの歴史地区 [3] カラカラ浴場とパンテオン                   |         | 1996/01 |
| [09号]【フランス】 モン・サン＝ミシェルとその潟、ブルターニュ地方の田園風景                |         | 2001/06 |
| [10号]【スペイン】 アルハンブラ宮殿、グラナダの歴史地区、シエラ・ネバダ山脈                |         | 2010/07 |
| [11号]【フランス】 パリのセーヌ河岸 [2] ルーブル美術館とコンコルド広場                |         | 1995/07 |
| [12号]【エジプト】 メンフィスのピラミッド地帯、ヌビア遺跡、アブ・シンベル神殿               |         | 2008/03 |
| [13号]【フランス】 ベルサイユ宮殿と庭園                                  |         | 1995/07 |
| [14号]【イタリア】 シエナの歴史地区、ピサの斜塔とドゥオモ広場                       |         | 1996/01 |
| [15号]【トルコ】 イスタンブールの歴史地区、オリエンタル急行終着駅、ボスポラス海峡             |         | 2009/06 |
| [16号]【スペイン】 トレドの旧市街、ラ・マンチャ地方の田園風景                       |         | 1999/10 |
| [17号]【フランス】 フォンテンブロー宮殿と庭園                               |         | 2013/07 |
| [18号]【イタリア】 ポンペイ考古地区                                    |         | 2013/06 |
| [19号]【チェコ】 プラハの歴史地区 (2019/06 再)                         |         | 2002/04 |
| [20号]【モロッコ】 マラケシュの旧市街、カサブランカと大西洋                        |         | 2013/07 |
| [21号]【イタリア】 ナポリの歴史地区                                    |         | 2013/06 |
| [22号]【オーストリア】 シェーンブルン宮殿と庭園、ザルツブルク歴史地区 (2019/05 再)       |         | 2001/06 |
| [23号]【イスラエル/ヨルダン】 エルサレムの旧市街、隊商都市ペトラ： 2020/05 コロナ禍で渡航断念  | 巻末 3-10 |         |
| [24号]【トルコ】 カップアドキアの岩石群、パムッカレ石灰棚、エフェソス、トロイ               |         | 2009/06 |
| [25号]【ハンガリー】 ブタペストのドナウ河岸とブダ城 (2019/05 再)                |         | 2003/06 |
| [26号]【チュニジア】 カルタゴの考古遺跡、チュニスの旧市街                         | 危険地域    |         |
| [27号]【スペイン】 バルセロナのグエル公園、グエル邸、サグラダ・ファミリア (聖なる家族)         |         | 2010/07 |
| [28号]【エジプト】 イスラム都市カイロ、地中海都市アレキサンドリア                     |         | 2008/03 |
| [29号]【アメリカ】 グランドキャニオン国立公園、モニュメントバレー、デスバレー               |         | 2001/05 |
| [30号]【フランス】 アヴィニョンの歴史地区、アルルのローマ遺跡、マルセイユとイフ島             |         | 2002/04 |
| [31号]【カンボジア】 アンコールの遺跡群、アンコール・ワット&アンコール・トム               |         | 2013/03 |
| [32号]【ペルー】 マチュピチュ遺跡 (年老いた峰)、クスコの歴史地区、コンキスタドールのリマ        |         | 2014/03 |
| [33号]【イタリア】 ラヴェンナの初期キリスト教建造物群                           |         | 2013/07 |
| [34号]【中国】 北京故宮、万里の長城、明の一三陵、瀋陽 (旧奉天)                     |         | 1997/12 |
| [35号]【カナダ】 カナディアン・ロッキー山脈国立公園群 (カルガリー⇒バンフ⇒ジャスパー)         |         | 1996/10 |
| [36号]【インド】 タージ・マハル、アーグラ城、フマユーン廟                         |         | 2013/03 |
| [37号]【エチオピア/ケニア】 ンゴロンゴロ自然保護区、セレンゲティ国立公園                 | 危険地域    |         |
| [38号]【ドイツ】 ポツダムとベルリンの宮殿と庭園、ハンザ同盟リュールベック、ハンブルグ           |         | 2002/06 |
| [39号]【メキシコ】 テオティワカンの古代都市、グアナファト銀山 (2018/04)             |         | 1992/01 |
| [40号]【シリア】 古代都市パルミラ、ダマスカスの旧市街                           | 危険地域    |         |
| [41号]【フランス】 リヨンの歴史地区、アルル、アビヨン、マルセイユ                     |         | 2002/04 |
| [42号]【エクアドル】 ガラパゴス諸島、キトの歴史地区                            |         | 2018/02 |

| 週刊『ユネスコ世界遺産』 全100刊 (講談社 2000年10月創刊)                         | 訪問年/月   |
|-------------------------------------------------------------|---------|
| [43号]【ポルトガル】 リスボンのジェロニモス修道院とベレンの塔、大西洋のロカ岬                   | 1999/10 |
| [44号]【フランス】 ストラスブルグの旧市街                                     | 2013/07 |
| [45号]【イタリア】 サンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会「最後の晩餐」                      | 2013/07 |
| [46号]【パナマ】 パナマ・ビエホ古代遺跡とパナマの歴史地区、パナマ・フローレンス水門                | 2014/03 |
| [47号]【イギリス】 エディンバラの旧市街と新市街、ダラム大聖堂、リバプール大聖堂                  | 2005/05 |
| [48号]【ロシア】 モスクワのクレムリンと赤の広場                                  | 2013/06 |
| [49号]【アメリカ】 イエローストーン、グランドティトン、ハワイ火山国立公園 (2009/02)           | 1998/09 |
| [50号]【日本】 古都京都の文化財、屋久島/宮浦岳 (1969/08)、白山山地+富岡製糸場 (2015/08)   | 1970/07 |
| [51号]【スペイン】 エル・エスコリアールの修道院・旧王宮                              | 2010/07 |
| [52号]【スウェーデン】 ドロットニングホルムの王宮、ストックホルム旧市街                      | 1997/10 |
| [53号]【カナダ】 ケベックの歴史地区、モントリオール、トロント、ナイアガラの滝                   | 2005/09 |
| [54号]【日本】 法隆寺地域の仏教建造物群 (2018/5 再訪)、姫路城                      | 1964/06 |
| [55号]【ボリビア/コロンビア】 ラ・パス歴史都市、ウユニ塩湖、ボゴタの大学都市                   | 2018/02 |
| [56号]【ギリシア】 エーゲ海クルーズ (イドラ/ポロス/エギナ島)、エピダウロス遺跡遠望              | 2019/05 |
| [57号]【ポーランド】 ワルシャワの歴史地区                                     | 2003/06 |
| [58号]【ロシア】 サンクト・ペテルブルクと周辺の歴史地区、エルミターージュ美術館                  | 2013/06 |
| [59号]【アルジェリア】 アルジェのカスバ                                      | 危険地域    |
| [60号]【フィンランド】 スオメンリンナ要塞、ヘルシンキ歴史地区                           | 2013/06 |
| [61号]【オーストラリア】 G・バリア・リーフ、ブルー・マウンテンズ、パース (2003)、メルボルン (2024) | 2015/03 |
| [62号]【中国】 敦煌の莫高窟、鳴沙山/月牙泉                                    | 2014/09 |
| [63号]【メキシコ】 メキシコシティの歴史地区 (2018/02 再訪)                       | 1992/01 |
| [64号]【スイス】 ベルンの旧市街、アルプス3名峰、レマン湖、ジュネーブ、チューリッヒ                | 2000/07 |
| [65号]【スペイン】 サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路                            | 2010/07 |
| [66号]【アメリカ】 ヨセミテ国立公園、デスバレーとセコイヤ国立公園、サンアントニオ・アラモ砦            | 1996/10 |
| [67号]【ドイツ】 ビュルツブルクの司教館、バンベルクの旧市街、                           | 2003/05 |
| [68号]【スペイン】 サラマンカの旧市街、アビラの旧市街と城壁外の聖堂                        | 2010/07 |
| [69号]【ギリシア】 メテオラの修道院群、パルナッソス山/オリンポス山遠望                      | 2019/05 |
| [70号]【イギリス】 ストーンヘンジ遺跡、パースの歴史地区、コッツウォルズ                      | 2013/07 |
| [71号]【オランダ】 キンデルダイク・エルスハウトの風車群                              | 2005/05 |
| [72号]【アメリカ】 自由の女神像、独立記念館、メトロポリタン美術館、ボストン歴史地区                | 1989/05 |
| [73号]【メキシコ】 グアナファトの歴史地区と鉱山、マヤ文明/チチェン・イツァー遺跡                 | 2018/02 |
| [74号]【ジンバブエ/ボツワナ/南アフリカ】 ヴィクトリア滝、チョベ国立公園、喜望峰、ベロン島            | 2016/04 |
| [75号]【ドイツ】 ケルン大聖堂、ローテンブルグ、ノイシュヴァンシュタイン城                     | 1994/10 |
| [76号]【キューバ】 ハバナの旧市街と要塞、ヘミングウェイ博物館                           | 2018/02 |
| [77号]【ポルトガル】 ポルトの歴史地区、シントラの文化的景観                            | 2010/07 |
| [78号]【マルタ】 バレッタの旧市街、                                        | 2013/06 |
| [79号]【アルゼンチン/ブラジル】 イグアスの滝、ブエノスアイレスの歴史地区、リオ (1997)           | 2014/03 |
| [80号]【タイ】 アユタヤの周辺と歴史地区                                      | 2003/01 |
| [81号]【レバノン】 フェニキア都市ビブロス、聖地バールベック                            | 危険地域    |
| [82号]【フランス】 アミアン大聖堂、ランス大聖堂、フランス領ポリネシア・タヒチ (2019/08)         | 2013/07 |
| [83号]【インド】 アジャンターの石窟寺院群、エローラーの石窟寺院群                         | 1997/11 |
| [84号]【イラン/イラク】 イスファハーンのイマームの広場、ハトラ                          | 危険地域    |
| [85号]【モータニア/マリ】 伝説の都市トンブクトゥ、ジェンネの旧市街                        | 危険地域    |
| [86号]【日本】 白川郷と五箇山の合掌造り集落、原爆ドーム、厳島神社、白山山地 (2015/08)          | 1997/09 |
| [87号]【イエメン/オマーン】 城壁都市シバーム、サナアの旧市街                           | 危険地域    |
| [88号]【ニュージーランド】 フィヨルドランド&マウント・クック国立公園、南太平洋タヒチ (2019/08)     | 2015/02 |

| 週刊『ユネスコ世界遺産』 全100刊 (講談社 2000年10月創刊)                     | 訪問年/月                           |
|---------------------------------------------------------|---------------------------------|
| [89号]【ドイツ】 クラシカル・ワイマール、ヒルデスハイムの大聖堂と聖ミヒャエル聖堂             | 2003/05                         |
| [90号]【インドネシア】 ボロブドゥールの仏教寺院群、プランハン・ヒンズー寺院                | 2004/02                         |
| [91号]【ネパール】 カトマンズの谷、サガルマータ (エベレスト) 国立公園                 | 2013/03                         |
| [92号]【ドミニカ共和国】 サント・ドミンゴの植民都市、コロンブス記念灯台                  | 2014/03                         |
| [93号]【スリランカ】 聖地キャンディ、コロンボの歴史地区                          | 2013/03                         |
| [94号]【中国】 始皇帝陵と兵馬俑坑、華清池、西安～大雁塔/城壁/鐘楼、空海～青龍寺             | 2014/08                         |
| [95号]【クロアチア】 ドゥブロヴニクの旧市街                                | 2019/05                         |
| [96号]【韓国】 石窟庵と仏国寺、釜山、蔚山、ソウル歴史地区                         | 1982/06                         |
| [97号]【イタリア】 アッシジのサン・フランチェスコ聖堂と関連建造物群                    | 1996/01                         |
| [98号]【オーストリア/チェコ/ハンガリー】 ウィーン/プラハ/ブタペストの歴史地区 (2019/06 再) | 2001/06                         |
| [99号]【中国・シルクロード】 龍門石窟、ウルムチ～新疆ウイグル自治区博物館/紅山公園            | 2014/09                         |
| [100号]【日本】 琉球王国のグスク及び関連遺産群、日光社寺+中尊寺 (2015/08 再訪)        | 1998/09                         |
|                                                         | 探訪 (2026年01月01日現在) <b>91 地域</b> |



## 地域グループ別新探訪マップ

### 地域グループ

|    |             |
|----|-------------|
| A: | 日本、南&東南アジア  |
| B: | ヨーロッパ       |
| C: | 南北アメリカ      |
| D: | 中国、韓国、台湾、香港 |
| E: | アフリカ        |
| F: | オセアニア       |
| G: | 南太平洋        |

## (添付 2)

# 「100 世界遺産の旅」新探訪計画書

| No | グループ        | 日程                   | 進捗 | 年齢 | 方面                                            | 行程 (世界遺産)                                                                                                                                                                                                | 必要マイル            | 旅人数 | 家人同行 | 使用マイル   | マイル残高   | 期間  | 備考                                                                                                |
|----|-------------|----------------------|----|----|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----|------|---------|---------|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | A           | 2012/02/19<br>~03/31 | 済  | 63 | 東南アジア                                         | 関空⇒マレーシア(KL)⇒インドネシア(バリ島)⇒関空                                                                                                                                                                              | DELTA SKYMILE 使用 | 2   | ○    |         | 576,478 | 13日 | Delta/SkyMileサーチャージ要<br>往路:ビジネスクラス-無料アップグレード                                                      |
| 2  | A           | 2013/2/28<br>~3/15   | 済  | 64 | 南アジア<br>東南アジア                                 | 関空⇒ネパール(エヴェレスト遊覧飛行/カトマンズの谷)<br>⇒インド(タージ・マハル)⇒スリランカ(キャンディ)⇒カンボジア(アンコールワット)⇒タイ⇒関空                                                                                                                          | 25,000           | 1   | X    | 25,000  | 551,478 | 16日 | 復路タイ-関空間LCC利用                                                                                     |
| 3  | B<br>E      | 2013/6/15<br>~7/20   | 済  | 64 | 西欧<br>北アフリカ                                   | 関空⇒ドイツ(ライン川)⇒ロシア(モスクワ/サンクトペテルブルグ)⇒フィンランド(ヘルシンキ)⇒イタリア(ローマ/ナポリ/ボンベイ)⇒マルタ⇒イタリア(フィレンツェ/ラヴェンナ/ベニス/ミラノ)⇒モナコ⇒フランス(ニース/パリ/ストラスブルグ/ランス/アミアン/フォンテーヌブロー/ベルサイユ)⇒イギリス(ロンドン/パース/コッツウォルズ/ストーンヘンジ)⇒モロッコ(マラケシュ/カサブランカ)⇒関空 | 95,000           | 2   | ○    | 190,000 | 361,478 | 36日 | 復路ビジネスクラス<br>欧州内LCC利用<br>ロシアVISA入手済<br>「最後の晩餐」予約済<br>「ベルサイユ宮殿」予約済<br>「エルミタージュ」予約済<br>「コッツウォルズ」予約済 |
| 4  | C           | 2014/03/02<br>~03/15 | 済  | 65 | トルコ<br>アルゼンチン<br>パナマ<br>ペルー<br>ドミニカ           | 関空⇒トルコ(イスタンブール/Transit)⇒アルゼンチン(ブエノス・アイレス/イグアスの滝)⇒パナマ歴史地区⇒ペルー(クスコ歴史地区/オリャンタイタボ遺跡/マチュピチュ遺跡/リマ旧市街)⇒ドミニカ(サント・ドミンゴ歴史地区)⇒関空                                                                                    | 110,000          | 1   | X    | 110,000 | 266,658 | 14日 | Iguazu Air Ticket 予約済<br>Peru Rail 予約済<br>マチュピチュ 予約済<br>ウイナピチュ登山予約済<br>黄熱病予防接種済                   |
| 5  | D           | 2014/08/29<br>~09/09 | 済  | 65 | 中国<br>シルクロード                                  | 関空⇒西安(兵馬俑/清華池/大雁塔/鐘樓)⇒龍門石窟⇒敦煌(莫高窟/鳴沙山)⇒ウルムチ(新疆ウイグル自治区博物館/紅山公園)⇒関空                                                                                                                                        | 20,000           | 1   | X    | 20,000  | 256,618 | 12日 | アジア世界遺産(完)<br>西安⇒敦煌⇒烏魯木齊<br>(中国南方航空利用/5万円)                                                        |
| 6  | F           | 2015/02/22<br>~03/09 | 済  | 66 | ニュージーランド<br>オーストラリア                           | 関空⇒タイ(バンコクTransit)⇒ニュージーランド(クイーンズタウン/テ・アナウ/キーサミット/ミルフォード・サウンド/クイーンズタウン/ワナカ/レイク・テカポ/フッカー・バレー・トラック/マウントクック国立公園/クライスチャーチ)⇒オーストラリア(シドニー・ブルーマウンテン/ケアンズ・グレート・バリアリーフ)⇒関空                                        | 22,500           | 2   | ○    | 45,000  | 234,208 | 16日 | オセアニア世界遺産(完)<br>ニュージーランド・ドレッキング<br>ケアンズ⇒関空(片道)<br>JetStar利用@27,000円                               |
| 7  | A           | 2015/07/31<br>~08/11 | 済  | 66 | 北海道<br>東北<br>関東                               | 神戸⇒教賀⇒小樽⇒函館⇒白神山⇒青森/ねぶた⇒弘前/ねぶた⇒奥入瀬渓谷⇒十和田湖⇒八幡平⇒平泉・中尊寺⇒会津若松⇒日光社寺⇒富岡製糸場⇒東京スカイツリー⇒横浜/角平そば⇒神戸                                                                                                                  | 0                | 2   | ○    | 0       | 234,208 | 11日 | 国内の世界遺産探訪                                                                                         |
| 8  | E           | 2016/04/20<br>~29    | 済  | 67 | ジンバブエ<br>ボツワナ<br>南アフリカ                        | 関空⇒ジンバブエ(ビクトリアの滝)⇒ボツワナ(サファリ/Chobe National Park)⇒南アフリカ(ケープタウン/喜望峯/ロベン島)⇒関空                                                                                                                               | 90,000           | 1   | X    | 90,000  | 179,223 | 9日  | チョベ国立公園・サファリ<br>VFA⇒CPT 航空券/3万円                                                                   |
| 9  | A           | 2016/07/03<br>~06    | 済  | 67 | 信州<br>北陸                                      | 神戸⇒犬山城⇒松本城⇒前橋(PET/CT)⇒軽井沢⇒善光寺⇒立山⇒金沢⇒丸岡城⇒永平寺⇒神戸                                                                                                                                                           | 0                | 2   | ○    | 0       | 179,223 | 5日  | メディカル・ツーリズム体験<br>前橋(PET+CT検査)=50,000円<br>国宝5名城巡り<br>善光寺/西国33カ所満願成就礼                               |
| 10 | A           | 2016/10/25<br>~26    | 済  | 67 | 長崎                                            | 神戸⇒長崎(長崎造船/グラバー邸/日本26聖人殉教の地/大浦天主堂)⇒大村湾(天正遣欧少年使節団像)⇒関空                                                                                                                                                    | 0                | 1   | X    | 0       | 179,223 | 2日  | 卓袱料理                                                                                              |
| 11 | A           | 2017/02/24<br>~3/3   | 済  | 67 | 香港<br>シンガポール<br>マレーシア                         | 関空⇒香港(孫達と面会)⇒シンガポール(ボタニック・ガーデン/セント・サ島)⇒マレーシア(マラッカ)⇒関空                                                                                                                                                    | 0                | 2   | ○    | 0       | 179,223 | 8日  | Marina Bay Sands Hotel(絶景!)                                                                       |
| 12 | A           | 2017/06/14<br>~06/15 | 済  | 68 | 山陽<br>山陰                                      | 神戸⇒備中松山城⇒石見銀山⇒松江城⇒神戸                                                                                                                                                                                     | 0                | 2   | ○    | 0       | 179,223 | 2日  | 国宝5名城巡りシリーズ<br>(姫路、犬山、松本、松江、彦根)                                                                   |
| 13 | C           | 2018/02/03<br>~02/21 | 済  | 68 | USA<br>メキシコ<br>キューバ<br>エクアドル<br>ポリビア<br>コロンビア | 関空⇒USA(サンフランシスコ)⇒メキシコ(グアナフアト銀山/カンクン・マヤ遺跡)⇒キューバ(歴史地区/ヘミングウェイ博物館)⇒エクアドル(ガラパゴス諸島/キト)⇒コロンビア(ボゴタ)⇒ポリビア(ウユ塩湖/ラ・パス)⇒メキシコ(メキシコ・シティ)⇒成田⇒横浜⇒羽田⇒関空                                                                  | 122,500          | 1   | X    | 122,500 | 145,223 | 19日 | 南北アメリカ大陸世界遺産(完)<br>飛行機遅延でボトシ銀山不訪<br>【家人の60000マイル加算】                                               |
| 14 | A           | 2018/05/31<br>~06/01 | 済  | 69 | 奈良                                            | 神戸⇒*葛井寺⇒唐招提寺(世界遺産)⇒薬師寺(世界遺産)⇒東大寺(世界遺産)⇒春日大社(世界遺産)⇒興福寺(世界遺産)⇒*南円堂⇒神戸                                                                                                                                      | 0                | 2   | ○    | 0       | 145,223 | 2日  | 奈良神社仏閣世界遺産探訪<br>*=西国33カ所                                                                          |
| 15 | A           | 2019/01/02           | 済  | 69 | 奈良                                            | 神戸⇒西大寺⇒秋篠寺⇒平城京跡(世界遺産)⇒法華寺⇒海龍王寺⇒神戸                                                                                                                                                                        | 0                | 2   | ○    | 0       | 145,223 | 1日  | 奈良神社仏閣世界遺産探訪                                                                                      |
| 16 | B           | 2019/05/24<br>~06/14 | 済  | 70 | 中欧<br>バルカン半島                                  | 関空⇒イタリア(ローマ)⇒クロアチア(ドブロブニク)⇒ギリシャ(アテネ⇒クルーゼンゲ⇒メテオラ)⇒ハンガリー(ブダペスト)⇒スロバキア(ブラチスラヴァ)⇒オーストリア(ウィーン)⇒ザルツブルグ⇒ハルシュタット⇒チェコ(プラハ)⇒ドイツ(ドレスデン⇒マイセン⇒ベルリン)⇒オランダ(アムステルダム)⇒デンマーク(コペンハーゲン)⇒関空                                   | 0                | 2   | ○    | 0       | 145,223 | 21日 | 中国国際航空利用(往復@62,570)                                                                               |
| 17 | D<br>F<br>G | 2019/08/22<br>~09/01 | 済  | 70 | タヒチ<br>ニュージーランド<br>中国                         | 関空⇒フランス領ポリネシア(タヒチ島/バベアテ/ボラボラ島/モレーア島)⇒ニュージーランド(オークランド)⇒中国(北京)⇒関空                                                                                                                                          | 30,000           | 2   | ○    | 60,000  | 107,055 | 11日 | UAマイルージ利用@3万マイル<br>+@¥14,000(空港利用税)                                                               |
| 18 | A           | 2020/11/9<br>~11/10  | 済  | 71 | 北陸                                            | 神戸⇒関ヶ原⇒伊吹山⇒一乗谷⇒永平寺⇒山中温泉⇒金沢⇒見附島⇒輪島⇒神戸                                                                                                                                                                     | 0                | 2   | ○    | 0       | 150,340 | 2日  | Go to Travel利用                                                                                    |
| 19 | A           | 2020/11/24           | 済  | 71 | 六甲・有馬                                         | 自宅⇒森林植物園⇒摩耶山⇒六甲ガーデンテラス⇒六甲山頂上(931.3m)⇒魚屋道⇒有馬温泉⇒自宅                                                                                                                                                         | 0                | 1   | X    | 0       | 150,340 | 1日  |                                                                                                   |

(次ページに続く)

| No                           | グループ   | 日程               | 進捗          | 年齢 | 方面                        | 行程 (世界遺産)                                                                  | 必要マイル         | 旅人数     | 家人同行 | 使用マイル   | マイル残高   | 期間  | 備考                                               |
|------------------------------|--------|------------------|-------------|----|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------|---------|------|---------|---------|-----|--------------------------------------------------|
| 20                           | A      | 2021/6/24        | 済           | 72 | 小豆島                       | 神戸港⇒小豆島⇒神戸港                                                                | 0             | 2       | ○    | 0       | 150,340 | 1日  |                                                  |
| 21                           | A      | 2021/11/05~06    | 済           | 72 | 四国古城巡り                    | 現存天守閣巡り:神戸⇒香川(丸亀城)⇒高知(高知城)⇒愛媛(宇和島城)⇒愛媛(松山城)⇒神戸                             | 0             | 2       | ○    | 0       | 150,340 | 2日  | 高知県「龍馬の休日」キャンペーン利用。5,000円キャッシュバック。               |
| 22                           | A      | 2022/03~06       | 済           | 73 | 神戸市内                      | 神戸歴史探訪                                                                     | 0             | 2       | ○    | 0       | 160,175 | 各1日 | コロナ禍                                             |
| 23                           | A      | 2022/06/28~6/29  | 済           | 73 | 西国三十三所①                   | ⑯清水寺⇒⑰六波羅密寺⇒⑱行願寺(草堂)⇒⑳頂法寺(六角堂)⇒㉑今熊野観音寺⇒㉒石山寺⇒㉓園城寺                           | 0             | 2       | ○    | 0       | 160,175 | 2日  | 京都府民割利用<br>クーポン4000円/2人でウィスキー購入                  |
| 24                           | A      | 2022/09/16~09/17 | 済           | 73 | 西国三十三所②                   | ㉔成相寺⇒㉕松尾寺⇒㉖宝厳寺(竹生島)⇒㉗観音正寺⇒㉘長命寺⇒㉙正法寺(岩間寺)⇒㉚善峯寺                              | 0             | 2       | ○    | 0       | 161,310 | 2日  | 滋賀県民割利用<br>クーポン8,000円/2人で近江牛購入                   |
| 25                           | A      | 2022/10/24~10/25 | 済           | 73 | 西国三十三所③                   | ㉛紀三井寺⇒㉜粉河寺⇒㉝施福寺⇒㉞壺阪寺⇒㉟岡寺⇒㊱長谷寺⇒㊲三室戸寺⇒㊳醍醐寺                                   | 0             | 2       | ○    | 0       | 162,865 | 2日  | 奈良県民割利用<br>クーポン4,000円/2人で焼肉食べ放題                  |
| 26                           | A      | 2022/12/01~12/02 | 済           | 73 | 西国三十三所④                   | ㊴中山寺⇒㊵勝尾寺⇒㊶穴太寺⇒㊷総持寺⇒奈良/飛鳥京探訪                                               | 0             | 2       | ○    | 0       | 164,050 | 2日  | 全国旅行支援利用<br>クーポン4,000円/2人で焼肉食放題                  |
| 27                           | A      | 2022/12/14       | 済           | 73 | 京都吉例<br>顔見世興行             | 神戸⇒京都錦市場⇒八坂神社⇒知恩院⇒京都南座顔見世⇒神戸⇒ルミネリエ                                         | 0             | 2       | ○    | 0       | 165,040 | 1日  | 人間国宝/片岡仁左衛門<br>人生やり残しシリーズ                        |
| 28                           | A      | 2023/02/26       | 済           | 73 | 大阪/難波宮                    | 神戸⇒森ノ宮⇒大阪歴史博物館⇒神戸                                                          | 0             | 1       | X    | 0       | 167,605 | 1日  | 前期難波宮(孝徳天皇)座学                                    |
| 29                           | A      | 2023/03/23       | 済           | 74 | 大相撲<br>大阪場所               | 神戸⇒大阪歴史博物館⇒エディオンアリーナ大阪(大相撲大阪場所)⇒難波⇒神戸                                      | 0             | 2       | ○    | 0       | 167,605 | 1日  | 人生やり残しシリーズ                                       |
| 30                           | A      | 2023/10/22       | 済           | 74 | 京都時代祭り                    | 神戸⇒京都(將軍塚/京都一周トレイル⇒時代祭り)⇒神戸                                                | 0             | 2       | ○    | 0       | 177,285 | 1日  | 人生やり残しシリーズ                                       |
| 31                           | A<br>F | 2024/02/24~03/04 | 済           | 74 | ベトナム<br>オーストラリア<br>シンガポール | 関空⇒ベトナム(ハノイ)⇒オーストラリア(メルボルン⇒ゴールドコースト⇒ブリスベン)⇒シンガポール⇒関空                       | 60,500        | 2       | ○    | 121,000 | 72,845  | 10日 | 10/20: 全(ホテル+飛行機)予約済                             |
| 32                           | A      | 2024/10/15~10/18 | 済           | 75 | 山口/大分/<br>佐賀/福岡           | 神戸⇒山口市⇒萩市⇒角島大橋⇒下関⇒宇佐神宮⇒耶馬溪⇒朝倉宮(白村江の戦い)⇒吉野ヶ里遺跡⇒大宰府⇒福岡市博物館(漢委倭国王/金印)⇒宗像大社⇒神戸 | 0             | 2       | ○    | 0       | 84,790  | 4日  | 世界遺産:『神宿る島』<br>宗像・沖ノ島と関連遺産群<br>「明治日本の産業革命遺産」萩城下町 |
| 33                           | A      | 2025/03/01~03/06 | 済           | 75 | ベトナム<br>インドネシア<br>シンガポール  | 関空⇒ベトナム(ホーチミン/旧サイゴン)⇒インドネシア(バリ島)⇒シンガポール⇒関空                                 | 35,000        | 2       | ○    | 70,000  | 14,790  | 6日  | 世界遺産:ウレンダヌバトゥール寺院<br>避寒/避花粉旅行                    |
| 34                           | A      | 2025/05/29       | 済           | 76 | 大阪/夢島                     | 神戸⇒EXPO2025⇒大阪⇒神戸                                                          | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 1日  | 感動:IPS心臓細胞                                       |
| 35                           | A      | 2025/10/05~10/10 | 済           | 76 | 佐賀/長崎/熊本<br>鹿児島/宮崎/大分     | 金婚旅行-九州一周<br>1975年新婚旅行路再訪(熊本⇒長崎/くんち⇒唐津)<br>1966年高校修学旅行路再訪(大分⇒熊本⇒宮崎⇒鹿児島)    | 0             | 2       | ○    | 0       | 43,405  | 6日  | 世界遺産:<br>長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産<br>明治日本の産業革命遺産      |
| 36                           | D      | 2026/03          | 計<br>画<br>中 | 77 | 台湾                        | 関空⇒台湾(台北)⇒関空                                                               | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 5日  | 第4ビジネス故国(台湾)御礼行脚<br>飛行機/ホテル予約済                   |
| 37                           | A      | 2026/05          | 計<br>画<br>中 | 77 | 京都/葵祭                     | 神戸⇒京都⇒神戸                                                                   | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 2日  |                                                  |
| 38                           | A      | 2026/07          | 計<br>画<br>中 | 77 | 北海道                       | 神戸⇒千歳空港⇒稚内⇒礼尻島⇒礼文島⇒旭川⇒大雪国立公園⇒苫小牧⇒千歳空港⇒神戸                                   | 7,000         | 2       | ○    | 28,000  | 18,900  | 5日  | 世界遺産:青森/北海道の縄文遺跡<br>飛行機/ホテル/レンタカー予約済             |
| 39                           | A      | 2026/11          | 計<br>画<br>中 | 77 | 浜坂かに祭り                    | 神戸⇒コウノトリの里⇒玄武洞⇒城崎温泉⇒浜坂かに祭り⇒神戸                                              | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 1日  |                                                  |
| 40                           | D      | 2027/05          | 計<br>画<br>中 | 78 | 韓国                        | 関空⇒韓国(ソウル)⇒関空                                                              | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 5日  | 第2ビジネス故国(韓国)御礼行脚                                 |
| 41                           | A      | 2027/09          | 計<br>画<br>中 | 78 | 岐阜/長野/富山                  | 神戸⇒㉔華厳寺⇒上高地⇒黒部溪谷⇒神戸                                                        | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 2日  | 華厳寺=西国三十三所巡礼/最終寺                                 |
| 42                           | A      | 2028/05          | 計<br>画<br>中 | 79 | 大阪/古墳陵墓群                  | 神戸⇒百舌島・古市古墳群⇒河内磯長陵墓群⇒神戸                                                    | 0             | 2       | ○    | 0       | 0       | 2日  | 世界遺産「百舌島・古市古墳群」                                  |
| 43                           | A      | 2028/10          | 計<br>画<br>中 | 79 | 熊本/長崎                     | 神戸⇒熊本⇒長崎⇒神戸                                                                | 6,000         | 1       | X    | 12,000  | 6,900   | 4日  |                                                  |
| 旅の楽しみ=計画・実施・回顧(1粒で3度美味しい作業!) |        |                  |             |    |                           |                                                                            | 更新 2026-02-26 | 利用マイル合計 |      | 893,500 |         |     |                                                  |

浜の真砂は尽きるとも、世に霧旅(きりよ)の種は尽きまじ



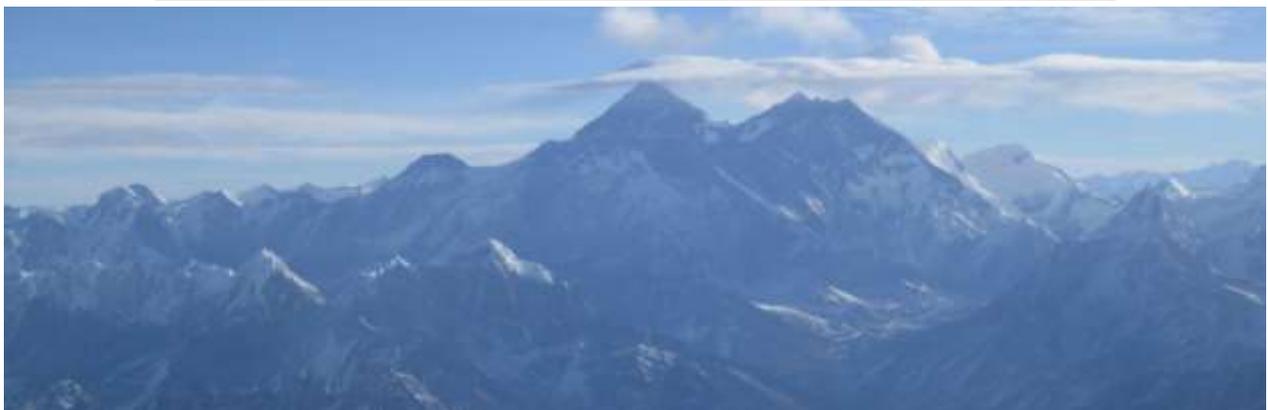
キンデルダイク=エルスハウトの風車群、オランダ、2005年5月

## (添付3) 旅程表&行程図

### (3-1) 南アジア/東南アジア (2013/02/28~03/15)

| <b>Survival Notes / 旅程一目瞭然表</b>                                 |     |                |                                                                |                             |
|-----------------------------------------------------------------|-----|----------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| <b>Nepal/India/Sri Lankan/Thailand/Cambodia, Feb.-Mar. 2013</b> |     |                |                                                                |                             |
| Date                                                            |     | Flight No      | Flight Schedule                                                | Fare                        |
|                                                                 |     | Country        | Arrival City                                                   | 世界遺産/観光                     |
| 28-Feb                                                          | Thu | SQ615          | KIX(2330)-SIN(0535)                                            | (UA MILEAGE )<br>25000miles |
| 1-Mar                                                           | Fri | TG402<br>TG319 | SIN(0815)-BKK(0935 )<br>BKK(1030)-KTM(1245)                    |                             |
| 2-Mar                                                           | Sat | Nepal          | Kathmandu                                                      | エベレスト遊覧飛行                   |
| 3-Mar                                                           | Sun |                |                                                                | カトマンズの谷                     |
| 4-Mar                                                           | Mon | 9W263          | KTM(0840)-DEL(1015)                                            |                             |
| 5-Mar                                                           | Tue | India          | Delih                                                          | デリー旧市街                      |
| 6-Mar                                                           | Wed |                |                                                                | タージマハール/アーグラ城               |
| 7-Mar                                                           | Thu | UL196          | DEL(1850)-CMB(2225)                                            |                             |
| 8-Mar                                                           | Fri | Sri Lanka      | Colombo                                                        | コロombo歴史地区                  |
| 9-Mar                                                           | Sat |                | Colombo(0700)-Kandy<br>(0934)<br>Kandy(1535)-<br>Colombo(1808) | 聖地キャンディ<br>( Railway+Bus)   |
| 10-Mar                                                          | Sun | 9W255          | CMB(2115)-BOM(2350)                                            |                             |
| 11-Mar                                                          | Mon | 9W62<br>PG0913 | BOM(0155)-BKK(0740)<br>BKK(1355)-REP(1455)                     |                             |
| 12-Mar                                                          | Tue | Cambodia       | Siam Reap                                                      | アンコールワットの遺跡群                |
|                                                                 |     | PG0908         | REP(1945)-BKK(2040)                                            |                             |
| 13-Mar                                                          | Wed | Thai           | Bangkok                                                        | バンコック歴史地区                   |
| 14-Mar                                                          | Thu | FD2915         | BKK(1800)-KUL(2050)                                            |                             |
| 15-Mar                                                          | Fri | D7532          | KUL(0100)-KIX(0825)                                            |                             |

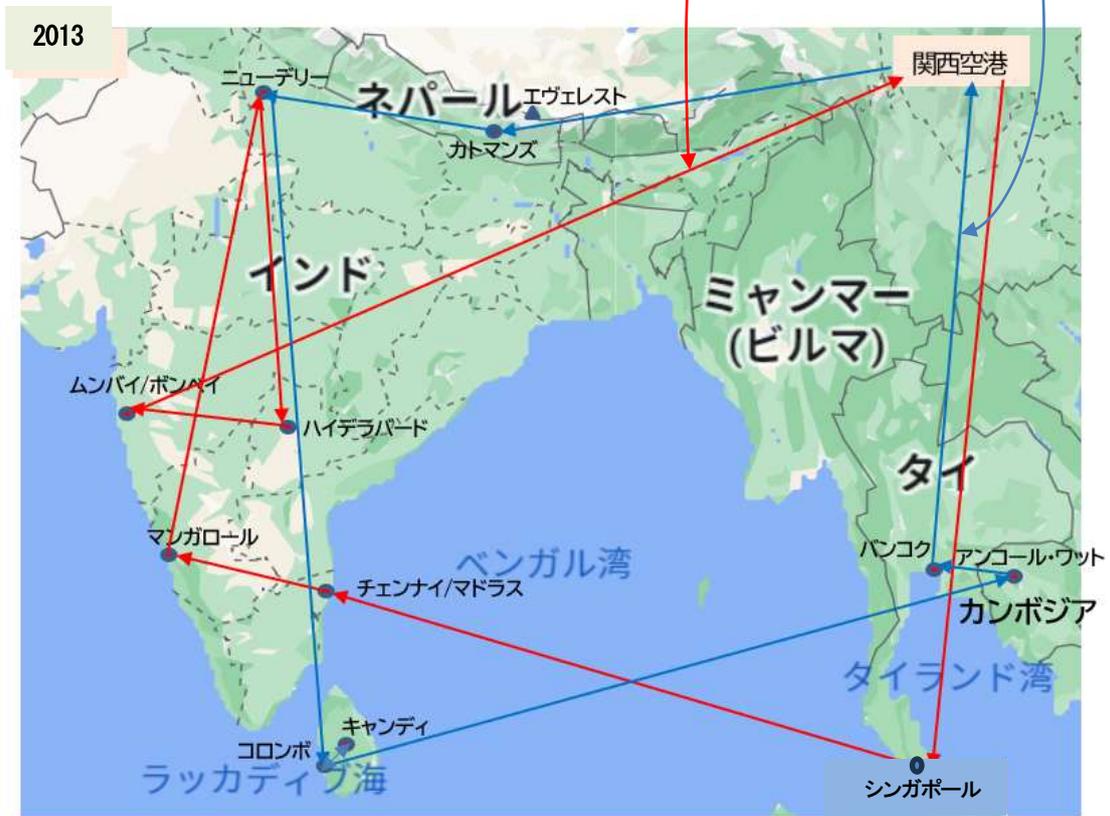
| Airlines              | Airports       |                          |
|-----------------------|----------------|--------------------------|
| FD= Air Asia          | KIX= Kansai    | REP= Siam Reap           |
| 9W= Jet Airways       | SIN= Singapore | KUL= Kuala Lumpur        |
| UL= Srilankan Airline | BKK= Bangkok   | BOM= Mumbai/Bombay       |
| SQ= Singapore Airline | KTM= Kathmans  | DMK= Don Meuang /Bangkok |
| TG= Thai Airways      | DEL= Dehli     |                          |
| PG= Bangkok Airline   | CMB= Colombo   |                          |



エベレスト、ネパール、2013年3月

(3-1-1) 南アジア/東南アジア・行程図 (2013/02/28~03/15)

インド/シンガポール・行程図 (海外出張：1997/11)



アンコール・ワット、カンボジア、2013年3月

## (3-2) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ (2013/06/15～07/20)

### Survival Notes / 旅程一目瞭然表

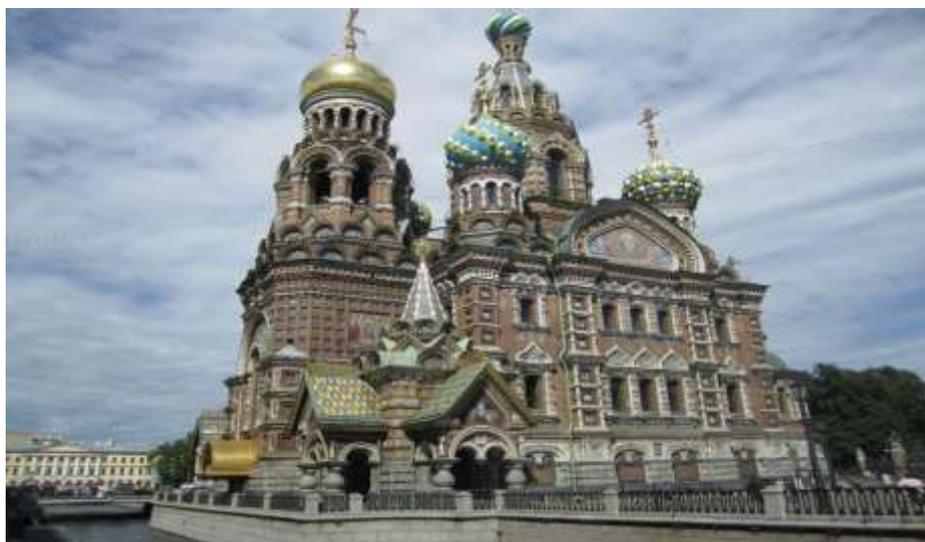
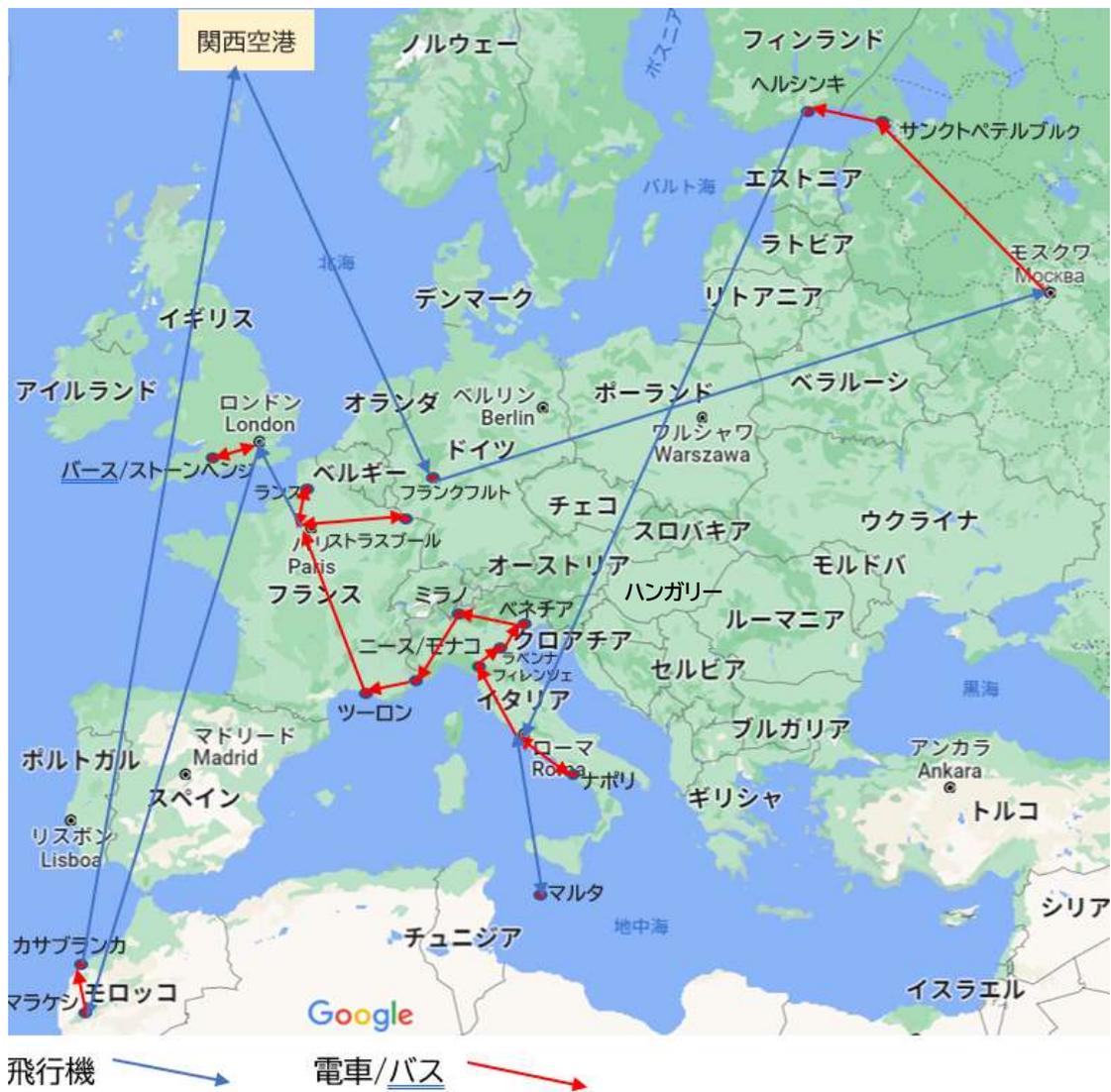
**Germany / Russia / Finland / Italy / Malta / France / England / Morocco, 15 June ~20 July 2013**

| 2013   |     | Flight No<br>Country           | R<br>A | Flight Schedule<br>Arrival City                                                        | Booking. No/<br>世界遺産                                                              |
|--------|-----|--------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 15-Jun | Sat | LH741<br>Germany               |        | KIX (1000) - FRA (1450)<br>Frankfurt (Transit)                                         | (Mileage) @45000Miles                                                             |
| 16-Jun | Sun | ( Railway)<br>LH822<br>SK734   |        | Frankfurt (0547) - FRA(0557) 10分毎<br>FRA (0710)-CPH (0835 )<br>CPH (0935)-SVO (1355)   | ライン川                                                                              |
| 17-Jun | Mon |                                |        | Russia                                                                                 | クレムリンと赤の広場                                                                        |
| 18-Jun | Tue |                                |        | Moscow                                                                                 | モスクワ歴史地区/クルーズ                                                                     |
| 19-Jun | Wed | 152AA                          |        | Moscow ( 0645 ) - Petersburg (1035)                                                    | P/O 74284860020476/480                                                            |
| 20-Jun | Thu |                                |        | Russia                                                                                 | エルミタージュ美術館                                                                        |
| 21-Jun | Fri |                                |        | St. Petersburg (22878-3409934)                                                         | パレー・白鳥の湖/Mikhailovsky                                                             |
| 22-Jun | Sat |                                |        | St. Petersburg                                                                         | サンクトペテルブルグ歴史地区                                                                    |
| 23-Jun | Sun | 151Allegro                     |        | St. Petersburg(0640)-Helsinki(0916)                                                    | P/O 1493017468164                                                                 |
| 24-Jun | Mon |                                |        | Finland                                                                                | スオメンリンナ要塞                                                                         |
| 25-Jun | Tue | AB8311<br>AB8270<br>( Railway) |        | HEL ( 0640 ) -TXL ( 0740 )<br>TXL ( 0925)-FCO ( 11:30 )<br>Rome ( 0735 ) -Napoli(0845) | 4UCF34/NA<br>4UCF34/07E & D<br>Piazza Garibaldi                                   |
| 26-Jun | Wed |                                |        | Italy                                                                                  | ポンペイの考古地区                                                                         |
| 27-Jun | Thu |                                |        | ( Railway)                                                                             | Pompei-Napoli (25Min)                                                             |
| 28-Jun | Fri |                                |        | Italy                                                                                  | ナポリの歴史地区                                                                          |
| 29-Jun | Sat |                                | 1      | ( Railway)                                                                             | Napoli(1700)-Rome(1810)                                                           |
| 30-Jun | Sun |                                |        | Italy                                                                                  | ローマ歴史地区                                                                           |
| 1-Jul  | Mon |                                |        | (Railway)                                                                              | Rome(0822)-Fiumicino(0853)                                                        |
| 2-Jul  | Tue |                                |        | KM613                                                                                  | FCO ( 1100 ) - MAR ( 1225 )                                                       |
| 3-Jul  | Wed |                                |        | Malta                                                                                  | Marta                                                                             |
| 4-Jul  | Thu |                                |        | KM612                                                                                  | MAR ( 0835 ) -FCO ( 1000 )                                                        |
| 5-Jul  | Fri |                                |        | ( Railway)                                                                             | Fiumicino ( 1108 ) -Termini ( 1140 )                                              |
| 6-Jul  | Sat |                                |        | Italy                                                                                  | フィレンツェの歴史地区                                                                       |
| 7-Jul  | Sun |                                |        | ( Railway)                                                                             | 3 Firenze (0729)-Ravenna (1002)                                                   |
| 8-Jul  | Mon |                                |        | Italy                                                                                  | Ravenna                                                                           |
| 9-Jul  | Tue |                                |        | ( Railway)                                                                             | 3 Ravenna (1333)-Bologna ( 1454)                                                  |
| 10-Jul | Wed |                                |        | Italy                                                                                  | Venice                                                                            |
| 11-Jul | Thu |                                |        | ( Railway)                                                                             | 4 Venice ( 0650 ) -Milano ( 0925 )                                                |
| 12-Jul | Fri |                                |        | Italy                                                                                  | Milano                                                                            |
| 13-Jul | Sat |                                |        | ( Railway)                                                                             | 5 Milano ( 0705 ) -Ventimiglia (1107/1147)-                                       |
| 14-Jul | Sun |                                |        | France                                                                                 | Monaco                                                                            |
| 15-Jul | Mon |                                |        | Nice                                                                                   | モナコ                                                                               |
| 16-Jul | Tue |                                |        | ( Railway)                                                                             | 6 Nice (1334)-Paris Lyon (1911)                                                   |
| 17-Jul | Wed |                                |        | France                                                                                 | Paris                                                                             |
| 18-Jul | Thu |                                |        | ( Railway)                                                                             | 7 Paris East (0625)-Strasbourg (0852)                                             |
| 19-Jul | Fri |                                |        | France                                                                                 | Strasbourg                                                                        |
| 20-Jul | Sat |                                |        | ( Railway)                                                                             | 7 Strasbourg (1201)-Reims (1413)                                                  |
| 21-Jul | Sun |                                |        | France                                                                                 | Reims                                                                             |
| 22-Jul | Mon |                                |        | ( Railway)                                                                             | 7 Reims(1753)-Paris(1901)                                                         |
| 23-Jul | Tue |                                |        | France                                                                                 | Paris                                                                             |
| 24-Jul | Wed |                                |        | ( Railway)                                                                             | 8 Paris Nord (0820)-Amine (0930)<br>Amine (1200)-Paris (1330)-Fontainebleau(1500) |
| 25-Jul | Thu |                                |        | France                                                                                 | Paris                                                                             |
| 26-Jul | Fri |                                |        | EJ2432                                                                                 | Paris Gaulle 2D (0850)-London Luton (0900)                                        |
| 27-Jul | Sat |                                |        | England                                                                                | London                                                                            |
| 28-Jul | Sun |                                |        | England                                                                                | Outskirts of London                                                               |
| 29-Jul | Mon |                                |        | EJ8893                                                                                 | London Gatwick (1645)-Marrakech (1930)                                            |
| 30-Jul | Tue |                                |        | Morocco                                                                                | Marrakech                                                                         |
| 31-Jul | Wed |                                |        | ( Railway)                                                                             | Marrakech (1100)-Casa Voyageurs (1420)                                            |
| 1-Aug  | Thu |                                |        | Morocco                                                                                | Casablanca                                                                        |
| 2-Aug  | Fri |                                |        | TK618                                                                                  | CMN (1430)-IST (2105)                                                             |
| 3-Aug  | Sat |                                |        | TK46                                                                                   | IST (0050)-KIX (1755)                                                             |

| Airlines       |                   |
|----------------|-------------------|
| LH=Lufthansa   | KM=Marta Air      |
| SK=Scandinavia | TK=Turkey Airline |
| AB=Air Berlin  | EJ=EasyJet        |

| Airports       |              |               |                |
|----------------|--------------|---------------|----------------|
| KIX = Kansai   | SVO=Moslv    | FCO=Rome      | IST=Istanbul   |
| FRA=Frankfurt  | HEL=Helsinki | MAR=Marta     | CMN=Casablanca |
| CPH=Copenhagen | TXL=Berlin   | CMN=Marrakech |                |

(3-2-1) 西ヨーロッパ/ロシア/モロッコ・行程図  
(2013/06/15～07/20)



サント・ペテルブルグ、ロシア、2013年6月  
血の上の救世主教会 (アレクサンドル2世暗殺現場)

### (3-3) 中米/南米 (2014/03/02~03/15)

| <b>Survival Notes/旅程表</b>                                         |     |           |                                       |                        |
|-------------------------------------------------------------------|-----|-----------|---------------------------------------|------------------------|
| <b>Turkey/Argentina/Panama/Peru/Dominica, 2 Mar.-14 Mar. 2014</b> |     |           |                                       |                        |
| 2014                                                              |     | Flight No | Flight Schedule                       | E-Ticket No            |
|                                                                   |     | Country   | Arrival City                          | 世界遺産                   |
| 2-Mar                                                             | Sun | TK47      | KIX ( 2320 ) -IST(0545) --13:25       | イスタンブール歴史地区            |
| 3-Mar                                                             | Mon | LH1301    | IST (1745) - FRA(1955) --3:20         | アヤソフィア博物館              |
| 4-Mar                                                             | Tue | LH510     | FRA (2205) - EZE(0805) --14:00        |                        |
|                                                                   |     | Argentina | Buenos Aires                          | ブエノスアイレス歴史地区           |
| 5-Mar                                                             | Wed | AR2720    | AEP(1100)-IGR(1245)                   | イグアスの滝                 |
|                                                                   |     | AR1737    | IGR(1640)-AEP(1825)                   |                        |
| 6-Mar                                                             | Thu | Argentina | Buenos Aires Outskirts (1000 ~ 1900 ) | ガウチョ・ツアー<br>アルゼンチン・タンゴ |
| 7-Mar                                                             | Fri | CM453     | EZE ( 0114 ) - PTY ( 0622) --07:08    | パナマ歴史地区<br>ミラフローレス水門   |
|                                                                   |     | CM337     | PTY ( 2106)-LIM(0043) -- 03:37        |                        |
| 8-Mar                                                             | Sat | AV831     | LIM ( 0610 ) - CUZ ( 0730 ) -- 1:20   | オリヤンタイタンボ遺跡            |
|                                                                   |     | Peru      | Ollantaytambo                         |                        |
| 9-Mar                                                             | Sun | Railway   | ONT(0507)-MAP(0634)                   | マチュピチュ遺跡               |
|                                                                   |     | Peru      | Machu Picchu                          |                        |
|                                                                   |     | Railway   | MAP(1520)-CUZ(1905)                   |                        |
| 10-Mar                                                            | Mon | Peru      | Cusco                                 | クスコ旧市街                 |
| 11-Mar                                                            | Tue | AV830     | CUZ(0805)-LIM(0930) -- 01:25          | リマ旧市街                  |
|                                                                   |     | CM132     | LIM(1637)-PTY(2014) -- 03:37          |                        |
|                                                                   |     | CM448     | PTY(2130)-SDQ(0051) -- 02:21          |                        |
| 12-Mar                                                            | Wed | Dominika  | Santo Domingo                         | サントドミンゴ歴史地区            |
| 13-Mar                                                            | Thu | UA1473    | SDQ(1210)-EWR(1617)---4:07            |                        |
|                                                                   |     | LH403     | EWR(1910)-FRA(0745)---7:35            |                        |
| 14-Mar                                                            | Fri | LH740     | FRA(1345)-KIX(0826)=15-Mar            |                        |

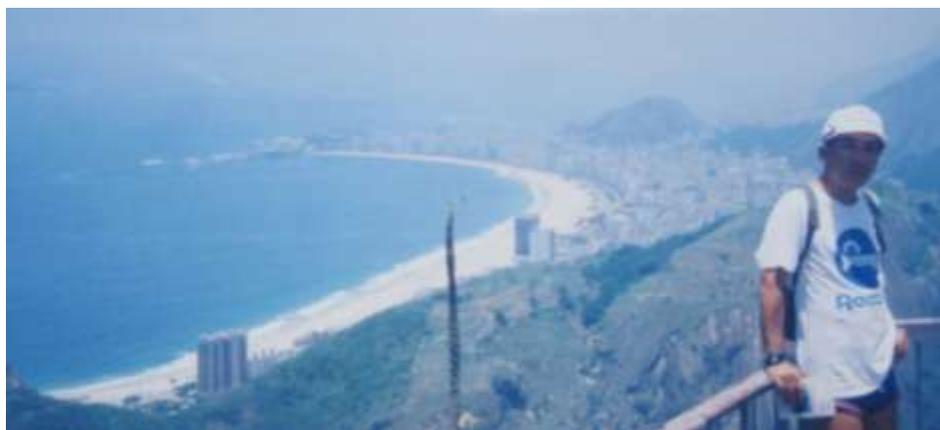
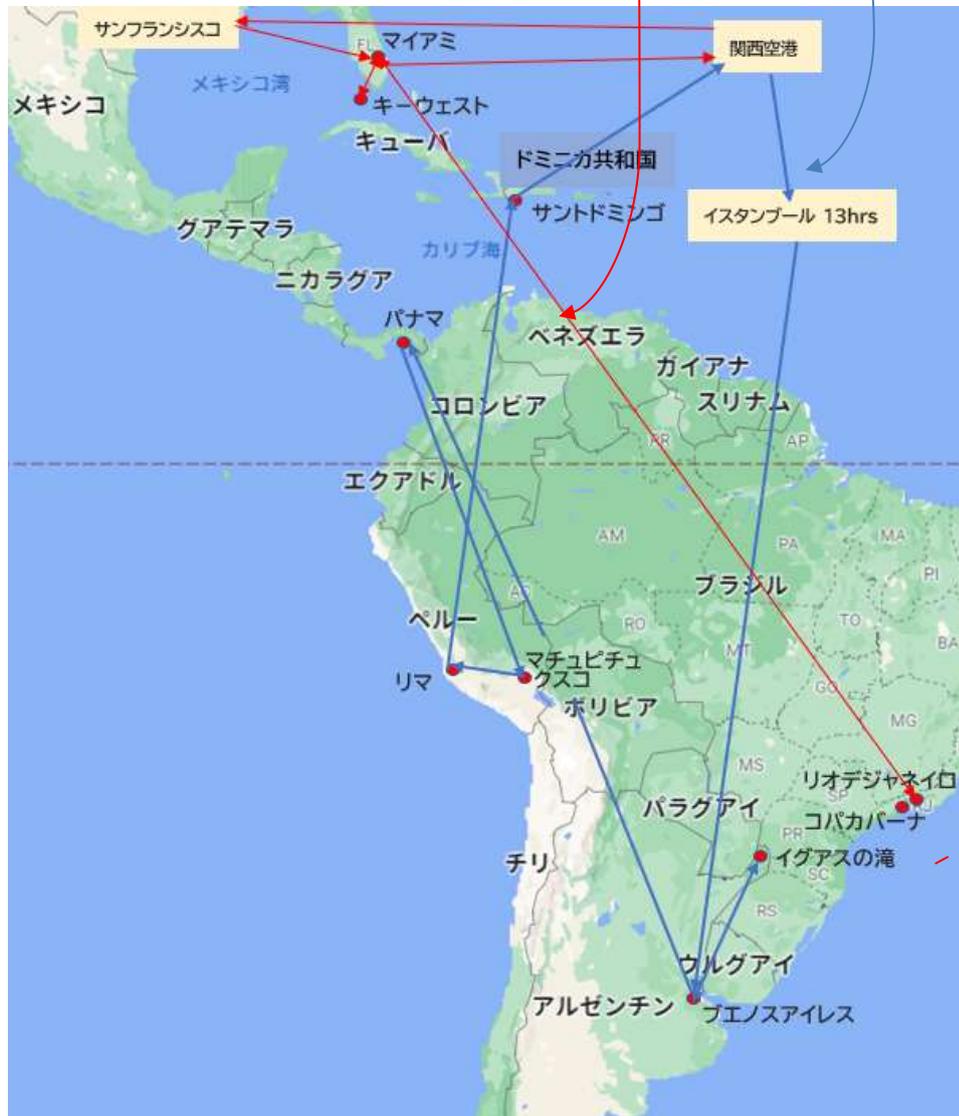
| Airlines            | Railway Stations   | Airports                  |                     |
|---------------------|--------------------|---------------------------|---------------------|
| CM=Copa Airline     | MAP = Machu Picchu | FRA= Frankfurt            | CUZ = Cusco         |
| TK=Turkish Airlines | ONT=Ollantaytambo  | IST=Istanbul              | LIM = Lima          |
| LH= Lufthansa       | CUZ=Cusco          | AEP= Buenos Domestic      | PTY = Panama        |
| AV=Avianca          |                    | IGR= Iguassu Argentine    | SDQ = Santo Domingo |
| AR= Argentina       |                    | EZE= Buenos International | KIX= Kansai         |
|                     |                    |                           | EWR= Newark, USA    |



マチュピチュ、ペルー、2014年3月

(3-3-1) 中米/南米・行程図 (2014/03/02~03/15)

北米/南米・行程図 (1997/11/05~23)



ボン・デ・アスーカル山頂よりコパカバーナ海岸、リオ・デ・ジャネイロ、ブラジル、1997年11月

### (3-4) 中国～シルクロード(2014/08/29～09/09)

| Survival Notes / 旅程一目瞭然表   |     |                 |                                                    |                        |
|----------------------------|-----|-----------------|----------------------------------------------------|------------------------|
| China, 29 Aug.-9 Sep. 2014 |     |                 |                                                    |                        |
| 2014                       |     | Flight No       | Flight Schedule                                    | 世界遺産<br>歴史地区           |
|                            |     | Country         | Arrival City                                       |                        |
| 29-Aug                     | Fri | NH159<br>CA1201 | KIX ( 1000 ) -PEK(1215 )<br>PEK(1420)-XIY(1630)    |                        |
| 30-Aug                     | Sat | China           | Xian ( 西安 )                                        | 空海の風景<br>大雁塔/青龍寺/南門/鐘樓 |
| 31-Aug                     | Sun | China           | Xian ( 西安 )                                        | 兵馬俑/清華地                |
| 1-Sep                      | Mon | China           | Xian ( 西安 )<br>西安北⇄洛陽龍門                            | 龍門石窟                   |
| 2-Sep                      | Tue | China           | Xian ( 西安 )                                        | 西安歴史地区<br>城壁/回族街/鼓樓    |
| 3-Sep                      | Wed | CZ6896          | XIY(1325 ) -DNH(1550 )                             |                        |
| 4-Sep                      | Thu | China           | Dunhuang ( 敦煌 )                                    | 鳴沙山/月牙泉<br>ラクダキャラバン    |
| 5-Sep                      | Fri | China           | Dunhuang ( 敦煌 )                                    | 莫高窟                    |
| 6-Sep                      | Sat | CZ6896          | DNH(1640)-URC(1800)                                |                        |
| 7-Sep                      | Sun | China           | Urumqi ( 烏魯木齊 )                                    | 新疆ウイグル博物館              |
| 8-Sep                      | Mon | China           | Urumqi ( 烏魯木齊 )                                    | 紅山公園/バザール              |
| 9-Sep                      | Tue | CA1296<br>CA161 | URC ( 1010 ) - PEK(1335 )<br>PEK(1625) - KIX(2030) |                        |

| Airlines           | Airports        |                   |
|--------------------|-----------------|-------------------|
| CA= China Airline  | KIX = Kansai/関空 | DNH = Dunhuang/敦煌 |
| NH= Nippon Airways | PEK = Beijin/北京 | URC = Urumqi/ウルムチ |
| CZ= China Southern | XIY = Xi an/西安  |                   |



莫高窟、敦煌、中国、2014年9月

(3-4-1) 中国～シルクロード・行程図 (2014/08/29～09/09)

中国/瀋陽 (旧奉天) & 北京出張・行程図 (1997/12/07～12/14)



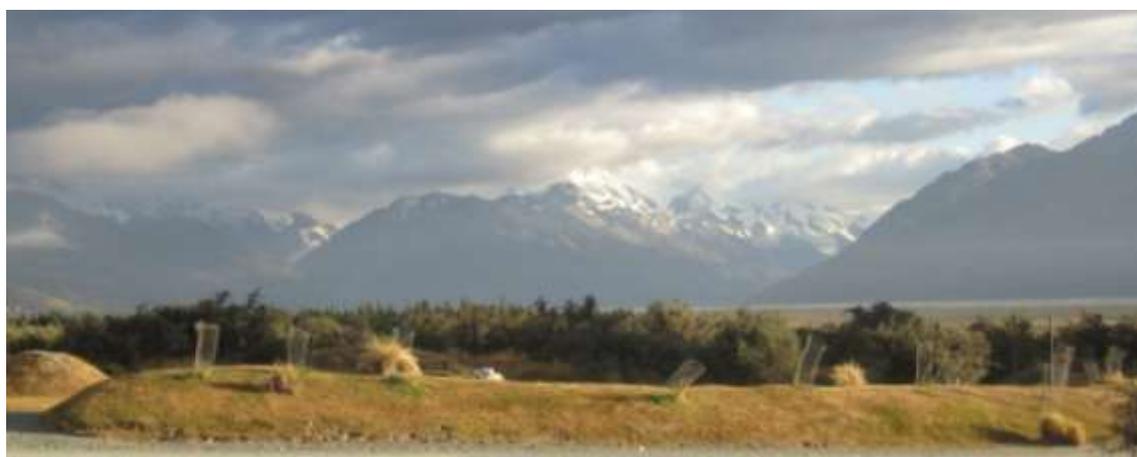
秦始皇兵馬俑、西安、中国、2014年9月

### (3-5) ニュージーランド/オーストラリア (2015/02/23~03/09)

#### Survival Notes / 旅程一目瞭然表 Australia & New Zealand, 2015

| 2015   |     | Flight No                   | Flight Schedule                                                                                     | E-Ticket No (Seat No)          |
|--------|-----|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
|        |     | Country                     | Arrival City                                                                                        | 世界遺産/観光                        |
| 23-Feb | Mon | TG673<br>(Transit)<br>TG491 | KIX(0030)-BKK(0500) --06hr30 (32A/B)<br>(13hrs45min)-----><br>BKK(1845)-AKL(1205) -- 11hr20 (33H/J) | バンコックの歴史地区<br>暁の寺院             |
| 24-Feb | Tue | NZ647                       | AKL(1415)-ZQN (1605) --01hr50<br>Checkout ( 1630 ) -168km-TeAnau(1900)                              | 0162407476935/6<br>N99G6Y      |
| 25-Feb | Wed | New Zealand                 | Te Anau                                                                                             | ミルフォード・サウンド<br>フィヨルドランド国立公園    |
| 26-Feb | Thu | New Zealand                 | Te Anau                                                                                             | トレッキング                         |
| 27-Feb | Fri | Rent a car                  | Te Anau (0800)-Queenstown(1000)                                                                     | クイーンズタウン                       |
| 28-Feb | Sat | Rent a car                  | Queenstown(0800)-Rob Roy Glacier<br>Track(0900/1200)-Lake Tekapo(17:00)                             | ロブ・ロイ氷河トラック                    |
| 1-Mar  | Sun | New Zealand                 | Lake Tekapo                                                                                         | フッカー・バレー・トラック<br>マウントクック国立公園   |
| 2-Mar  | Mon | Rent a car                  | Lake Tekapo (0800)-Christchurch(1200)<br>Check-in (1630)                                            | クライスチャーチ郊外観光                   |
| 3-Mar  | Tue | New Zealand                 | Christchurch                                                                                        | クライスチャーチ市内観光                   |
| 4-Mar  | Wed | JQ140                       | CHC(0635)-SYD(0805)----3hrs30mim                                                                    | D8ZIPS(9D/E)<br>シドニー市内観光       |
| 5-Mar  | Thu | Australia                   | Sydney                                                                                              | ブルーマウンテン<br>07:00~13:00--@AU70 |
| 6-Mar  | Fri | TT676                       | SYD(0725)-CNS(0930)----2hrs5min                                                                     | T83NNZ(8E/F)--Terminal 2       |
| 7-Mar  | Sat | Australia                   | Cairns                                                                                              | グレートバリアリーフ                     |
| 8-Mar  | Sun | Australia                   | Cairns                                                                                              | 温潤熱帯地域                         |
| 9-Mar  | Mon | JQ15                        | CNS(1100)-KIX(1725)----7hrs25mim                                                                    | ZFMTGN(44E/F)                  |

| Airlines             | Airports         |                    |
|----------------------|------------------|--------------------|
| TG = Thai Airways    | KIX = Kansai     | CHC = Christchurch |
| NZ = Air New Zealand | BKK = Bangkok    | SYD = Sydney       |
| JQ = JetStar         | AKL = Auckland   | CNS = Cairns       |
| TT = TigerAir        | ZNQ = Queenstown |                    |



Mt. Cook National Park、ワナカ、ニュージーランド、2015年2月

(3-5-1) ニュージーランド/オーストラリア・行程図  
(2015/02/23~03/09)



グレート・バリア・リーフ、ケアンズ、オーストラリア、2015年2月

(3-6) アフリカ (2016/04/20~04/29)

| Survival Notes / 旅程一目瞭然表                |     |                          |                                                                                                        |                                             |
|-----------------------------------------|-----|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| Botswana, South Africa & Zimbabwe, 2016 |     |                          |                                                                                                        |                                             |
| 2016                                    |     | Flight No                | Flight Schedule+Duration/Seat No                                                                       | 世界遺産/観光地                                    |
|                                         |     | Country                  | Arrival City                                                                                           |                                             |
| 20-Apr                                  | Wed | LH741<br>LX1077<br>LX288 | KIX(1005)-FRA(1445)---11:40/35G<br>FRA(2045)-ZRH(2145)---01:00/XXX<br>ZRH(2245)-JNB(0915)*---10:30/31B |                                             |
| 21-Apr                                  | Thu | SA40                     | JNB(1050)-VFA(1230)---01:40/18A                                                                        |                                             |
| 22-Apr                                  | Fri | Zimbabwe                 | Victoria Falls                                                                                         | ヴィクトリア滝                                     |
| 23-Apr                                  | Sat | Botswana                 | Chobe National Park                                                                                    | チヨベ国立公園<br>( サファリ )<br>(0715-1700)          |
| 24-Apr                                  | Sun | BA6282<br>MN131          | VFA(1355)-JNB(1535)---01:40<br>JNB(1805)-CPT(2015)---02:10                                             |                                             |
| 25-Apr                                  | Mon |                          | Cape Town                                                                                              | テーブル・マウンテン                                  |
| 26-Apr                                  | Tue | South Africa             | Cape Town                                                                                              | 喜望峰<br>( Cape of Good Hope )<br>(0745-1200) |
| 27-Apr                                  | Wed |                          | Cape Town                                                                                              | ロベン島<br>(1100-1430)                         |
| 28-Apr                                  | Thu | ET828<br>ET672           | CPT(0900)-ADD(1740)---07:40/12J<br>ADD(2255)-HKG(1325)*---09:55/12J                                    |                                             |
| 29-Apr                                  | Fri | NH874                    | HKG(1520)-KIX(2000)---03:40/25C                                                                        |                                             |

| Airlines                | Airports             |                 |
|-------------------------|----------------------|-----------------|
| LH = Lufthansa          | KIX = Kansai         | HKG=Hong Kong   |
| SA = South Africa       | FRA = Frankfurt      | ADD=Addis Ababa |
| ET = Ethiopian Airlines | JNB = Johannesburg   | CPT= Capetown   |
| LX= Swiss Air           | VFA = Victoria falls | ZRH=Zurich      |



喜望峰、南アフリカ、2016年4月

(3-6-1) アフリカ 行程図 (2016/04/20~04/29)



ケープタウン、南アフリカ、2016年4月

(3-7) 北米/中米/南米 (2018/02/03~02/21)

| <b>Survival Notes/旅程一目瞭然表</b>                                 |     |                           |                                                                                |                             |                                     |
|---------------------------------------------------------------|-----|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| <b>USA, Mexico, Cuba, Ecuador, Colombia and Bolivia, 2018</b> |     |                           |                                                                                |                             |                                     |
| 2018                                                          |     | Flight No                 | Flight Schedule (Layover) +Seat No                                             | Ticket No<br>Ref. No        | 世界遺産<br>歴史地区                        |
|                                                               |     | Country                   | Arrival City                                                                   |                             |                                     |
| 3-Feb                                                         | Sat | UA34                      | KIX(1810)-SFO(1050)=09h40 (14h10)+34C                                          | 016234068<br>6809<br>BCWEW9 | サンフランシスコ                            |
| 4-Feb                                                         | Sun | UA1200<br>UA6118          | SFO(0054)-IAH(0632)=03h38 (03h21)+12C<br>IAH(0950)-BJX(1211)=02h21 (Final)+11A |                             | グアナファト 銀山                           |
| 5-Feb                                                         | Mon | Valaris638<br>Interjet904 | BJX(0720)-CUN(1049)T2=02h29(03h51)+3C<br>CUN(1450)-HAV(1605)=01h15(Final)+12B  | G3K9MI<br>R6W5FS            | (移動)                                |
| 6-Feb                                                         | Tue | Cuba                      | Havana                                                                         |                             | ハバナ歴史地区<br>慶長遣欧使節<br>(支倉常長像)        |
| 7-Feb                                                         | Wed | Interjet905               | HAV(1655)-CUN(1815)=01h10(Final)+12B                                           | R6W5FS                      | ヘミングウェイの館                           |
| 8-Feb                                                         | Thu | Mexico                    | Cancun                                                                         | AM7:10                      | カンクン                                |
| 9-Feb                                                         | Fri |                           | Cancun (BR-624891557)                                                          |                             | チチェン<br>・ イツァ遺跡                     |
| 10-Feb                                                        | Sat | AV265                     | CUN(2026)-BOG(2351)=3h25(8h29)+XX                                              | 016234079<br>2420<br>B18LG4 | (移動)                                |
| 11-Feb                                                        | Sun | AV8371<br>AV1688          | BOG(0814)-UIO(0957)=01h43(03h50)+XX<br>UIO(1347)-GPS(1501)=01h14(Final)+XX     |                             | ガラパゴス諸島                             |
| 12-Feb                                                        | Mon | Ecuador                   | Galapagos                                                                      |                             | ガラパゴス諸島                             |
| 13-Feb                                                        | Tue | Ecuador                   | Galapagos                                                                      |                             | ガラパゴス諸島                             |
| 14-Feb                                                        | Wed | AV1689                    | GPS(1125)-UIO(1305)=03h40(17h20)+XX                                            | 016234079<br>3448<br>B1X1DH | キト(2850m)                           |
| 15-Feb                                                        | Thu | AV8374<br>AV247           | UIO(1125)-BOG(1305)=01h40(11h19)+XX<br>BOG(0109)-LPB(0600)=03h41(Final)+XX     |                             | ボゴタ(2640m)                          |
| 16-Feb                                                        | Fri | Z8300                     | LPB(0710)-UYU(0810)=01h00(Final)+XX                                            | P5SRV                       | ポトシ銀山(4070m)<br>(エンジントラブルで<br>探訪不能) |
| 17-Feb                                                        | Sat | Bolivia                   | Uyuni                                                                          | AM9:00                      | ウユニ塩湖(3700m)                        |
| 18-Feb                                                        | Sun | Z8 301                    | UYU(0825)-LPB(0910)=00h45(Final)+XX                                            | XHLACR                      | ラ・パス(3650m)                         |
| 19-Feb                                                        | Mon | AV246<br>AV72             | LPB(0335)-BOG(0617)=03h42(02h12)+XX<br>BOG(0829)-MEX(1210)=04h41(12h50)+8A     | 016234787<br>2852<br>HRZS4R | メキシコ・シティ                            |
| 20-Feb                                                        | Tue | NH179                     | MEX(0100)-NRT(0635)=14h35(08h25)+23C                                           |                             | 横浜・角平の天つけ                           |
| 21-Feb                                                        | Wed | NH3825                    | HND(1510)-KIX(1635)=1h25(Final)+23C                                            |                             | (帰国)                                |

| (Airlines)   | (Airports)                                                  |
|--------------|-------------------------------------------------------------|
| AV Avianca   | BJX = Guanajuato (Del Bajío), Mexico<br>KIX = Kansai, Japan |
| NH ANA       | BOG = Bogota, Colombia<br>LPB = La Paz, Bolivia             |
| OB Boliviana | CBB = Cochabamba, Bolivia<br>MEX = Mexico City              |
| UA United    | CUN = Cancun, Mexico<br>NRT = Narita, Japan                 |
| Z8 Amazonas  | GPS = Baltra, Galapagos, Ecuador<br>POI = Potosi, Bolivia   |
| XX Interjet  | HAV = Havana, Cuba<br>SFO = San Francisco, USA              |
| XX Valaris   | HND = Haneda, Japan<br>UIO = Quito, Ecuador                 |
|              | IAH = Houston, USA<br>UYU = Uyuni, Bolivia                  |

(3-7-1) 北米/中米/南米・行程図 (2018/02/03~02/21)



チェツエン遺跡、カンクン、メキシコ、2018年4月

### (3-8) 中欧&バルカン半島 (2019/05/24~06/14)

| Survival Notes / 旅程一目瞭然表                                                                                       |     |                     |                                                                                                                                                                     |                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| Hinerary for Italy, Croatia, Greece, Hungary, Slovakia, Austria, Czech, Germany, Netherlands and Denmark, 2019 |     |                     |                                                                                                                                                                     |                                                                            |
| 2019                                                                                                           |     | Flight No           | Flight Schedule (Layover) +Seat No                                                                                                                                  | 世界遺産                                                                       |
|                                                                                                                |     | Country             | Arrival City                                                                                                                                                        | 歴史地区                                                                       |
| 24-May                                                                                                         | Fri | CA162<br>CA939      | KIX(0900)T1-PEK(1120)T3=03h20(02h20)+18K/J<br>PEK(1340)T3-FCO(1855)T3=11h45(Final)+51F/H                                                                            |                                                                            |
| 25-May                                                                                                         | Sat | Italy               | Rome                                                                                                                                                                | コロッセオ、フォロロマーノ<br>トレビ、スペイン、ボボロ<br>エマヌエル2世記念堂、<br>カンピドーリオの丘<br>マリア・マッジョーレ大聖堂 |
| 26-May                                                                                                         | Sun | VY6736              | Roma(0830)-FCO(0900)<br>FCO(1055)T3-DBV(1215)=01h20+25D/E(Final)                                                                                                    |                                                                            |
| 27-May                                                                                                         | Mon | Croatia             | Dubrovnik                                                                                                                                                           | 城壁周遊、ピレ門<br>聖母被昇天大聖堂<br>ブラツァ通                                              |
| 28-May                                                                                                         | Tue | OU300               | DBV(1535)-ATH(1815)=01h40+19A/C                                                                                                                                     |                                                                            |
| 29-May                                                                                                         | Wed | Greece              | Athene                                                                                                                                                              | バルテノン神殿<br>古代アゴラ、ゼウス神殿<br>ハドリアノス神殿                                         |
| 30-May                                                                                                         | Thu | Greece              | Athene<br>Cruise                                                                                                                                                    | エーゲ海クルーズ<br>イドラ、エギナ、ボロス島                                                   |
| 31-May                                                                                                         | Fri | Greece              | Athene<br>Athens(0720)-Kalambaka(1131/1715)-Athens(2125)                                                                                                            | メテオラの修道院群                                                                  |
| 1-Jun                                                                                                          | Sat | Greece              | Athene                                                                                                                                                              | リカピイトスの丘<br>国立考古学博物館<br>中央市場                                               |
| 2-Jun                                                                                                          | Sun | A3876               | Syntagma(0540)-Airport(0618)<br>ATH(0815)-BUD(0915)T2A(Final)                                                                                                       | ブタベスト、くさり橋、王宮の丘、漁夫の砦、英雄広場                                                  |
| 3-Jun                                                                                                          | Mon | RAIL                | Budapest-Nyugati(0540)-Bratislava hl.st.(0803)<br>Bratislava hl.st.(1038)-Wien(1144)                                                                                | ブラチスラバ、旧市街<br>シェーンブルン宮殿                                                    |
| 4-Jun                                                                                                          | Tue | Austria             | Wein                                                                                                                                                                | 王宮、オペラ座、シュテファン寺院、美術史博物館、<br>ヘルベエデーレ宮殿                                      |
| 5-Jun                                                                                                          | Wed |                     | Wein(0530)-Salzburg(0754/1519)<br>-Bad Ischl(1647/1815)-<br>Steeg/Hallstätter See Au(1837)                                                                          | ザルツブルグ<br>ザルツカンマーグート<br>バートイシユル                                            |
| 6-Jun                                                                                                          | Thu | Austria<br>Rail+Bus | Steeg/Hallstätter See Au ( 0838 )<br>-Hallstatt Römische(0853)<br>Hallstatt(1057)-Obertraun Dachsteinseilbahn(1112)<br>Obertraun Dachsteinseilbahn(1600)-Wien(1952) | ハルシュタット<br>オーバートラウン、STギルゲン、ツバルバーホルン山<br>Five fingers、<br>ダッハシュタイン氷河        |
| 7-Jun                                                                                                          | Fri | RAIL                | Wien(0639)P9-Praha hl. n(1042)<br>Praha(2032)-Dresden(2243)                                                                                                         | ブラハ城、カレル橋、天文時計、旧市街、パーツラフ広場                                                 |
| 8-Jun                                                                                                          | Sat | Germany             | Dresden-Meissen                                                                                                                                                     | ドレスデン、ツィンガ-宮殿、陶磁器博物館、<br>アルテ・マイスター美術館、<br>聖十字架教会、君主の行列<br>マイセン博物館          |
| 9-Jun                                                                                                          | Sun | RAIL                | Dresden(0644)-Berlin Zoologischer Garten(0856)                                                                                                                      | カイザー・ブエヘルム教会、ブランデンブルグ門、<br>ベルリン大聖堂、ベルガモ博物館<br>ドイツ歴史博物館                     |
| 10-Jun                                                                                                         | Mon | EJU<br>4563         | Berlin Zoologischer Garten/P5(0738)-SXF(0829)<br>SXF(1030)-AMS(1200)+8AB                                                                                            | 王宮、新教会、歴史博物館                                                               |
| 11-Jun                                                                                                         | Tue | Holland             | Amsterdam                                                                                                                                                           | ゴッホ美術館<br>アムステルダム国立美術館<br>アンネハウス+ウォーク                                      |
| 12-Jun                                                                                                         | Wed | SK548               | AMS(1450)-CPH(1625) T3-1h20(Final)                                                                                                                                  |                                                                            |
| 13-Jun                                                                                                         | Thu | Denmark             | Copenhagen                                                                                                                                                          | 人魚の像<br>ローゼンボーグ宮殿<br>ニューハウ運河<br>クリスチャンボー宮殿<br>チボリ                          |
| 14-Jun                                                                                                         | Fri | D83730<br>CA940     | Copen (05:27)-CPH(05:40)<br>CPH(0725)T2-FCO(1000)T3=02h35+8BC<br>FCO(2055)T3-PEK(1250)T3=09h55(03h35)51F/H                                                          | サン・ピエトロ大聖堂<br>バチカン美術館<br>システイナ礼拝堂<br>サンタンジェロ城                              |
| 15-Jun                                                                                                         | Sat | CA161               | PEK(1715)T3-KIX(2120)T1=03h05(Final)+18K/J                                                                                                                          |                                                                            |

(3-8-1) 中欧&バルカン半島・行程図 (2019/05/24~06/14)



15回目のヨーロッパ

- 鉄道
- 飛行機
- バス
- ↔ クルーズ

(3-9) 南太平洋、フランス領ポリネシア (2019/08/22~09/01)

タヒチ島/モーレア島/ボラボラ島+オークランド&北京

**Survival Notes / 旅程一目瞭然表**

**French Polynesia, New Zealand and China, 2019**

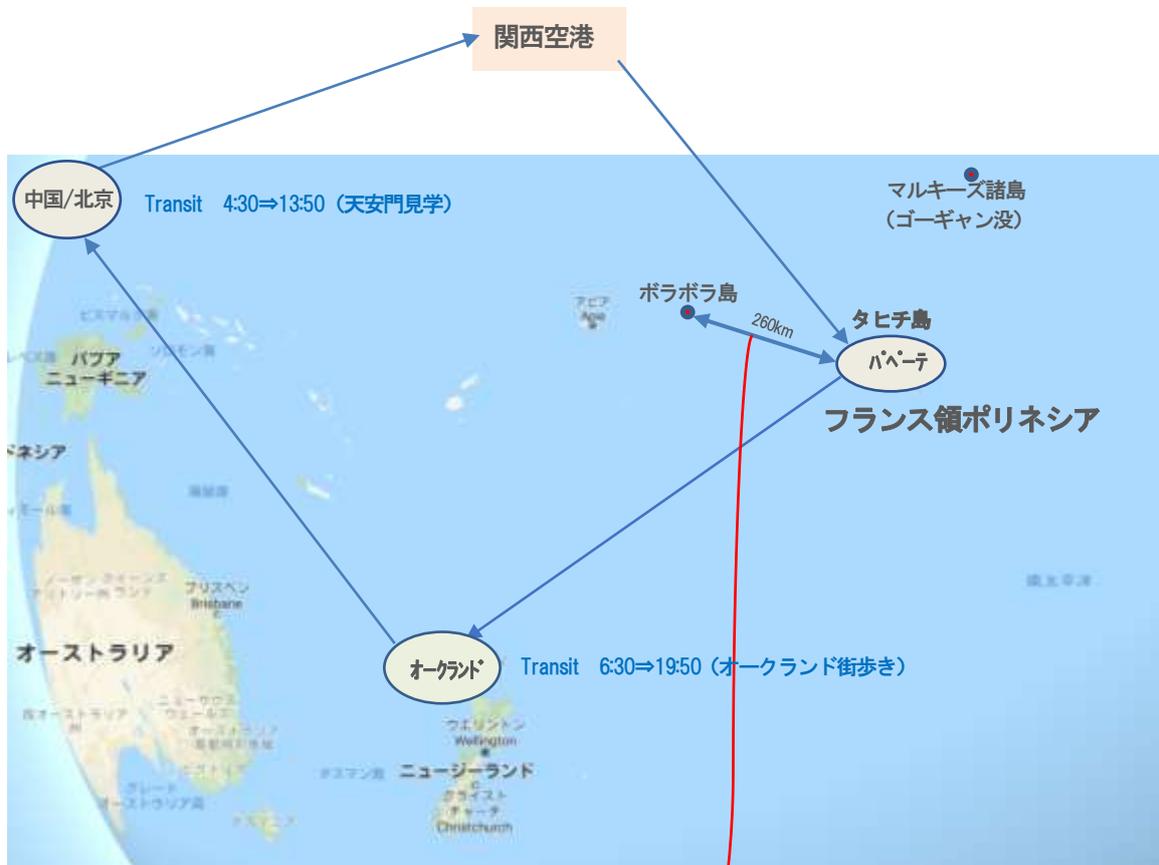
| 2019   |     | Flight No      | Flight Schedule= Time (Layover) +Seat No                                                                                      | 世界遺産<br>歴史地区                      |
|--------|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
|        |     | Country        | Arrival City                                                                                                                  |                                   |
| 22-Aug | Thu | TG623<br>TG475 | KIX(1145)-BKK(1535)=05h50 (03h45)+76AB<br>BKK(1920)-SYD(0720)=09h00 (04h35)+69JK                                              | ( 出国 )                            |
| 23-Aug | Fri | NZ104<br>NZ42  | SYD(1155)-AKL(1700)=03h05 (01h10)+41KJ<br>AKL(2100)-PPT(0309)=04h6 (Final)+48DE<br>18:40(Sarah Nui Hotel)⇒Tahiti Show⇒22 : 00 | パペーテ市内<br>Tahitian Dinner<br>Show |
| 24-Aug | Sat | Polynesia      | Papeet                                                                                                                        | パペーテ市内                            |
| 25-Aug | Sun | Polynesia      | Papeet                                                                                                                        | モーレア島                             |
| 26-Aug | Mon | VT431          | PPT(1215)-【RFP】-BOB(1340)---14 : 00                                                                                           | ボラボラ島                             |
| 27-Aug | Tue | Polynesia      | Bola Bola ( レンタカー=09 : 30 ~ 16 : 30 )                                                                                         | ボラボラ島1周                           |
| 28-Aug | Wed | VT265          | BOB(1150)-【MOZ】-PPT(1305)---10 : 00                                                                                           | パペーテ                              |
| 29-Aug | Thu | Polynesia      | Papeet                                                                                                                        | タヒチ島 1周                           |
| 30-Aug | Fri | NZ43           | PPT(0350)-AKL(0728)=05h55(13h00)*+57EF                                                                                        | オークランド(13H)                       |
| 31-Aug | Sat | CA784          | AKL(1952)-PEK(0459)=13h07(09h20)*+55DE                                                                                        | 北京(9H20)                          |
| 1-Sep  | Sun | ZH9055         | PEK(1350)-KIX(1750)=03h00(Final)+15BC                                                                                         | ( 帰国 )                            |

| Airlines |           | Airports                |               |
|----------|-----------|-------------------------|---------------|
| CA       | Air China | AKL= Auckland           | PPT = Papeete |
| NZ       | N.Zealand | BOB= Bora Bora          | PVG= Shanghai |
| TG       | Thai      | KIX = Kansai, Japan, T2 | RFP= Raitea   |
| VT       | Tahiti    | MOZ= Moorea             | SYD= Sydney   |
| ZH       | Shenzhen  | PEK = Beijing, China T3 |               |



タヒチアン・ダンスショー、タヒチ島、フランス領ポリネシア (南太平洋) 、2019年8月

(3-9-1) フランス領ポリネシア・行程図 (2019/08/22~09/01)



フランス領ポリネシア/ソシエテ諸島巡り

(フランス領ポリネシア=ソシエテ、オーストラル、ツアモツ、カンピエ、マルケサス各諸島)

### (3-10) イスラエル&ヨルダン行程図 (2020/05/31~06/07)

【コロナ禍/渡航断念】



#### 【新型コロナウイルス蔓延】

- 2020-03-09 韓国、入国禁止
- 2020-03-10 中国、入国禁止
- 2020-03-17 ヨルダン、入国禁止
- 2020-03-18 イスラエル、入国禁止、2020-04-08 出国禁止

#### 【ハマス⇒イスラエルを攻撃】

- 2023-10-7 ハマス、イスラエルへ数 1000 発のロケット発射
- 2023-10-20 ガザとイスラエルで死者約 4,500 人

### (3-11) 欧州アルプス 3 名峰 (2000/07/14~07/23)

| Survival Notes / 旅程一目瞭然表            |               |               |                                                |                                            |
|-------------------------------------|---------------|---------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| Swiss & France, July 14 to 23, 2000 |               |               |                                                |                                            |
| 2000                                | Flight No     | Arrival City  | 世界遺産/観光                                        |                                            |
| 14-Jul                              | Fri           | LH741         | Kansai (0940)-Frankfurt (1435)                 | LH ( ルフトハンザ )                              |
|                                     |               | IC505         | Frankfurt (1556)-Basel (1846)                  | ドイツ鉄道                                      |
|                                     |               | EC97          | Basel (1851)-Baden (1943)                      | スイス鉄道                                      |
| 15-Jul                              | Sat           | Swiss         | Baden                                          | チューリッヒ市内観光                                 |
| 16-Jul                              | Sun           | Swiss Railway | Baden (0743)-Zurich (0800)                     | ルツェルン観光                                    |
|                                     |               |               | Zurich (0835)-Luzern (0925)                    |                                            |
|                                     |               |               | Luzern (1234)-Bern (1356)                      | 首都ベルン世界遺産                                  |
|                                     |               |               | Bern (1530)-Interlaken (1626)                  |                                            |
| 17-Jul                              | Mon           | Swiss         | Interlaken                                     | グリンデルワルト                                   |
| 18-Jul                              | Tue           | 2455          | Interlaken OST ( 0712 ) -Meiringen ( 0753 )    | ポストバス峠越え                                   |
|                                     |               | PostBus       | Meiringen ( 0910 ) -Oberwald ( 1045 )          | マイリンゲン⇒オーバーワルト                             |
|                                     |               | 901           | Oberwald ( 1204 ) -Zermatt ( 1443 )            | Glacier Express ( 氷河特急 )<br>オーバーワルト⇒チェルマット |
| 19-Jul                              | Wed           | Swiss         | Zermatt                                        | マッターホルン眺望                                  |
| 20-Jul                              | Thu           | Swiss France  | Zermatt ( 0710 ) -Brig ( 0833 )                | エギーユ・デュ・ミディ<br>ロープウェイ<br>モンブラン眺望           |
|                                     |               |               | Brig ( 0924 ) -Martigny ( 1013 )               |                                            |
|                                     |               |               | Martigny ( 1052 ) -Chamonix/MontBlanc ( 1216 ) |                                            |
|                                     |               |               | Chamonix/MontBlanc ( 1500 ) -Martigny ( 1633 ) |                                            |
|                                     |               |               | Martigny ( 1713 ) -Lausanne ( 1759 )           |                                            |
| 21-Jul                              | Fri           | Swiss         | Lausanne                                       | シオン城                                       |
| 22-Jul                              | Sat           | IR1707        | Lausanne (0510)-Basel (0738)                   | スイス/ドイツ鉄道                                  |
|                                     |               | IC600         | Basel (0813)-Frankfurt (1102)                  |                                            |
|                                     |               | LH740         | Frankfurt (1325)-Kansai (0740)                 | LH ( ルフトハンザ )                              |
|                                     | Kansai (0740) |               |                                                |                                            |
| 23-Jul                              | Sun           |               |                                                |                                            |



フィルスト山トレッキング、グリンデルワルト、スイス、2000年7月



① マッターホルン&ゴルナーグラート展望台 (スイス)

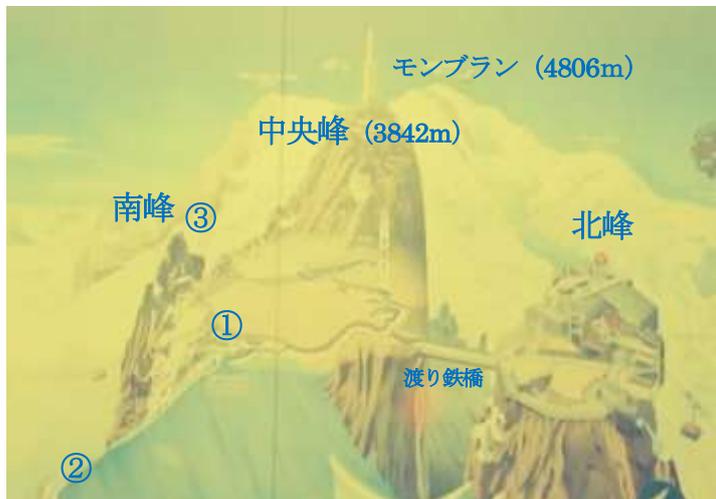


② モンブラン&エギーユ・デュ・ミディ (フランス)



エギーユ・デュ・ミディ、2000年7月

## エギーユ・デュ・ミディの登山者 (フランス)



「エギーユ・デュ・ミディ3峰」



### (3-12) 過去利用のパッケージツアー

#### ① イタリア行程図

(1996/1/14～1/21)



#### ② エジプト行程図

(2008/3/11～3/21)



#### ③ トルコ行程図

(2009/6/11～6/18)



#### ④ スペイン&ポルトガル行程図

(2010/7/10～7/23)



過去利用のパッケージツアー

| 順 | 訪問年月    | 年齢 | 対ドル  | 訪問国           | 日数 | 旅行代金/人 |
|---|---------|----|------|---------------|----|--------|
| ① | 1996年1月 | 46 | 108円 | イタリア          | 8  | 14万円   |
| ② | 2008年3月 | 58 | 97円  | エジプト          | 10 | 18万円   |
| ③ | 2009年6月 | 59 | 97円  | トルコ           | 8  | 13万円   |
| ④ | 2010年7月 | 60 | 86円  | スペイン<br>ポルトガル | 14 | 23万円   |

## (3-13) ベトナム、オーストラリア&シンガポール

(2024/2/24~3/5)

| Survival Notes / 旅程一目瞭然表                                          |           |                      |                                                                                                        |             |                                                        |
|-------------------------------------------------------------------|-----------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------------------------------------|
| Itinerary for Vietnam, Australia & Singapore, Feb. 24~Mar.4, 2024 |           |                      |                                                                                                        |             |                                                        |
| 2024                                                              | WEEK      | Flight No            | Flight Schedule= Time (Layover) : Seat No                                                              | Confirm No  | 世界遺産                                                   |
|                                                                   |           | Country              | Arrival City                                                                                           | Ref. No     | 観光地                                                    |
| 24-Feb                                                            | Sat       | VJ939                | KIX(0920)-HAN(1305)=05h45(Final) : 28B/C                                                               | KI=K7NH45   | 空港⇄ホテル<br>タクシー予約済                                      |
| 25-Feb                                                            | Sun       | Vietnam              | Hanoi                                                                                                  | MI=3C64AR   | (世界遺産)タンロン王城遺跡<br>ホーチミン廟/Hanoi Train Street            |
| 26-Feb                                                            | Mon       | Vietnam              | Hanoi                                                                                                  | 8:00 pickup | (世界遺産)ハロン湾                                             |
| 27-Feb                                                            | Tue       | SQ191                | HAN(1235)-SIN(1715)=03h40(0205) : 49G/E                                                                | 27.5K       | 移動                                                     |
| 28-Feb                                                            | Wed       | SQ247                | SIN(1920)-MEL(0545)=07h25(Final) : 49G/E                                                               | C4HWTK      | (世界遺産)王立展示場<br>カールトンガーデンズ<br>サウスメルボルンマーケット             |
| 29-Feb                                                            | Thu       | Australia            | Melbourne                                                                                              |             | メルボルン<br>市内観光                                          |
| 1-Mar                                                             | Fri       | JQ432                | MEL(1110)-OOL(1215)=02h05(Final) : 7B/C                                                                | JHCZSV      | 空港⇒ Surfers Paradise<br>(バスとトラム=1.5時間)                 |
| 2-Mar                                                             | Sat       | Australia            | Gold Coast                                                                                             |             | ゴールドコースト                                               |
| 3-Mar                                                             | Sun       | SQ246                | Gold Coast -(Helensvate)-Brisbane<br>BNE(2325)-SIN                                                     | 33K         | ゴールドコースト→(1時間)<br>ブリスベン (12:00→20:00)<br>(2032年オリンピック) |
| 4-Mar                                                             | Mon       | SQ622                | <del>BNE(2325)→SIN(0505)</del> = 07 h 40(09h00) :<br>49G/E<br>SIN(1405)-KIX(2110)=06h05(Final) : 49G/E | C5VJ 7 T    | シンガポール街歩き<br>途中下機 (7時間40分)                             |
| (Airlines)                                                        |           | (Airports)           |                                                                                                        |             |                                                        |
| SQ                                                                | Singapore | KIX = Kansai, Japan  | MEL = Melborne, Australia                                                                              |             |                                                        |
| JQ                                                                | Jetstar   | HAN = Hanoi, Vietnam | BNE = Brisbane, Australia                                                                              |             |                                                        |
| VJ                                                                | VietJet   | SIN = Singapore      | OOL = Gold Coast, Australia                                                                            |             |                                                        |



初代マーライオン、シンガポール、1994年5月



現マーライオン、シンガポール、2024年3月  
(マリーナベイ・サンズ、2011年2月オープン)

### (3-13-1) ベトナム、オーストラリア、シンガポール行程図

(2024/2/24~3/5)

### パース会議、オーストラリア行程図 (2003/01/11~1/19)



ゴールド・コースト、オーストラリア、2024年02月

### (3-14) 山口&九州北部 (2024/10/15~10/18)

| 2024   | 曜日 | 行程                                  | 世界遺産<br>史跡&観光地                 |
|--------|----|-------------------------------------|--------------------------------|
| 10月15日 | 火  | 神戸⇒山口県庁前藩庁門跡⇒萩市⇒角島大橋⇒道の駅/蜚街道西ノ市     | 山口県庁<br>松下村塾<br>萩城下町           |
| 10月16日 | 水  | 道の駅/蜚街道西ノ市⇒下関講和記念館⇒下関前田砲台跡⇒宇佐神宮⇒湯布院 | 下関講和記念館<br>下関前田砲台跡<br>宇佐神宮     |
| 10月17日 | 木  | 湯布院⇒耶麻溪⇒朝倉宮/白村江の戦⇒吉野ヶ里遺跡⇒大宰府天満宮⇒博多  | 耶馬溪<br>朝倉宮<br>吉野ヶ里遺跡<br>大宰府天満宮 |
| 10月18日 | 金  | 博多⇒福岡市博物館(金印)⇒宗像神社⇒神戸               | 福岡市博物館<br>(漢委奴国王金印)<br>宗像神社    |

#### (3-14-1) 山口&九州北部 行程図





### (3-16) 金婚旅行、九州一周 (2025/10/5~10)

| Survival Notes / 旅程一目瞭然表       |                                          |                                                 |
|--------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 佐賀、長崎、熊本、鹿児島、宮崎、2025年10月5日~10日 |                                          |                                                 |
| 日程                             | 行程                                       | 世界遺産/観光地                                        |
| 10月5日                          | 日 神戸⇒唐津⇒伊万里(泊)                           | 菜畑遺跡、唐津城、名護屋城跡                                  |
| 10月6日                          | 月 伊万里⇒平戸⇒相浦⇒佐世保⇒<br>⇒西海橋⇒長崎(泊)           | 平戸城、松浦資料博物館、オランダ商館、九十九島観光公園、ジャパネットタカタ、亀山社中跡     |
| 10月7日                          | 火 長崎くんち(AM7:00~9:30)<br>長崎(泊)            | 諏訪神社(長崎くんち)、眼鏡橋、旧グラバー邸、大浦天主堂、中華街、オランダ坂、出島、長崎造船所 |
| 10月8日                          | 水 長崎⇒雲仙⇒島原⇒(フェリー)⇒<br>熊本⇒えびの高原⇒霧島⇒鹿児島(泊) | 思案橋、料亭花月、雲仙、熊本城、えびの高原、霧島神宮                      |
| 10月9日                          | 木 鹿児島⇒日南⇒青島⇒日向(泊)                        | 西郷隆盛洞窟、城山公園展望台、磯庭園(仙巖園)、旧集成館射炉跡、鶴戸神宮、青島神宮       |
| 10月10日                         | 金 日向⇒高千穂⇒阿蘇⇒やまなみハイウェイ⇒神戸                 | 高千穂峡、高千穂神社、草千里、長者原                              |

新婚旅行(1975年10月、熊本/長崎)

高校修学旅行(1965年10月、大分/熊本/宮崎/鹿児島)

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 思い出のスカイライン(歌:三鷹淳)   | 坊がつる讃歌(歌:芹洋子)   |
| 峠越えれば高原の 山の青さが目にしみる | 四面(しめん)山なる 坊がつる |
| 歌おようあの歌 思い出の        | 夏はキャンプの 火を囲み    |
| 山のあなたの空遠く 幸い住むと人のいう | 夜空を仰ぐ 山男        |
| ああ霧島の山に来て 我が青春は遙かなり | 無我を悟は この時ぞ      |
| 《えびの高原を歌った曲》        | 《九重山を歌った曲》      |



阿蘇三山(やまなみハイウェイ外輪山より)、熊本、2025年10月

(3-16-1) 金婚旅行、九州一周行程图



### (3-16-2) 高校修学旅行、今昔5景

(写真：左 2025 年 10 月、右 1965 年 10 月)



青島海岸 鬼の洗濯板、宮崎



磯御殿、仙巖園、鹿児島



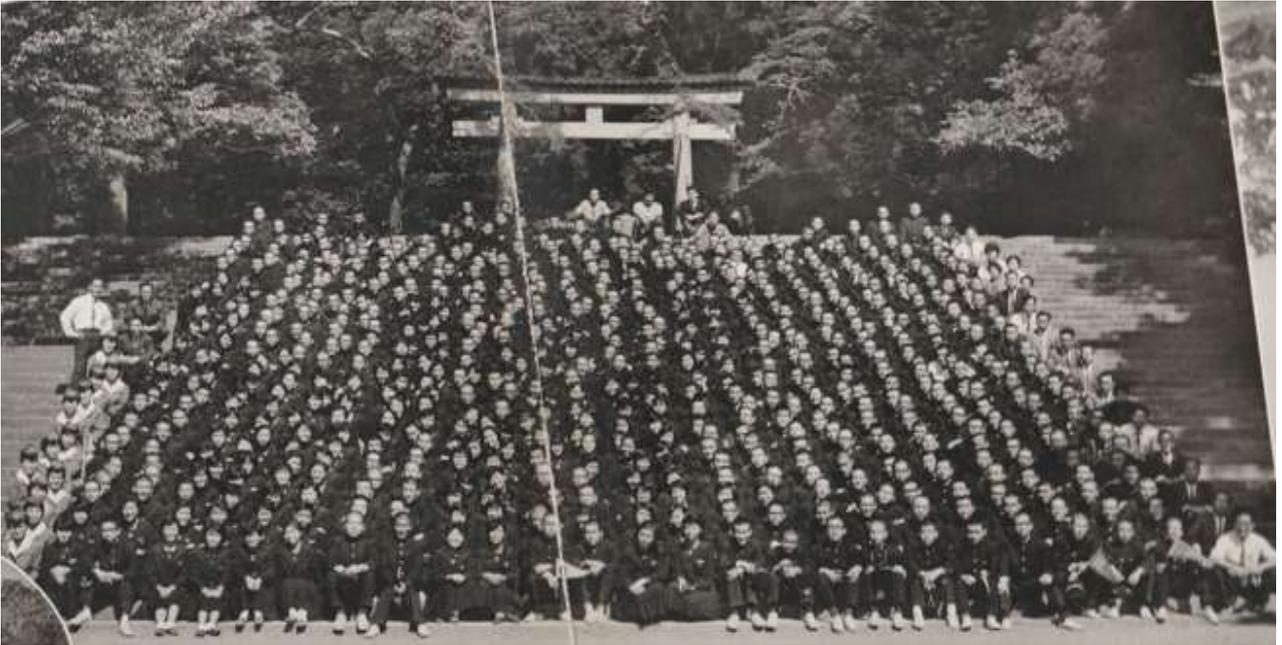
草千里ヶ浜、阿蘇、熊本



ちょうじゃぼる  
長者原、やまなみハイウェイ、大分

霧島神宮、鹿児島

(1965年10月)



(2025年10月)



「人は去り、景観は残る」

## (添付4)

### (4-1) 西国三十三所巡礼地

| 札所番号 | 山号   | 札所/寺号       | 呼称           | 本尊       | 所在地             | 世界遺産 |
|------|------|-------------|--------------|----------|-----------------|------|
| ①    | 那智山  | 青岸渡寺        | せいがんどうじ      | 如意輪観音    | 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町   |      |
| ②    | 紀三井山 | 金剛宝山(紀三井寺)  | こんごうほうじ      | 十一面観音    | 和歌山県和歌山市紀三井寺    |      |
| ③    | 風猛山  | 粉河寺         | こかわでら        | 千手観音     | 和歌山県紀の川市粉河      |      |
| ④    | 槇尾山  | 施福寺(槇尾寺)    | せふくじ         | 十一面千手観音  | 大阪府和泉市槇尾山町      |      |
| ⑤    | 紫雲山  | 葛井寺         | ふじいでら        | 千手観音     | 大阪府藤井寺市藤井寺      |      |
| ⑥    | 壺阪山  | 南法華寺(壺阪寺)   | みなみほっけじ      | 十一面千手観音  | 奈良県高市郡高取町壺阪     |      |
| ⑦    | 東光山  | 岡寺(龍蓋寺)     | おかでら         | 如意輪観音    | 奈良県高市郡明日香村岡     |      |
| ⑧    | 豊山   | 長谷寺         | はせでら         | 十一面観音    | 奈良県桜井市初瀬        |      |
| ⑨    | 興福寺  | 南円堂         | なんえんどう       | 不空羂索観音   | 奈良市登大路町         | ◎    |
| ⑩    | 明星山  | 三室戸寺        | みむろとじ        | 千手観音     | 京都府宇治市菟道滋賀谷     |      |
| ⑪    | 深雪山  | 上醍醐准胝堂(醍醐寺) | かみだいごじゅんていどう | 准胝観音     | 京都府京都市伏見区醍醐醍醐山  | ◎    |
| ⑫    | 岩間山  | 正法寺(岩間寺)    | しょうほうじ       | 千手観音     | 滋賀県大津市石山内畑町     |      |
| ⑬    | 石光山  | 石山寺         | いしやまでら       | 如意輪観音    | 滋賀県大津市石山寺       |      |
| ⑭    | 長等山  | 園城寺(三井寺)    | おんじょうじ       | 如意輪観音    | 滋賀県大津市園城寺町      |      |
| ⑮    | 新那智山 | 観音寺(今熊野観音寺) | かんのんじ        | 十一面観音    | 京都市東山区泉涌寺山内町    |      |
| ⑯    | 音羽山  | 清水寺         | きよみずでら       | 十一面千手観音  | 京都府京都市東山区清水     | ◎    |
| ⑰    | 補陀洛山 | 六波羅蜜寺       | ろくはらみつじ      | 十一面観音    | 京都府京都市東山区松原通大和  |      |
| ⑱    | 紫雲山  | 頂法寺(六角堂)    | ちようほうじ       | 如意輪観音    | 京都市中京区六角通東洞院    |      |
| ⑲    | 靈麁山  | 行願寺(革堂)     | ぎようがんじ       | 千手観音     | 京都市中京区寺町通竹屋町    |      |
| ⑳    | 西山   | 善峯寺         | よしみねでら       | 千手観音     | 京都市西京区大原野小塩町    |      |
| ㉑    | 菩提山  | 穴太寺         | あなおじ         | 聖観音      | 京都府亀岡市管我部町穴太東辻  |      |
| ㉒    | 補陀洛山 | 総持寺         | そうじじ         | 千手観音     | 大阪府茨木市総持寺       |      |
| ㉓    | 応頂山  | 勝尾寺         | かつおうじ        | 十一面千手観音  | 大阪府箕面市粟生間谷      |      |
| ㉔    | 紫雲山  | 中山寺         | なかやまでら       | 十一面観音    | 兵庫県宝塚市中山寺       |      |
| ㉕    | 御嶽山  | 播州清水寺       | ばんしゅうきよみずでら  | 十一面千手観音  | 兵庫県加東市平木        |      |
| ㉖    | 法華山  | 一乗寺         | いちじょうじ       | 聖観音      | 兵庫県加西市坂本町       |      |
| ㉗    | 書寫山  | 圓教寺         | えんきょうじ       | 如意輪観音    | 兵庫県姫路市書写        |      |
| ㉘    | 成相山  | 成相寺         | なりあいじ        | 聖観音      | 京都府宮津市成相寺       |      |
| ㉙    | 青葉山  | 松尾寺         | まつおでら        | 馬頭観音     | 京都府舞鶴市松尾        |      |
| ㉚    | 敵金山  | 宝敵寺         | ほうごんじ        | 千手観音     | 滋賀県東浅井郡びわ町早崎竹生島 |      |
| ㉛    | 姨綺耶山 | 長命寺         | ちようめいじ       | 千手十一面聖観音 | 滋賀県近江八幡市長命寺町    |      |
| ㉜    | 織山   | 観音正寺        | かんおんしょうじ     | 千手観音     | 滋賀県蒲生郡安土町石寺     |      |
| ㉝    | 谷汲山  | 華嚴寺         | けごんじ         | 十一面観音    | 岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲徳積  |      |



## (4-2) 観音菩薩の種類

| 本尊                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 観音菩薩の特徴                                                                                      | 古刹名                                 | 観音基本形                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 聖 観 音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 正観音ともいわれ、私達人間と変わらない一面二臂の姿で、多くが立像で衆生を救済する。持ち物は宝珠、水瓶、蓮華。(3所)                                   | 21番/穴太寺<br>28番/成相寺<br>26番/一乗寺       |    |
| 十一面観音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 自らの顔を含め11の顔(優しい顔、怒った顔、大笑いの顔)の持ちめしで、病を除き、罪を清め、幸せをもたらす。(6所)                                    | 2番/紀三井寺<br>6番/壺阪寺<br>24番/中山寺<br>他   |    |
| 不空羂索観音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 一面六臂の姿が一般的で、衆生を羂索(投げ縄)で絡めとり、悟りの領域へ導く。鹿皮を肩にかけるのが特徴。(1所)                                       | 9番/南円堂<br>(興福寺)                     |    |
| 千 手 観 音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 千手千眼観音ともいい、千本手を持ちそれぞれの掌には目があって、衆生を漏らさず救済するという。仏像としては一本の手が25本分の役割を果たす考えから40本の手で表せることが多い。(15所) | 10番/三室戸寺<br>31番/長命寺<br>16番/清水寺<br>他 |   |
| 馬 頭 観 音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 怒りの表情で邪悪な力を排する。家畜を守り獣類も救う。家畜の観音。(1所)                                                         | 29番/松尾寺                             |  |
| 准 胝 観 音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 母の慈愛で心の働きを清浄にする。(1所)                                                                         | 11番/准胝堂<br>(上醍醐寺)                   |  |
| 如 意 輪 観 音                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 法輪(仏の教え)を転じて意の如く衆生を救う。如意宝珠と法輪を持つ。(6所)                                                        | 1番/青岸渡寺<br>18番/頂法寺<br>13番/石山寺<br>他  |  |
| <p>観音菩薩 = 観: 観音さまの知恵、音: 世間の響き<br/>菩薩: 悟りを求めて修行する僧</p> <p>仏様のランク = <small>にょらい</small> 如来 &gt; <small>ぼさつ</small> 菩薩 &gt; <small>みょうおう</small> 明王 &gt; <small>てんぶ</small> 天部 &gt; <small>すいじやく</small> 垂迹</p> <p>煩惱の三毒: 貪欲(とんよく=むさぼり)、瞋恚(しんに=怒り)、愚痴(ぐち=無知)より解放</p> <p>2023/4/18: 「西国三十三所」と、スペインのキリスト教徒巡礼路/世界遺産「サンティアゴ巡礼路」が友好提携</p> |                                                                                              |                                     |                                                                                       |

### (4-3) 京都南座顔見世演目

(2022年12月14日 第2部)

### (4-4) 旅人プロフィール

Face to Face NO.47 人生は気楽が一番 **検索**

### (4-5) ビジネス故国と訪問工場

| ビジネス故国、訪問工場&事務所  |                                   |
|------------------|-----------------------------------|
| ビジネス故国           | 訪問工場&事務所                          |
| 第1ビジネス故国――日本     | Rancho Factory, California, USA   |
| 第2ビジネス故国――韓国     | Kalamazoo Factory, Michigan, USA  |
| 第3ビジネス故国――シンガポール | Calgary Factory, Alberter, Canada |
| +東南アジア諸国         | Roosendaal Factory, Holland       |
| 第4ビジネス故国――台湾     | Dortmund Factory, Germany         |
|                  | London Office, England            |
|                  | New Jersey Office, USA            |



「白鳥の湖」、サンクト・ペテルブルグ、ロシア、2013年6月

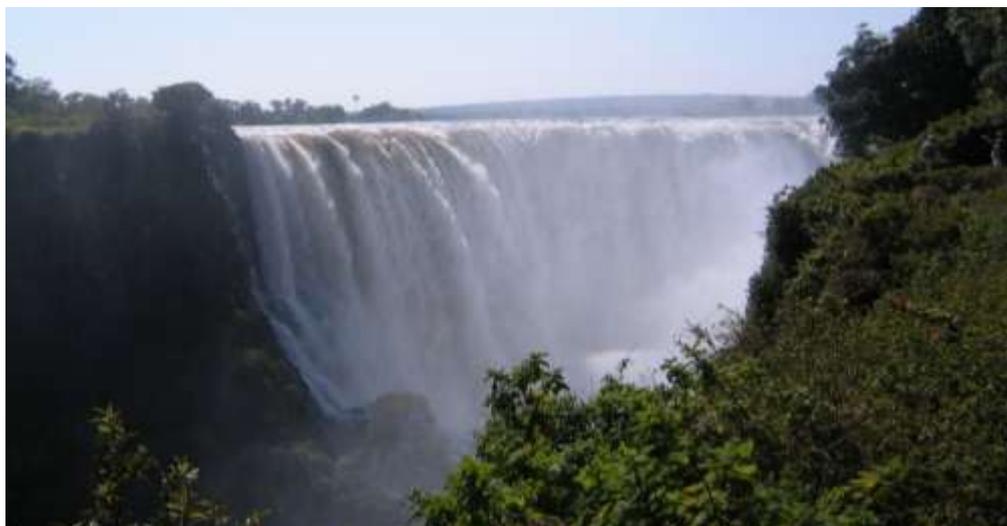
## (4-6) 世界3大瀑布



ナイアガラ滝、USA、2005年9月 (投稿 No 40)



イグアズ滝、アルゼンチン、2014年3月 (投稿 No 40)



ヴィクトリア滝、ジンバブエ、2016年4月 (投稿 No 67)